

中上級ユーザーのための、パソコン百科

コンピュータ



PC98-NX SERIES
VALUESTAR NX

マニュアルを

読む順序

1

まずこれ!



2

次にこれ!

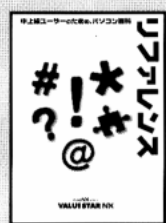


添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

3

目的に合ったマニュアルを選んで読む



やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	STEP 1 接続と準備
マウスの使い方を知りたい	STEP 2 入門
キーボードで文字を打ってみたい	STEP 2 入門
ワープロを使いたい	STEP 2 入門
インターネットを利用したい	インターネット入門
FAX 機能を利用したい	リファレンス
プリンタをつなげたい	拡張の手引き
オプション機器を取り付けたい	拡張の手引き
Windows 95 について知りたい	STEP 3 活用
デスクトップについて知りたい	STEP 3 活用
パソコンの中に入っているソフトを使いたい	リファレンス
このパソコンの機能について詳しく知りたい	リファレンス
パソコンが思うように動かない	困ったときのQ&A
パソコンをお手入れする方法を知りたい	困ったときのQ&A
再セットアップしたい	困ったときのQ&A



はじめに

この本は、『STEP 1 接続と準備』、『STEP 2 入門』、『STEP 3 活用』を読み終えた方を対象にしています。

この本には、あなたのパソコンの設定を変更したり、内蔵されたアプリケーションの使い方を調べたりするときに役に立つ情報が満載されています。

はじめてパソコンを使う方にとっては、他の本に比べると少し難しい所もあるかもしれませんが、この本があなたのパソコンのすべてを知るための道案内をしてくれます。この本を利用して思う存分に、パソコンを使いこなしてください。

1998年2月 初版

この本の表記について

◆この本では、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



注意

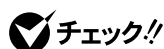


感電注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

◆この本で使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



参照

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆この本で使用している表記の意味

本機

次の各モデル(機種)を指します。

型名	型番
VS33D/M7 model CD2	PC-VS33DM7CD2
VS33D/M7 model DD2	PC-VS33DM7DD2
VS33D/M7 model CB2	PC-VS33DM7CB2
VS33D/M7 model DB2	PC-VS33DM7DB2
VS30D/M7 model CA2	PC-VS30DM7CA2
VS30D/M7 model DA2	PC-VS30DM7DA2
VS30D/MZ model CA2	PC-VS30DMZCA2
VS30D/MZ model DA2	PC-VS30DMZDA2
VS26D/M7 model CA2	PC-VS26DM7CA2
VS26D/M7 model DA2	PC-VS26DM7DA2
VS26D/S7 model CA2	PC-VS26DS7CA2
VS26D/S7 model DA2	PC-VS26DS7DA2
VS26D/S5 model CA2	PC-VS26DS5CA2
VS26D/S5 model DA2	PC-VS26DS5DA2
VS26D/SZ model CA2	PC-VS26DSZCA2
VS26D/SZ model DA2	PC-VS26DSZDA2
VS23D/S7 model CA2	PC-VS23DS7CA2
VS23D/S7 model DA2	PC-VS23DS7DA2
VS23D/S5 model CA2	PC-VS23DS5CA2
VS23D/S5 model DA2	PC-VS23DS5DA2

	VS20C/S7 model CA2	PC-VS20CS7CA2
	VS20C/S7 model DA2	PC-VS20CS7DA2
	VS20C/S5 model CA2	PC-VS20CS5CA2
	VS20C/S5 model DA2	PC-VS20CS5DA2
	VS26D/CX model CA2	PC-VS26DCXCA2
	VS26D/CX model DA2	PC-VS26DCXDA2
	VS26D/CZ model CA2	PC-VS26DCZCA2
	VS26D/CZ model DA2	PC-VS26DCZDA2
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。 model CA2、model DA2が該当します。	
CD-Rモデル	CD-Rドライブを搭載しているモデルのことです。 model CB2、model DB2が該当します。	
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。 model CD2、model DD2が該当します。	
ディスプレイ セットモデル	VS33D/M7、VS30D/M7、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、 VS23D/S7、VS23D/S5、VS20C/S7、VS20C/S5、VS26D/CXを指 します。	
ディスプレイなし モデル	ディスプレイが別売となっているモデルです。VS30D/MZ、VS26D/SZ、 VS26D/CZが該当します。	
ミニタワータイプ	VS33D/M7、VS30D/M7、VS30D/MZ、VS26D/M7を指します。	
デスクトップタイプ	VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ、VS23D/S7、VS23D/S5、 VS20C/S7、VS20C/S5を指します。	
省スペースタイプ	VS26D/CX、VS26D/CZを指します。	
CD-ROMドライブ	model CD2、model DD2ではDVD-ROMドライブのことを、 model CB2、model DB2ではCD-Rドライブのことを、 model CA2、model DA2ではCD-ROMドライブのことを指します。	
一太郎モデル	一太郎8、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルの ことです。model CA2、model CB2、model CD2が該当します。	
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことで す。model DA2、model DB2、model DD2が該当します。	
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。	
プリンタ、 コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記していま す。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく 使われている表記に準拠しているためです。	

◆本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。

また、実際の画面とは多少異なることがあります。

◆この本で使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)

(正式名称)

**Windows、
Windows 95**

Microsoft® Windows® 95 Operating System

Windows NT 4.0

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System
Version 4.0

一太郎8

一太郎8 Office Edition /R.2

**Excel、Word、
Outlook**

Microsoft® Excel 97 & Word 97 & Outlook™ 97 for Windows®

**Microsoft Internet
Explorer 4.01、
Internet Explorer
Explorer 4.01**

Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95 and
Windows NT® 4.0 日本語版

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認定機器名：SF-ZTG-ST
認定番号
電話回線：S97-2461-0

■高調波電流規制について

この装置の本体およびディスプレイは、高調波ガイドライン適合品です。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

■瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準（JIS・C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブまたはCD-RドライブまたはDVD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りの Bit-INN、または NEC パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® 95 および本機に添付の CD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Bookshelf および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Pentium、MMX は Intel Corporation の登録商標です。

一太郎、ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎 Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、これにかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

パソコン大学は、テラ・コーポレーションの登録商標です。

NIFTY MANAGER は、ニフティ（株）の登録商標です。

アメリカ・オンラインおよび AOL は、AOL の登録商標です。

「ANGEL LINE」および「エンジェルライン」は、NTT の登録商標です。

McAfee、McAfee Associates、Virus Scan、NetShield は、米国 McAfee Associates, Inc. の米国における登録商標です。

Easy-CD は、an Adaptec Company の商標であり、何らかの司法権に登録されている可能性があります。Sound Canvas、DoReMiX、通信ジュークは、ローランド株式会社の商標です。

SEGA、SEGA PC、バーチャファイター 2、VIRTUA FIGHTER2 は、(株)セガ・エンタープライゼスの商標です。

インターネット カラオケキングは (株) ミュージックネットワークの商標です。

“GLOBAL HEXCITE” is a trademark of GAJIN and SHIPS Inc.

Solitaire Deluxe は、Interplay Productions の商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

Hayes は、米国 Hayes Microcomputer Products の登録商標です。

MNP は、Microcom, Inc. の登録商標です。

RIVA128 は、SGS-THOMSON Microelectronics, Inc. の登録商標です。

YAMAHA は、ヤマハ株式会社の登録商標です。

OTi610 は、(株) オークテクノロジーの登録商標です。

CIRRUS LOGIC は、米国シーラスロジック社の登録商標です。

K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell International の商標です。

PC-VAN ナビゲータ、BIGLOBE Walker は、NEC の登録商標です。

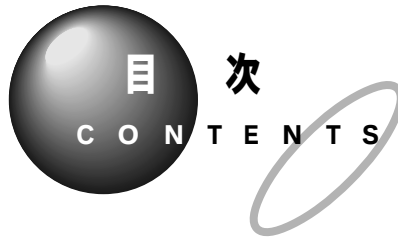
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。



はじめに	i
この本の表記について	ii

アプリケーションの紹介 1

アプリケーションの紹介 2

グループ「メインメニュー」	2
グループ「インターネット & パソコン通信」	3
グループ「ホーム & ゲーム」	4
グループ「マルチメディア」	4
グループ「ユーティリティ」	5
グループ「スタディ & ヘルプ」	6
インストールが必要なソフト	7

PART

1

便利なアプリケーション 9

本機の基本操作を知る〈CyberCoach-NX〉 10

CyberCoach-NX とは	10
レッスンを始める	10
レッスンを中断する	11
各レッスンの概要	11

電話や FAX を使う〈TELFAX-NX〉 13

TELFAX-NX について	13
TELFAX-NX を起動する	13
電話をかける	14
電話を受ける	15
FAX の送受信をテストする	15
FAX を送る	19
FAX を受ける	22
留守番電話機能を使う	24
スキャナで読み込んだ文書を FAX する	29
各種の設定	30
アドレス帳の使い方	32
TELFAX-NX を使用するときの注意	34

タイマー機能〈Timer-NX〉 37

概要	37
タイマプログラムを設定する	37
タイマプログラムを設定するときの注意	40
リングを設定する	41
自動的に電源を切る	46
「Timer-NX」を利用するときの注意	47
はがきの印刷〈筆ぐるめ〉	48
概要	48
住所録の新規作成	48
住所録への追加	50
差出人の登録	50
はがきのオモテ面を作成する	51
はがきのウラ面を作成する	52
郵便番号の桁数を変更する	54
音楽 CD/ ビデオ CD/ フォト CD の再生〈プレーヤ-NX〉	55
音楽 CD を聴く	55
ビデオ CD (カラオケ CD) を見る	58
フォト CD を見る	59
DVD VIDEO ディスクの再生〈DVD プレーヤ〉 (DVD-ROM モデルのみ)	62
概要	62
DVD プレーヤの起動	62
各部の名称と役割	62
DVD プレーヤを使用するときの注意	64
カーナビ CD の再生〈MapPlayer-NX〉	65
カーナビゲーション用地図 CD-ROM を見る	65
地図を見るために必要なボタン	65
ランドマークを利用する	67
IIS (Integrated Information Services) を利用する	70
電子アルバムの作成〈アルバム工房 Light〉	72
アルバム工房 Light の説明を見る	72
電子アルバムを作成する	72
写真をアルバムにとじる	73
アルバムを見る	74



アルバムをプレゼントする	75
アルバム工房 Light を使用するときの注意	76
電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉.....	77
通信設定	77
電話番号検索サービスを利用する	77
「Angel Line アドレス帳」の利用	79
デジタルブックの再生〈デジタルブックビューワ〉.....	80
概要	80
「デジタルブック作品選択」ウィンドウ	80
ジャンルの登録	80
デジタルブック作品の登録	81
デジタル作品の読み方	82
作品の削除	82
ランチ-NX の設定	83
「ランチ-NX の設定」ウィンドウ	83
グループを編集する	86
アプリケーション起動ボタンを編集する	89
CD の自動起動〈CD ランチ〉	95
起動と終了	95
アプリケーションの起動	95
CD ランチの設定	96
英語モードフォントの使用	97
概要	97
英語モードフォントを使用する	97
日本語モードフォントへの切り替え	98
テキストリーダーの使用	99
テキストリーダーの起動	99
セットアップされていない機能の追加	102
セットアップが必要なアプリケーションや機能	102
セットアップする前に	103
セットアップする	104
削除する	108
ゲームで遊ぶ	112

バーチャファイター 2 (Virtua Fighter 2)	112
GLOCAL HEXCITE (グローバル ヘキサイト)	114
ソリティア デラックス	116
AI 将棋 Ver.1.5R	118
インターネット&パソコン通信	121
音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール〉	122
概要	122
準備	122
設定	127
メールを読む	130
メールを書いて送る	130
メールを書くときに使用できる音声コマンド一覧	134
ボイスペンを使う	134
ホームページの整理〈ホームページスクラップブック〉	
(DVD-ROM モデル、CD-R モデルのみ)	136
概要	136
使用する前に	137
スクラップ (切り取り) の方法	137
スクラップページを最新情報に更新する	139
ホームページを探す〈ジェットサーファー〉	140
概要	140
使用する前に	140
ホームページを分析して結果を表示する	141
文字列を検索したページをブラウザに表示する	142
分析したページからファイルをダウンロードする	143
オートパイロットの実行	
〈インターネットアクセスマネージャ〉	145
概要	145
利用環境を設定する	145
インターネットの効率的な使い方	149
パソコン通信	165
概要	165

PART

3

PC-VAN を利用する	165
AOL を利用する	166
NIFTY SERVE を利用する	166
ダイヤルアップネットワーク	168
既存のダイヤルアップネットワークの確認	168
新しいダイヤルアップネットワークの作成	169

パソコンを守るアプリケーション 173

パソコンを守るアプリケーション	174
本機のシステムを守る	174
Windows 95 の利用環境を限定する (CyberTrio-NX)	174
Windows 95 の動作環境を監視する (CyberWarner-NX)	174
ウイルスを検査、駆除する (Virus Scan for Windows 95)	175
利用レベルのモード変更 (CyberTrio-NX)	176
モードの種類	176
モードの変更	176
ベーシックモード	177
キッズモード	178
Windows 95 の動作の監視 (CyberWarner-NX)	180
起動と終了	180
警告メッセージ	180
バックアップファイル	181
ウイルスの検査と駆除 (Virus Scan for Windows 95)	183
概要	183
常に検査する (VShield)	183
スクリーンセーバ実行中に検査する (ScreenScan)	184
定期的に検査する (Virus Scan コンソール)	184
すぐに検査する (Virus Scan)	185
ウイルスを駆除する	185

PART

4

アプリケーションの削除と追加 187

アプリケーションの削除	188

概要	188
「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する	189
CD-ROM を使って削除する	203
アンインストール機能を使って削除する	204
削除したアプリケーションの再追加	206
概要	206
アプリケーション CD-ROM を使用する	206
パソコン大学一年生 CD-ROM を使って追加する	219
一太郎バックアップ CD-ROM を使って追加する (一太郎モデルのみ)	220
Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 CD-ROM を使って追加する (Word モデルのみ)	221
ハードウェア	223
マウスの設定	224
「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定	224
キーボードの設定	226
「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定	226
ハードディスク	228
概要	228
スキャンディスク	228
デフラグ	230
ドライブスペース	230
フロッピーディスク	233
使用できるフロッピーディスクの種類	233
フロッピーディスクのバックアップ	233
Windows 起動ディスク	234
ディスプレイ	236
概要	236
別売のディスプレイを使う場合	237
解像度と表示色の変更	238
パワーマネージメント機能について	239
ディスプレイに合わせて設定する	240



サスペンド / レジューム機能	242
概要	242
サスペンド状態にする	242
サスペンド状態から電源が入っている状態にする	243
BIOS セットアップユーティリティで省電力の設定をする	244
Windows のスタートメニューでサスペンド状態にする	244
「電源のプロパティ」ウィンドウでの設定	245
サスペンド状態にするときの注意	246
サウンド機能	247
概要	247
スピーカ	247
ボリュームコントロール	
(VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ の場合)	249
ボリュームコントロール	
(VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合)	251
3D オーディオの設定	
(VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ のみ)	253
サウンドデバイスの切り替え	253
サウンド全般についての注意	253
マイクロホン	255
ボリューム調節	
(VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ の場合)	255
ボリューム調節	
(VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20/C の場合)	256
サウンドレコーダー	257
FAX モデムボード	259
概要	259
FAX モデムボードを使用するときの注意	260
デバイスマネージャ	262
起動	262
デバイスドライバの変更	263

デバイスのリソース設定の変更	264
CD-ROM などの取り扱い	266
概要	266
CD-R メディアを使う	267
CDRFS を使う	267
Easy-CD 95 を使う	270
非常時のメディアの出し方	271
エラーメッセージについて	273
本機の設定を変更する	275
BIOS セットアップユーティリティ	276
BIOS セットアップユーティリティでできること	276
BIOS セットアップユーティリティを使う	276
各種の設定	277
パスワードの設定	279
割り込みレベルと DMA チャンネル	283
概要	283
リソースの競合	284
本機を拡張するときの注意	285
付 録	287
Windows 95 で MS-DOS モードを利用する	288
MS-DOS モードを利用する	288
CD-ROM ドライバ (本機内蔵 CD-ROM ドライブ)	288
Windows NT 4.0 の利用	291
Windows NT 4.0 をセットアップする前に	291
Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード	291
Windows NT 4.0 アップデートサービス	
Service Pack 3 の利用	295
本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意	295
本体の各部の名称 (ミニタワータイプ)	296
本体の各部の名称 (デスクトップタイプ)	301

本体の各部の名称（省スペースタイプ）	305
キーの名称と役割	309
キーの役割	309
キーの名称	309
機能仕様	311
FAX モデムボード機能仕様	321
AT コマンド	323
コマンドの構成	323
コマンド一覧	323
索 引	333

アプリケーションの紹介

● アプリケーションの紹介

アプリケーション の紹介

本機には、いろいろなソフトが入っています。ここでは本機に入っているランチ-NXを使って、おもなソフトを紹介しましょう。

グループ「メインメニュー」

ランチ-NXのグループ「メインメニュー」には、一般的によく使うアプリケーションが集められています。

一太郎モデルのみに入っているもの



一太郎 8：文字はもちろん、表や図形などを文書の中に描いたり、画像を貼り付けたりすることのできる日本生まれのワープロです。



三四郎 8：縦横に並んだ数字を計算したり、集計したりする「表計算」と呼ばれるアプリケーションです。グラフも簡単に作ることができます。



FULLBAND：画面に表示されるシステム手帳を使って、スケジュールやアドレス、メモなどの情報を管理することができます。



使い方→『STEP2 入門』の「PART4 ワープロをもっと楽しもう（一太郎編）」
→「Office8 + Value Pack Plus」パッケージに含まれているマニュアル
→PART1「セットアップされていない機能の追加」

Wordモデルのみに入っているもの



Microsoft Word：高度な日本語処理技術と文章表現力を持ち、世界中で使われているワープロです。



Microsoft Excel：数式の入力やグラフの作成などが簡単にできる「表計算」アプリケーションです。作成した表はWordの文章の中に入れることができます。



Microsoft Outlook：電子メールをはじめ、スケジュールやアドレスなどの情報をまとめて管理することができます。



使い方→『STEP2 入門』の「PART6 ワープロをもっと楽しもう（Word編）」
→「Word & Excel & Outlook」パッケージに含まれているマニュアル
→PART1「セットアップされていない機能の追加」

いずれのモデルにも入っているもの



筆ぐるめ：毛筆の書体で年賀状などを作成するアプリケーションです。送付先の住所を管理することもできます。



使い方→PART1「はがきの印刷〈筆ぐるめ〉」



駅すばあと：指定した駅間を移動するための乗り換え方や所要時間、運賃などを調べてくれるアプリケーションです。路線図も見ることができます。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「駅すばあと全国版」-「駅すばあとオンラインマニュアル」



てきばき家計簿マム 2：マウスを使って簡単に家計簿をつけることのできる家計簿アプリケーションです。



使い方→「てきばき家計簿マム 2」操作マニュアル



TELFAX-NX (FAX& 電話)：FAXの送受信や留守番電話の機能を使うためのアプリケーションです。



使い方→PART1「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」



TELFAX-NX (アドレス帳): 知人、友人の住所や電話番号、FAX番号を管理するためのアプリケーションです。はがきの宛名の印刷もできます。



使い方→PART 1「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」の「アドレス帳の使い方」



CyberCoach-NX (操作レッスン): パソコンやWindows 95の使い方を学ぶためのアプリケーションです。



使い方→PART 1「本機の基本操作を知る〈CyberCoach-NX〉」

グループ「インターネット&パソコン通信」

グループ「インターネット & パソコン通信」には、インターネットやパソコン通信を楽しむためのアプリケーションが集められています。



BIGLOBE 入会申込: インターネットの入口となるアプリケーションです。NECパーソナルメディアサービス「BIGLOBE」(ビッグロブ)に入会できます。



使い方→『インターネット入門』PART 3「BIGLOBE サインアップナビを使う」



インターネットエクスプローラ: インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。



使い方→『インターネット入門』PART 2「いよいよインターネット」



Outlook Express: インターネット上で電子メールの送受信を行うためのアプリケーションです。



使い方→『インターネット入門』PART 6「電子メールをやりとりする」



翻訳アダプタII CROSSROAD: 英日、日英翻訳をするアプリケーションです。インターネットの英語ホームページを見るときにも利用できます。



使い方→『インターネット入門』PART 8「英語のホームページを見る」



インターネットアクセスマネージャ: インターネットからの情報収集をより便利にするためのアプリケーションです。



使い方→PART 2「オートパイロットの実行〈インターネットアクセスマネージャ〉」



ジェットサーファー: インターネットのリンク先を簡単な操作で集めることのできるアプリケーションです。



使い方→PART 2「ホームページを探す〈ジェットサーファー〉」



BIGLOBE Walker: NEC パーソナルメディアサービス「BIGLOBE (ビックロブ)」を快適にご利用いただくためのアプリケーションです。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「Biglobe」-「クイックマニュアル」



PC-VAN ナビゲータ: パソコン通信サービス「PC-VAN」に接続し、いろいろなサービスを利用するためのアプリケーションです。



使い方→PART 2「パソコン通信」の「PC-VANを利用する」



AOL へのご招待: パソコン通信サービス「America OnLine」の紹介と、新規ユーザーとして登録するためのアプリケーションです。



使い方→PART 2「パソコン通信」の「AOLを利用する」



しゃべっていいメール：声でインターネットの電子メールを作成する音声認識アプリケーションです。



使い方→PART 2「音声入力でのメールの送信くしゃべっていいメール」



PictureStudio Light：ホームページ用の画像を作成するアプリケーションです。(DVD-ROM モデル、CD-R モデルのみに入っています)



使い方→「スタート」-「プログラム」-「Picture Studio Light」-「PictureStudio Lightについて」



ホームページスクラップブック：気に入ったホームページを見たままの形でためていくことのできるアプリケーションです。(DVD-ROM モデル、CD-R モデルのみに入っています)



使い方→PART 2 の「ホームページの整理くホームページスクラップブック」

グループ「ホーム & ゲーム」

グループ「ホーム & ゲーム」には、カラオケやゲームなど、家族で楽しむことのできるアプリケーションが集められています。



カラオケキング：インターネットを使って、音楽データを受信し、演奏する通信カラオケのアプリケーションです。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「カラオケキング」-「ヘルプ」



通信ジューク (カラオケ)：パソコン通信を使って、音楽データを受信し、演奏する通信カラオケのアプリケーションです。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「Roland 通信ジューク」-「通信ジュークヘルプ」



フリーセル：数字の小さい順に、すべてのカードを積んでいくカードゲームです。



使い方→「フリーセル」のヘルプ



マインスイーパー：地雷をクリックしないようにしながら、地雷の位置を当てていくゲームです。



使い方→「マインスイーパー」のヘルプ



ハーツ：手持ちのカードを場に捨てていき、持ち点を競うゲームです。



使い方→「ハーツ」のヘルプ



ソリティア：場に出ているカードを順番に積み重ねていくゲームです。



使い方→「ソリティア」のヘルプ

グループ「マルチメディア」

グループ「マルチメディア」には、画像や音楽を楽しむためのアプリケーションが集められています。



アルバム工房 Light：デジタルカメラなどから取り込んだ画像をアルバムにするアプリケーションです。



使い方→PART 1「電子アルバムの作成くアルバム工房 Light」



デジタルブックビューワ：デジタルブック用のデータを見るアプリケーションです。



使い方→PART 1「デジタルブックの再生くデジタルブックビューワ」



DoReMiX (簡易作曲)：パズル感覚で作曲のできるアプリケーションです。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「Roland DoReMix Ver.1」-「DoReMix ヘルプ」



MusicBox(オルゴール):パソコンで鳴らすオルゴールです。オリジナルの曲を作ることができます。

参照

使い方→「スタート」-「プログラム」-「Roland MusicBox」-「MusicBox ヘルプ」



MapPlayer-NX(カーナビCD):カーナビゲーション用のCD-ROMの内容を見るためのアプリケーションです。

参照

使い方→PART 1「カーナビCDの再生(MapPlayer-NX)」



プレーヤ-NX(CDプレーヤ):音楽CDやビデオCD、フォトCDを再生するためのアプリケーションです。

参照

使い方→PART 1「音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生(プレーヤ-NX)」



メディアプレーヤ:動画データや、音声データ、音楽データなどを再生するためのアプリケーションです。

参照

使い方→「メディアプレーヤ」のヘルプ



VSC-88(SoftMIDI):パソコンにシンセサイザー機能を持たせて、MIDI規格の音楽データを再生するアプリケーションです。

参照

使い方→「スタート」-「プログラム」-「Virtual Sound Canvas VSC-88」-「Virtual Sound Canvas VSC-88 Help」



サウンドレコーダー:音声データの再生や録音を行うアプリケーションです。

参照

使い方→PART 5「マイクロホン」



ボリュームコントロール:パソコンから出る音の音量をコントロールします。

参照

使い方→PART 5「サウンド機能」



DVDプレーヤ:DVDに入っている映像を再生するためのアプリケーションです。(DVD-ROMモデルのみに入っています)

参照

使い方→PART 1「DVD VIDEO ディスクの再生(DVDプレーヤ)」

グループ「ユーティリティ」

グループ「ユーティリティ」には、ちょっとしたときに便利なアプリケーションや、パソコンなどの設定を行うためのアプリケーションが集められています。



Timer-NX(スケジューラ):本体の電源のオン/オフや任意のアプリケーションの起動などをタイマーを使って指定するアプリケーションです。

参照

使い方→PART 1「タイマー機能(Timer-NX)」



VirusScan(ウイルスチェッカー):コンピュータウイルスの感染を調査し、治療をするアプリケーションです。

参照

使い方→PART 3「ウイルスの検査と駆除(Virus Scan for Windows 95)」



Angel Line(電話案内):パソコンで電話番号を調べるサービスを利用するためのアプリケーションです。

参照

使い方→PART 1「電話番号の検索(Angel Line for Windows)」



Angel Line(アドレス帳):Angel Line(電話案内)で検索、保存したデータを見るためのアプリケーションです。

参照

使い方→PART 1「Angel Line アドレス帳の利用」



ペイント:絵を描くためのアプリケーションです。

参照

使い方→「ペイント」のヘルプ



電卓：関数電卓としても使える電卓アプリケーションです。



使い方→「電卓」のヘルプ



Easy-CD95 (CD作成)：CD-ROMを作成するためのアプリケーションです。(CD-Rモデルのみに入っています)



使い方→「Easy-CD95」のヘルプ



アプリケーションの追加と削除：アプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションを削除するときに使います。



使い方→PART 4「アプリケーションの削除と追加」



画面の設定：画面の色や細かさ、背景などの設定を変更するときに使います。



使い方→PART 5「CRT ディスプレイ」



CyberTrio-NX (利用者モード)：ハードディスクやソフトを、操作ミスやいたずらなどから守るために、Windows 95 の機能を制限するソフトです。



使い方→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

グループ「スタディ & ヘルプ」

グループ「スタディ & ヘルプ」には、パソコンやアプリケーションを勉強するためのアプリケーションが集められています。

一太郎モデルのみに入っているもの



パソコン大学一年生 for 一太郎 8：画面と音声で一太郎8を学ぶことのできるアプリケーションです。



使い方→『STEP2 入門』PART 4 の「さらに一太郎を使いこなす」



パソコン大学一年生 for 三四郎 8：画面と音声で三四郎8を学ぶことのできるアプリケーションです。

Word モデルのみに入っているもの



パソコン大学一年生 for Word97：画面と音声で Word97 を学ぶことのできるアプリケーションです。



使い方→『STEP2 入門』PART 6 の「さらに Word を使いこなす」



パソコン大学一年生 for Excel97：画面と音声で Excel97 を学ぶことのできるアプリケーションです。

いずれのモデルにも入っているもの



インターネットチュータ：インターネットがどのようなものかをプロバイダに接続しないで体験できるアプリケーションです。



使い方→『インターネット入門』PART 1「インターネットチュータで練習してみる」



ヒントとツアー：Windows 95 の簡単な使い方を説明しています。



パソコン用語集：パソコンで使ういろいろな用語を辞書形式で解説しています。



MAGICFLIGHT (タイプレッスン)：ゲーム感覚でキーボードを打つ練習ができるアプリケーションです。



CyberCoach-NX (操作レッスン)：パソコンや Windows 95 の使い方を学ぶためのアプリケーションです。



使い方→PART 1「本機の基本操作を知る〈CyberCoach-NX〉」

インストールが必要なソフト

以下のソフトは、このパソコンに付属しているソフトですが、出荷時にはインストールされていません。これらのソフトを使いたいときは、インストールの作業を行ってください。

■ NIFTY MANAGER

パソコン通信 NIFTY SERVE にアクセスするためのアプリケーションです。

 参照

- ・インストール方法→PART1「セットアップされていない機能の追加」
- ・使い方→PART2「パソコン通信」

■ AOL

パソコン通信 AOL にアクセスするためのアプリケーションです。

 参照

- ・インストール方法→PART1「セットアップされていない機能の追加」
- ・使い方→PART2「パソコン通信」
→『AOL ハンドブック』

■ テキストリーダ

日本語を読み上げるアプリケーションです。

 参照

- ・インストール方法→PART1「セットアップされていない機能の追加」
- ・使い方→PART1「テキストリーダの使用」

■ バーチャファイター 2

通信対戦も可能な格闘ゲームです。

 参照

インストール方法、使い方→PART1「バーチャファイター 2 (Virtua Fighter 2)」

■ AI 将棋

将棋ゲームです。パソコンとの対局を楽しむことができます。

 参照

インストール方法、使い方→PART1「AI 将棋 Ver.1.5R」

■ GLOCAL HEXCITE (グローバル ヘキサイト)

三角形、ひし形や台形などを使ったパズルゲームです。

 参照

インストール方法、使い方→PART1「GLOCAL HEXCITE (グローバル ヘキサイト)」

■ ソリティアデラックス

一人遊び用のカードゲームを集めたゲームです。

 参照

インストール方法、使い方→PART1「ソリティアデラックス」

■ Hover

敵に自分の旗をすべてとられる前に、敵のすべての旗を集めていくゲームです。

 参照

・インストール方法→PART1「セットアップされていない機能の追加」

・使い方→「Hover」のヘルプ

■ 一太郎 8 バリユーパックプラス (一太郎モデルのみ)

一太郎 8 をより使いやすくするための機能があります。

 参照

・インストール方法→『一太郎 8 バリユーパックプラス セットアップ』

・使い方→『一太郎 8 バリユーパックプラス オーバービュー』

■ Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic (Word モデルのみ)

CD-ROM 辞書です。

 参照

・インストール方法、使い方→「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROM に付属のマニュアル

1

便利なアプリケーション

-
- 本機の基本操作を知る〈CyberCoach-NX〉
 - 電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉
 - タイマー機能〈Timer-NX〉
 - はがきの印刷〈筆ぐるめ〉
 - 音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生〈プレーヤ-NX〉
 - DVD VIDEO ディスクの再生〈DVD プレーヤ〉
 - カーナビCDの再生〈MapPlayer-NX〉
 - 電子アルバムの作成〈アルバム工房 Light〉
 - 電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉
 - デジタルブックの再生〈デジタルブックビューワ〉
 - ランチ-NX の設定
 - CD の自動起動〈CD ランチ〉
 - 英語モードフォントの使用
 - テキストリーダの使用
 - セットアップされていない機能の追加
 - ゲームで遊ぶ

本機の基本操作を知る 〈CyberCoach-NX〉

このアプリケーションを実行すると、本機を使用するために必要な基本操作のレッスンが始まります。目で見ながら、耳で聞きながら、そして自分でも実際に操作しながら楽しく覚えましょう。

CyberCoach-NX とは

「CyberCoach-NX」は、パソコンの操作方法をパソコン自身が画面や音声で教えてくれるアプリケーションです。パソコンの使い方を知りたいときにお使いください。

レッスンを始める

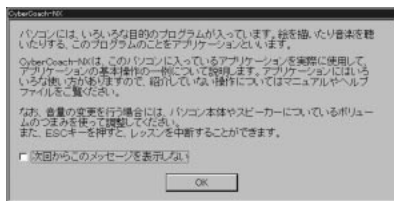
「CyberCoach-NX」を起動して、「CyberCoach-NX (使い方)」メニューから見たいレッスンを選びます。

✓チェック!!

「CyberCoach-NX」を実行するときは、「ランチ-NX」以外のアプリケーションはすべて終了させてください。

- ① 「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「CyberCoach-NX (操作レッスン)」をクリック。

次の画面が表示されます。内容をよくお読みください。



「次回からこのメッセージを表示しない」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れると、次回起動時からこの画面は表示されなくなります。

- ② 「OK」をクリック。

「CyberCoach-NX(使い方)」メニューが表示されます。



- ③ 見たいレッスンをクリック。

レッスンが始まります。

音声がかえりにくい場合などは、本機前面のボリューム（ミニタワーではサブウーファのボリューム）で調整してください。

✓チェック!!

- ・「CyberCoach-NX」は「スタート」→「プログラム」→「CyberCoach-NX」→「CyberCoach-NX」をクリックして起動することもできます。

- ・「CyberCoach-NX」の実行中は、画面の解像度は800×600になります。

他の解像度で「CyberCoach-NX」を起動すると、終了後にデスクトップ上のアイコンの並びなどが、「CyberCoach-NX」起動前と異なる場合があります。

- ・レッスンを始める前に、「CyberCoach-NX」はデスクトップの整理を行うため、レッスンが始まるまで、少し時間がかかることがあります。

- ・レッスン中は指定されたところでのみ、マウスを使うことができます。キーボードについては、[Esc]以外のキーは使わないでください。[Esc]の使い方は、この項の「レッスンを中断する」をご覧ください。

- ・レッスンの開始と終了の合図としてチャイムが鳴ります。

- ・メニュー中の「その他のレッスン」にはナレーションはありません。

レッスンを中断する

レッスンを途中で止めたい場合は、次の手順を行います。

- ① レッスン中に【Esc】を押す。
レッスンを中断され、「CyberCoach-NX（使い方）」メニューの画面に戻ります。

✓チェック!

【Esc】を押したときに、「CyberCoach-NX（使い方）」メニュー画面に戻らず、次のようなメッセージが表示される場合があります。

レッスンを中止します。
レッスンで起動したプログラムをそのまま使用しますか？
はいを選択するとレッスンで起動したプログラムを残します。
CyberCoach-NXを終了するとプログラムを続けて使用できます。

はい

いいえ

このような場合は、「はい」または「いいえ」をクリックしてください。

「はい」をクリックすると、レッスン中に起動したアプリケーションは終了しないで、レッスンのみを中止します。「CyberCoach-NX」の終了後、そのまま、起動したアプリケーションを使用できます。

「いいえ」をクリックすると、レッスン中に起動したアプリケーションを終了して、レッスンを中止します。

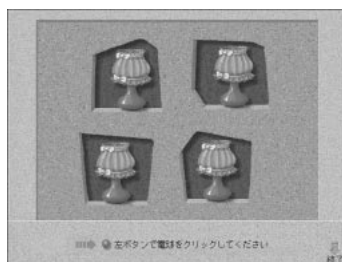
✓チェック!

レッスンで操作方法を紹介しているアプリケーションは、その設定が購入時のものとして説明しています。ご自分でアプリケーションの設定を変更された場合は、レッスンを正しく動作しない場合があります。この場合、【Esc】を押してレッスンを終了してください。

各レッスンの概要

■ マウスを使う

マウスの基本操作（ポイント、クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ）についての説明や、最後は基本操作の練習テストがあります。



📖 参照

- ・マウスの使い方について→『STEP2 入門』
- ・マウスの設定について→PART5「マウスの設定」

■ ウィンドウを操作する

標準的なウィンドウのタイトルバー、最大化ボタン、最小化ボタンの説明やウィンドウ移動、大きさの変更の操作などについての説明があります。

📖 参照

- ・ウィンドウの操作について→『STEP2 入門』

■ デスクトップを使う

Windows 95のデスクトップの「マイコンピュータ」や「ごみ箱」アイコンの説明や、タスクバー、インジケータ、スタートボタンなどの説明があります。

📖 参照

- ・デスクトップについて→『STEP3 活用』

■ 絵を描く

本機にインストールされている「ペイント」という描画ソフト起動して、かんたんイラストの描きかたを説明します。

📖 参照

- ・ペイントの使い方→『STEP2 入門』

■ 電源を OFF にする

本機の正しい終了操作を説明します。

📖 参照

- ・電源の切り方について→『STEP1 接続と準備』

■ 電卓を使う

電卓の起動方法と、四則演算程度の計算用である「普通の電卓」と関数など複雑な計算用の「関数電卓」についての説明があり、例としてかんたんな計算を実演して見せてくれます。

■ ゲーム (マインスイーパー) で遊ぶ

マインスイーパーを例にゲームの起動方法と、遊びかた、ヘルプの参照のしかたなどの説明があります。

■ FAX を送る

TELFAX-NX の起動のしかたや、FAX 送信ボタン、FAX 送信ダイアログ、アドレス帳、カバーページメモの入力、送信結果の確認のしかたなどの説明があります。



・「TELFAX-NX」について→PART1「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」

■ 電話をかける

TELFAX-NX の起動のしかたや、電話のかけかた、ダイヤルのしかた、電話の切り方などについての説明があります。



・「TELFAX-NX」について→PART1「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」

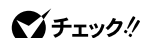
■ 留守番電話を使う

TELFAX-NX の起動のしかたや、留守電の設定、録音されたメッセージの再生のしかたなどの説明があります。



・「TELFAX-NX」について→PART1「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」

■ 音楽 CD を聴く



・このレッスンを始める前に、CD-ROM ドライブにオーディオ CD をセットしておいてください。また、終了後はイジェクトボタンを押して取り出してください。

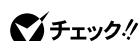
・オーディオ CD をセットした後、CD-ROM ドライブのアクセスランプが点灯中は、CD の認識中のため、「音楽 CD が CD-ROM ドライブにセットされていません」と表示される場合があります。このような場合には、アクセスランプが消えてから「はい」ボタンをクリックしてください。

プレーヤ-NX の起動のしかたや、再生ボタン、一時停止ボタン、停止ボタンなど操作に必要なボタンの説明があります。



・プレーヤ-NX について→PART1「音楽 CD / ビデオ CD / フォト CD の再生〈プレーヤ-NX〉」

■ 地図 CD を見る



・このレッスンを始める前に、CD-ROM ドライブに地図 CD をセットしておいてください。また、終了後はイジェクトボタンを押して取り出してください。

・地図 CD をセットした後、CD-ROM ドライブのアクセスランプが点灯中は、CD の認識中のため、「地図 CD が CD-ROM ドライブにセットされていません」と表示される場合があります。このような場合には、アクセスランプが消えてから「はい」ボタンをクリックしてください。

MapPlayer-NX の起動のしかたや、地図の表示レベルの変更方法、スクロールのしかたなどについての説明があります。



・MapPlayer-NX について→PART1「カーナビ CD の再生〈MapPlayer-NX〉」

■ タイマーを使う

Time-NX の起動のしかたや、曜日の設定、実行プログラムの選択、プログラム起動時間の設定などについての説明があります。



・Timer-NX について→PART1「タイマー機能〈Timer-NX〉」

■ CyberCoach-NX について

CyberCoach-NX についての概要を説明します。

■ その他のレッスン

画面解像度の変更や補足説明の読み方などについての説明があります。ただし、音声はありません。

このレッスンを終了するときは、ウィンドウ右上のをクリックしてください。

電話やFAXを使う 〈TELFAX-NX〉

マイクロホンとスピーカーを使えば高性能な電話機に早変わり。留守のときはかかってきた電話の録音やFAXの自動受信をさせたりと、マルチに仕事をこなしてくれるとても便利なソフトです。

TELFAX-NX について

「TELFAX-NX」は本機をFAX、電話、留守番電話として使うためのアプリケーションです。本機がFAXや電話機として機能するといっても、FAXで送る用紙を差し込む給紙口があるわけではないし、電話といっても受話器やダイヤルがあるわけではないので、戸惑う方もいるかもしれません。そこで、そのことについて少し説明します。

本機のFAX機能とは、通常のFAXのように送受信を紙面で行うものではありません。本機にインストールされているいろいろなアプリケーションを利用して、送信する原稿を画面上で作成し、そのデータを送信して相手先のFAXの用紙に出力します。また、受信も相手から送られてきた内容を本機に取り込み、それを画面で表示して確認します。もちろんプリンタが本機に接続されていれば、受信したFAXを印刷することもできます。

通常の電話機の手話器には、相手に向かって話をする送話口と相手の声が聞こえる受話口があります。本機で電話機能を利用するときは、本機に接続されたマイクが受話器の送話口の役目を果たし、スピーカーが受話口の役目を果たします。また、ダイヤルは画面に表示される実際の電話機のイラストにある番号を順番にクリックしていくか、キーボードの数字キーから入力します。

本機が電話として利用できることが理解できれば、留守番電話機能もすぐに理解できるでしょう。通常の留守番電話機では、マイクロカセットテープなどに応答メッセージや相手のメッセージを録音しますが、本機ではもともと用意されているメモリを使用します。

本機を使用しているときでも、思い立ったときにFAXを送ったり、電話をかけたりがかんたんにできます。また、本機を使用していないときは、留守番電話機として利用できます。「TELFAX-NX」はこのように非常に便利で役に立つアプリケーションです。

TELFAX-NX を起動する

「TELFAX-NX」を使用する前に、本機と電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。

参照

・電話回線との接続→『STEP1 接続と準備』PART2
「電話回線に接続する」

チェック!

「TELFAX-NX」は本機の内蔵FAXモデムボード以外では動作しません。

TELFAX-NX の起動

「TELFAX-NX」は次のいずれかの方法で起動します。

- ・「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX & 電話)」
- ・「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX & 電話)」



各部の名称と役割



- ① 受話器ボタン
スピーカホンから電話をかけるためのボタンです。また、通話中の場合には、音量の調整ができます。このボタンは、動作状態によって表示とその意味が違います。



電話回線を使用しない状態です。



スピーカとマイクロホンで電話する状態です。

- ② 情報表示パネル
電話や FAX の操作状態などが表示されます。
- ③ 機能呼び出しボタン
セットアップ機能、FAX マネージャ、アドレス帳を呼び出すためのボタンです。
- ④ ヘルプボタン
オンラインヘルプを表示します。操作方法は、通常の Windows のヘルプと同じです。
- ⑤ テレホン機能ボタン
電話機に関する各種の機能を持つボタンです。
- ⑥ FAX 機能ボタン
FAX を送受信するためのボタンです。
- ⑦ 音声操作ボタン / ログ操作ボタン

ログ表示パネルに表示されているログを操作するためのボタンです。また、留守番電話の受信ログや応答ログを操作します。

- ⑧ マルチ表示パネル
FAX の送受信ログや留守番電話の受信履歴の表示、および留守番電話や応答メッセージの音声データの操作、ワンタッチダイヤルの操作などができます。
- ⑨ スピーカホン切替ボタン
本機に接続した電話機で通話中に、スピーカホンでの通話に切り替えます。
- ⑩ 切断ボタン
通話を終了します。

電話をかける

操作の前に、マイクロホンが接続されていることを確認してください。また、ミニタワータイプのモデルではスピーカの電源が入っていることを確認してください。

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」)



- ② 「受話器ボタン」をクリック。
 「受話器ボタン」がスピーカホンモードの形に変わります。



- ③ 電話番号をクリック。
(例 1234-5678 をダイヤル)



電話番号は、キーボードからも入力できます。

- ④ 「ダイヤル」をクリック。
相手先へダイヤルします。相手が電話に出たら、マイクロホンから話します。相手の声は、スピーカから聞こえます。必要に応じて受話器ボタンにあるボリューム調整ツマミをドラッグして、送話、受話の音量を変えることができます。また、外付け電話機の受話器を取ると、その電話機で通話ができます。

✓チェック!!

電話がかからない場合は、次の2項目を確認してください。

- ・本機と電話回線が正しく接続されているか。
- ・回線の種別(トーン/パルス)が正しく選択されているか。

📖 参照

- ・回線の種別の設定→後述の「各種の設定」の「基本設定」

- ⑤ 電話が終了したら、をクリック。
通話を終了します。

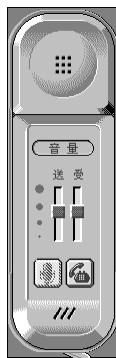
✓チェック!!

- ・相手が先に回線を切っても、自分側は通話中のままなので、必ずボタンをクリックして電話を切ってください。
- ・本機に接続した電話機で通話中は、FAX送受信および保留、撃退はできません。「受話器ボタン」をクリックして、スピーカホンでの通話に切り替えてからFAX送受信および保留、撃退をしてください。

電話を受ける

電話を受ける前に、マイクロホンが接続されていることを確認してください。また、ミニタワータイプのモデルではスピーカの電源が入っていることを確認してください。「TELFAX-NX」も起動されている必要があります。

- ① 電話がかかってきたら、「受話器ボタン」をクリック。「受話器ボタン」の形が次のようになります。



- ② 通話する。
マイクロホンから話し、相手の声はスピーカから聞こえます。必要に応じて受話器ボタンにあるボリューム調整ツマミをドラッグして、送話、受話の音量を変えることができます。また、外付け電話機の受話器を取ると、その電話機で通話ができます。

- ③ 通話が終了したら、をクリック。
電話が切れます。

FAXの送受信をテストする

「NEC パソコンFAXテスト交信サービス」でFAXの送受信のテストができます。

「NEC パソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXを送信し、うまく届けば、折り返し「NEC パソコンFAXテスト交信サービス」からFAXが届きます。なお、本テストを行う前に、「TELFAX-NX」から電話が正しくかけられることを必ず確認してください。

✓チェック!!

「NEC パソコンFAXテスト交信サービス」は、「TELFAX-NX」に対応しています。
ほかのアプリケーションからは利用できません。

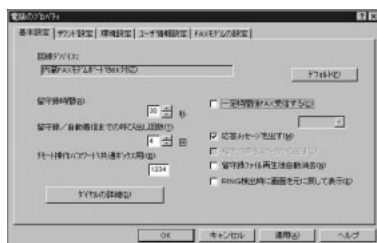
テストの準備をする

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」へ送信するFAX内容の作成と、折り返されるFAXを受信するための準備をします。

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」)



- ② 「設定」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「ユーザ情報設定」タブをクリック。
次のようなウィンドウが表示されます。



- ④ 必要な事項を入力する。
少なくとも、次の項目に入力します。

- ・「ユーザ名」
あなたの名前
- ・「住所 [1 行目]」/「住所 [2 行目]」
あなたの住所 (省略できます)
- ・「電話番号」
あなたの電話番号 (FAX モデムの電話番号と同じ場合は省略できます)
- ・「FAX モデムの電話番号」
本機を接続した電話回線の番号

入力例



✓チェック!

「FAX モデムの電話番号」は「NEC パソコン FAX テスト交信サービス」より折り返し FAX するための情報なので、市外局番から数字と「-」(ハイフン)で正確に入力してください。

- ⑤ 「OK」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが閉じ、「TELFAX」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 留守をクリック。
「留守」ボタンが赤色に点灯して、留守録モードになります。



✓チェック!

本機に外付け電話機を接続している場合は、外付け電話機の留守設定を解除しておいてください。

テストを開始する

「NEC パソコン FAX テスト交信サービス」宛に FAX を送信します。

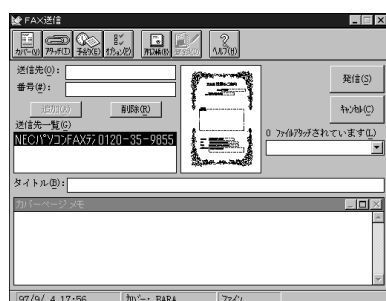
- ① 「TELFAX」の「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。



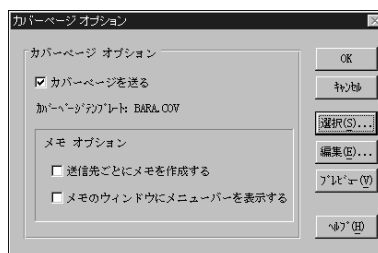
- ② 「NEC パソコン FAX テスト交信サービス」をクリック。
「NEC パソコン FAX テスト交信サービス」が反転表示されます。



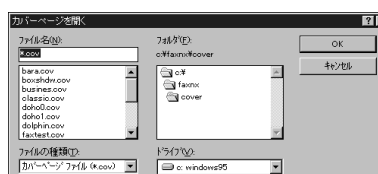
- ③ (ダイヤル) をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウが表示されます。



- ④ (カバー) をクリック。
「カバーページオプション」ウィンドウが表示されます。



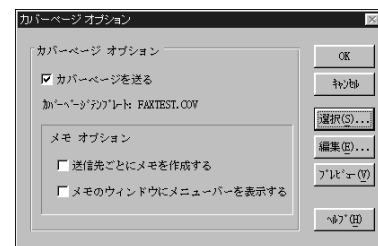
- ⑤ 「選択」をクリック。
「カバーページを開く」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「ファイル名」から「faxtest.cov」をクリック。
「faxtest.cov」が反転表示されます。



- ⑦ 「OK」をクリック。
「カバーページオプション」ウィンドウに戻ります。



- ⑧ 「カバーページオプション」の「OK」をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウに戻ります。

- ⑨ 「発信」をクリック。
送信が始まります。

- ⑩ 「アドレス帳」を終了する。
右上の [X] をクリックすると「アドレス帳」ウィンドウが閉じます。

送信を確認する

正常に送信できたかどうかを確認します。

- ① 「TELFAX」の「送信」をクリック。
「マルチ表示パネル」の一番上の欄に送信結果が表示されます。

「済み」と表示されている場合は正常に送信されているので、手順②に進みます。

「待ち」と表示されている場合は、しばらくすると（2～3分後）再度送信します。そのままお待ちください。



- ② 「マルチ表示パネル」の「済み」の欄をダブルクリック。
「ビューア」ウィンドウが表示され、送信したFAXが表示されます。



- ③ 「ビューア」を終了する。
右上の[X]をクリックすると「ビューア」ウィンドウが閉じます。

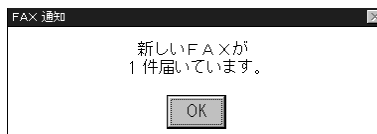
受信を確認する

「NEC パソコンFAXテスト送信サービス」宛にFAXを正常に送信できると、通常10分以内に折り返し「NEC パソコンFAXテスト送信サービス」からFAXが届きます。折り返し時間は、そのときの「NEC パソコンFAXテスト送信サービス」の混み具合によって多少異なります。

また、「NECパソコンFAXテスト送信サービス」では、本機を接続した電話回線が使用中などでつながらない場合は、数分後にFAXを再送します（2回まで）。

ここでは、「TELFAX-NX」は留守録モードに設定されているのでFAXを自動的に受信します。

FAXの自動受信が完了すると、次のようなメッセージが表示されます。



- ① 「OK」をクリック。
- ② 「TELFAX」ウィンドウの「受信」をクリック。
「マルチ表示パネル」の一番上の欄に受信結果が表示されます。「未読」と表示されている場合は、正常に受信されています。

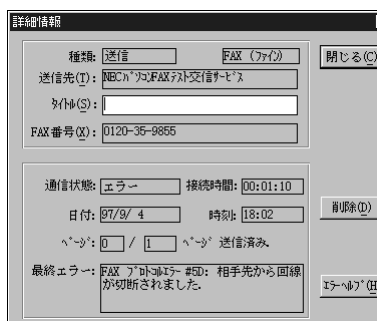


- ③ 「マルチ表示パネル」の「未読」の欄をダブルクリック。
「ビューア」ウィンドウが表示され、自動受信したFAXが表示されます。

送信が「異常」になった場合

次の操作手順に従ってください。

- ① 「マルチ表示パネル」の「異常」をダブルクリック。
「詳細情報」ウィンドウが表示されます。



「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。
「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

送信はうまくいったがFAXが届かない場合

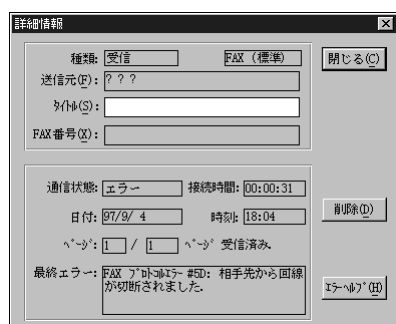
送信が「済み」になってから10分程度たってもFAXが届かない場合は、「テストの準備をする」の項をご覧になり次の項目を確認し、もう一度、テストをやり直してください。

- ・「FAX モデムの電話番号」の番号が間違っていないか。
- ・「TELFAX-NX」が留守録モードになっているか。
- ・外付け電話機の留守設定を解除しているか。

受信が「異常」になった場合

次の操作手順に従ってください。

- ① 「マルチ表示パネル」の「異常」をダブルクリック。「詳細情報」ウィンドウが表示されます。



「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

FAX を送る

「TELFAX-NX」専用のFAX用紙に相当する「FAX送信」ダイアログで作成したメモや、本機のアプリケーションを利用して作成した文書などを、FAXとして送信できます。

FAX を送る準備

FAXを送る前に、ユーザ情報を登録する必要があります。ユーザ情報の内容は、カバーページなどの発信元に自動的に表示されます。ユーザ情報の登録方法は次の通りです。

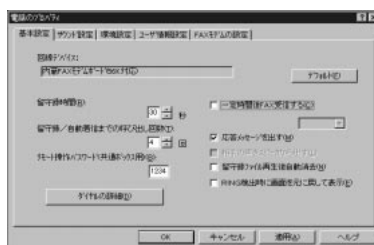
- ① 「TELFAX-NX」を起動する。

(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」)



- ② 「設定」をクリック。

「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 画面上部のタブから「ユーザ情報設定」タブをクリック。



- ④ 必要な事項を入力する。

少なくとも、次の項目に入力します。

- ・「ユーザ名」
あなたの名前
- ・「住所 [1 行目]」/ 「住所 [2 行目]」
あなたの住所 (省略できます)
- ・「電話番号」
あなたの電話番号 (FAX モデムの電話番号と同じ場合は省略できます)
- ・「FAX モデムの電話番号」
パソコンを接続した電話回線の番号

入力例

- ⑤ 「OK」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

メモを送る

ここでは、メモ書き程度の簡単な文を送ってみます。

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX& 電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX& 電話)」)



- ② 「FAX 送信」をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウが表示されます。

- ③ 次の項目に必要な事項を入力する。
少なくとも、次の3項目に入力します。

- ・「送信先」
送信相手の名前
- ・「番 号」
送信相手の FAX 番号
- ・「カバーページメモ」
伝えたいメモなど

入力例

カバーページによっては、「送信先」の名前の後に、「様」や「殿」などが自動的に付かない場合もあります。必要に応じて入力してください。

チェック!

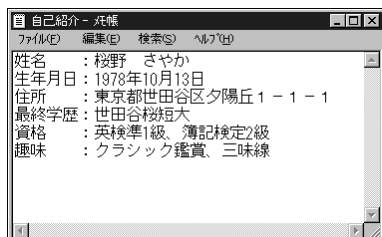
カバーページのプレビューをクリックすると、送信する内容を確認することができます。

- ④ 「発信」をクリック。
送信が始まります。
相手先には、次のような FAX が届きます。

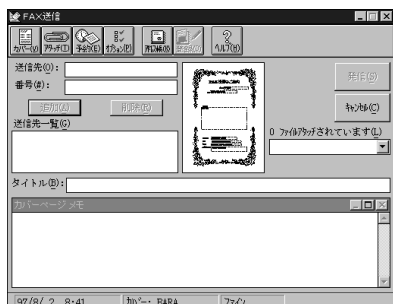
作成した文書を送る

ここでは、「メモ帳」で作成した文書を送信してみます。

- ① 文書を作成する。
(例「自己紹介」ファイルを作成)



- ② 「TELFAX」の「FAX 送信」をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「送信先」「番号」「カバーページメモ」を入力する。



- ④ ウィンドウ上部の「アタッチ」をクリック。
「ファイル選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 送信するファイルを選んで、「追加」をクリック。
「自己紹介」ファイルが「選択されているファイル」欄に表示されます。



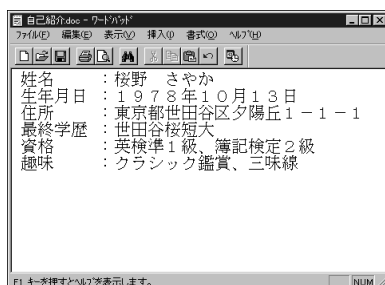
- ⑥ 「OK」をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウに戻ります。
- ⑦ 「発信」をクリック。
カバーページと「自己紹介」ファイルが送信されます。

アプリケーションから文書を送る

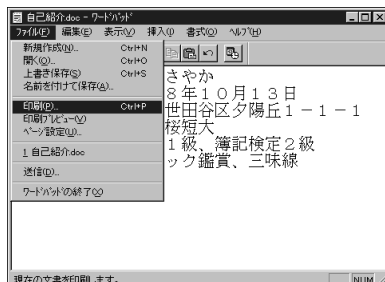
アプリケーションから文書を送信するには、アプリケーションで印刷する場合と同じ手順で行います。

ここでは、「ワードパッド」から文書を送信してみます。

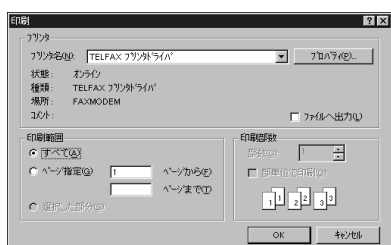
- ① アプリケーションを起動して、FAXを送信する文書を開く。
(例「ワードパッド」で「自己紹介.DOC」ファイルを開く)



- ② メニューバーの「ファイル」をクリック。
メニューが表示されます。



- ③ 「印刷」をクリック。
プリンタ名に「TELFAX プリントドライバ」が設定されていることを確認してください。



- ④ 「OK」をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「送信先」「番号」「カバーメモ」を入力する。



- ⑥ 「発信」をクリック。
カバーページと「自己紹介」ファイルの印刷イメージが送信されます。

FAX を受ける

FAXを受信するときは、次の3通りの場合が考えられます。

- ・自動受信する
いつ送られてきても自動的に受信します。
- ・通話中に受信する
電話で通話中にFAXを受信できます。
- ・FAX 情報サービスから受信する
FAX情報ボックスなどから、欲しい情報を選んで受信できます。

自動受信する

本機の電源が入っている状態でFAXを自動受信するためには、「TELFAX-NX」を起動しておき、留守録モードにします。



サスペンド状態でFAXを自動受信するには、サスペンドする前に「TELFAX-NX」を起動して、留守録モードにしておいてください。

サスペンド状態でFAXを受信すると、自動的にレジャームし、受信が終了するとサスペンド状態になります。

- ① 「TELFAX」の「留守」をクリック。
「留守」ボタンが赤く点灯して、留守録モードになります。この後、FAX が送られてくると、自動受信します。



自動受信したFAXがあるときは、次のようなメッセージが表示されます。



- ② 「OK」をクリック。

- ③ 「TELFAX」のマルチ表示パネルの「未読」の欄をダブルクリック。

自動受信した FAX が表示されます。



この FAX を印刷あるいは別ファイルとして保存したいときは、メニューバーの「ファイル」をクリックして、プルダウンメニューで指定できます。



留守録モードを解除するときは、もう一度「留守」をクリックします。

- 本機の電源が切れているときに自動受信する
本機の電源が切れているときに、FAXを自動受信したい場合は、電源を切る前に、次の手順を行います。

- ① 「TELFAX-NX」の「留守」をクリック。
留守録モードになります。
- ② 「Timer-NX」を起動して、リング機能を設定する。

参考

- ・「Timer-NX」のリング機能→ PART1「タイマー機能<Timer-NX>」の「リングを設定する」

FAXを受信すると、自動的に本機の電源が入り、受信が終了すると、本機の電源は自動的に切れます。

通話中に受信する

通話中に FAX を受信することができます。FAX が送られてくると、FAX の信号音がスピーカまたは受話器から聞こえてきます。外付け電話機の手話器を上げたままのときは、受信が終わると続けて通話できます。

- ① 通話中、FAX が送られてきたら「TELFAX」の右下の「送受切替」をクリック。
「送受切替」ボタンの右の「FAX 送信」ボタンが「FAX 受信」ボタンに変わります。



- ② 「FAX 受信」をクリック。
FAX の受信を開始します。

チェック!

受信を開始するために「FAX 受信」ボタンをクリックしても、電話回線の制御がモデムに切り替わるまでに、少し時間がかかります。「カチッ」という音が聞こえるまで、電話を切らないようにしてください。

FAX 情報サービスから受信する

「TELFAX-NX」を使って、FAX 情報サービスを利用するときは、外付け電話機からのダイヤルはできません。

- ① 「TELFAX」の「受話器ボタン」をクリック。
「受話器ボタン」の形が次のように変わります。



- ② FAX情報サービスのFAX番号を入力して「ダイヤル」をクリック。

FAX情報サービスの音声での案内が聞こえてきます。

- ③ 音声案内にしたがって、操作する。
このとき、必ず最後は「ダイヤル」をクリックします。
ただし、パルス（ダイヤル）回線のときは、番号を入力する前に、まず $\star$ をクリックしてください。 $\star$ をクリックした後は、通話が終わるまで $\star$ をクリックする必要はありません。例えば、「2 シャープを押してください」という音声案内に対しては次のように操作します。

トーン（プッシュ）回線の場合
「2」→「#」→「ダイヤル」

パルス（ダイヤル）回線の場合
「 $\star$ 」→「2」→「#」→「ダイヤル」

- ④ 「スタートボタンを押してください」という内容のメッセージが聞こえたら、「送受切替」を2回クリック。「TELFAX」の右下にある「送受切替」ボタンの右の「FAX 送信」ボタンが「FAX 受信」ボタンに変わります。



✓チェック!!

「スタートボタン」はFAX 情報サービスによっては「受信ボタン」とか「通信ボタン」などと表現することもあります。

- ⑤ 「FAX 受信」をクリック。

受信を開始します。

FAX の受信が終了すると、自動的に回線が切れます。

留守番電話機能を使う

ここでは留守番電話機能の基本的な操作について説明します。詳しい操作方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

留守番電話機能

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。

（「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX& 電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX& 電話)」）



- ② $\star$ をクリック。

「留守」ボタンが赤色に点灯して、留守番電話機能がセットされます。このとき、応答メッセージがスピーカから聞こえます。

✓チェック!!

外付け電話機を本機に接続して使用する場合、外付け電話機の呼び出し回数が「TELFAX-NX」で設定している回数以下で留守設定を行っていると、「TELFAX-NX」の留守番電話機能は使用できません。留守番電話機能を使用するときは、本機に接続している外付け電話機の留守設定を解除しておいてください。

- 留守番電話に録音されたメッセージを再生する
留守番電話にメッセージが記録されているときは、「留守」ボタンが点滅しています。

- ① 留守が点滅していることを確認する。



「情報表示パネル」に録音されたメッセージの件数が「用件 ×件」と表示され、「マルチ表示パネル」には、「未聞」という文字の後に、受信時間などが表示されています。また、FAX 受信したときは「FAX ×件」と表示され、「未読」という文字が表示されます。

- ② 留守をクリック。

録音されたメッセージが再生されます。再生後は「用件 0件」となり、「未聞」は「聞了」という表示に変わります。



■ 応答メッセージの録音

留守番電話機能の応答メッセージを自分で録音できます。

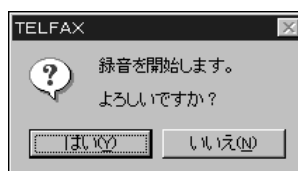
- ① 「TELFAX」で「応答」をクリック。
「マルチ表示パネル」の表示が次のようになります。



- ② 「新規登録」をクリック。
「新規登録」が反転表示になります。



- ③ 画面の下端の [録音] をクリック。
次のメッセージが表示されます。

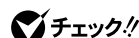


「はい」をクリックすると録音を開始します。あらかじめ録音するメッセージを準備しておきます。

- ④ 「OK」をクリックして、マイクロホンから応答メッセージを入れる。
⑤ 終了したら、[終了] をクリック。
「サウンドファイルの見出し設定」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「メッセージの登録」で「応答」を選んで「OK」をクリック。
応答メッセージが録音されます。



「TELFAX-NX」の応答メッセージが長すぎると、FAXがうまく受信できない場合があります。このようなときは、応答メッセージを10秒程度にしてください。

- 留守録モードから通話する
留守録モードの状態でも通話できます。

✓チェック!!

- ・留守録モードで電話を受けたときは、指定した呼び出し回数より前に外付け電話機の受話器を取れば、そのまま通話できます。
- ・留守録が始まった後でも、「受話器ボタン」をクリックすることで、留守録を中止して通話できます。

メールボックス

同じパソコンを家族などで共同で使用する場合に、各人がそれぞれの留守録ボックスを作成することで、個人専用の留守番電話機として使うことができます。

留守番電話にかけてきた相手は、ボックス番号を指定してメッセージを残すことができます。つまり、応答メッセージで、「ボックスを利用するときは、ボックス番号とシャープを押してください」という内容がアナウンスされますので、相手に自分のボックス番号をあらかじめ教えておけば、自分専用の個人ボックスにメッセージを残してもらうことができます。指定されたボックス番号に録音されたメッセージを再生するには、パスワードが必要なので、プライバシーを守ることができます。

■ 個人ボックスの作成

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」)



- ② マルチ表示パネルの上にある「用件」をクリック。



- ③ 「BOX」をクリック。
「BOX一覧」ウィンドウが表示されます。

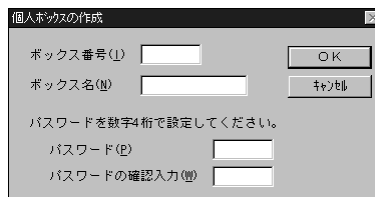


「共通ボックス」が自動的に作成されています。

✓チェック!!

共通ボックスのパスワードは「1 2 3 4」に設定されています。このパスワードはその後で説明するリモート操作に必要です。

- ④ 未使用のボックスを選んでクリック。
「個人ボックスの作成」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 必要な項目に入力する。

- ・「ボックス番号」
1-9 から選びます。
- ・「ボックス名」
全角 7 文字 (半角 14 文字) 以内で入力します。
- ・「パスワード」
4 桁の数字を入力します。

入力例

個人ボックスの作成

ボックス番号(I) 1 OK

ボックス名(M) 日電 太郎 キャンセル

パスワードを数字4桁で設定してください。

パスワード(P) ****

パスワードの確認入力(M) ****

⑥ 「OK」をクリック。

個人ボックスが作成され、「マルチ表示パネル」には、ボックス番号とボックス名が表示されます。



■ 個人ボックスの削除

不要になった個人ボックスは削除できます。

- ① 「BOX 一覧」ウィンドウが表示されているときに「TELFAX」ウィンドウで「消去」をクリック。「個人ボックスの選択 [消去]」ウィンドウが表示されます。

個人ボックスの選択 [消去]

1: 日電 太郎

終了

- ② 削除したいボックスをクリック。「パスワードの確認」ウィンドウが表示されます。

パスワードの確認

パスワードを入力してください。

OK キャンセル

- ③ パスワードを入力して「OK」をクリック。「個人ボックスの消去」ウィンドウが現れ、消去の確認メッセージが表示されます。

個人ボックスの消去

ボックス「日電 太郎」を消去します。よろしいですか？

OK キャンセル

- ④ 「OK」をクリック
指示した個人ボックスが削除されます。

■ 個人ボックスを使うときの「留守」ボタンの表示

個人ボックスを使っていないときは、留守電が録音されていれば、「留守」ボタンは点滅します。個人ボックスを使っているときは、次のようになります。

- ・留守電一覧の表示中は、選んだボックス内に「未聞」ログがあれば、「留守」ボタンは点滅します。
- ・ボックス一覧または他の表示パネルが選ばれている場合は、共通ボックスに「未聞」ログがあれば「留守」ボタンは点滅します。
- ・「未聞」ログがないボックスを開いているときは、「留守」ボタンの点滅は停止します。

留守電一覧とボックス一覧は、次の操作で切り替えることができます。

◎ 留守電一覧→ボックス一覧

- ① **BOX** をクリック。
ボックス一覧の表示になります。



「未聞」ログがあるボックスには「☆」マークがつけます。

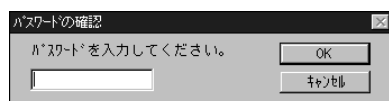
◎ ボックス一覧→留守電一覧 (共通ボックス)

- ① 「0:共通ボックス」をクリック。
留守電一覧の表示になります。



◎ ボックス一覧→留守電一覧 (個人ボックス)

- ① 「1:日電 太郎」をクリック。
「パスワードの確認」ウィンドウが表示されます。



- ② パスワードを入力し、「OK」をクリック。
留守電一覧の表示になります。



■ 一括再生についての注意

- ・留守電一覧の表示中に一括再生を行うと、選んだボックス内の「未聞」ログを再生し、それ以外の場合は、共通ボックス内の「未聞」ログを再生します。
- ・リモート操作で用件を再生する場合は、共通ボックスの留守録に関しては、再生後も「未聞」のままです。これは、複数の人が聞くことができるようにするためです。また、個人ボックスの留守録に関しては、最後まで再生しても、スキップしても「聞了」になります。
- ・本機から直接用件を再生する場合は、共通ボックスも個人ボックスも、最後まで再生しても、スキップしても「聞了」になります。また、留守ログを選んで、右クリックすると、「未聞」と「聞了」の状態を変更できます。

リモート操作

外出先からリモート操作を行って、留守録を聞いたり、FAX文書を転送することができます。電話を切ると、リモート操作は終了します。

✓チェック!!

この操作を行うには、留守録モードであることが必要です。「TELFAX」ウィンドウの「留守」ボタンをクリックして、留守録モードにしておいてください。また、リモート操作を利用するには、トーン信号を発信できる電話機から電話する必要があります。

リモート操作ができる状態にする

外出先から電話をかけて、リモート操作ができる状態にすれば、あとは各機能に対応するコードを入力することで、いろいろな機能を利用できます。

- ① 外出先から電話をかける。
「TELFAX-NX」の応答メッセージが聞こえます。

- ② 電話機の「#」を押す。
メッセージが聞こえます。

✓チェック!!

留守録が始まって7秒以内に「#」を押してください。

- ③ メッセージに従って、ボックス番号を入力する。
- ④ メッセージに従って、パスワードを入力する。
新しい用件とすべての用件、「未読」または「未聞」の数がアナウンスされます。

しばらくして、操作コード入力待ちの状態になります。この先は、各機能に対応するコードを入力して、機能を利用することができます。

なお、用件再生中には、次の機能が利用できます。

- ・「3」「#」を押す：再生中の用件を最初から再生します。
- ・「4」「#」を押す：再生中の用件の1件前の用件を再生します。
- ・「5」「#」を押す：再生中の用件の1件次の用件を再生します。
- ・「6」「#」を押す：再生を終了します。

■ 新しい用件を再生する

新しい用件と録音された日時を順番に再生できます。

- ① 操作コード入力待ちの状態で、「1」「#」を入力する。
新しい用件と録音された日時を順番に再生します。すべての用件の再生が終了すると、再び、操作コード入力待ちの状態に戻ります。電話を切ると、リモート操作を終了します。

■ すべての用件を再生する

すべての用件と録音された日時を順番に再生します。

- ① 操作コード入力待ちの状態で、「2」「#」を入力する。
すべての用件と録音された日時を順番に再生します。すべての用件の再生が終了すると、再び、操作コード入力待ちの状態に戻ります。電話を切ると、リモート操作を終了します。

■ メールボックスを選ぶ操作まで戻る

メールボックスを選ぶ操作の前まで戻ることにより、別のボックスを選べます。

- ① 操作コード入力待ちの状態で、「7」「#」を入力する。
メールボックスを選ぶ操作の前まで戻ります。別のボックス番号を入力して、そのボックスを選べます。

■ 「未読」の受信文書を取り出す

外出先に FAX がある場合、「TELFAX-NX」が受信した文書を外出先へ転送できます。

- ① 操作コード入力待ちの状態で、「8」「#」を入力する。
転送する FAX データの作成が始まります。
- ② 作成が終了したら、メッセージに従って FAX の「スタート」（または「受信」）を押す。
FAX が転送されます。

■ 「未読」の受信文書を指定先へ転送する

「TELFAX-NX」が受信した文書を指定先の FAX へ転送できます。

- ① 操作コード入力待ちの状態で、「9」「#」を入力する。
転送する FAX データの作成が始まります。
- ② 作成が終了したら、メッセージに従って転送先の FAX 番号を入力する。
処理が終了すると、自動的に回線が切れます。
指定先の FAX へ、「未読」の受信文書がすべて転送されます。

スキャナで読み込んだ文書を FAX する

スキャナで読み込んだ文書を「TELFAX-NX」を使って FAX することができます。

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。
（「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」）

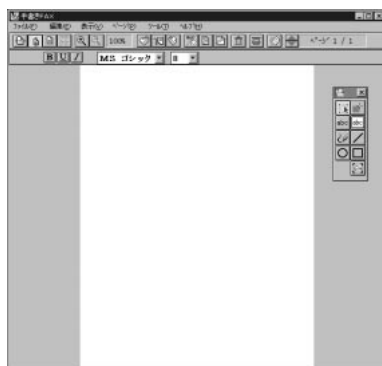
- ② 「送受切替」をクリック。

FAX送信 が FAX受信 に切り替わります。

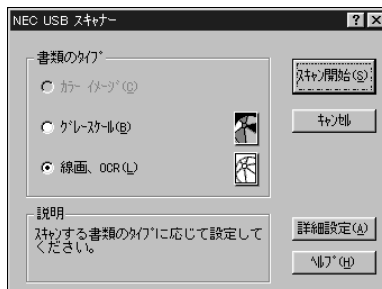


- ③ 「FAX受信」をクリック。

「手書き FAX」ウィンドウが表示されます。



- ④ メニューの「スキャナ入力」をクリック。
「スキャナ読み込み」ウィンドウが表示されます。

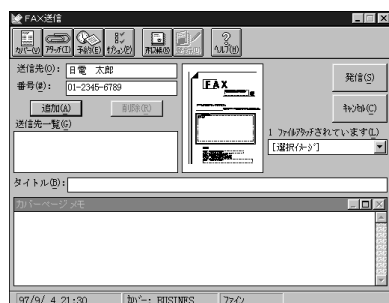


ツールバーの「スキャナ入力」ボタンをクリックしても、このウィンドウを表示できます。

- ⑤ 文書をスキャナにセットして読み込みを開始する。
読み込んだ文書が「手書きFAX」ウィンドウに表示されます。



- ⑥ メニューの「FAX 送信」をクリック。
「FAX 送信」ウィンドウが表示されます。



- ⑦ 送信先の名前、FAX 番号を入力する。
- ⑧ 「発信」をクリック。
文書が FAX 送信されます。

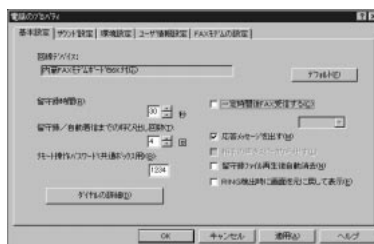
各種の設定

「TELFAX-NX」では電話機能、FAX機能、留守番電話機能などに関しているいろいろな設定ができます。設定は、「電話のプロパティ」ウィンドウ上の各設定ウィンドウで行います。各設定ウィンドウ上の表示のしかたは次の通りです。

- ① 「TELFAX-NX」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」)



- ② 「設定」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 画面上部のタブから目的の設定ウィンドウを選ぶ。
次の設定ウィンドウを選ぶことができます。

・基本設定

ダイヤルの詳細、留守録時間、応答メッセージ使用の可否など、「TELFAX-NX」の基本的な動作に関する設定を行います。

・サウンド設定

応答メッセージ、保留メッセージなど、「TELFAX-NX」で使用するサウンドファイルに関する設定を行います。

・環境設定

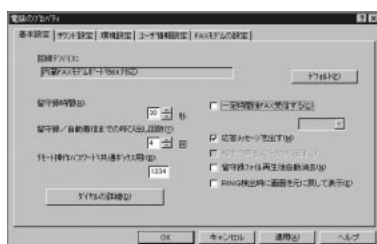
受信時の通知方法、受信文書の印刷先プリンタなど、FAX 受信文書の処理に関する設定を行います。

- ・ユーザ情報設定
ユーザ名、住所など、「TELFAX-NX」を使用するユーザ情報の設定を行います。

- ・FAX モデムの設定
通信速度、リダイヤル回数など、FAX 送受信に関する設定を行います。

- ④ 各設定ウィンドウにおいて必要な設定を行った後、「OK」ボタンあるいは「更新」ボタンをクリックして設定内容を登録する。
各設定ウィンドウでは次の項目を設定することができます。

◎ 基本設定



- ・回線デバイス
使用しているモデム名が表示されます。

- ・留守録時間
留守番電話機能での、録音メッセージの最大時間を秒単位で設定します。

- ・留守録 / 自動着信までの呼び出し回数
電話がかかってきてから、留守録音あるいはFAX受信が始まるまでの呼び出し回数を設定します。ただし、実際の呼び出し回数とは、多少異なる場合もあります。

- ・リモート操作 (パスワード (共通ボックス用))
リモート操作を行うために必要なパスワード (共通ボックス用) を設定します。

- ・ダイヤルの詳細
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウを表示し、電話回線の種別を設定します。回線の種別がわからないときは「パルス」を選んで時報の「117」にダイヤルしてみます。電話がつながったときは「パルス」のままで、つながらなかったときは「トーン」に切り替えて使用してください。この設定を間違えると、ダイヤルはできないので必ず設定を行ってください。

- ・一定時間後 FAX にする
FAX には手動送信時に FAX 信号を出さないタイプものがあります。相手が無音のときに、FAX 受信を行うかどうかを設定します。この設定をしたときは、設定した秒数だけメッセージを録音した後、

FAX 受信を行います。メッセージ録音時間の設定がここで設定した時間以下のときは、この設定は無効になります。

- ・応答メッセージを出す
留守番電話状態のとき、応答メッセージを出すか、応答メッセージなしですぐに録音状態にするかを設定します。
- ・留守録ファイル再生後自動消去
録音メッセージの再生後、自動的に消去するかどうかを設定します。
- ・RING 検出時に画面を元に戻して表示
アイコン状態になっているときに、電話がかかってくると、画面 (ウィンドウ) を元に戻して表示するように設定することができます。

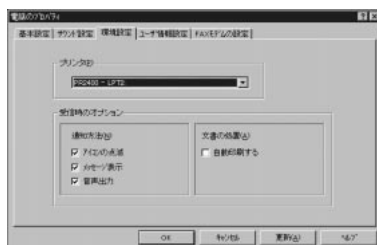
◎ サウンド設定



- ・ファイル選択
応答メッセージ、保留メッセージなどに割り当てられたサウンドファイルの見出しから使用するサウンドファイルを選びます。

- ・サウンドファイル名と見出し
「TELFAX-NX」で使用するサウンドファイルの追加、削除、見出し名の変更などを行います。またサウンドファイルを選び「テスト」ボタンをクリックすると、サウンドファイルの内容を確認することができます。

◎ 環境設定



- ・プリンタ
FAX受信時に自動印刷を行う場合の出力先プリンタを選びます。

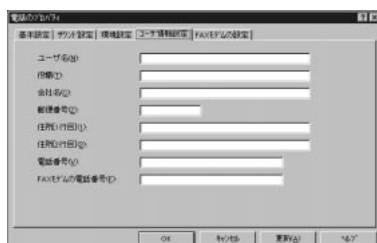
・通知方法

FAX 文書を受信したときに、受信したことを通知させる方法を設定します。アイコン状態のときにアイコンを点滅させたり、受信時に受信メッセージを表示させたり、音声で受信したことを通知させたりといった方法で通知させることができます。

・文書の処置

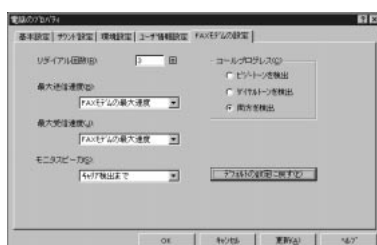
FAX 文書を受信したときに、通常の FAX のようにその文書を自動的に印刷する設定ができます。

◎ ユーザ情報設定



ユーザ情報の設定を行うことができます。ここで入力した情報は FAX 送信文書のカバーページ上の「発信者」フィールドに表示されます。

◎ FAX モデムの設定



・リダイヤル回数

相手先 FAX が通話中などの場合にリダイヤルを行う回数を設定します。この設定を「0」にするとリダイヤルは行いません。

・最大送信速度 / 最大受信速度

相手先と通信を行うときの通信速度(ビット/秒)を設定します。回線品質が悪い場合通信がうまくいかない場合はこの設定を変更してください。通常は「FAX モデムの最大速度」に設定しておいてください。

・モニタスピーカ

FAX 通信中に通信音をスピーカから流すかどうかについて設定します。通常はこの値は「キャリア検出まで」に設定してください。

・コールプロGRESS

「TELFAX-NX」はダイヤルを行う際に回線発信音(受話器を取り上げたときの「ツー」という音や話し中の「トゥー、トゥー」という音)を聞き分けて現在の通話状態をある程度チェックしています。ここではそのときどのようにチェックを行うかを設定します。一部の特殊な回線では、通信を行うときにこの設定を変更する必要があります。通常はこの設定は「両方を検出」にしておいてください。

アドレス帳の使い方

「TELFAX-NX」を使って電話をかけたり、FAX を送ったりするときに、アドレス帳を利用すると番号を入力する手間が省けます。

「アドレス帳」への登録

① 「TELFAX-NX」を起動する。

(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX (FAX&電話)」)



② 「アドレス」をクリック。

「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「追加」をクリック。
「個人情報の追加」ウィンドウが表示されます。

- ④ 登録すべき事項を入力する。
(例 標準時刻の「117」を登録)

- ⑤ 「OK」をクリック。
「日本標準時刻」が登録されます。

「アドレス帳」を利用して電話をかける

- ① 「TELFAX」ウィンドウで、「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

- ② 電話をかけたい相手を選んで、「ダイヤル」をクリック。
「TELFAX-NX」が表示され、登録された番号がダイヤルされます。

- ③ 通話が終了したら、をクリック。
電話が切れます。

「アドレス帳」を利用してFAXを送信する

- ① 「FAXを送る」の「FAXを送る準備」の手順①～⑤を行う。
② 「TELFAX」ウィンドウで「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

- ③ FAXを送りたい相手を選んで「ダイヤル」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。

- ④ 「カバーページメモ」に伝えたいメモを入力する。
⑤ 「発信」をクリック。
送信が始まります。

TELFAX-NX を使用するときの注意

TELFAX-NX を使用するには

「TELFAX-NX」を使用するには「TELFAX-NX」を起動しておく必要があります。留守番電話、FAX 自動受信機能を使用するときは留守録モードにする必要があります。留守録モードにした状態でシステムを終了すると、次回システム起動時に「TELFAX-NX」が自動的に起動します。なお、「TELFAX-NX」を使用するときはMS-FAXなどのFAX 自動受信を行うアプリケーションや、留守番電話機能を行うアプリケーションおよびNetMeetingのような受信待ちをするアプリケーションを終了してください。

他のアプリケーションとの同時利用

次のような場合に「TELFAX-NX」を動作させると、メモリ容量不足のため、送信や受信が正常に行えないことがあります。このような状態を避けて使用してください。

- ・ほかのアプリケーションを起動し、大容量または多数のファイルを一度に開いている場合（特にビットマップファイルの操作時）

Windows の通信ソフトの利用

PC-VAN ナビゲータなどの通信ソフトを使用する場合は、「TELFAX-NX」を終了してから、通信ソフトを使用してください。

Windows の終了について

留守録中やFAX送受信中、また通話中など、電話回線を使用している最中には、Windowsを終了しないようにしてください。また、FAX送信ログにFAX送信待ち状態のログが残っているときにWindowsを終了すると、もう一度Windowsを起動するまでFAX送信は行われません。

FAX 送受信ログについて

・「TELFAX-NX」のログ表示パネルに表示されているログエントリはFAX マネージャ上の「送信」「受信」ログの内容を表示しています。FAX マネージャで「送信」「受信」ログの削除または名称変更を行うと、「TELFAX-NX」のログ表示パネルにログエントリを表示できなくなりますので、削除または名称変更は行わないようにしてください。誤って削除してしまったときは、削除する前と同じ名前でログを作成してください。

・「TELFAX-NX」の送受信ログに表示可能なログエントリ数は「送信」「受信」合わせて500件が最大となります。500件を超えたときは、不要なログエントリを削除するかフォルダに移動してください。

エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、オンラインヘルプに一覧と対処方法が記載されていますので、オンラインヘルプをご覧ください。

FAX 送受信時のエラー

FAX送受信中に回線異常などのエラーが発生したり、受信原稿の一部が欠けたりするときは、「FAX モデムの設定」で「最大送信速度」または「最大受信速度」の設定を低くして、もう一度送信または受信してください。

サウンドドライバの同時使用について

他のアプリケーションがWAVE ファイルを再生のためにサウンドドライバを使用中のときは、留守録 / FAXの自動受信、メッセージの再生 / 録音を行うことはできません。

回線異常の発生

回線異常により送信を中断したとき、中断後、電話回線が使えるようになるまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありませんので、しばらくお待ちください。

キャッチホンサービス使用時の注意

キャッチホンサービスを使用している場合、FAX送受信中に、通信相手以外から電話がかかってくる場合がありますが、このときのデータの保証はできません。

FAXを送信するときの注意

- ・FAXの送信中に、他の新たな送信を行おうとしたり、他のアプリケーションを動作させると、送信が切れることがあります。FAXの送信中は、新たな送信や複数のアプリケーションを起動した状態でのFAXの送信は行わないでください。
- ・大量の原稿を送信する場合は、できるだけ分割して送信してください。

アタッチメントファイル送信時の注意

- ・選んだ文書を利用するアプリケーションがない場合は、ファイルはアタッチされません。
- ・「FAX マネージャ」から拡張子が「BMP」のファイルをアタッチメントファイルに指定して送信すると、データが用紙の左端から印字されるため、送信先のFAXが普通紙FAXのように、用紙に余白を作るものである場合、左端のデータが消えてしまいます。拡張子が「BMP」のファイルは、「ペイント」などを使用して送信してください。
- ・アタッチメントファイルをFAX送信する場合、そのファイルと関連付けられたアプリケーションが起動していると、FAXが送信できなったり、起動中のアプリケーションが確認なしに終了することがあります。このような場合は、各アプリケーションの印刷機能を使用してFAX送信を行ってください。



- ・アプリケーションの印刷機能を使用したFAX送信
→この項の「FAXを送る」の「アプリケーションから文書を送る」

FAX送受信可能な用紙サイズ

「TELFAX-NX」で送受信可能な用紙サイズは、A4とB5です。B4サイズの文書は受信のみ可能ですが、受信時にA4サイズに縮小されます。

カバーページの使用

- ・「TELFAX-NX」には、あらかじめ多くのカバーページテンプレートが添付されています。これらは修正できます。また、新しいカバーページを新規に作成することもできます。カバーページの詳しい使い方については、オンラインヘルプをご覧ください。

- ・カバーページを使用するとき、文書の全ページ数や同報通信時の複数の宛先をカバーページに書き込むには、次のように操作してください。

- ① FAX送信画面の「オプション」メニューで「送信前にプレビューを行う」にチェックマークをつけて、「OK」ボタンをクリック。
- ② 送信先や番号などを入力して、「発信」ボタンをクリック。
- ③ 「FAX文書のプレビュー」画面で「プレビュー」を選び、「ツール」メニューの「マークアップツールを表示」でページ数、宛先などを追記する。

- ・カバーページによっては、タイトルが入力されないデザインのものがあります。送信前にプレビューで確認してください。

留守番電話機能について

- ・留守録モードでの動作は、次の状態により異なります。それぞれ、電話がつながった後、留守録/FAXの受信/リモート操作を開始します。使用する用途に合わせてお使いください。

電源が入っている状態

電話の呼び出し音で、すぐに電話につながります。

サスペンド状態

電話の呼び出し音により、レジャーム機能が働き、Windows 95を復帰した後、電話につながります。

電源が切れている状態

電話の呼び出し音により、本機の電源が入り、Windows 95を起動した後、電話につながります。

- ・本機の電源が入っている状態やサスペンド状態で留守番電話機能、FAXの自動受信機能、リモート操作機能を利用する場合は、「TELFAX-NX」を起動し、留守録モードに設定しておく必要があります。
- ・本機の電源が切れている状態で留守番電話機能、FAXの自動受信機能、リモート操作機能を利用する場合は、あらかじめ「TELFAX-NX」を留守録モードに設定し、「Timer-NX」のリング機能を使用する必要があります。また、「Timer-NX」のタイマー機能により、自動的に電源を切ることもできます。



- ・「Timer-NX」のリング機能、タイマー機能→PART1「タイマー機能 <Timer-NX>」
- ・留守録モードに設定し、本機の電源を切った状態で電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合、留守録モードは無効になります。
- ・留守録モード中は、「留守」ボタンが赤く点灯しています。
- ・もう一度「留守」ボタンをクリックすると、留守録モードは解除されます。
- ・留守録音中にFAXが送られてくると、留守録音を中断してFAXを受信します。受信が終わると留守録モードに戻ります。このとき、FAXの信号音が3秒程度、録音されます。
- ・「TELFAX-NX」がアイコン化（最小化）されている状態でFAXを受信すると、タスクバーの「TELFAX-NX」アイコンが点滅して、FAXの受信を通知します。
- ・留守録モードのまま「TELFAX-NX」を終了したときに、次に「TELFAX-NX」を起動すると、留守録モードのまま起動します。

電話機能について

通話中にFM音源やMIDIを使用すると、その音が相手側の電話に聞こえてしまう場合があります。そのときは、FM音源やMIDIを使用しているアプリケーションの再生を停止してください。

タイマー機能 〈Timer-NX〉

好きな時刻に本機を起動／終了できます。また、起動時に指定したソフトを立ち上げることもできるので、お気に入りCDのモーニングコールでお目覚め、のようなおシャレな使い方もできます。

概要

タイマー機能は「Timer-NX」で設定します。「Timer-NX」を使うと、指定した時刻に本機の電源を入れたり、切ったりできます。また、電話やFAXを受信したときに、本機の電源を自動的に入れて、留守録したり、FAXを受信したりできます。

「Timer-NX」でできること

「Timer-NX」には次の機能があります。

・タイマー機能

本機の電源を指定した時刻に入れ、指定したアプリケーションを起動することができます。

・リング機能

リングとは、電話やFAXが送信されてきたときの呼び出し音のことです。リング機能を設定すると、電話やFAXを受信したときに、本機の電源を自動的に入れ、指定したアプリケーションを起動することができます。

・オフタイマ機能

タイマー機能およびリング機能は、終了時刻を指定すると、自動的に電源を切る（またはサスペンドする）ことができます。

「Timer-NX」ウィンドウの表示方法

「Timer-NX」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

①「Timer-NX」を起動する。

（「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Timer-NX（スケジュール）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「Timer-NX」）



タイマプログラムを設定する

タイマプログラムは「Timer-NX」ウィンドウで設定します。各項目を指定した後は、「OK」をクリックします。



曜日を指定する

「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。（例「毎日」を指定）



タイマプログラムの番号を指定する

タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表（タイマプログラム）に従って「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、ひとつの曜日に3つまで指定することができます。

（例「タイマ1」を指定）



起動するアプリケーションを指定する

起動するアプリケーションを「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」メニューで指定します。「実行ファイル」メニューに起動を指定したいアプリケーションがない場合は、「実行ファイル」メニューへの登録操作を行います。

（例「プレーヤ-NX」を指定）

- ① 「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄の▼をクリック。
起動を指定できるアプリケーションの一覧メニューが表示されます。



- ② 起動するアプリケーション（プレーヤ-NX）をクリック。
「実行ファイル」の欄に選ばれたアプリケーションの名前が表示されます。

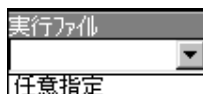


■ 起動するアプリケーションの「実行ファイル」メニューへの登録

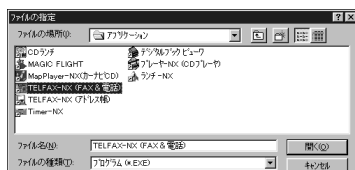
メニューに起動するアプリケーションがない場合は、「実行ファイル」のメニューに、起動するアプリケーションを登録します。

（例「TELFAX-NX」を登録）

- ① 「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄の▼をクリック。
起動を指定できるアプリケーションの一覧メニューが表示されます。



- ② メニューの一番下の「任意指定」をクリック。
次の画面が表示されます（最初にこの画面がでないときは、▼、+で登録したいアプリケーションがあるフォルダを開きます）。



- ③ 登録したいアプリケーション（TELFAX-NX）を指定して「開く」をクリック。
「実行ファイル」メニューに、新たに指定したアプリケーションの名前が表示されます。



「電源オン」と「電源オフ」の時刻を指定する

（例「7:00」に本機を「電源オン」にして、「8:00」に本機を「電源オフ」にする）

- ① 「Timer-NX」ウィンドウで「電源オン」をクリック。
「電源オン」ボタンが赤色の枠線で囲まれ、「現在時刻」の右に🕒が表示され、タイマーが設定されたことを表します。



- ② 「電源オン」にする時刻を設定する。
数字の上を左クリックすると、時刻が進みます。右クリックすると、時刻が戻ります。

例 7:00



- ③ 「電源オフ」をクリック。
「電源オフ」ボタンが赤色の枠線で囲まれます。



- ④ 「電源オフ」にする時刻を設定する。
時刻の設定のしかたは、手順②と同じです。

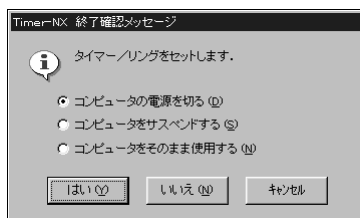
例 8:00



タイマプログラムの設定例

タイマプログラムを設定する操作を説明します。個々の設定方法については、上記を参照してください。

- ① 「Timer-NX」ウィンドウを表示する。
- ② 曜日を設定する。
- ③ タイマプログラムの番号を指定する。
- ④ 起動するアプリケーションを指定する。
- ⑤ 「電源オン」/「電源オフ」の時刻を指定する。
- ⑥ 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック。次の画面が表示されます。



◎ オプションの説明

- ・コンピュータの電源を切る
「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。
- ・コンピュータをサスペンドする
「Timer-NX」を終了して、本機をサスペンド状態にします。
- ・コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。

- ⑦ オプションを選んで「はい」をクリック。
タイマプログラムの設定が有効になります。
「いいえ」をクリックすると、設定を破棄して「Timer-NX」を終了します。
「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

タイマプログラムを設定するときの注意

タイマプログラムで「電源オン」/「電源オフ」を設定するときの注意

タイマプログラムで電源を入れると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

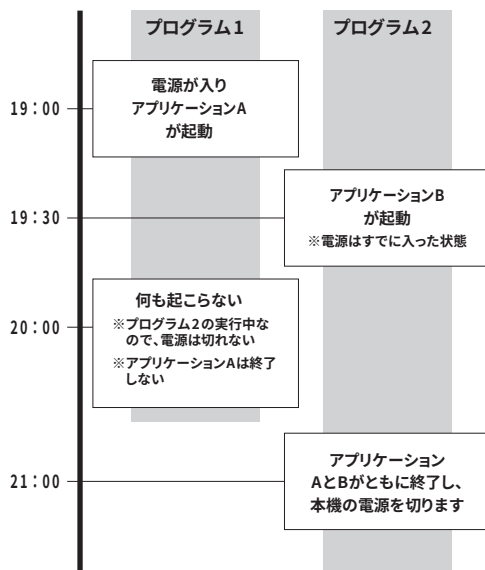
- ・本機の電源が切れている場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定されたアプリケーションを起動します。
- ・本機の電源が入っている場合
タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションを起動します。
- ・本機がサスペンド状態の場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機をレジャーモードとし、指定されたアプリケーションを起動します。

タイマプログラムでの「電源オフ」は、タイマプログラムの「電源オン」機能が働いたときの本機の状態に戻す機能です。必ずしも本機の電源を切るわけではなく、次のようになります。

- ・本機の電源が切れていた場合
アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- ・本機の電源が入っていた場合
本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- ・本機がサスペンド状態になっていた場合
本機をサスペンドします。アプリケーションは終了しません。

例えば、電源が切れているときに次のようなプログラムが実行された場合、本機の状態は次の図のようになります。

曜日 / タイマプログラムの番号	電源入 / 切の時刻	起動するアプリケーション
毎日 / プログラム 1	19:00-20:00	アプリケーション A
毎日 / プログラム 2	19:30-21:00	アプリケーション B



チェック!

「電源オフ」で指定した時刻にアプリケーションを終了するには、指定した時刻に本機の電源が切れるように、タイマプログラムを設定してください。

複数のタイマプログラムで「電源オフ」を指定する場合は、指定する時刻や起動するアプリケーションに注意してください。

タイマプログラムを設定するときの注意

タイマプログラムの設定例

曜日 / タイマプログラム	時刻	アプリケーション
毎日 / プログラム 1	7:00-8:00	プレーヤ-NX
毎日 / プログラム 2	22:30-25:00	VirusScan ^{注1}
毎日 / プログラム 3	22:00-23:00	プレーヤ-NX ^{注2}
月曜日 / プログラム 1	22:00-25:00	インターネットエクスプローラ
火曜日 / プログラム 1	12:00-	PC-VAN ナビゲータ ^{注3}

注1：毎日 / プログラム 2 は、月曜日 / プログラム 1 と時刻が重なっています。この場合は、22:00に「インターネットエクスプローラ」が起動し、その後22:30に「VirusScan」が起動します。25:00に電源が切れます。

注2: 毎日 / プログラム 3 は、月曜日 / プログラム 1 と時刻が重なっています。この場合は、22:00にタイマーオンになり、「プレーヤ-NX」と「インターネットエクスプローラ」が同時に起動します。電源の切れ方は終了時刻の遅い方が優先されます。この場合は、25:00が電源の切れる時刻となります。

注3: 火曜日 / プログラム 1 は、終了時刻が指定されていません。この場合は、12:00に電源が入った後、電源は切れません。

タイマプログラムで指定できる時刻

タイマプログラムでは、2日間にまたがる設定が可能です。

例えば、当日の23:00に電源を入れ、翌日の3:00に電源を切る場合は、次のように設定します。

「電源オン」 23:00

「電源オフ」 27:00 ← 翌日の午前3時を表します。

この設定方法では、最大で次の設定が可能です。

「電源オン」 00:00

「電源オフ」 47:59 ← 翌日の午後11時59分を示します。

✓チェック!!

タイマプログラムを設定する曜日を「毎日」にする場合は、電源を入れてから切るまでの時間が、24時間を超えないようにしてください。

例えば、次のように設定してください。

「電源オン」00:00 「電源オン」01:00

「電源オフ」23:59 または 「電源オフ」24:59

24時間を超える設定をすると、電源を切る前に電源を入れることになってしまいますので、電源を切ることができません。

オンタイマ機能を利用するときの注意

指定した時刻に自動的に電源を入れる機能のことを、オンタイマ機能といいます。

- ・タイマ設定を行う場合は、Windows パスワードの設定やネットワークの設定を行わないでください。Windows パスワードやネットワークが設定されていると、指定したアプリケーションの自動起動は実行できません。リングによって自動で電源を入れる場合も同じです。

- ・タイマ設定を行い電源を切った状態で、本体の電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合はタイマ設定は無効になります。ただし、もう一度電源を入れ、Windowsが起動すると、タイマは再設定されます。

「電源オン」/「電源オフ」する時刻を設定するときの注意

- ・タイマプログラムでの「電源オフ」は、電源を入れたときの本機の状態に戻す機能で、必ずしも本機の電源を切るわけではありません。
- ・電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源が入っても、自動的に電源を切ることはできません。
- ・自動的に電源を切らない場合は、「電源オフ」ボタンをクリックせずに、ボタンが上がった状態にしてください。

リングを設定する

「Timer-NX」には電話やFAXを受信したときに自動的に本機の電源を入れたり、またはレジュームする機能があります。この機能をリング機能といいます。リング機能を設定するときに、指定したアプリケーションを起動したり、終了時刻を設定することもできます。

ここでは、電話がかかってきたときに、「プレーヤ-NX」を起動し、10分後に本機の電源を自動的に切る、という設定を例に説明します（レジューム機能で本機が起動した場合は、電源は切れずに、サスペンド状態になります）。本機の電源を切るまでの時刻は自由に設定できますが、電話がかかっている間、つまり通信中に本機の電源が切れないようにするために、余裕を持って十分に長く設定してください。また、「プレーヤ-NX」のパス（所在地またはインストール先）は「C:\WINDOWS\スタートメニュー\プログラム\アプリケーション」とします。

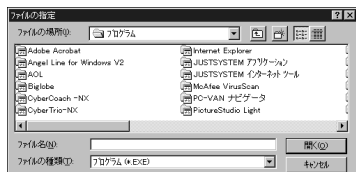
✓チェック!!

「プレーヤ-NX」の場合は、あらかじめ音楽CDなどをセットしておき、「プレーヤ-NX」の「Option」→「状態設定」で「自動再生」を選んでおく必要があります。これは、ほかのアプリケーションについても同じで、タイマで電源が入ったときに、アプリケーションが起動できる状態になっていることが必要です。

- ① 「Timer-NX」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Timer-NX (スケジューラ)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「Timer-NX」)

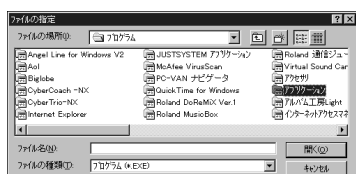


- ② 「実行ファイル」をクリック。
 「プログラム」フォルダのウィンドウが表示されます。

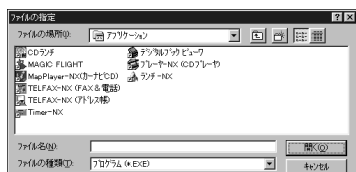


「実行ファイル」ボタンは「Timer-NX」ウィンドウの左下にあります。

- ③ 「アプリケーション」をクリック。
 「アプリケーション」が反転表示になります。



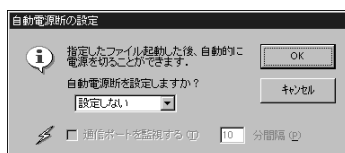
- ④ 「開く」をクリック。
 「アプリケーション」フォルダのウィンドウが表示されます。



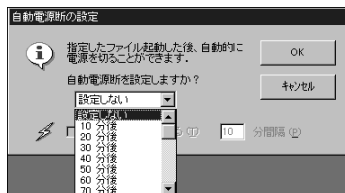
- ⑤ 「プレーヤ-NX」をダブルクリック。
 「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄に、「プレーヤ-NX」が表示されます。



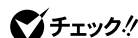
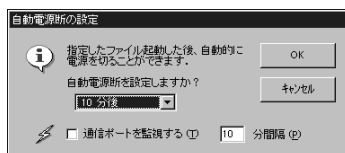
- ⑥  をクリック。
 電話が黄色く表示されます。
- ⑦ 「OFF」をクリック。
 「自動電源断の設定」ウィンドウが表示されます。



- ⑧ 「自動電源断を設定しますか?」の下の▼をクリック。
 ブルダウンメニューが表示されます。



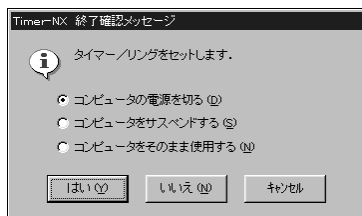
- ⑨ 「10 分後」をクリック。
 「10 分」が設定されます。



監視する通信ポートは内蔵 FAX モデムボードが使用する COM ポートです。

- ⑩ 「OK」をクリック。
「Timer-NX」ウィンドウに戻ります。

- ⑪ 「OK」をクリック。
次のような画面が表示されます。



◎ オプションの説明

・コンピュータの電源を切る

「Timer-NX」を終了後に Windows を終了して、本機の電源を切ります。

・コンピュータをサスペンドする

「Timer-NX」を終了し、本機をサスペンド状態にします。

・コンピュータをそのまま使用する

「Timer-NX」を終了します。本機をそのまま使うことができます。

- ⑫ オプションを選んで「はい」をクリック。
設定が完了します。

「いいえ」をクリックすると、設定を破棄し、「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

リング機能を使用するときの注意

・Timer-NXでは、リング機能でレジュームした後、一定時刻が経過すると自動的に電源を切る、またはサスペンドする設定を行うことができますが、通信中にサスペンドしないようにサスペンドするまでの時刻は、十分に長く設定してください。通信中にサスペンドした場合、回線が接続されたままになります(電話機の受話器を上げた状態と同じです)。このため、長時間パソコンを離れる場合には、自動でサスペンドする設定にはしないでください。

・リング機能は、本機の電源が切れている状態、またはサスペンド状態のときに動作します。本機の電源が入っているときには、動作しません。

・「TELFAX-NX」で留守録を設定すると、次回起動時に自動起動するので、実行ファイルとして指定する必要はありません。

・通信が終了しても、自動着信指定されたFAXソフトなど、通信ポートを使用し続けるアプリケーションを使用する場合、「通信ポートを監視する」を設定すると、いつまでも自動でサスペンド(または電源を切る)されません。このようなアプリケーションを使用してサスペンド(または電源を切る)機能を利用する場合は、「通信ポートを監視する」を設定しないようにしてください。

・リングのセット後、サスペンドした場合は、すぐに本機が動作状態に移行できるように一部の電源が入った状態で待機しています。

・リングのセット後、本機の電源を切った場合は、Windows の起動に時刻がかかりますが、消費電力をより節約できます。

Microsoft FAX を使用するときの注意

リング設定の実行ファイルに「Microsoft FAX」を指定し、モデムの着信応答の設定を変更すると、本機の電源を切った状態でも FAX の自動着信ができます。

実行ファイルに Microsoft FAX を指定し、モデムの着信応答の設定を変更する場合、あらかじめ次の作業が必要です。

- ① デスクトップの受信トレイアイコンをダブルクリック。
Microsoft Exchange が起動し、「受信トレイセットアップウィザード」が表示されます。



すでに受信トレイのセットアップをしてあるときは、手順⑩のウィンドウへ進んでください。

- ② 「Microsoft Fax」以外のチェックをはずす。



- ③ 「次へ」をクリック。
FAX モデムを選ぶウィンドウが表示されます。



「内蔵 FAX モデムボード (56 K 対応)」が選ばれていることを確認します。

- ④ 「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

- ⑤ 「次へ」をクリック。
名前と FAX 番号の入力ウィンドウが表示されます。



必要な事項を入力します。

- ⑥ 「次へ」をクリック。
「個人用アドレス帳」を作成または指定するウィンドウが表示されます。



特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

- ⑦ 「次へ」をクリック。
「個人用フォルダ」を作成または指定するウィンドウが表示されます。



特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

- ⑧ 「次へ」をクリック。
「スタートアップ」グループに受信トレイを追加するかどうかの設定ウィンドウが表示されます。



特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

- ⑨ 「次へ」をクリック。
セットアップ完了のウィンドウが表示されます。



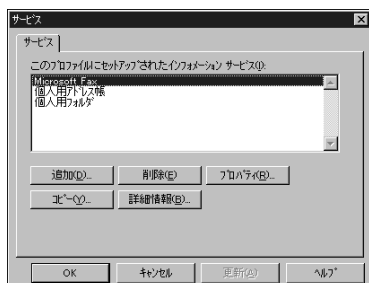
- ⑩ 「終了」をクリック。
「受信トレイ-Microsoft Exchange」ウィンドウが表示されます。



- ⑪ 「ツール」をクリック。
プルダウンメニューが表示されます。

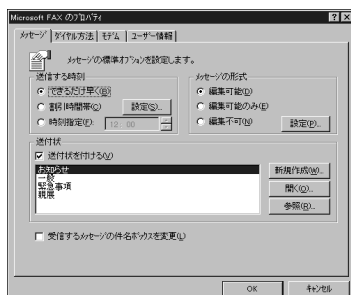


- ⑫ 「サービス」をクリック。
「サービス」ウィンドウが表示されます。

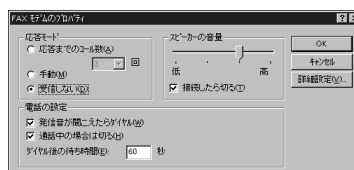


「Microsoft FAX」が選ばれていることを確認します。

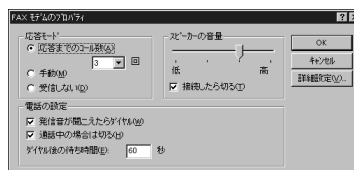
- ⑬ 「プロパティ」をクリック。
「Microsoft FAXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ⑭ 「モデム」タブをクリック。
「モデム」タブのウィンドウが表示されます。
「内蔵 FAX モデムボード (56K 対応)」が選択されていることを確認します。



- ⑮ 「応答までのコール数」にチェックマークをつけ、呼び出し音の回数を指定する。



- ⑯ 「OK」をクリック。
手順⑭のウィンドウに戻ります。

- ⑰ 「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ⑱ 「OK」をクリック。
メールプログラムの再起動で完了です。

自動的に電源を切る

オフタイマ機能を使うと自動的に電源を切る、またはサスペンド状態にすることができます。

- ① 「Timer-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Timer-NX (スケジュール)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「Timer-NX」)



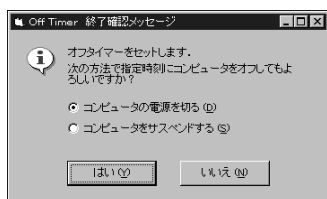
- ② 「オフタイマ」をクリック。
「Off Timer」ウィンドウが表示されます。



- ③ 電源を切る時刻を設定する。
(例 午前 10:10 に設定)



- ④ 「OK」をクリック。
「Off Timer終了確認メッセージ」ウィンドウが表示されます。



電源を切るか、サスペンド状態にするかを選びます。

- ⑤ 「はい」をクリック。
タイマがセットされ、「オフタイマ」がタスクバーに表示されます。

「いいえ」をクリックすると、設定を解除します。

タイマ設定の確認 / キャンセル

タイマを設定した後に、設定内容を確認したいときや、設定を解除したときは、次のように行います。

- ① タスクバーの「オフタイマ」をクリック。
「Off Timer」ウィンドウが表示されます。
設定されているときは、「OK」ボタンが黄色になっています。



「キャンセル」をクリックすると、設定は解除されます。

オフタイマ機能を利用するときの注意

「Timer-NX」で電源を切るときに、編集中のファイルを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されるなど、終了時になにか操作の必要なアプリケーションが起動している場合は、電源は切れません。オフタイマ設定が機能して、電源が切れるときに、メッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作し、Windowsを終了させてください。

「Timer-NX」を利用して自動的にサスペンド状態にした場合は、次の方法で自動的にレジュームすることができます。

- ・「Timer-NX」でリングを設定し、電話やFAXを受信するとレジュームします。
- ・「Timer-NX」でオンタイマを設定し、指定した時刻になるとレジュームします。

タイマー設定を行っても、次の場合はオフタイマ機能は実行されません。

- ・「Off Timer」を終了した場合
- ・「スタート」メニューや電源スイッチでWindowsを終了させたりサスペンドしたりした場合

「Timer-NX」を利用するときの注意

- ・「Timer-NX」は、本機内蔵の時計を使って動きます。「Timer-NX」を使用する前に本機の日付と時刻が正しいかどうかを確認してください。日付と時刻はタスクバー右下の「時刻」をポイントすると確認できます。日付と時刻の設定を変更したい場合は、「時刻」をダブルクリックして表示される画面で設定してください。（パスワード待ちの状態では止まってしまいます）
- ・Windows 95を起動するときに、パスワードを入力する画面（ネットワークの設定などを行うと表示されます）が表示されるように設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れることはできません。
- ・BIOS セットアップユーティリティで、「ユーザーパスワード」「スーパーバイザーパスワード」を設定している場合、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れることはできません。（パスワード待ちの状態では止まってしまいます）
- ・「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしないようにしてください。
- ・タイマプログラムで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手動で電源を入れた場合は、タイマーで起動したものと判断される場合があります（2～3分の誤差があります）。
- ・タイマプログラムを複数の曜日に設定している場合は、Windows の終了時に次回起動予定の曜日が保存されます。このため、手動で電源を入れ、「Timer-NX」を起動すると、次回起動予定の曜日が初期値として表示されます。

はがきの印刷 〈筆ぐるめ〉

年賀状や暑中見舞い、さらに、四季折々のはがきなど、プライベートからビジネスまでの幅広い分野でのコミュニケーションに役立つはがきを作ることができます。

概要

「筆ぐるめ」を使うと、パソコンで年賀状や暑中見舞いなどのハガキを作成できます。

「筆ぐるめ」は通常のはがきを作成する手順と同じ感覚で操作できます。「筆ぐるめ」での操作の流れは大まかに説明すると、次のようになります。

- ① 住所録を作成する。
住所録を作成しておくと、宛名書きのときに便利です。
- ② 宛名を書く。
住所録を利用しても、その場で実際に宛名を入力することもできます。
- ③ はがきの種類を選ぶ。
官製はがき、年賀状、かもめーる、絵はがきなどの種類を選べます。
- ④ 文字の種類を選ぶ。
楷書体、行書体、隷書体、ペン字体、毛筆体などの文字を選べます。
- ⑤ 差出人を設定する。
差出人を個人の名前や、家族の連名、職場一同などに設定します。
- ⑥ はがきの裏面を作成する。
添付されているレイアウトやイラストを利用することも、自分で自由に作成することもできます。
- ⑦ 印刷する。
はがきに印刷して完了です。



はがきを印刷するために、プリンタを利用できるように準備しておいてください。



・プリンタの設定→『拡張の手引き』PART1「プリンタを使う」

住所録の新規作成

新しい住所録ファイルを作成します。

- ① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。



- ②  (新規) をクリック。
新しい住所録入力用のカードが表示されます。



- ③ 「氏名」「住所」などを入力する。



- ・「氏名」の後につづく敬称(「様」「殿」「御中」など)をリストボックスから選べます。
- ・「県名表示」では、住所を都道府県から始めるかどうかを指定できます。
- ・「〒(郵便番号)」を入力すると、該当する住所(ただし、市町村名まで)をリストボックスから選べ、入力の手間が省けます。
- ・「会社名」を入力すると、住所の次に表示されます。
- ・「所属 1」「所属 2」は会社名の次に表示されます。
- ・「役職名」は名前の上、または文字数が多いときは「所属」の次に表示されます。



「役職名」の文字数が多いとき

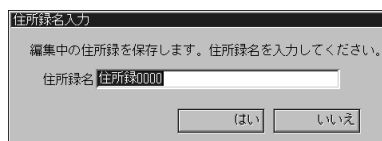


- ・「氏名」を入力すると「読み」が自動的に設定されますが、必要に応じて「読み」を変更してください。
- ・「メモ」欄は自由に使えます。
- ・「マーク」欄は、送るはがきや荷物の種類により「年賀状」「お歳暮」「暑中見舞」のように分類したり、付き合い関係により「会社関係」「友人関係」「親戚関係」などのように分類するときに利用できます。

- ④ 次のカードを入力するには、カード下部の「追加」をクリック。
新しい住所録入力用のカードが表示されます。

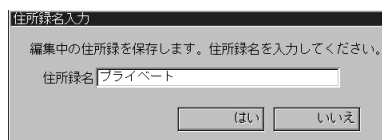


- ⑤ 手順③と④を繰り返す。
- ⑥ 入力が終了したら、ウィンドウ上部の「住所録」をクリック。
最初の画面に戻ります。
- ⑦ 画面下部の「保存」をクリック。
「住所録名入力」ウィンドウが表示されます。



住所録は、「プライベート」「サークル」「ビジネス」などのように、分類して作成しておく便利です。

- ⑧ 住所録の名前を入力する。
(例「プライベート」)



- ⑨ 「はい」をクリック。
「プライベート」という住所録が登録されます。

住所録への追加

すでに作成してある住所録へ、あらたに追加することができます。

- ① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。



新規に作成した「プライベート」の住所録が表示されています。

- ②  (開く) をクリック。
「プライベート」に登録されている最初のカードの宛名が表示されます。



- ③ カード左下隅の「新」をクリック。
新しい住所録入力用のカードが表示されます。



- ④ 「氏名」「住所」などを入力する。
- ⑤ 入力終了したら、「住所録」をクリック。
最初の画面に戻ります。
- ⑥ 「保存」をクリック。
これで住所録への追加作業の終了です。

差出人の登録

はがきの差出人として5通りの設定ができます。宛先により、個人名にしたり、家族全員の連名にしたり、会社の一員としての肩書きを含めたりできます。

- ① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。



新規に作成した「プライベート」の住所録が表示されています。

- ②  (開く) をクリック。
「プライベート」に登録されている最初のカードの宛名が表示されます。



- ③  (ハガキ) をクリック。
はがきの種類などを選ぶウィンドウが表示されます。



- ④ 「差出人」をクリック。
差出人を入力するカードが表示されます。



- ⑤ 必要な箇所に入力します。



- ⑥ 同様に「差出人 2」「差出人 3」・・・と必要に応じて入力する。
⑦ 入力が終了したら「住所録」をクリック。
最初の画面に戻ります。
⑧ 「保存」をクリック。
これで、差出人の入力が終了です。

はがきのオモテ面を作成する

「筆ぐるめ」では、まず、宛名を住所録から選んでから、はがきや文字の種類を選びます。

- ① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「メインメニュー」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。



新規に作成した「プライベート」の住所録が表示されています。

- ②  (開く) をクリック。
「プライベート」に登録されている最初のカードの宛名が表示されます。



- ③  (ハガキ) をクリック。
はがきの種類などを選ぶウィンドウが表示されます。



宛名のレイアウトや、はがきの「たて置き」「よこ置き」も選べます。

- ④ はがきの種類とレイアウトを選ぶ。
(例「年賀ハガキ」)



「郵便番号」を「5桁」表示に変更する場合は、後述の「郵便番号の桁数を変更する」をご覧ください。

- ⑤ フォント (フォント) をクリック。
文字の種類を選ぶウィンドウが表示されます。



文字の種類は、ハガキの文字をクリックして選ぶことにより、「住所」、「氏名」、「郵便番号」を別々に指定できます。

- ⑥ 文字の種類を選ぶ。
(例「住所」を「有澤楷書」に、「氏名」を「江戸勘亭流」に指定)



- ⑦ (印刷 / メール) をクリック。
印刷を指定するウィンドウが表示されます。



- ⑧ はがきをプリンタにセットする。
セットの方法はプリンタにより異なります。プリンタに添付のマニュアルをご覧ください。

- ⑨ (印刷) をクリック。
年賀状のおもて面が印刷されます。

はがきのウラ面を作成する

おもて面を印刷した後は、次のようなウィンドウが表示されています。



続いて、添付されているレイアウトを利用して年賀状のウラ面を作成してみましょう。

- ① ウィンドウの左上の「うら」をクリック。
レイアウトの一覧が表示されます。



- ② レイアウトを選んでクリック。
(例「fg010020」の「新年おめでとうございます」を選ぶ)



差し人を自分に直す必要があります。

- ③ 開文書 (文章) をクリック。
はがきのウラ面が編集できる状態になります。



- ④ 年度を変更する。



- ⑤ 氏名の部分をクリック。
「氏名」の変更ができる状態になります。



- ⑥ 氏名を変更する。



- ⑦ 「住所」の部分をクリック。
「住所」の変更ができる状態になります。



- ⑧ 住所を変更する。



- ⑨ 住所や名前の枠の位置 / 大きさを調整する。
住所や名前は長いと、すべて表示されません。
このような場合は、住所や名前の枠の大きさを広げて
ください。住所や名前の枠は、ドラッグ&ドロップで
移動することができます。

(変更例)



- ⑩  (背景) をクリック。
背景を指定するウィンドウが表示されます。



- ⑪ 背景を選んでクリック。



- ⑫  (印刷) をクリック。
印刷を指定するウィンドウが表示されます。



- ⑬ はがきをプリンタにセットする。
セットの方法はプリンタにより異なります。プリンタに添付のマニュアルをご覧ください。

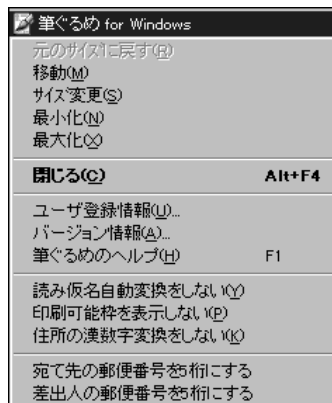
- ⑭  (印刷) をクリック。
年賀状のウラ面が印刷されます。

郵便番号の桁数を変更する

- ①  をクリック。

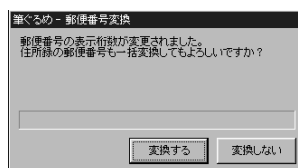


次のメニューが表示されます。



- ・ 差出人の郵便番号を 5 桁にしたい場合
メニューの中の「差出人郵便番号を 5 桁にする」をクリックしてください。
- ・ 宛て先の郵便番号を 5 桁にしたい場合
メニューの中の「宛て先郵便番号を 5 桁にする」にマウスポインタを移動してクリックしてください。

次のメッセージが表示されます。



- ② 「変換する」をクリック。
しばらくすると 5 桁に変換されます。

✓チェック！

- ・ 郵便番号データが、はがきに表示されていない場合は、この画面は表示されません。
- ・ 宛先や差出人の郵便番号を 7 桁に戻す場合は、同様に「宛先の郵便番号を 7 桁にする」、「差出人の郵便番号を 7 桁にする」を選んでください。

音楽CD/ビデオCD/ フォトCDの再生 〈プレーヤ-NX〉

「プレーヤ-NX」は、音楽CD、ビデオCD（カラオケCD）、フォトCDを再生することができます。

「プレーヤ-NX」が対応しているCDの規格は次の通りです。規格外のCDは再生できない場合があります。CDのケースやパッケージに記載されている規格をご覧の上、使用してください。

- ・音楽CD（オーディオCD）
- ・ビデオCD（Ver. 1.1） / カラオケCD（Ver. 1.1）
- ・ビデオCD（Ver. 2.0）
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

音楽CDを聴く

音楽CDとはオーディオCDとも呼ばれ、音楽を楽しむCDのことです。

音楽CDをCD-ROMドライブにセットすると、自動的に「プレーヤ-NX」が起動し、次のウィンドウが表示されます。



基本的な使い方

▶ (再生) ボタン

クリックすると再生が始まります（ボタンの形が

⏏ (一時停止) に変わります）。



⏏ (一時停止) ボタン

再生中にクリックすると再生が一時停止します（ボタンの形が▶ (再生) に変わります）。



この状態で、▶ (再生) をクリックすると、一時停止した場所から再生が再開します（ボタンの形が⏏ (一時停止) に変わります）。

■ (停止) ボタン

再生中または一時停止中にクリックすると、再生を停止または一時停止状態を解除して、最初のウィンドウに戻ります。

⏮ (巻き戻し) ボタン

再生中または一時停止中にクリックし続けると、その曲の範囲内で巻き戻しを始めます。ボタンを離すと、その場所から再生を再開します。曲の先頭に戻るとそこで巻き戻しは停止します。

⏭ (早送り) ボタン

再生中または一時停止中にクリックし続けると、その曲の範囲内で早送りを始めます。ボタンを離すと、その場所から再生を再開します。曲の最後まで送られるとそこで早送りは停止します。

⏪ ボタン

再生中または一時停止中にクリックすると、再生中の曲または一時停止したときの曲の先頭に戻って再生を再開します。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が戻り、クリックを止めた場所から再生を再開します。

停止中にクリックすると、最後の曲（次の画面では「トラック 10」の曲）の先頭に戻り、再生を始めます。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が戻り、クリックを止めた場所から再生を始めます。



▶I ボタン

再生中または一時停止中にクリックすると、再生中の曲または一時停止したときの次の曲から再生を再開します。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が進み、クリックを止めた場所から再生を再開します。停止中にクリックすると、最初から2番目の曲(次の画面では「トラック2」の曲)から、再生を始めます。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が進み、クリックを止めた場所から再生を始めます。



⬆ (取り出し) ボタン

停止中にクリックすると、トレイが出てきて、CD-ROMを取り出すことができます。そのとき、次のようなウィンドウになります。



もう一度クリックすると、トレイが収納されます。

✓ チェック!!

CD-R モデルではトレイの収納はできません。

「Option」ボタンの使いかた

「Option」ボタンを押すと、次のウィンドウが表示されます。



↺ (リピート) ボタン

クリックするたびに、次のように変わります。

「リピートなし」



▼ 「一曲リピート」



▼ 「全曲リピート」



▼ 「リピートなし」

・
・
・

⌚ (演奏時間表示) ボタン

クリックするたびに、時間表示が現在の曲の演奏経過時間と残り演奏時間に交互に切り替わります。

「演奏経過時間表示」



▼ 「残り演奏時間表示」



▼ 「演奏経過時間表示」



■「Program」ボタン

クリックすると「プログラム予約」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、演奏させたい曲を演奏させたい順に選んでプログラムすることができます。ただし、プログラムの再生中と、一時停止中は「Program」ボタンは使用できません。



ここで、「トラック」から曲を選んで「追加」をクリックしてプログラムを作成します。

(例「Track 1」→「Track 3」→「Track 5」の順に再生するプログラムの作成)

① 曲を選んで「追加」をクリック。

(「Track 1」を選んでクリック)

「予約された曲」の欄に「Track 1」が表示されます。



② 同様に曲を順に選ぶ。



選んだ曲を削除したいときは、「予約された曲」の欄から削除したい曲を選んで、「削除」をクリックします。

③「OK」をクリック。

「Player-NX」ウィンドウのディスプレイに「Program」が表示されます。



この後、 (再生) ボタンをクリックすると、プログラムで指定した通りに演奏を開始します。プログラムを解除するには、「プログラム予約」ウィンドウを開いて、「全削除」→「OK」をクリックします。

■ (ミュート) ボタン

左右の音声出力を同時に OFF にします。「Player-NX」ウィンドウのディスプレイからが消えます。



ミュート中にこのボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。

ただし、CDの再生中はこのボタンは使用できません。

■ (左チャンネルミュート) ボタン

左チャンネルの音声出力を OFF にします。「Player-NX」ウィンドウのディスプレイからが消えます。ミュート中にこのボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。

ただし、CDの再生中はこのボタンは使用できません。

■ (右チャンネルミュート) ボタン

右チャンネルの音声出力を OFF にします。「Player-NX」ウィンドウのディスプレイからが消えます。ミュート中にこのボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。

ただし、CDの再生中はこのボタンは使用できません。

■「元の画像サイズで表示」ボタン

オーディオ CD では使用できません。(→この項の「ビデオ CD (カラオケ CD) を見る」)

■「カラオケ一覧表示」ボタン

オーディオ CD では使用できません。(→この項の「ビデオ CD (カラオケ CD) を見る」)

「状態設定」ボタン

クリックすると、「状態設定」ウィンドウが表示されます。

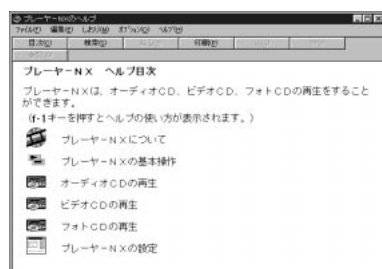


「自動再生」を選ぶと、「プレーヤ-NX」起動時に自動的に再生が始まります。

「画像再生時にスクリーンセーバを起動しない」の設定 / 解除はできません。

「Help」ボタン

クリックすると、「プレーヤ-NXのヘルプ」ウィンドウが表示されます。



ビデオ CD (カラオケ CD) を見る

ビデオ CD (カラオケ CD) とは、動画と音声を楽しむ CD のことです。

ビデオ CD (カラオケ CD) を CD-ROM ドライブにセットすると、自動的に「プレーヤ-NX」が起動し、次のウィンドウが表示されます。

自動的に起動しないときは、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「プレーヤ-NX (CD プレーヤ)」または「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「プレーヤ-NX (CD プレーヤ)」をクリックします。



基本的な使い方

基本的な操作は、音楽 CD とほとんど同じです。(→この項の「音楽 CD を聴く」)

チェック!!

・ビデオ CD の再生中にウィンドウサイズをひんぱんに変更すると、ビデオの表示が乱れることがあります。このようなときは、「プレーヤ-NX」をいったん終了させて再起動すると、表示が正常に戻ります。

・プレイバックコントロール機能に対応したビデオ CD の再生時には、頭出し機能は利用できません。

「Option」ボタンの使いかた

「Option」ボタンを押すと、次のウィンドウが表示されます。



各ボタンの機能は、「音楽 CD を聴く」の場合とほとんど同じです。

ここでは、「音楽 CD を聴く」と異なる点と、注意点を説明します。

（リPEAT）ボタン

プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケ CD では、このボタンは使用できません。

（演奏時間表示）ボタン

ビデオ CD では使用できません。

「Program」ボタン

プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケ CD では、このボタンは使用できません。

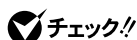
（ミュート）ボタン / （左チャンネルミュート）ボタン / （右チャンネルミュート）ボタン

カラオケ CD では、カラオケ演奏とボーカル音声は、左右どちらかのチャンネルに分かれて録音されています。ボーカル音声を消すときは、左右どちらか、ボーカル音声録音されているチャンネルの音声を消す必要があります。左右どちらかの音声を消すときは、（左チャンネルミュート）ボタンまたは、（右チャンネルミュート）ボタンをクリックします。また、（ミュート）ボタンをクリックすると、両方の音声を消すことができます。

- 「元の画像サイズで表示」ボタン
ビデオCDの再生時に、ウィンドウのサイズを起動時のサイズに戻します。
- 「カラオケ一覧表示」ボタン
カラオケCDの曲目が一覧表示されます。再生した曲目をクリックし、さらに「演奏」ボタンをクリックすると、すぐに再生が始まります。
プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケCDでは、このボタンは使用できません。
- 「状態設定」ボタン
「自動再生」を選ぶと、「プレーヤ-NX」の起動時に自動的に再生が始まります。
「画像再生時にスクリーンセーバーを起動しない」を選ぶと、ビデオCDの再生時にスクリーンセーバーを起動させないようにします。
- プレイバックコントロールの使い方
プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの再生時には、「プレーヤ-NX」とともにプレイバックコントロールウィンドウが表示されます。



- 画面を表示します
- 前画面に戻ります。
- 次画面に進みます。
- メニュー画面に戻ります。
- 数値を選ぶときに使います。
 の数字ボタンで番号を決定して ボタンをクリックすると、画面を表示します。
- プレイバックコントロールウィンドウをアイコン化します。
- 番号表示部分をクリックすると、数字ボタンで選んだ番号をキャンセルします。



各ボタンの機能は、ビデオCDにより多少異なっていますので、ビデオCD添付の説明書をご覧ください。

フォトCDを見る

フォトCDとは、写真をデジタルデータに変換してCDに記録したものです。

フォトCDをCD-ROMドライブにセットすると、自動的に「プレーヤ-NX」が起動し、次のウィンドウが表示されます。同時に、最初の写真も表示されます。

「Player-NX」ウィンドウ



最初の写真



自動的に起動しないときは、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」または「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリックします。

基本的な使い方

- (自動表示) ボタン
クリックすると、順にフォトを表示していきます。

「Player-NX」のウィンドウ



2 番目の写真



-  (停止) ボタン
自動表示中にクリックすると、自動表示を停止します。

-  (巻き戻し) ボタン
クリックすると、巻き戻します (ポートフォリオの再生時のみ)。

-  (早送り) ボタン
クリックすると、早送りします (ポートフォリオの再生時のみ)。

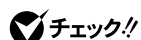
-  ボタン
クリックすると、1 つ前の写真に戻ります。

-  ボタン
クリックすると、次の写真を表示します。

-  (取り出し) ボタン
停止中にクリックすると、トレイが出てきて、CD-ROM を取り出すことができます。そのとき、次のようなウィンドウになります。



もう一度クリックすると、トレイが収納されます。



CD-R モデルではトレイの収納はできません。

「Option」ボタンの使いかた

「Option」ボタンを押すと、次のウィンドウが表示されます。



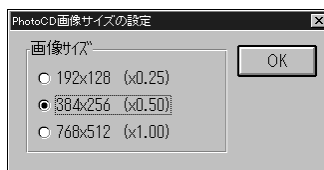
- 「Open」ボタン
クリックすると、フォト CD に記録されている写真のファイル名一覧を表示します。表示したいフォト CD のファイル名を選び、「OK」をクリックします。



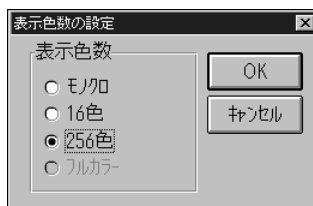
- 「List」ボタン
クリックすると、フォト CD に記録されている写真を縮小一覧表示します。写真をクリックすると、拡大表示できます。



- 「Size」ボタン
クリックすると、「PhotoCD 画像サイズの設定」ウィンドウが表示されます。画像のサイズを選べます。



- 「Color」ボタン
クリックすると、「表示色数の設定」ウィンドウが表示されます。色数を選べます。



■「Copy」ボタン

クリックすると、表示されている写真をクリップボードビューアにコピーします。クリックボードビューアにコピーされたデータは、通常の「貼り付け」操作で、他の場所へ「貼り付け」できます。

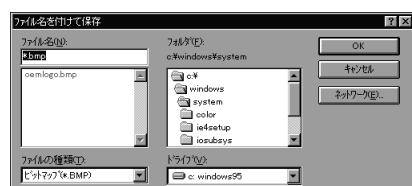
「ペイント」へ「貼り付け」した例



「Copy」ボタンをクリックするたびに、新しい写真データがクリップボードに書き入れ、前にコピーしたデータは消えてしまいます。コピーしたデータは次のコピーを行う前に必ず保存してください。

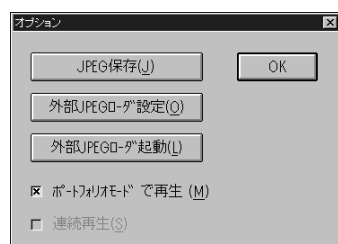
■「Save」ボタン

クリックすると、「ファイル名を付けて保存」ウィンドウが表示されます。ファイル名を指定して、写真をビットマップ形式のファイル(拡張子は「.bmp」)として保存できます。



■「Extension」ボタン

JPEGに関する各種の設定ができます。詳しくは、「プレーヤ・NXのヘルプ」をご覧ください。



■「状態設定」ボタン

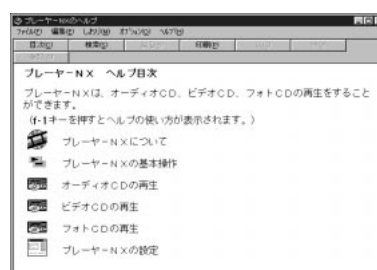
「自動設定」を選ぶと、「プレーヤ・NX」起動時に自動的に再生が始まります。

「再生時にスクリーンセーバーを起動しない」は使用できません。



■「Help」ボタン

クリックすると、「プレーヤ・NXのヘルプ」ウィンドウが表示されます。



DVD VIDEO ディスクの再生 〈DVD プレーヤ〉 (DVD-ROMモデルのみ)

「DVD プレーヤ」の起動方法や各部の名称と役割(操作方法)、設定方法について簡単に説明します。

概要

DVD-ROMモデルにはDVD-ROMドライブが搭載されています。「DVD プレーヤ」を使うと市販のDVD-VIDEO ディスク、および DVD Video メディア(以下、DVD VIDEO ディスク)を再生することが可能です。「DVD プレーヤ」ではDVD VIDEO ディスク以外は再生できません。

DVD プレーヤの起動

- ① DVD VIDEO ディスクをDVD-ROMドライブにセットする。
- ② 「DVD プレーヤ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「DVD プレーヤ」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「DVD プレーヤ」)
「DVD プレーヤ」ウィンドウが表示されます。



DVD VIDEO ディスクの種類によっては、DVD-ROMドライブにセットすると自動的にDVDプレーヤが起動します。

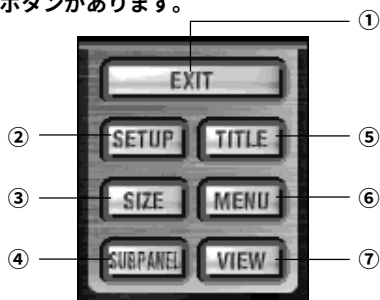
各部の名称と役割

メイン操作パネル

メイン操作パネルの各部の名称と役割は次の通りです。



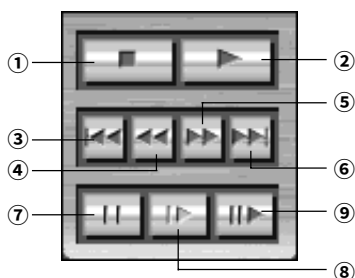
- DVD プレーヤを制御するボタン
次のボタンがあります。



- ① EXIT
DVD プレーヤを終了します。
- ② SETUP
いろいろな設定をするための「DVD の設定」画面を表示します。詳しくは、「DVD プレーヤヘルプ」の「DVD の設定」をご覧ください。
- ③ SIZE
再生画面のウインドウサイズを 480 × 360 (4:3) または 480 × 270 (16:9) に設定します。
- ④ SUBPANEL
タイトルやメニューを選ぶ「サブパネル」を表示します。
- ⑤ TITLE
DVD VIDEO ディスクに収録されているタイトルメニューを表示します。
- ⑥ MENU
DVD VIDEO ディスクに収録されている DVD メニューを表示します。
- ⑦ VIEW
メイン操作パネルと簡易操作パネルの表示を切り替えます。

■ 再生時に使用するボタン

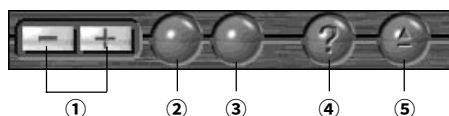
次のボタンがあります。



- ① 停止
再生を停止します。
- ② 再生
現在のタイトル（作品）を再生します。また、早送り / 早戻し再生・スロー再生・一時停止状態から標準再生に切り替えます。
- ③ スキップ前
現在再生中のチャプターの先頭に戻ります。続けてクリックするとひとつ前のチャプターの先頭にスキップします。
- ④ 早戻し
早戻しでタイトル（作品）を再生します。
- ⑤ 早送り
早送りでタイトル（作品）を再生します。
- ⑥ スキップ次
次のチャプターの先頭にスキップします。続けてクリックするごとに次のチャプターの先頭にスキップします。
- ⑦ 一時停止
再生を一時停止したり、一時停止を解除します。
- ⑧ スロー再生
スローでタイトル（作品）を再生します。
- ⑨ コマ送り
コマ送りでタイトルを再生します。一時停止状態で使用してください。

■ 音量調整、その他のボタン

次のボタンがあります。



- ① 音量調整
音量の調整を行います。

② MUTE

再生音の消去や消去の解除を行います。

③ REPEAT

1回クリックする（状態表示が緑色）とチャプターを、2回クリックする（状態表示が黄色）とタイトルを繰り返して再生します。

④ ヘルプ

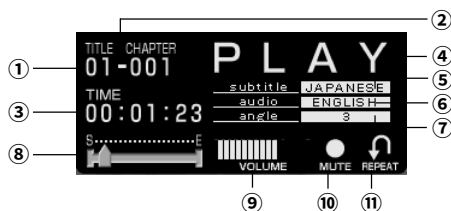
ヘルプを表示します。

⑤ EJECT

DVD-ROMドライブのトレイの出し入れを行います。ディスクが入っていない場合は、「EJECT」ボタンをクリックしても、トレイを出すことはできません。

■ コントロールパネル

コントロールパネルでは、DVD プレーヤや再生しているタイトルの状態を表示します。



- ① TITLE
再生中のタイトル番号を表示します。
- ② CHAPTER
再生中のチャプター番号を表示します。
- ③ TIME
タイトルごとの時間を表示します。
- ④ 状態表示
再生中、スロー再生中、早送り / 早戻し再生、停止中などの状態を表示します。
- ⑤ subtitle
選ばれている字幕の状態を表示します。
- ⑥ audio
選ばれている音声の状態を表示します。
- ⑦ angle
選ばれているアングルの状態を表示します。
- ⑧ 時間（スライダー）
再生中のタイトルの再生位置（時間）を表示します。また、スライダーのバーのつまみをマウスで移動することにより、お好みの位置から再生できます（タイトルやチャプターにより、マウスで移動できない場合があります）。

- ⑨ VOLUME
現在の音量の状態を表示します。
- ⑩ MUTE
ミュートの状態を表示します。
- ⑪ REPEAT
リピートの状態を表示します。

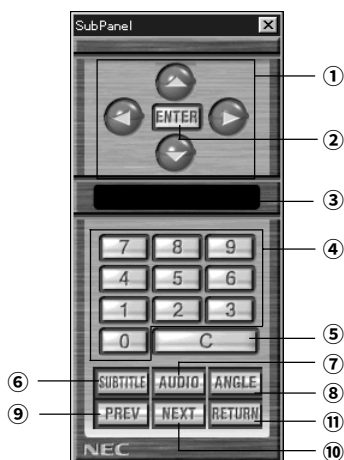
簡易操作パネル

メイン操作パネルが表示されている場合に「VIEW」ボタンをクリックすると次のような簡易表示パネルが表示されます。各ボタンの名称と役割はメイン表示パネルと同じです。



サブパネル

メイン操作パネルの「SUBPANEL」ボタンをクリックすると、次のような「SubPanel」画面が表示されます。



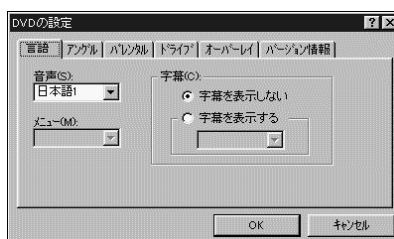
- ① 選ぶ項目を移動します。
- ② 選ばれている項目を決定し、再生します。
- ③ 番号ボタン、または、キーボードから入力された数値を表示します。
- ④ 番号で項目を選びます。
- ⑤ 表示領域に表示されている数値をクリアします。
- ⑥ DVD VIDEOディスクに記録されている字幕の種類を変更します。

- ⑦ DVD VIDEOディスクに記録されている音声の種類を変更します。
- ⑧ DVD VIDEOディスクに記録されているアングルを変更します。
- ⑨ メニューの前ページへ移動します。
- ⑩ メニューの次ページへ移動します。
- ⑪ 一つ前のメニューへ戻ります。

DVD-VIDEO ディスクによっては、「PREV」、「NEXT」、「RETURN」ボタンをクリックしても、メニューが変化しない場合があります。

DVD の設定

メイン操作パネルの「SETUP」ボタンをクリックすると次のような「DVD の設定」画面が表示されます。この画面で DVD の設定を行います。



詳しくは、「DVD プレーヤーヘルプ」の「DVD の設定」をご覧ください。DVDプレーヤーヘルプは、操作パネルのヘルプボタンをクリックすると表示されます。

DVD プレーヤーを使用するときの注意

- DVD VIDEOディスクによっては、各ボタンを選んでも動作しない場合があります。
- 16:9 画面サイズで字幕のあるタイトルを再生すると、字幕の下部が切れる場合があります。このような場合は、「DVD の設定」のオーバーレイのディスプレイモードで「レターボックス」を選んでください。
- DVDプレーヤー使用中は、サスペンド機能を使用できません。
- DVDプレーヤーでは、音楽CD、ビデオCD、フォトCDを使用できません。これらのCDを使用する場合は、「プレーヤ-NX」を使用してください。

参照

- 「プレーヤ-NX」→ PART1「音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生(プレーヤ-NX)」

カーナビCDの再生 〈MapPlayer-NX〉

「MapPlayer-NX」では、ナビゲーションシステム研究会統一フォーマットに準拠したカーナビゲーション用地図CD-ROMを利用できます。

カーナビゲーション用地図CD-ROMを見る

ここでは、「ゼンリンソフト 首都圏ROAD & TOWN NAVI III」の地図CD-ROMを使用して説明しています。

このCD-ROMは本機には添付されていません。別途購入してお使いになるときは、そのCD-ROMの使用許諾条件に従って使用してください。

© ZENRIN

対応CD-ROMについて

地図CD-ROMは、ナビゲーションシステム研究会Ver2.01、2.1に準拠した日本国内用のCD-ROMを使用してください。ナビ研S規格には対応していません。また、ナビゲーションシステム研究会Ver2.1に含まれている「経路検索情報」を利用した経路検索はできません。

「MapPlayer-NX」の起動

地図CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすれば、自動的に「MapPlayer-NX」が起動します。もし、自動的に起動しない場合は次の操作を行ってください。

- ① 地図CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- ② 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「MapPlayer-NX (カーナビCD)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「MapPlayer-NX (カーナビCD)」をクリック。
オープニング画面が表示されます。



「MapPlayer-NX」が地図CD-ROMから必要なデータを読み込むと、地図画面が表示されます。



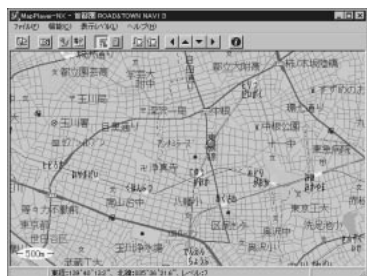
地図を見るために必要なボタン

地図画面の上部には、いくつかのアイコンが横に並んでいるツールバーがあります。この中で、地図を見るための基本操作に不可欠なボタンについて説明します。

-  (レベルメーターの表示 / 非表示切り替え) ボタンをクリックすると、次のようなレベルメーターを表示します。もう一度クリックすると、レベルメーターは画面から消えます。



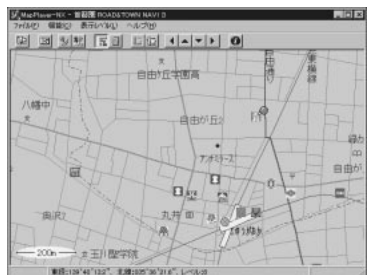
現在のレベルメーターの表示は「7」です。対応する地図は次の通りです。



レベルメーターの「8」をクリックします。「8」が選ばれます。



すると、地図はさらに詳しくなります。



レベルメーターの表示を1だけ大きくする（表示範囲が狭くなり、表示内容が詳しくなる）ことは、 を1回クリックする操作とまったく同じです。

逆にレベルメーターの「6」をクリックします。「6」が選ばれます。

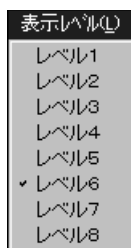


地図の表示範囲は東京都のいくつかの区を含む程度に広がります。



レベルメーターの表示を1だけ小さくする（表示範囲が広くなり、表示内容が大まかになる）ことは、 を1回クリックする操作とまったく同じです。

また、レベルメーターはメニューバーの「表示レベル」のプルダウンメニューで選ぶこともできます。

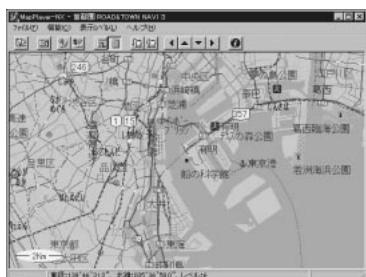


-  (スクロールパネル表示 / 非表示) ボタン
クリックすると、次のようなスクロールパネルを表示します。もう一度クリックすると、スクロールパネルは画面から消えます。



矢印をクリックすると、その矢印の方向の表示範囲が広がるように地図がずれます。

- 地図上のある地点を中心に表示する
例えば次の地図で、右下にある「船の科学館」を中心に表示したいときは、「船の科学館」にマウスのポインタを当てて、ダブルクリックします。「船の科学館」が地図の中心になるように表示が変わります。



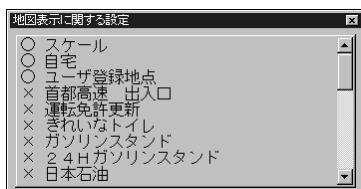
ランドマークを利用する

地図上には、いろいろな情報を示す印があります。これをランドマークと呼びます。

ランドマークの表示 / 非表示を設定する

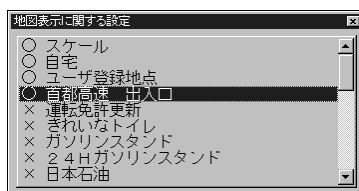
ランドマークの表示 / 非表示の設定ができます。ランドマークが表示できる表示レベルは、自宅は全レベル、ユーザー登録点は、登録時に表示可能と示されたレベル、その他は使用する地図により異なります。また、スケールに表示されている距離は参考用です。多少の誤差が生じる場合があります。

- ① ツールバーのをクリック。
「地図表示に関する設定」ウィンドウが表示されます。

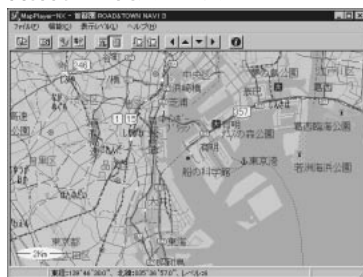


○：表示 ×：非表示

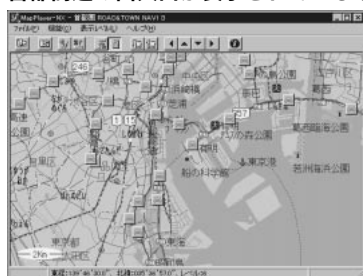
- ② 表示したい項目をダブルクリック。
(例 首都高速 出入口)
「×」印が「○」印に変わります。地図には、「首都高速 出入口」が表示されるようになります。



首都高速の出入口が表示されていない地図



首都高速の出入口が表示されている地図



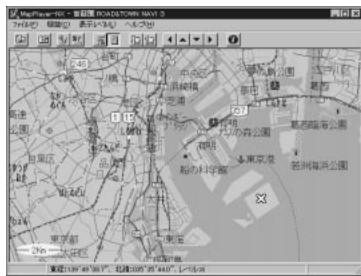
拡大図



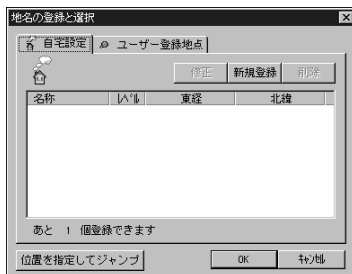
ユーザー用ランドマークを設定する

自宅や任意の地点を地図上に登録できます。ここでは、「ユーザー登録地点」として「屋台のラーメン屋」を登録してみます。ユーザー登録地点は、最大 64 カ所です。

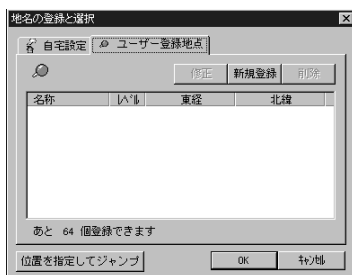
- ① 地図上で、登録したい場所をクリック。
地図上に「×」印が表示されます。



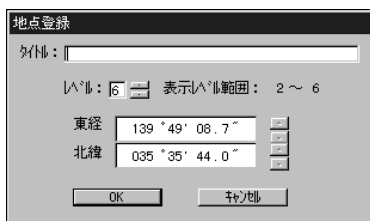
- ② ツールバーの  をクリック。
「地名の登録と選択」ウィンドウが表示されます。



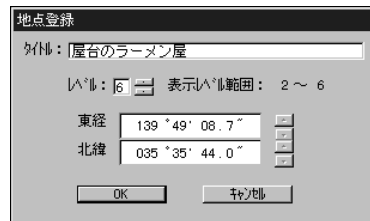
- ③ 「ユーザー登録地点」をクリック。
「ユーザー登録地点」タブのウィンドウが表示されます。



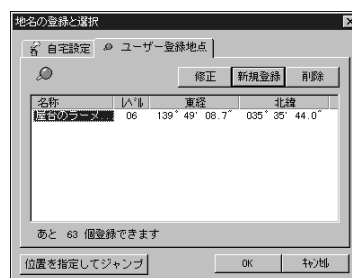
- ④ 「新規登録」をクリック。
「地点登録」ウィンドウが表示されます。



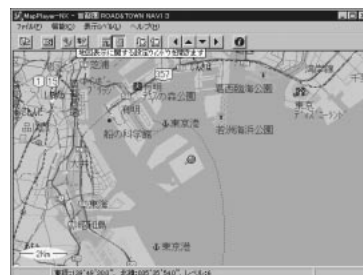
- ⑤ 地名を入力する。
(例「屋台のラーメン屋」)



- ⑥ 「OK」をクリック。
「地名の登録と選択」ウィンドウに地名などが登録されます。



- ⑦ 「OK」をクリック。
地図に登録されました。

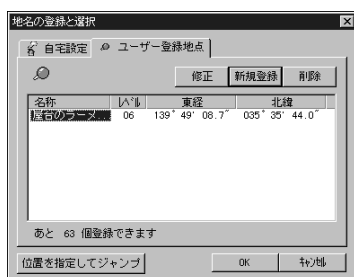


拡大図



■ ユーザー登録地点の修正 / 削除

- ①  をクリックして、「地名の登録と選択」ウィンドウを表示する。

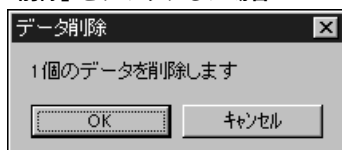


- ② 「修正」または「削除」をクリック。
「修正」をクリックした場合



ここで、「タイトル」や「レベル」を修正して「OK」をクリックします。

「削除」をクリックした場合



「OK」をクリックすると削除できます。

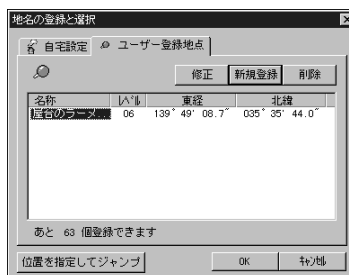
登録した地名から地図を表示する

登録した地名から、その地点がある地図を表示できます。また、緯度経度を指定して任意の地点を表示することもできます。

■ 登録した地名から表示する

「ユーザー登録地点」の「屋台のラーメン屋」を表示してみます。

- ①  をクリックして、「地名の登録と選択」ウィンドウを表示する。



- ② 「地名」をダブルクリック。
(例「屋台のラーメン屋」)
ユーザー登録地点(屋台ラーメン屋)のある地図が表示されます。



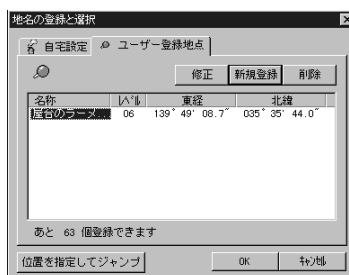
拡大図



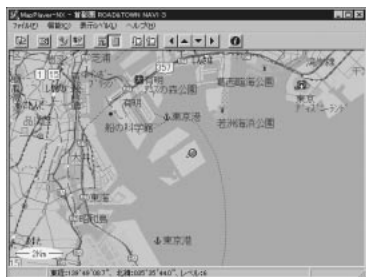
■ 登録した地名から表示する

「ユーザー登録地点」の「屋台のラーメン屋」を表示する、別の方法を説明します。

- ①  をクリックして、「地名の登録と選択」ウィンドウを表示する。



- ② 「位置を指定してジャンプ」をクリック。
「ジャンプ先」ウィンドウが表示されます。
- ③ レベル、経度、緯度を入力して「OK」をクリック。
(「ジャンプ先」ウィンドウには、「地名の登録と選択」ウィンドウで、選ばれている地名のレベル、経度、緯度が表示されています。)
ユーザー登録地点(屋台ラーメン屋)のある地図が表示されます。



「ジャンプ先」ウィンドウで、あらたにレベル、経度、緯度を指定してジャンプすることもできます。

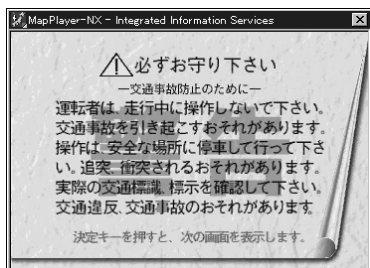
IIS (Integrated Information Services) を利用する

IIS を利用すると、サービステキストやマークを使って、各種の情報を簡単に入手できます。

IIS を最初から見る

ここでは、例として首都高速の「高速都心環状線」のひとつの出入口である「江戸橋出入口」を表示してみます。

- ① ツールバーの **IIS** をクリック。
次の画面が表示されます。



- ② 画面をクリック。
(カーナビゲーション装置の「決定キー」や「エンターキー」押すことは、ここでは、マウスのクリックを意味します。)
IIS の初期画面が表示されます。



- ③ 「首都高速」をクリック。
次のメニューが表示されます。



- ④ 「出入口案内」をクリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑤ 「高速都心環状線」をクリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「江戸橋出入口」をクリック。
「江戸橋出入口」に印が付けられた地図が表示されます。



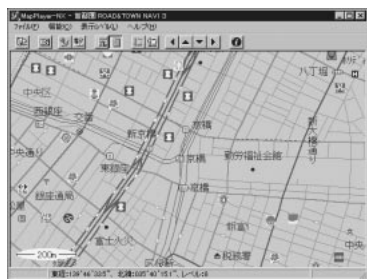
拡大図



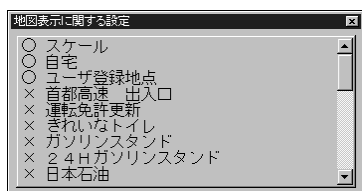
IIS マークを利用して地図から表示させる

ここでは、例として京橋の近くのきれいなトイレを探してみます。

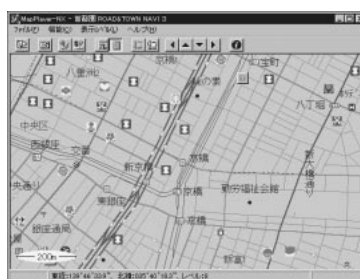
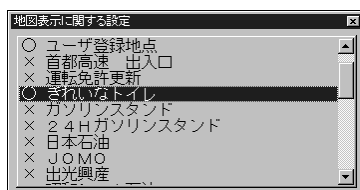
- ① 目的の地点を中心にした地図を表示する。



- ② ツールバーの「」をクリック。
「地図表示に関する設定」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「きれいなトイレ」をダブルクリック。
「X」印が「O」印に変わります。地図には、「きれいなトイレ」を示す「T」マークが表示されます。



拡大図



- ④ 京橋の右上の方向にある「T」マークをクリック。
「きれいなトイレ」の名前が表示されます。



IIS を使用するときの注意

IISは本来、カーナビゲーションシステムで再生することを前提に設計されているため、次の点に注意してください。

- IIS における画面上のボタンの操作方法や動作は、Windows 95 と異なる場合があります。
- カーナビゲーションシステムでのみ使用を許されているデータなど、「MapPlayer-NX」では一部扱えないデータがあります（ここで使用している「首都圏 ROAD & TOWN NAVI III」では電話番号データが該当します）。
- IIS は CD 音声を使用してタイミングをとるため、ほかに CD 音声を使用するアプリケーションと同時に起動できません。

電子アルバムの作成 〈アルバム工房Light〉

「アルバム工房 Light」を使って、フォト CD やデジタルカメラで撮影した写真などをして、電子アルバムを簡単に作るができます。

アルバム工房 Light の説明を見る

「アルバム工房 Light」の使い方を電子マニュアルで見ることができます。

- ① 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
- ② 「アルバム工房 Light」の「入門ガイド」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アルバム工房 Light」→「入門ガイド」)

電子アルバムを作成する

写真をとじる前に、まず電子アルバムを作成しましょう。

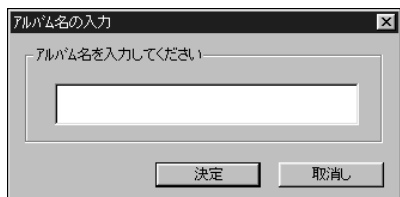
- ① 「アルバム工房 Light」を起動する。
(「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「アルバム工房 Light」または「スタート」→「プログラム」→「アルバム工房 Light」→「アルバム工房 Light」)
「アルバム工房 Light」の初期画面が表示されます。



- ② 「アルバムを作ろう」をクリック。
次の画面が表示されます。



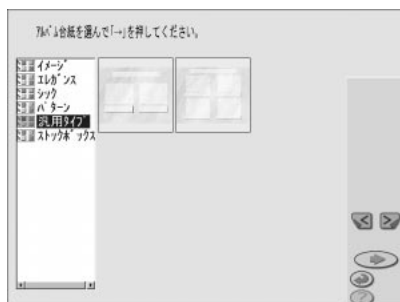
- ③ 「新しいアルバムを作る」をクリック。
「アルバム名の入力」ウィンドウが表示されます。



- ④ アルバム名を入力して「決定」をクリック。
(例「グライダーのアルバム」を入力)
台紙を選ぶ画面が表示されます。



- ⑤ 台紙のグループ名を選ぶ。
(例「汎用タイプ」を選ぶ)
選んだグループ名が反転表示になり、台紙のサンプルが表示されます。



- ⑥ 台紙を選んで  をクリック。
(例 左のサンプルを選ぶ)
「グライダーのアルバム」という電子アルバムが作られます。



次は、この電子アルバムに写真を貼り込みます。例として、写真はフォト CD (デジタルデータに変換した写真を記録した CD) から取り込むこととします。

写真をアルバムにとじる

「電子アルバムを作成する」で作成した「グライダーのアルバム」に写真を貼り込んでみます。
前項の手順⑥の画面から操作を続けます。

- ① 「写真を一枚ずつ貼る」をクリック。
写真の場所を確認する画面が表示されます。



- ② フォト CD を CD-ROM ドライブにセットする。
③ 「フォト CD」をクリック。
フォト CD に収められている写真の一覧が表示されます。



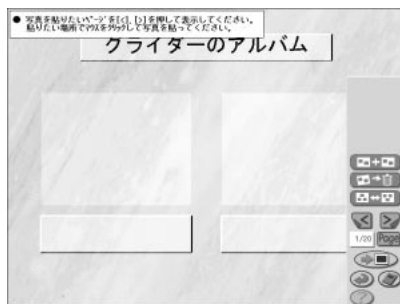
- ④ 写真を選んで  をクリック。
選んだ写真を確認する画面が表示されます。



ここでは、次のような写真の加工ができます。

- ・写真の明るさなどの調整
- ・フィルタ処理
- ・サイズや向きの変更
- ・ペンやブラシでの描画
- ・クリップアートの貼り付け
- ・文字の入力
- ・他の写真との合成

- ⑤  をクリック。
写真を貼るページを選ぶ画面が表示されます。



- ⑥ ページを選んでそのページをクリック。
(例 1 ページを選ぶ)
写真が 1 ページ目に貼り付けられます。



- ⑦ 終了するときは、 をクリック。
次の写真を選ぶときは、 をクリックします。
次の画面に戻ります。



アルバムを見る

作成したアルバムを見てみましょう。

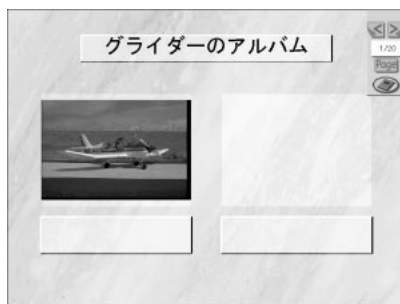
- ① 「アルバム工房 Light」を起動する。
(「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「アルバム工房 Light」または「スタート」→「プログラム」→「アルバム工房 Light」→「アルバム工房 Light」)
「アルバム工房 Light」の初期画面が表示されます。



- ② 「アルバムを見よう」をクリック。
次の画面が表示されます。



- ③ 「グライダーのアルバム」をクリックして、「アルバムを見る」をクリック。
「グライダーのアルバム」の最初のページが表示されます



- ④ 見終わったら、 をクリック。
次の画面に戻ります。



- ⑤ をクリック。
「アルバム工房 Light」が終了します。

アルバムをプレゼントする

CD-R モデルを使用している場合、アルバム工房 Light で作ったアルバムを CD-R 媒体に保存することができます。CD-R に保存したアルバムは、アルバム工房 Light がインストールされていないパソコンでも見ることができるので、パソコンを持っている他の人にプレゼントすることができます。

✓チェック!!

CD-R 媒体でプレゼントされたアルバムを見るためのパソコンの条件は次の通りです。

- ・Microsoft Windows 95 日本語版が動作するパーソナルコンピュータ (Pentium 以上推奨)
- ・メモリは 16MB 以上実装。
- ・640 × 480 ドット、800 × 600 ドット、1024 × 768 ドットのいずれかの画面解像度で、High Color (16ビット) または True Color (32ビット) のカラー表示可能。
- ・CD-R が読み込み可能な CD-ROM ドライブまたは CD-R ドライブが必須。音声再生機能を利用するとき、PCM 音源が必要。

プレゼント用のアルバムを作成する (CD-R モデルのみ)

- ① 「アルバム工房 Light」を起動する。
(「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「アルバム工房 Light」または「スタート」→「プログラム」→「アルバム工房 Light」→「アルバム工房 Light」)
「アルバム工房 Light」の初期画面が表示されます。



- ② 「アルバムを作ろう」をクリック。
次の画面が表示されます。



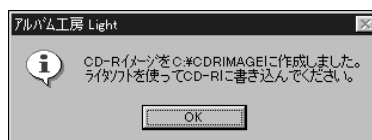
- ③ プレゼントしたいアルバムをクリックして、「アルバムをプレゼントする」をクリック。
「アルバムをプレゼントする」ウィンドウが表示されます。



- ④ ドライブを選んで、「CD-Rイメージ」のチェックボックスをチェックして、「決定」をクリック。
選んだドライブに「\CDRIMAGE」というフォルダが作成され、そのフォルダの中にプレゼントのデータの作成が始まります。



作成が終了すると、次のメッセージが表示されます



- ⑤ 「Easy-CD 95」を使って「C:\CDRIMAGE」のフォルダを CD-R に書き込む。

📖 参照

- ・Easy-CD 95 → PART5 「CD-ROM などの取り扱い」

✓チェック!!

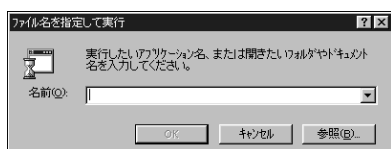
複数のアルバムを1枚のCD-Rでプレゼントする場合は、CD-Rに書き込む前に、別のアルバムを選んで、手順③、④を繰り返してください。

- ⑥ CD-R への書き込みが終了したら、
「C:\CDRIMAGE」のデータをすべて削除する。

プレゼントされたアルバムを見る

CD-R 媒体でプレゼントされたアルバムを見る方法は次の通りです。

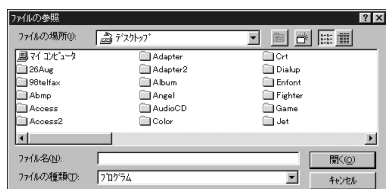
- ① CD-R を CD-R ドライブまたは CD-ROM ドライブにセットする。
- ② 「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリック。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます



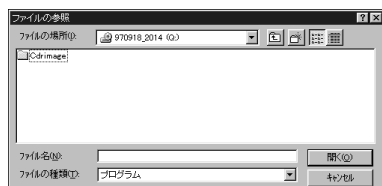
✓チェック!!

この説明では、CD-R ドライブまたは CD-ROM ドライブを「Q」ドライブとしています。使用している装置のドライブ名に読み替えてください。

- ③ 「参照」をクリック。
「ファイルの参照」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「ファイルの場所」から CD-R ドライブまたは CD-ROM ドライブをクリック。
CD-R 内のファイル一覧が表示されます。



✓チェック!!

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウに直接「Q:\CDRIMAGE\ALBMFACT\ALBMINST.EXE」と入力して「OK」をクリックすると、「アルバム工房 Light」が自動的に起動され、アルバムを見ることができます。したがってこの場合は、これ以降の操作は不要です。



- ⑤ 「CDRIMAGE」フォルダ→「ALBMFACT」フォルダとたどり、「ALBMINST」アイコンをダブルクリック。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウに戻ります。



- ⑥ 「OK」をクリック。
「アルバム工房」が自動的に起動され、アルバムを見ることができます。

✓チェック!!

プレゼント用の CD-R 媒体には、「プレゼントされたアルバムの見方」が「Readme.txt」ファイルに記載されています。「Readme.txt」ファイルは「CDRIMAGE」フォルダの下の「ALBMFACT」フォルダの中にあります。

アルバム工房Lightを使用するときの注意

「アルバム工房 Light」を使用する場合は、表示色を「High Color」または「True Color」に設定しておく必要があります。購入時には「800 × 600 High Color (16 ビット)」に設定されていますのでそのまま使用できます。

参照

・表示色の変更→PART5「ディスプレイ」

電話番号の検索 〈Angel Line for Windows〉

パソコンで電話番号検索サービスを受けることができます。

「Angel Line for Windows」を使用する前に、本機と電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。



参照

- 電話回線との接続→『STEP 1 接続と準備』
PART 2 電話回線に接続する

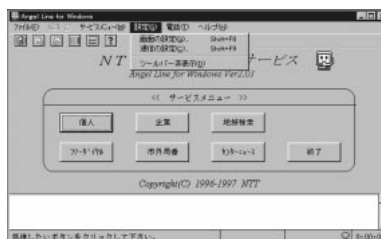
通信設定

初めて「Angel Line for Windows」を使う場合は、通信の設定を行います。

- ① 「ランチ -NX」→「ユーティリティ」→「Angel Line (電話案内)」または「スタート」→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」→「Angel Line Ver2.03」をクリック。
「Angel Line for Windows」ウィンドウが表示されます。



- ② 「設定」をクリック。
「設定」のメニューが表示されます。



- ③ 「通信の設定」をクリック。
「通信システム設定」ウィンドウが表示されます。

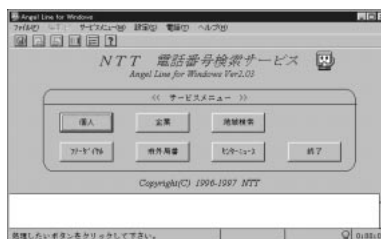


- ④ 必要な設定を行う。
特に、「回線種別」「内線発信」などの設定に注意してください。他の設定も必要に応じて行います。
- ⑤ 設定が終了したら、「OK」をクリック。
「Angel Line for Windows」ウィンドウに戻ります。

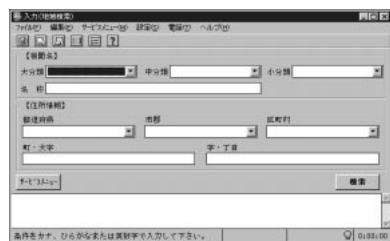
電話番号検索サービスを利用する

例として、東京都港区芝にある郵便局の電話番号を調べてみます。さらに、検索結果の中から、必要な電話番号はコメントを付けて保存しておきましょう。

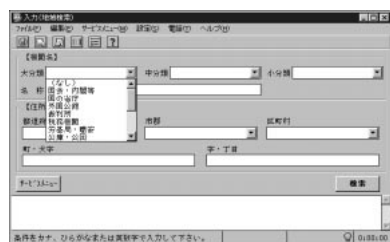
- ① 「ランチ -NX」→「ユーティリティ」→「Angel Line (電話案内)」または「スタート」→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」→「Angel Line Ver2.03」をクリック。
「Angel Line for Windows」ウィンドウが表示されます。



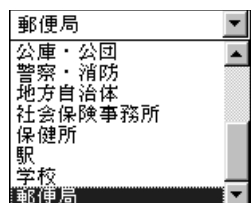
- ② 「地域検索」をクリック。
「入力(地域検索)」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「機関名」欄の「大分類」の▼をクリック。
「機関名」の一覧メニューが表示されます。



- ④ 「郵便局」を選んでクリック。



- ⑤ 「都道府県」欄に「トウキョウト」、「市郡」欄に「ニイサンク」、「区町村」欄に「ミナトク」、「町・大字」欄に「シバ」と入力。



漢字は使えません。文字はひらがな、カタカナ、英数字のいずれかを使用してください。

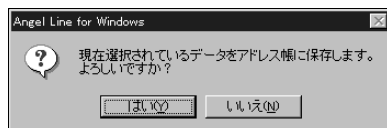
- ⑥ 「検索」をクリック。
NTTのセンターに電話をかけて検索を行い、検索結果を表示します。



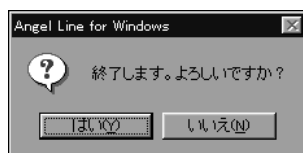
- ⑦ 保存しておきたい郵便局を選ぶ。
選んだ郵便局が反転表示になります。
(例「芝公園郵便局」を選ぶ)



- ⑧ 「保存」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ⑨ 「はい」をクリック。
⑩ メニューバーの「ファイル」をクリック。
⑪ 「終了」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



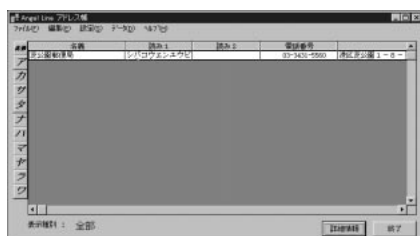
- ⑫ 「はい」をクリック。
「Angel Line for Windows」が終了します。

✓ **チェック!**
「Windows の終了」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

「Angel Line アドレス帳」の利用

- ① 「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Angel Line (アドレス帳)」または「スタート」→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」→「アドレス帳」をクリック。

「Angel Line アドレス帳」ウィンドウが表示されます。



- ② 詳細を見たい行をクリックしてから「詳細情報」をクリック。

「詳細情報」ウィンドウが表示されます。

ここでは、コメントなどを入力できます。

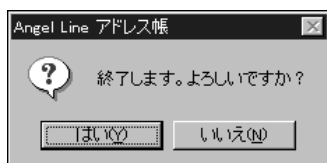


- ③ 詳細情報を確認したら、「取消」をクリック。
「Angel Line アドレス帳」ウィンドウに戻ります。



「詳細情報」の内容を変更したときは、「更新」をクリックし、その後の画面の指示に従ってください。

- ④ 「終了」をクリック
次のメッセージが表示されます。



- ⑤ 「はい」をクリック。
「Angel Line アドレス帳」が終了します。

デジタルブック の再生 〈デジタルブック ビューワ〉

デジタルブックはフロッピーディスクで市販されています。これを、本機のハードディスクに登録することで、デジタルブックを読むことができます。

概要

デジタルブックとは、3.5インチのフロッピーディスクに、本1冊分の情報が書き込まれたデジタルブックプレーヤー用の電子書籍です。購入したデジタルブックは、フロッピーディスクから本機のハードディスクにジャンル別に登録してから「デジタルブックビューワ」で、デジタルブックを読むことができます。フロッピーディスクから直接作品を見ることはできません。作品は必ず、登録してから見てください。

「デジタルブック作品選択」ウィンドウ

デジタルブックの登録、読書、削除などは、「デジタルブック作品選択」ウィンドウで行います。「デジタルブック作品選択」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「デジタルブックビューワ」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「デジタルブックビューワ」をクリック。

「デジタルブック作品選択」ウィンドウが表示されます。

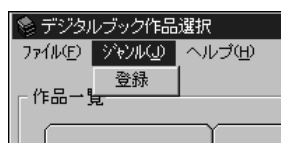


ジャンルの登録

デジタルブックにはいろいろな種類があります。後で探しやすいするためにも、分類して整理しておくといでしょう。本機には、あらかじめ「文学・小説」「学習・辞書」「家庭・一般」「趣味・娯楽」「囲碁・将棋」のジャンルを作成してあります。これ以外の必要なジャンルは次のようにして作成します。例として「科学・技術」というジャンルを作成してみます。

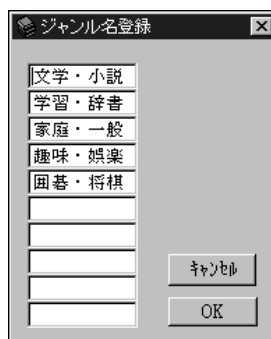
- ① 「デジタルブック作品選択」ウィンドウのメニューバーで「ジャンル」をクリック。

「ジャンル」のプルダウンメニューが表示されます。

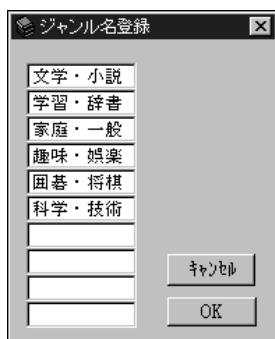


- ② 「登録」をクリック。

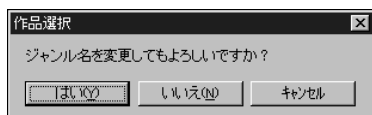
「ジャンル名登録」ウィンドウが表示されます。



- ③ 空いている欄に「科学・技術」と入力する。



- ④ 「OK」をクリック。
次のような確認のウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「はい」をクリック。
「デジタルブック作品選択」ウィンドウに「科学・技術」のジャンルが追加されます。



デジタルブック作品の登録

ここでは、フロッピーディスクのデジタルブック作品を、「科学・技術」のジャンルに登録する例で説明します。

- ① デジタルブックのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする。
- ② FD ドライブを指定。
「デジタルブック作品選択」ウィンドウの下部にある▼をクリックして、ドライブ一覧メニューを表示して選びます。



- ③ 「読み出し」をクリック。
デジタルブックの作品名が表示されます。
- ④ 「デジタルブック作品選択」ウィンドウで「科学・技術」をクリック。



- ⑤ デジタルブック作品を「科学・技術」の欄へドラッグ＆ドロップ。
これでデジタルブック作品が「科学・技術」のジャンルに登録されます。

デジタル作品の読み方

本機には、あらかじめ「坊っちゃん」と「日本棋院の囲碁入門」の2つの作品が登録されています。「坊っちゃん」は「文学・小説」のジャンルに、「日本棋院の囲碁入門」は「囲碁・将棋」に登録されています。

「坊っちゃん」を読む

- ① 「デジタルブック作品選択」ウィンドウで「文学・小説」をクリック。
「文学・小説」のジャンルに登録された作品名が表示されます。



- ② 「坊っちゃん」をダブルクリック。
作品の表紙が表示されます。
2回目からは、前回に読書を終了したときのページが表示されます。



- ③ 「前頁」「次頁」「目次」などをクリックして読む。
- ④ 終了するときは、をクリック。

「日本棋院の囲碁入門」を読む

- ① 「デジタルブック作品選択」ウィンドウで「囲碁・将棋」をクリック。
「囲碁・将棋」のジャンルに登録された作品名が表示されます。



- ② 「日本棋院の囲碁入門」をダブルクリック。
作品の表紙が表示されます。
2回目からは、前回に読書を終了したときのページが表示されます。



- ③ 「前頁」「次頁」「目次」などをクリックして読む。
- ④ 終了するときは、をクリック。

音声での読み上げ

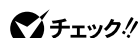
テキストリーダを使用して、デジタルブックの内容を音声で読み上げることができます。



・テキストリーダ→PART1「テキストリーダの使用」

作品の削除

もう読まない作品や必要のない作品などは、その作品のボタンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップすることで削除できます。



「坊っちゃん」と「日本棋院の囲碁入門」は、ハードディスクに登録されているため、削除すると読めなくなります。削除した場合、もう一度読むためには、デジタルブックビューワを削除して、再追加します。



・デジタルブックビューワの削除と追加→PART4「アプリケーションの削除と追加」

ランチ-NX の設定

「ランチ-NX」では登録されているグループやアプリケーション起動ボタン、その他の編集ができます。自分で使いやすいように「ランチ-NX」を設定してください。



参照

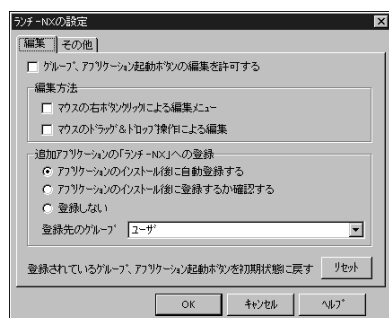
- ・「ランチ-NX」の使い方→『STEP2 入門』PART7
「ランチ-NX は、ソフトの発射台」

「ランチ-NX の設定」ウィンドウ

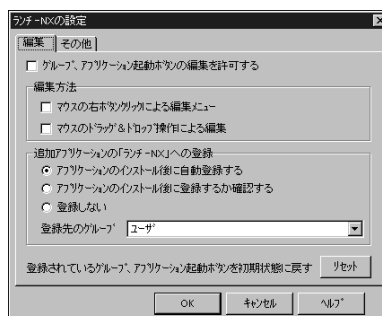
「ランチ-NX」に関する設定や編集は、「ランチ-NX の設定」ウィンドウで行います。「ランチ-NX の設定」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

- ① 「ランチ-NX」が起動している場合は、 (設定ボタン) をクリック。
(起動していない場合は、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「ランチ-NX」をクリックし、「ランチ-NX」起動後に  をクリック)

「ランチ-NX の設定」ウィンドウが表示されます。



「編集」タブでの設定



- グループボタン、アプリケーション起動ボタンの編集ができるようにする

「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつけると、グループやアプリケーション起動ボタンの追加 / 削除、名前や順序の変更などができるようになります。

✓チェック!!

- ・購入時の状態ではチェックボックスにチェックがついていないため、グループやアプリケーション起動ボタンの編集はできません。
- ・「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスをチェックすると、連動して「その他」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスもチェックされます。

- マウスでの編集方法を選ぶ

- ① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集方法」で、次の 2 つのどちらかを選ぶ。
2 つとも選ぶこともできます。

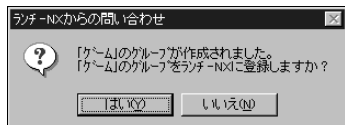
- ・マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー
マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューからグループボタンやアプリケーション起動ボタンを編集できるようになります。
- ・マウスのドラッグ & ドロップ操作による編集
マウスのドラッグ & ドロップ操作でグループボタンやアプリケーション起動ボタンを編集できるようになります。
- ③ 「OK」をクリック。

- 追加したアプリケーションのランチ-NX への登録
アプリケーションをインストールしたときに、「スタート」メニューの「プログラム」に登録されたアプリケーションのグループを自動的に登録するかどうかを設定します。設定方法は次の通りです。

- ① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「追加アプリケーションのランチ-NX への登録」で次の3つから1つを選ぶ。

- ・アプリケーションのインストール後に自動登録する
「アプリケーションのインストール後に自動登録する」を選ぶと、アプリケーションをインストールしたとき、「スタート」メニューの「プログラム」に新しいフォルダが追加されると、そのフォルダが「ランチ-NX」に自動的に登録されます。

- ・アプリケーションのインストール後に登録するか確認する
「アプリケーションのインストール後に登録するか確認する」を選ぶと、アプリケーションをインストールしたとき、「スタート」メニューの「プログラム」に新しいフォルダが追加されると、ランチ-NX に登録するかどうかを確認するウィンドウが表示されます。



追加されたグループとアプリケーションをランチ-NX に登録する場合は「はい」を、登録しない場合は「いいえ」をクリックします。

- ・登録しない
「登録しない」を選ぶと、アプリケーションがインストールされてもランチ-NX には登録されません。

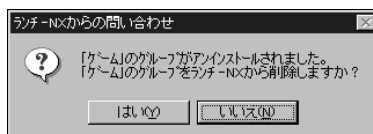
- ③ 「登録先のグループ」を選ぶ。
購入時の状態では「ユーザ」グループに設定されています。
- ④ 「OK」をクリック。

✓ チェック!!

- ・インストールするアプリケーションが「スタート」メニューの「プログラム」にフォルダを作成しない場合は、「ランチ-NX」への自動登録は行いません。
- ・「ランチ-NX」が起動していないときにアプリケーションのインストールをした場合は、「ランチ-NX」への自動登録は行いません。

「追加アプリケーションのランチ-NX への自動登録」を行うときは、「ランチ-NX」の起動中にアプリケーションのインストールを行ってください。

- ・インストールしたアプリケーションが作成したグループ名が、すでに存在する場合は、「ランチ-NX」への自動登録は行いません。
- ・「登録先のグループ」に登録したアプリケーションのアンインストールにより、「スタート」メニューの「プログラム」のフォルダが削除されると、そのアプリケーションのグループを「ランチ-NX」からも削除するかどうかのウィンドウが表示されます。



アプリケーションのグループを「ランチ-NX」から削除する場合は「はい」を、削除しない場合は「いいえ」をクリックします。

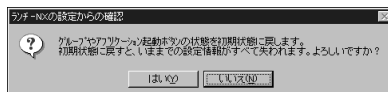
なお、購入時に登録されているアプリケーションをアンインストールしても、そのグループおよびアプリケーション起動ボタンは削除されません。

- ・登録先のグループを削除すると、自動登録を行わない設定になります。
例えば、購入時の状態で、「ユーザ」グループを削除すると、「ランチ-NX」への自動登録は行われません。

「追加アプリケーションのランチ-NX への自動登録」を行う場合は「登録先のグループ」をもう一度選んでください。

- 登録されているグループ、アプリケーション起動ボタンを購入時の状態に戻す

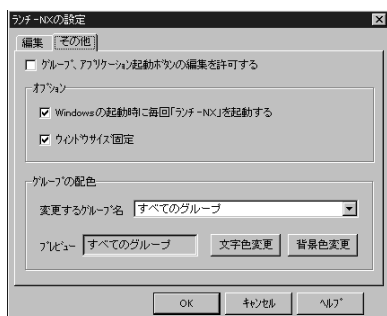
- ① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「リセット」をクリック。
次の画面が表示されます。



- ③ 「はい」をクリック。
購入時の状態に戻ります。
購入時の状態に戻さない場合は「いいえ」をクリックします。

✓チェック!!

購入時の状態に戻すと、グループやアプリケーション起動ボタンの配置や変更など、設定した情報はすべて失われます。

「その他」タブでの設定■ **グループ、アプリケーション起動ボタンの編集ができるようにする**

「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつけると、グループやアプリケーション起動ボタンの編集ができるようになります。

✓チェック!!

・購入時の状態ではチェックボックスにチェックがついていないため、グループやアプリケーション起動ボタンの編集はできません。

・「その他」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつけると、連動して「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスもチェックされます。

■ **Windows の起動時に毎回ランチ-NX を起動する**

- ① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「オプション」の「Windows の起動時に毎回ランチ-NX を起動する」のチェックボックスにチェックをつける。
購入時の状態ではチェックされています。
- ③ 「OK」をクリック。
これで Windows の起動時に毎回「ランチ-NX」が起動します。

✓チェック!!

「オプション」の「Windows 起動時に毎回ランチ-NX を起動する」に付けられているチェックマークをはずすと、次の Windows 起動時には「ランチ-NX」は起動されません。もう一度、Windows の起動時に毎回、「ランチ-NX」を起動する場合は、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」から「ランチ-NX」を起動し、をクリックして、設定を変更してください。

■ **「ランチ-NX」ウィンドウのサイズを変更する**

「オプション」の「ウィンドウサイズ固定」のチェックボックスにチェックをつけると、ランチ-NXのウィンドウサイズが固定されます。チェックをはずすとウィンドウサイズを変更できます。購入時の状態ではチェックされており、アプリケーション起動ボタンエリアは縦3個×横4個の起動ボタンが表示される大きさになっています。

ウィンドウサイズを変更する手順は次の通りです。

- ① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「ウィンドウサイズ固定」のチェックボックスのチェックをはずす。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウの大きさを他のウィンドウと同じようにドラッグして変更する。

✓チェック!!

・ウィンドウサイズを変更した場合、横幅に関して大きさを変えることができるのはアプリケーション起動ボタンエリアだけです。

・ウィンドウの最小サイズは、アプリケーション起動ボタンエリア内の起動ボタンが縦3個×横3個表示される大きさです。

・最大サイズは、解像度によって異なります。

■ **グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色を変更する**

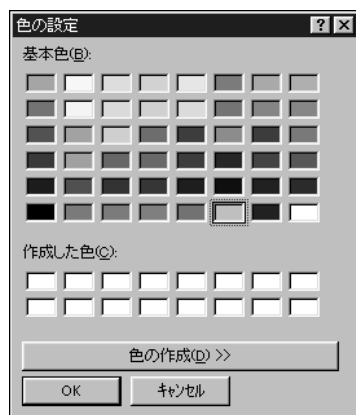
グループエリアのグループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色を設定できます。すべてのグループまたはグループ単位で設定ができます。

設定方法は次の通りです。

- ① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「グループの配色」の「変更するグループ名」の▼をクリックして、背景色を変更するグループを選ぶ。

③ 「グループの配色」の「背景色変更」をクリック。



④ 背景色を指定する。

⑤ 「OK」をクリック。
「色の設定」ウィンドウが閉じます。

⑥ 「ランチ-NXの設定」ウィンドウの「OK」をクリック。
グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色が指定した色に変更されます。

✓チェック!!

- ・グループ単位で設定した場合、設定したグループおよびそのサブグループの背景色は変更されます。
- ・すべてのグループを設定した場合、全グループの背景色が変更されます。
- ・新規登録したグループの背景色は、「すべてのグループ」で指定した色になります。
- ・グループボタンの文字色は、「文字色変更」ボタンにより同じように変更できます。
- ・グループの配色は、「マウスの右ボタンのクリックによる編集メニュー」でもできます。(→この項の「グループを編集する」)

グループを編集する

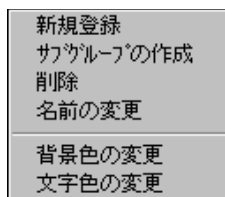
グループを新規登録する

① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで任意のグループを右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑤ 「新規登録」をクリック。
「グループの追加」ウィンドウが表示されます。



⑥ 新規登録するグループ名を入力する。
(例 趣味)

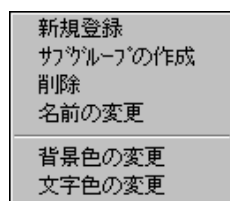


⑦ 「OK」をクリック。
これで「趣味」グループが新規登録されます。

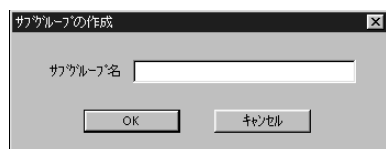
サブグループを作成する

ここでは、例として「趣味」グループの下に「音楽」サブグループを作成します。

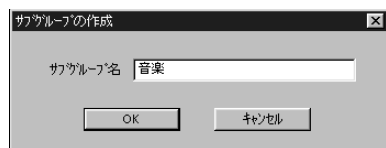
- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウでサブグループを作成したいグループボタン、またはサブグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。
(例 「趣味」グループ)



- ⑤ 「サブグループの作成」をクリック。
「サブグループの作成」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 作成するサブグループ名を入力する。
(例 音楽)



- ⑦ 「OK」をクリック。
これで「趣味」グループの下に「音楽」サブグループが作成されます。

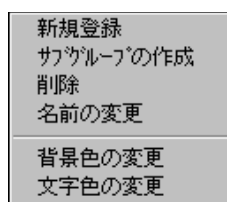
✓チェック!!

サブグループボタンを作成したグループボタンの横の「▽」をクリックするとサブグループが表示されなくなります。もう一度クリックすると、表示されるようになります。

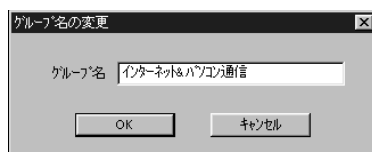
グループ、サブグループの名前を変更する

ここでは、例として「インターネット&パソコン通信」グループを「インターネット」グループに名前を変更します。

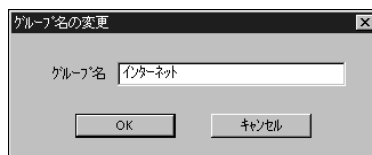
- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで名前を変更したいグループボタン、またはサブグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。
(例 「インターネット & パソコン通信」グループ)



- ⑤ 「名前の変更」をクリック。
「グループ名の変更」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 変更したいグループ名を入力する。
(例 インターネット)



- ⑦ 「OK」をクリック。
これで「インターネット & パソコン通信」は、「インターネット」に名前が変更されます。

グループの順序を変更する

ここでは、例として「マルチメディア」グループを「メインメニュー」グループの前に移動します。

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序変更したいグループボタン（例「マルチメディア」グループボタン）をドラッグ&ドロップで、移動させたい位置にあるグループボタン（例「メインメニュー」グループ）まで移動する。
これで「マルチメディア」グループは、「メインメニュー」グループの前に移動します。



チェック!!

【Ctrl】を押しながらドラッグ&ドロップした場合、ドロップしたグループのサブグループとして移動します。

グループ、サブグループを削除する



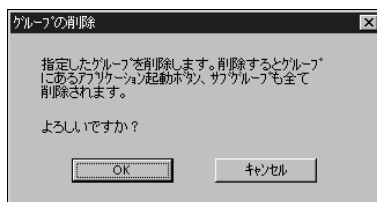
チェック!!

グループを削除すると、同時にそのグループとそのサブグループ内にあるすべてのアプリケーション起動ボタンが削除されます（起動ボタンが削除されるだけで、アプリケーション自体は削除されません）。

■ マウスのドラッグ & ドロップ操作で削除する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。

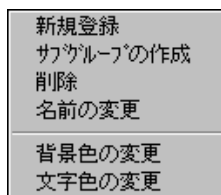
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいグループボタンをドラッグ&ドロップでデスクトップ画面の「ごみ箱」アイコンまで移動する。
「グループの削除」ウィンドウが表示されます。



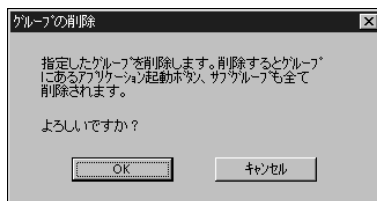
- ⑤ 「OK」をクリック。
これでグループ、およびグループ内にあるすべてのアプリケーション起動ボタンが削除されます。

■ マウスの右ボタン操作で削除する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。



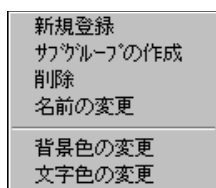
- ⑤ 「削除」をクリック。
「グループの削除ウィンドウ」が表示されます。



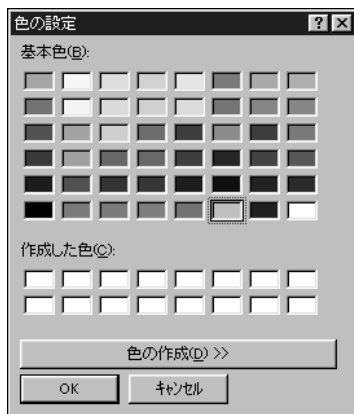
- ⑥ 「OK」をクリック。
これでグループ、およびグループ内にあるすべてのアプリケーション起動ボタンが削除されます。

グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色を変更する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示する。
- ② 「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」にチェックマークをつける。
- ③ 「編集」タブの「編集方法」で「マウスの右クリックによる編集メニュー」にチェックマークをつける
- ④ 「OK」をクリック。
- ⑤ 「ランチ-NX」ウィンドウで背景色を変更するグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「背景色の変更」を右クリック。



- ⑦ 「背景色」を指定する。
- ⑧ 「OK」をクリック。
これで、グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色が指定された色になります。



チェック!!

グループボタンの文字色は、「文字色の変更」により同じようにできます。

グループボタンを編集するときの注意

- ・マウスカーソルがになる場所へは、ドラッグ＆ドロップはできません。
- ・グループ表示エリアのグループボタン以外で、マウスの右ボタンをクリックした場合は、「新規登録」のみが編集できます。
- ・グループの名前には、次の文字は使用しないでください。
「\」 「/」 「;」 「,」 「:」 「*」 「?」 「"」 「<」 「>」 「|」

アプリケーション起動ボタンを編集する

アプリケーション起動ボタンを新規登録する

ここでは、例として「エクスプローラ」起動ボタンを「メインメニュー」グループに新規登録します。

■ マウスのドラッグ＆ドロップ操作で新規登録する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ＆ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ エクスプローラを起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)
- ⑤ エクスプローラ上で、「ランチ-NX」に登録したいアプリケーションの起動アイコン (例 C:\Windows\スタートメニュー\プログラム\エクスプローラのアイコン) をドラッグ＆ドロップで、新規登録する「ランチ-NX」ウィンドウのグループボタン (例「メインメニュー」グループ) に移動する。
これで「エクスプローラ」起動ボタンが「メインメニュー」グループの最後尾に新規登録されます。

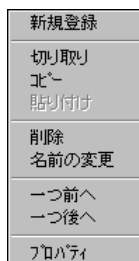


チェック!!

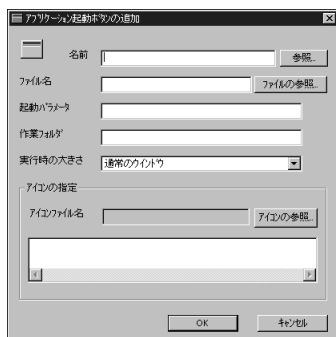
CD-ROM または CD-ROM のアプリケーションを登録した場合、CD-ROM を取り出すと、アイコンがまたはに変わることがあります。

■ マウスの右ボタン操作で新規登録する

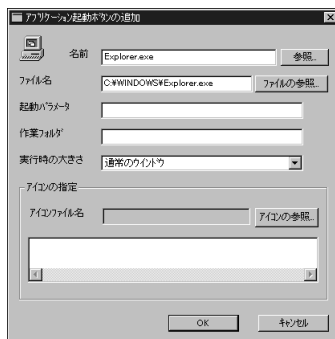
- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで、アプリケーション起動ボタンを新規登録したいグループボタン(例「メインメニュー」グループボタン)をクリック。
- ⑤ 新規登録したいグループ(例「メインメニュー」グループ)の任意のアプリケーション起動ボタン以外のアプリケーション起動ボタンエリアを右クリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「新規登録」をクリック。



- ⑦ 新規登録するアプリケーション起動ボタンの名前を「参照」をクリックして表示されるウィンドウから選ぶ。
(例 エクスプローラ)
連動して「ファイル名」も選ばれます。

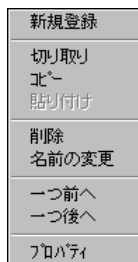


- ⑧ 必要であれば、その他の項目を指定する。
- ⑨ 「OK」をクリック。
これで「エクスプローラ」起動ボタンが「メインメニュー」グループの最後尾に新規登録されます。

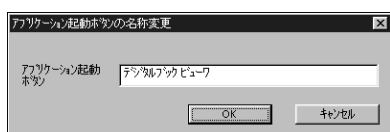
■ アプリケーション起動ボタンの名前を変更する

ここでは、例として「マルチメディア」グループの「デジタルブック ビューワ」を「電子ブック」に名前を変更します。

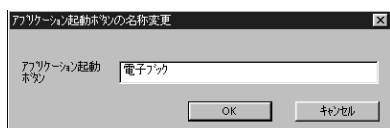
- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで名前を変更したいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン(例「マルチメディア」グループ)をクリック。
- ⑤ 名前を変更するアプリケーション起動ボタン(例「デジタルブック ビューワ」)を右クリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「名前の変更」をクリック。
「アプリケーション起動ボタンの名称変更」ウィンドウが表示されます。



- ⑦ 変更したいアプリケーション起動ボタン名を入力する。
(例 電子ブック)



- ⑧ 「OK」をクリック。
これで「デジタルブック ビューワ」は、「電子ブック」に名前が変更されます。

アプリケーション起動ボタンを移動する

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を「メインメニュー」グループに移動します。

■ マウスのドラッグ & ドロップ操作で移動する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ & ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで移動したいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン(「ユーティリティ」グループ)をクリック。
- ⑤ アプリケーション起動ボタン(例「ペイント」)をドラッグ & ドロップで移動したいグループボタン(例「メインメニュー」グループ)まで移動する。
これで「ユーティリティ」グループの「ペイント」が「メインメニュー」グループの最後尾に移動します。

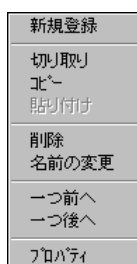
■ マウスの右ボタン操作で移動する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

- ③ 「OK」をクリック。

- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで移動したいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン(例「ユーティリティ」グループ)をクリック。

- ⑤ アプリケーション起動ボタン(例「ペイント」)を右クリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「切り取り」をクリック。
「ペイント」起動ボタンが「ユーティリティ」グループから切り取られ、クリップボードにコピーされます。
- ⑦ 移動させたいグループ(例「メインメニュー」)をクリック。
- ⑧ 移動させたいグループ(例「メインメニュー」)のアプリケーション起動ボタンエリアを右クリック。
- ⑨ 「貼り付け」をクリック。
これで「ユーティリティ」グループの「ペイント」が「メインメニュー」グループに移動します。

アプリケーション起動ボタンをコピーする

■ マウスの右ボタン操作でコピーする

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウでコピーしたいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン(例「ユーティリティ」グループ)をクリック。

- ⑤ アプリケーション起動ボタン(例「ペイント」)を右クリック。
次のメニューが表示されます。

新規登録
切り取り コピー 貼り付け
削除 名前の変更
一つ前へ 一つ後へ
フロッピー

- ⑥ 「コピー」をクリック。
「ペイント」起動ボタンがクリップボードにコピーされます。
- ⑦ コピーしたいグループ(例「メインメニュー」)をクリック。
- ⑧ コピーしたいグループ(例「メインメニュー」グループ)のアプリケーション起動ボタンエリアを右クリック。
- ⑨ 「貼り付け」をクリック。
これで「ユーティリティ」グループの「ペイント」が「メインメニュー」グループにコピーされます。

アプリケーション起動ボタン、サブグループボタンの順序を変更する

■ 2つ以上、前 / 後ろへ移動する場合

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を「Timer-NX (スケジューラ)」の位置に移動します。

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン(例「ユーティリティ」グループ)をクリック。

- ⑤ 順序を変更したいアプリケーション起動ボタン(例「ペイント」)を、ドラッグ&ドロップで移動したいアプリケーション起動ボタン(例「Timer-NX (スケジューラ)」)まで移動する。
これで「ペイント」が「Timer-NX (スケジューラ)」の位置に移動されます。

■ 1つ前 / 後ろへ移動する場合

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を「電卓」の後ろに移動します。

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン(例「ユーティリティ」グループ)をクリック。
- ⑤ 順序を変更したいアプリケーション起動ボタン(例「ペイント」)を右クリック。

新規登録
切り取り コピー 貼り付け
削除 名前の変更
一つ前へ 一つ後へ
フロッピー

- ⑥ 「一つ後へ」をクリック。
これで「ペイント」が「電卓」の後ろに移動されます。

アプリケーション起動ボタンを削除する

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を削除します。

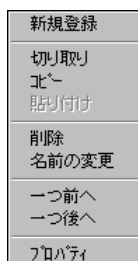
■ マウスのドラッグ & ドロップ操作で削除する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。

- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン（例「ユーティリティ」グループ）をクリック。
- ⑤ 「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタン（例「ペイント」）をドラッグ&ドロップでデスクトップ画面の「ごみ箱」アイコンまで移動する。
これで「ペイント」起動ボタンが削除されます。

■ マウスの右ボタン操作で削除する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。
- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン（例「ユーティリティ」グループ）をクリック。
- ⑤ 「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタン（例「ペイント」）を右クリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「削除」をクリック。

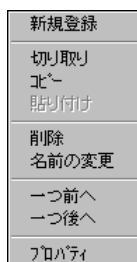


- ⑦ 「はい」をクリック。
これで「ペイント」起動ボタンが削除されます。

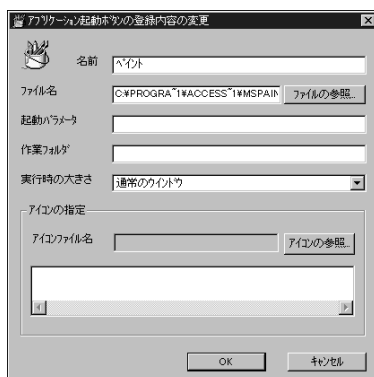
■ アプリケーション起動ボタンの登録内容を変更する

- ① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

- ② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。
- ③ 「OK」をクリック。
- ④ 「ランチ-NX」ウィンドウで登録内容を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン（例「ユーティリティ」グループ）をクリック。
- ⑤ 登録内容を変更したいアプリケーション起動ボタン（例「ペイント」）を右クリック。
次のメニューが表示されます。



- ⑥ 「プロパティ」をクリック。



- ⑦ 次の登録内容を必要に応じて変更する。

- ・名前
- ・ファイル名
- ・起動パラメータ
- ・作業フォルダ
- ・実行時の大きさ
- ・アイコンの指定

- ⑧ 「OK」をクリック。
これで登録内容が変更されます。

アプリケーション起動ボタンを編集するときの注意

- ・マウスカーソルがに変わる場所へは、ドラッグ&ドロップはできません
- ・右ボタンのメニューの項目が使用不可になっている場合は、その項目は使用できません。
- ・アプリケーション起動ボタンの名前には、次の文字は使用しないでください。
「\」 「/」 「;」 「,」 「:」 「*」 「?」 「"」 「<」 「>」 「|」

CD の自動起動 〈CD ランチ〉

「CD ランチ」は音楽 CD やビデオ CD、フォト CD、カーナビゲーション用地図 CD-ROM、DVD ディスクなどを CD-ROM ドライブや DVD-ROM ドライブにセットしたときに、対応するアプリケーション（「プレーヤ-NX」、「MapPlayer-NX」、「DVD プレーヤ」など）を自動的に起動します。

起動と終了

「CD ランチ」が起動されているときは、タスクバーにインジケータが表示されます。インジケータが表示されていないときは、次の手順で「CD ランチ」を起動してください。

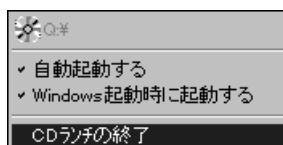
✓チェック!!

購入時の状態では、本機起動時に自動的に「CD ランチ」が起動します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」
「CD ランチ」をクリック。
タスクバーの右隅にインジケータが表示されます。

CD ランチの終了

- ① タスクバーの右隅のインジケータを右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



- ② 「CD ランチの終了」をクリック。
「CD ランチ」が終了します。

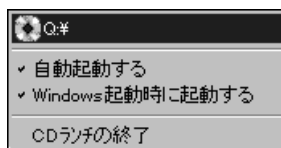
✓チェック!!

「CD ランチ」を終了すると、「プレーヤ-NX」、「MapPlayer-NX」、「DVD プレーヤ」などのアプリケーションの自動起動はされません。

アプリケーションの起動

「CD ランチ」からアプリケーションを起動するには、次の 3 通りの方法があります。（例 CD-ROM を起動する）

- ・タスクバーのインジケータを右クリックして、表示されるメニューの「自動起動する」にチェックマークがついている状態で、CD-ROM をセットする。
- ・CD-ROM がセットされているときに、タスクバーのインジケータをダブルクリックする。
- ・CD-ROM がセットされているときに、タスクバーのインジケータを右クリックして表示されるメニューから「CD-ROM ドライブ」を選ぶ。



自動起動できるアプリケーション

「CD ランチ」から自動起動できるアプリケーションは次の通りです。

- ・音楽 CD（オーディオ CD）
「プレーヤ-NX」が起動
- ・ビデオ CD（カラオケ CD）
「プレーヤ-NX」が起動
- ・フォト CD（フォト CD ポートフォリオ）
「プレーヤ-NX」が起動
- ・カーナビゲーション用地図 CD-ROM
「MapPlayer-NX」が起動
- ・DVD-VIDEO ディスク
「DVD プレーヤ」が起動（DVD-ROM モデルのみ）
- ・オートランに対応した CD-ROM
CD-ROM アプリケーションが起動
- ・その他の CD-ROM
CD-ROM のファイルの内容を表示

✓チェック!!

音楽 CD とオートランに対応した CD-ROM は、「CD ランチ」を終了した状態でもアプリケーションが起動します (ただし、「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「CD-ROM」→「設定」で「自動挿入」にチェックマークがついている場合)。

CD ランチの設定

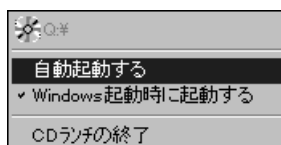
「CD ランチ」は右クリックメニューにより次の設定ができます。

自動起動

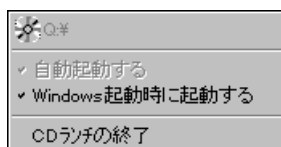
CD-ROM ドライブに CD-ROM をセットしたときに、アプリケーションを自動的に起動するかどうかを設定できます。

✓チェック!!

チェックマークをつけた場合は自動起動し、はずした場合は自動起動しません。



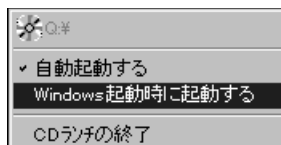
また、「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「CD-ROM」→「設定」で「自動挿入」にチェックがついていない場合は、グレー表示され、選ぶことができません。この場合は、アプリケーションを自動起動できません。



Windows 起動時に起動する

Windows 起動時に「CD ランチ」を起動するかどうかを設定できます。

次のウィンドウでチェックマークがついている場合は、Windows 起動時に「CD ランチ」が自動起動します。



英語モード フォントの使用

日本語版 Windows 95 で、英語版 Windows 95 のアプリケーションを使用するときは、文字を正しく表示するために、英語モードフォントを使用します。

概要

日本語モードフォントのままで、英語版 Windows 95 アプリケーションを本機で利用する場合、著作権「©」、登録商標「®」、「\」が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したままで、日本語版 Windows 95 のアプリケーションを本機で利用する場合、「ㇿ」「ヨ」「\」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを削除します。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	英語版 WINDOWS 95 アプリケーションを使用	日本語版 WINDOWS 95 アプリケーションを使用
日本語モード フォント	「©」→「ㇿ」「®」→「ヨ」 「\」→「\」	正しく表示される
英語モード フォント	正しく表示される	「ㇿ」→「©」「ヨ」→「®」 「\」→「\」

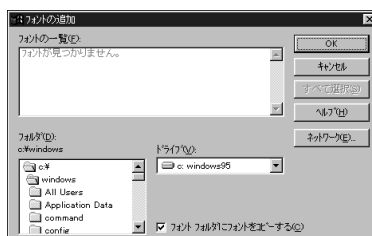
英語モードフォントを使用する

使用するフォントを日本語モードから英語モードへ切り替える操作は次の通りです。

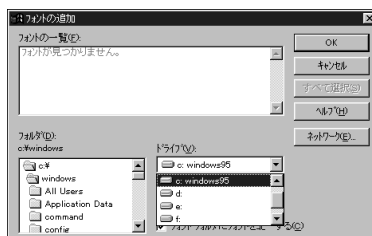
- ① CD-ROM ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットする。
- ② 「コントロールパネル」の「フォント」をダブルクリック。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「フォント」)
「FONTS」フォルダが表示されます。



- ③ 「ファイル」メニューの「新しいフォントのインストール」をクリック。
「フォントの追加」ウィンドウが表示されます。



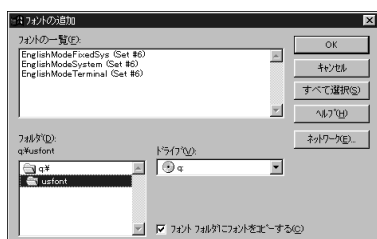
- ④ 「ドライブ」欄の▼をクリック。
ドライブ一覧のメニューが表示されます。



1

便利なアプリケーション

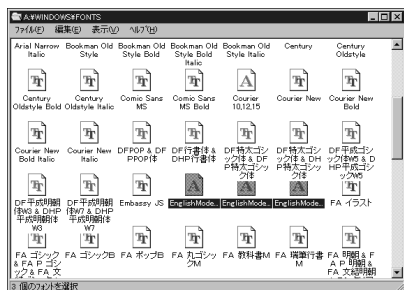
- ⑤ CD-ROM ドライブ (通常は「Q:」) を指定する。
- ⑥ 「フォルダ」で「usfont」をダブルクリック。
フォント一覧が表示されます。



- ⑦ 次のフォントが表示されることを確認する。
 - EnglishModeFixedSys (Set #6)
 - EnglishModeSystem (Set #6)
 - EnglishModeTerminal (Set #6)
- ⑧ 「すべて選択」をクリック。
3 種類のフォントが選ばれ、反転表示になります。



- ⑨ 「OK」をクリック。
「FONTS」フォルダに英語モードフォントが追加され、英語モードフォントが使用できます。



日本語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを英語モードフォントから日本語モードフォントに切り替えます。

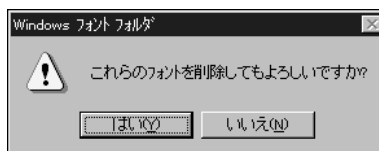
- ① 「コントロールパネル」の「フォント」をダブルクリック。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「フォント」)
「FONTS」フォルダが表示されます。



- ② 次の 3 つのフォントを選ぶ。
 - EnglishModeFixedSys (Set #6)
 - EnglishModeSystem (Set #6)
 - EnglishModeTerminal (Set #6)
- 選ばれたフォントは反転表示になります。



- ③ 「ファイル」メニューの「削除」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ④ 「はい」をクリック。
英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。

テキストリーダの使用

「テキストリーダ」は、クリップボードにコピーされた文章（テキストデータ）を、音声で読み上げます。入力した文章を、音声で読み上げて確認したい場合などに利用できます。

テキストリーダの起動

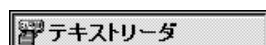
テキストリーダのセットアップ

「テキストリーダ」は本機にはあらかじめセットアップはされていません。

「テキストリーダ」を利用する場合には、「セットアップされていない機能の追加」をご覧ください。セットアップしてください。

テキストリーダの起動

- ① 「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「テキストリーダ」をクリック。
タスクバーに「テキストリーダ」アイコンが表示されます。



- ② 「テキストリーダ」をクリック。
「テキストリーダ」ウィンドウが表示されます。

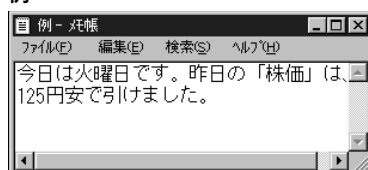


テキストリーダを使う

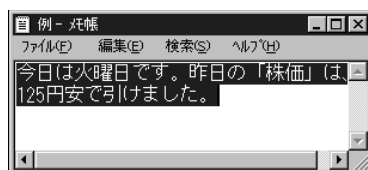
ここでは、「メモ帳」で文章を作成し、「テキストリーダ」で読み上げさせましょう。スピーカの接続や電源などを調べ、スピーカが使える状態になっていることを確認してください。また、他のアプリケーションがオーディオデバイスを使用しているときには、読み上げはできません。そのアプリケーションを終了させてください。

- ① 「メモ帳」で文章を作成する。

例



- ② 文章をマウスのドラッグで選ぶ。
文章が反転表示になります。



- ③ 「編集」メニューから「コピー」をクリック。
選んだ文章がクリップボードに送られます。
- ④ 「テキストリーダ」の [再生] をクリック。
文章が読み始められ、「テキストリーダ」ウィンドウに「読み上げ中」と表示されます。



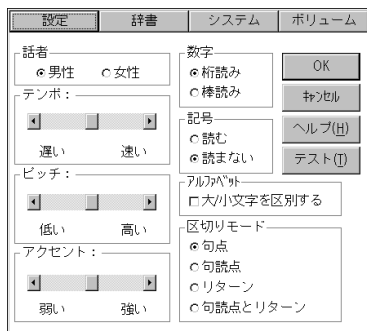
「テキストリーダ」の設定変更

「テキストリーダ」の設定を変更することにより、男性または女性の音声にしたり、読み上げのテンポ、声の高さ、抑揚の強弱などを調整できます。

① 「テキストリーダ」を起動する。



② 「オプション」をクリック。 次の設定画面が表示されます。



◎ 「設定」タブのウィンドウの各項目の説明

「話者」

男性の音声か女性の音声を選べます。
「男性」または「女性」の前の○をクリックして選びます。

「テンポ」

読み上げ速度を調整します。
[] をマウスでドラッグして左右に動かして調整します。

「ピッチ」

音声の高さを調整します。
[] をマウスでドラッグして左右に動かして調整します。

「アクセント」

抑揚の強弱を調整します。
[] をマウスでドラッグして左右に動かして調整します。

「桁読み」

数字の読み方を選べます。「123」を「ひゃくにじゅうさん」と読みのが「桁読み」、「いちにさん」と読むのが「棒読み」です。「棒読み」を設定すると、例の文章では、「125 円」を「イチニーゴエン」と読みます。「桁読み」または「棒読み」の前の○をクリックして選びます。

「記号」

記号を読むか読まないかを選びます。「読む」を設定すると、例の文章の「株価」の部分は、「ハジメカギカッコ、カブカ、オワリカギカッコ」と読みます。

「読む」または「読まない」の前の○をクリックして選びます。

「アルファベット」

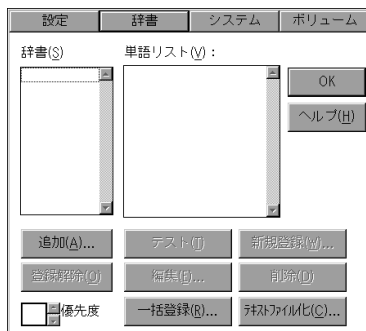
大文字 / 小文字を区別するかしないかを選びます。例えば大文字 / 小文字の区別がされていると、辞書に登録されている「hello」は「ハロー」と読み上げますが、登録されていない「HELLO」は「hello」とは区別して扱われ「エイチイーエルエルオー」と読み上げます。「大 / 小文字を区別する」にチェックをつけると大文字 / 小文字を区別します。

「区切りモード」

読み上げるときの区切りを設定します。
各項目の前の○をクリックして選びます。

◎ 「辞書」タブのウィンドウ

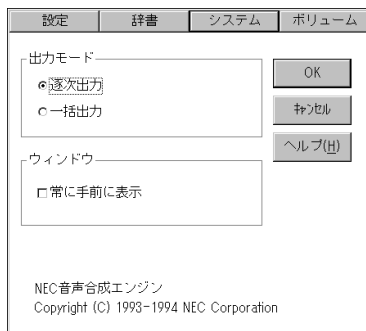
「辞書」タブをクリックすると表示されます。



システム辞書にない単語は、ユーザー辞書を作成して追加できます。ユーザー辞書は15種類まで登録可能です。複数の辞書を登録する場合は、参照する優先順位を指定できます。ユーザー辞書は、常にシステム辞書に優先して参照されます。

◎ 「システム」タブのウィンドウ

「システム」タブをクリックすると表示されます。



音声信号の合成を、短い単位で行うか、一文単位で行うかを設定します。また、「テキストリーダー」ウィンドウを常にデスクトップの一番手前に置く設定もできます。

◎「ボリューム」タブのウィンドウ

「ボリューム」タブをクリックすると「ボリュームコントロール」ウィンドウ表示されます。



参照

・ボリュームコントロール→PART5「サウンド機能」

セットアップされていない機能の追加

本機には、あらかじめ、さまざまなアプリケーションがセットされていますが、それ以外にもセットアップされていないものがいくつかあります。それらを使用するときには、セットアップが必要です。

セットアップが必要なアプリケーションや機能

本機購入時にはセットアップされていないアプリケーションや機能のセットアップ方法を説明します。

一太郎 Office8 (一太郎モデル)

■ セットアップされている機能

本機にセットアップされている一太郎Office8は「標準」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。利用できる機能については、『一太郎 Office8 セットアップ & オーバービュー』の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」の一覧をご覧ください。

「標準」以外の機能を使用したい場合は、添付の「一太郎 Office8 CD-ROM」から追加する必要があります。詳しくは、『一太郎 Office8 セットアップ & オーバービュー』の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

また「一太郎 8 バリュースパックプラス」の機能は、購入時にはセットアップされていません。使用したい場合、別途セットアップが必要です。バリュースパックプラスのセットアップ方法については、『一太郎 8 バリュースパックプラスセットアップ』をご覧ください。

■ 「JS クイックサーチファイル 自動更新」の登録

本機の購入時は、一太郎 8 の「JS クイックサーチファイル 自動更新」機能は「スタートアップ」に登録されていません。

登録したい場合は、次の手順で設定してください。

- ① 「スタート」→「JUSTSYSTEM 一太郎 Office」→「JUSTSYSTEM ツール&ユーティリティ」→「アプリケーション追加・削除」をクリック。
「一太郎 Office8 のセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。
- ② 「次へ」をクリック。
「一太郎 Office8 の追加と削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの追加・削除」がチェックされていることを確認します。
- ③ 「次へ」をクリック。
「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの追加」がチェックされていることを確認します。
- ④ 「次へ」をクリック。
「コピーするファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「一太郎」をチェックして、「詳細機能を選択」をクリック。
一太郎の詳細機能を選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「一太郎」をチェックして「OK」をクリック。
「コピーするファイルの詳細選択」ウィンドウに戻ります。
- ⑦ 「次へ」をクリック。
「一太郎 Office8 を登録するグループの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「次へ」をクリック。
「セットアップするフォルダの確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑨ 「次へ」をクリック。
「ファイルのコピー開始」ウィンドウが表示されます。
- ⑩ 「一太郎 Office8 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
- ⑪ しばらく待ってから、「コピー開始」をクリック。
「一太郎 Office8 のセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。
- ⑫ 「セットアップ終了」をクリック。
登録が完了します。

Microsoft Excel 97、Microsoft Word 97、Microsoft Outlook 97 (Word モデル)

本機にセットアップされている Microsoft Excel 97、Microsoft Word 97、Microsoft Outlook 97 は「標準セットアップ」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。一部の機能は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM からセットアップする必要があります。

また、「バリューパック」の機能は、購入時にはセットアップされていません。使用したい場合、別途セットアップが必要です。

「標準セットアップ」では使えない機能のセットアップ方法とバリューパックのセットアップ方法について、詳しくは、Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 添付の『お使いになる前に』をご覧ください。

Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic (Word モデル)

添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、セットアップを行ってから使用してください。セットアップ方法については、CD-ROM に付属のマニュアルをご覧ください。

ゲーム

次のゲームは、購入時は本機にセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、本書の「ゲームで遊ぶ」をご覧ください。

- ・バーチャファイター 2
- ・グローカル ヘキサイト
- ・ソリティア デラックス
- ・AI 将棋 Ver.1.5R

購入時に使えない機能

次のアプリケーションや機能、ゲームは、購入時には本機にセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、この項で説明します。

- ・テキストリーダ
- ・AOL
- ・NIFTY MANAGER
- ・Hover

セットアップする前に

購入時には本機にセットアップされていない機能の概要を説明します。セットアップする前に、必要なことを確認してください。

機能の概要

- ・テキストリーダ
文章(テキストデータ)を音声で読み上げてくれるソフトです。入力した文章を耳で聞いて確認したい場合などに便利です。(使い方については→PART1「テキストリーダの使用」)
- ・AOL
パソコン通信サービス「AOL」にアクセスして、AOL のさまざまなサービスを利用することができます。
- ・NIFTY MANAGER
パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」にアクセスして、NIFTY SERVE のさまざまなサービスを利用することができます。
- ・Hover
敵に自分の旗がすべてとられる前に、敵のすべての旗を集めていくゲームです。

上記の機能の中に、使いたい機能がある場合は、以降の「セットアップする」をご覧になり機能をセットアップしてください。使いたい機能がない場合、これ以降は読む必要はありません。

セットアップする

■ テキストリーダのセットアップ

「テキストリーダ」のセットアップを説明します。

- ① 本機添付の「アプリケーション CD-ROM」を用意する。
- ② 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

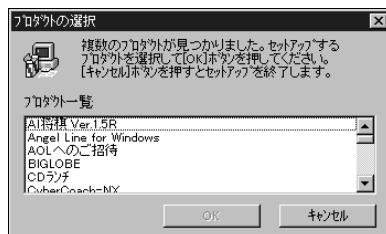


- ④ 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットして、「次へ」をクリック。
「セットアッププログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

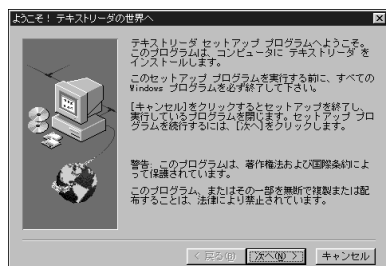


「セットアッププログラムのコマンドライン」欄が、「< CD-ROM ドライブ名>: \NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名>は通常は< Q >です。

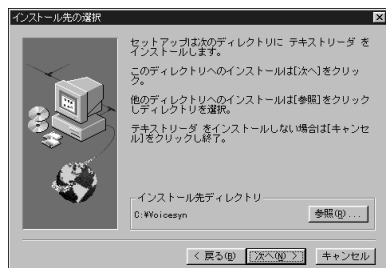
- ⑤ 確認したら、「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「テキストリーダ」をクリック。
「テキストリーダ」が反転表示になります。
- ⑦ 「OK」をクリック。
「ようこそ！ テキストリーダの世界へ」ウィンドウが表示されます。



- ⑧ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。



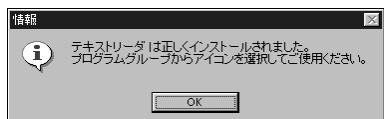
通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックします。

- ⑨ 「次へ」をクリック。
次の画面が表示されます。



通常は、あらかじめ設定されたプログラムアイコンの登録先フォルダを変更する必要はありません。プログラムアイコンの登録先フォルダを変更したいときは、「既存のフォルダ」より選ぶか、直接「プログラムフォルダ」に登録するフォルダ名を入力します。

- ⑩ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると次の画面が表示されます。



- ⑪ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

■ AOL のセットアップ

「AOL」のセットアップを説明します。

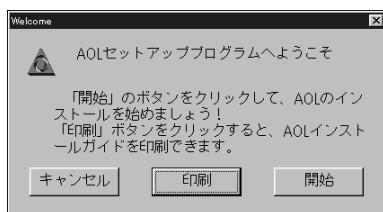
- ① 本機添付の「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
- ② 「スタート」→「プログラム」→「AOL」→「AOL へのご招待」をクリック。
AOL の紹介画面が表示されます。



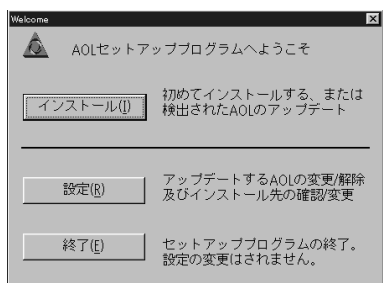
しばらくすると「次へ」ボタンが表示されますので、次々と「次へ」をクリックしていき、画面の内容を読んで操作を進めてください。「次へ」を7回クリックすると、次の画面が表示されます。



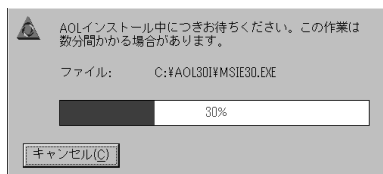
- ③ 「インストール開始」をクリック。
次の画面が表示されます。



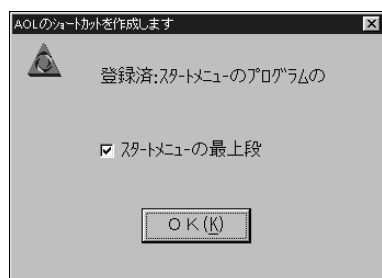
- ④ 「開始」をクリック。
次の画面が表示されます。



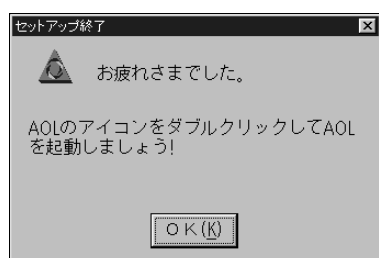
- ⑤ 「インストール」をクリック。
インストールが始まります。



途中で「AOLのショートカットを作成します」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「OK」をクリック。
「お疲れさまでした。」と表示されます。



- ⑦ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

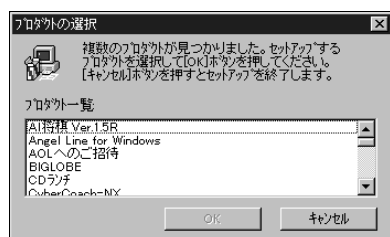


参照

・AOLの使い方→『AOLハンドブック』

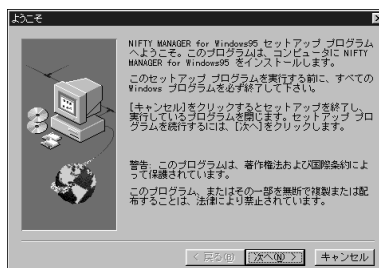
■ NIFTY MANAGER のセットアップ 「NIFTY MANAGER」のセットアップを説明します。

- ① 「テキストリーダーのセットアップ」の手順①～⑤を実行する。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

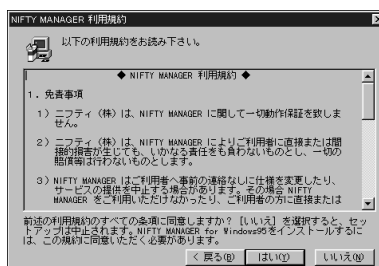


- ② 「NIFTY MANAGER for Windows95 Ver4.50」をクリック。
反転表示になります。

- ③ 「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「次へ」をクリック。
「NIFTY MANAGER 利用規約」ウィンドウが表示されます。



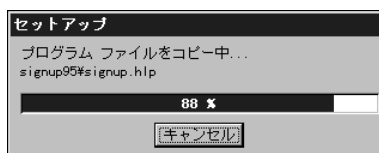
重要なことが記載されています。よくお読みください。

- ⑤ 「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。



通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックします。

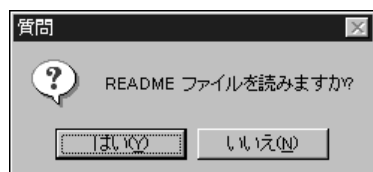
- ⑥ 「次へ」をクリック。
「質問」ウィンドウが表示されます。
- ⑦ 「いいえ」をクリック。
インストールが始まります。



「情報を引き継ぎますか?」という内容のメッセージが表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。インストールが終了すると、次のメッセージが表示されます。

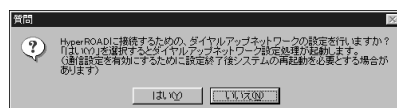


- ⑧ 「いいえ」をクリック。
「質問」ウィンドウが表示されます。



読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックします。ここで読まなくても後でゆっくり読むこともできます。

- ⑨ 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」をクリック。
次の画面が表示されます。



- ⑩ 「いいえ」をクリック。
これでインストールは完了です。

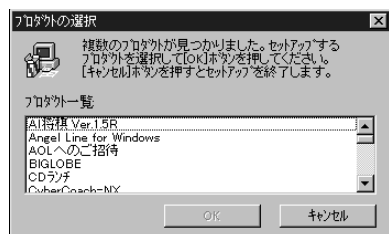
参考

・NIFTY SERVEへの入会方法→『ニフティサーブ イントロパック』

■ Hover のセットアップ

「Hover」のセットアップを説明します。

- ① 「テキストリーダのセットアップ」の手順①～⑤を実行する。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

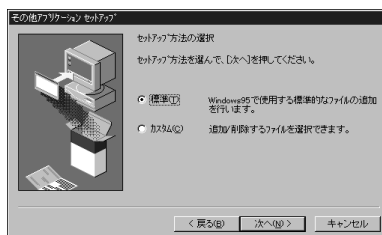


- ② 「その他のアプリケーション セットアップ」をクリック。
反転表示になります。

- ③ 「OK」をクリック。
「その他のアプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。



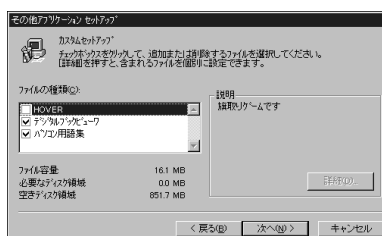
- ④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「カスタム」をクリック。
「カスタム」を選んだ状態になります。



- ⑥ 「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



- ⑦ 「HOVER」のチェックボックスをクリック(チェックボックスにチェックをつける)して、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。



しばらくすると次のウィンドウが表示されます。



- ⑧ 「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

削除する

■ テキストリーダの削除

「テキストリーダ」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

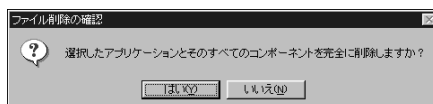
- ① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

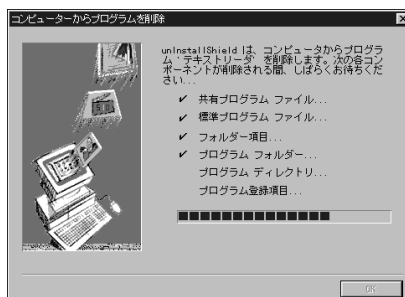


- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から、「テキストリーダ」を選んでクリック。
「テキストリーダ」が反転表示になります。

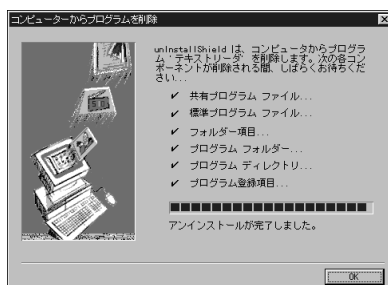
- ③ 「追加と削除」をクリック。
次の画面が表示されます。



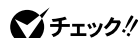
- ④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。



削除が終了すると、次の画面になります。



- ⑤ 「OK」をクリック。



「ランチ-NX からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

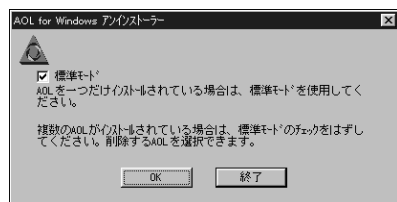
■ AOL の削除

「AOL」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

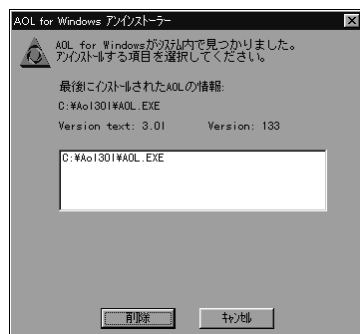
- ① 「テキストリーダの削除」の手順①を実行する。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「AOL」をクリック。
「AOL」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「AOL for Windows アンインストーラー」ウィンドウが表示されます。

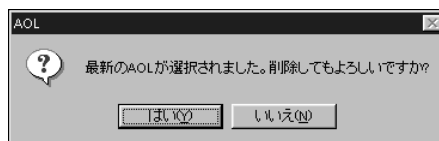


- ④ 「標準モード」のチェックマークをはずす。
- ⑤ 「OK」をクリック。
「AOL for Windows アンインストーラー」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「C:\AOL301\AOL.EXE」をクリック（反転表示）する。

- ⑦ 「削除」をクリック。
「最新のAOLが選択されました。削除してもよろしいですか？」のメッセージが表示されます。

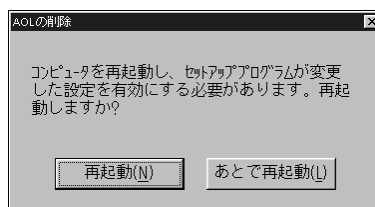


- ⑧ 「はい」をクリック。
削除が始まります。

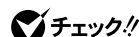
削除が終了すると、「AOLの削除は正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。



- ⑨ 「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されます。



- ⑩ 「再起動」をクリック。
Windows が再起動します。



「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

■ NIFTY MANAGER の削除

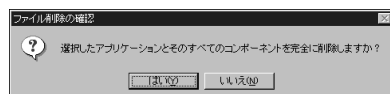
「NIFTY MANAGER」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

- ① 「テキストリーダの削除」の手順①を実行する。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

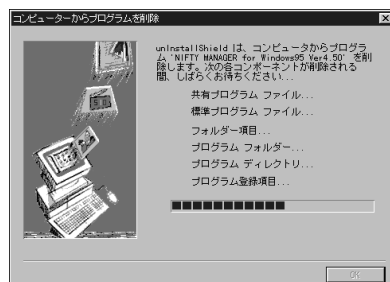


- ② 「セットアップと削除」一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver.4.50」をクリック。
反転表示になります。

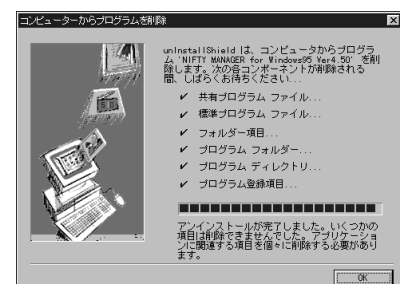
- ③ 「追加と削除」をクリック。
削除確認のメッセージが表示されます。



- ④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。



削除が終了すると、次の画面になります。



- ⑤ 「OK」をクリック。



チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

■ Hover の削除

「Hover」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

- ① 「テキストリーダの削除」の手順①を実行する。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ② 「セットアップと削除」一覧から「その他アプリケーション セットアップ」をクリック。
反転表示になります。

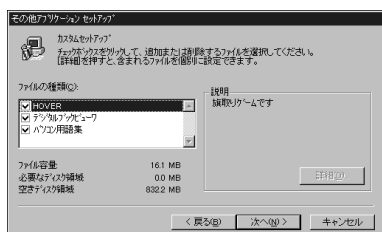
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。



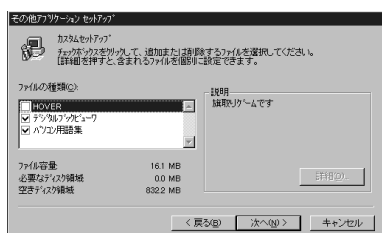
- ④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」のウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「カスタム」をクリックして、「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「Hover」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。



- ⑦ 「次へ」をクリック。
削除が始まります。
しばらくすると次のウィンドウが表示されます。



- ⑧ 「完了」をクリック。
これで削除完了です。

ゲームで遊ぶ

本機では、購入時にすでにインストールされているゲームのほかに、いくつかの本格的なゲームが用意されています。これらのゲームを楽しむには、まずセットアップする必要があります。

バーチャファイター2 (Virtua Fighter 2)

「バーチャファイター2」は対戦格闘ゲームです。キャラクターを操って、多彩な技で攻めてくる対戦相手を次々と倒してください。実際の試合さながらの攻めと守りの駆け引きが味わえます。

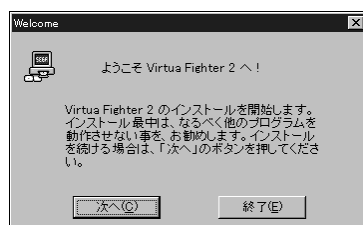
VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ には「Virtua Fighter 2 for AGP」が添付されています。「Virtua Fighter 2 for AGP」では、より美しいグラフィックでゲームを楽しむことができます。

✓チェック!!

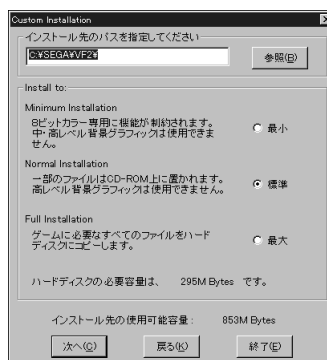
- ・VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合は、画面の表示色を 256 色または High Color (16 ビット) で使用してください。
- ・VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ の場合は、画面の表示色を High Color (16 ビット) で使用してください。

セットアップ

- ① 「バーチャファイター2」の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
次の画面になります。



- ② 「次へ」をクリック。
インストール先を指定する画面が表示されます。



◎ VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合

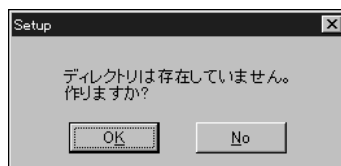
- ・最小: Minimum Installation
8 ビットカラー専用機能に機能が制限されます。
- ・標準: Normal Installation
高レベルの背景グラフィックスは使用できません。
- ・最大: Full Installation
ゲームに必要なすべてのファイルをハードディスク上にコピーします。

最小を選んだ場合は、背景グラフィックスを CD-ROM から読み込むため、ステージ間の待ち時間が多少長くなります。

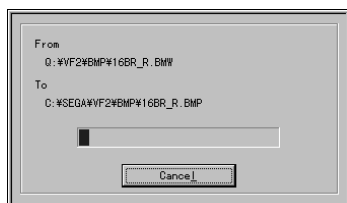
◎ VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ の場合

- ・最小
中、高レベルの背景グラフィックスは使用できません。
- ・標準
高レベルの背景グラフィックスは使用できません。
- ・最大
すべての機能を使うことができます。

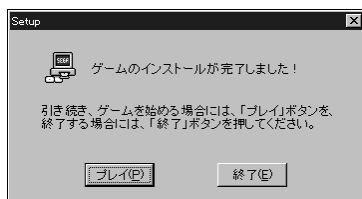
- ③ 「次へ」をクリック。
ディレクトリ作成の確認画面が表示されます。



- ④ 「OK」をクリック。
インストールが始まります。



インストールが完了すると、次の画面が表示されます。



- ⑤ とりあえず、ここで終了するために「終了」をクリック。

遊び方

■ 起動方法

- ① 「スタート」をクリックして、「プログラム」→「Virtua Fighter 2 Group」とポイントし、「Virtua Fighter 2」をクリック。
次のメッセージが表示されたときは、「バーチャファイター 2」の CD-ROM を CD-ROM ドライブセットして、「再試行」をクリックしてください。



「バーチャファイター 2」が始まります。
タイトル画面が表示された後、デモ画面になります。

- ② 【Z】を押す。
「バーチャファイター 2」のタイトル画面になります。



- ③ 【Z】を押す。
モードを選ぶ画面になります。



◎ オプションの説明

- ・ARCADE MODE
1 人用プレーのモードです。
- ・VS MODE
2 人用プレーのモードです。
- ・RANKING MODE
1 人用プレーで、プレー内容によって段位認定画面が表示されます。

ほかに団体戦ができるモードやネットワークを使った対戦モード、登場キャラクターのポートレートを見ることができるモードもあります。

- ④ 【W】と【S】を使ってモードを選んで、【Z】を押す。
(例「ARCADE MODE」を選ぶ)
キャラクターセレクトの画面になります。



- ⑤ キャラクターを【A】または【D】で選んで、【Z】を押す。
これでゲームが始まります。

■ 基本操作

「バーチャファイター 2」の基本操作は次のボタンで行います。ただしモードを選ぶ画面にある「OPTION」画面の「KEY ASSAIGN」で好みのキーに変えることもできます。



1 人用

- ・スタートボタン [Z] キー
- ・前移動 [D] キー
- ・後移動 [A] キー
- ・ジャンプ [W] キー
- ・しゃがみ [S] キー
- ・ガード [V] キー
- ・パンチ [G] キー
- ・キック [H] キー
- ・ポーズボタン [F3] キー

✓チェック!

詳しい遊び方(操作方法や設定)については、「ヘルプ」をご覧ください。

■ ゲームの終了

ゲームの終了方法は次の通りです。

- ① [Alt] を押しながら [F4] を押す。

ゲームの削除

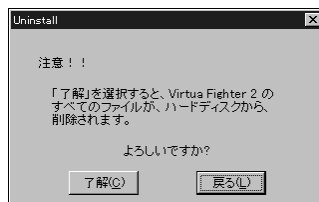
本ゲームを使用しないときは、次の手順で削除できます。

- ① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ② 「Virtua Fighter 2 V1.0 J」をクリック。
「Virtua Fighter 2 V1.0 J」が反転表示になります。

- ③ 「追加と削除」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ④ 「了解」をクリック。
削除が始まり、終了すると次のメッセージが表示されます。



- ⑤ 「OK」をクリック。

✓チェック!

「ランチ-NX からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除が完了します。

COPYRIGHT

SEGA ENTERPRISES,LTD.1994,1997

GLOCAL HEXCITE (グローバル ヘキサイト)

「GLOCAL HEXCITE (グローバル ヘキサイト)」はパズルゲームです。

ルールは、三角形、ひし形や台形など7種類の手駒を置いて、ポイントを取っていくだけのきわめて簡単なものです。シンプルで分かりやすいルールでありながら、やってみるとはまりこんでしまうゲームです。コンピュータとの対戦はもちろん、人間同士の対戦ができます。

セットアップ

- ① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ -NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ② 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

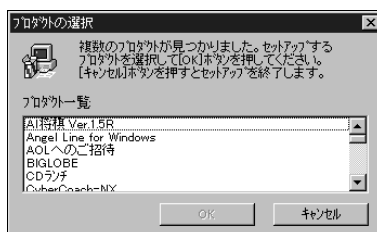


- ③ 「アプリケーション CD-ROM」をセットして、「次へ」をクリック。
「セットアップ プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。



「セットアッププログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 >: \NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名 >は通常は、< Q >です。

- ④ 「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「グローバル ヘキサイト」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
しばらくして次の画面が表示されます。



インストール先を変更する場合は、インストール先ディレクトリを選んでください。

- ⑥ インストールディレクトリが決まったら、「OK」をクリック。
インストールが始まります。

遊び方

■ 起動方法

- ① 「スタート」→「プログラム」→「GLOBAL HEXCITE」→「GLOBAL HEXCITE」をクリック。
ゲームが起動します。



詳しい遊び方についてはヘルプをご覧ください。

■ ゲームの終了

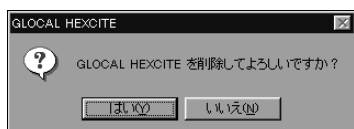
ゲームの終了方法は次の通りです。

- ① メニューバーの「ゲーム」をクリック。
② 「終了」をクリック。

ゲームの削除

本ゲームを使用しないときは、次の手順で削除できます。

- ① 「スタート」→「GLOCAL HEXCITE」→「アンインストーラ」をクリック。
次の画面が表示されます。



- ② 「はい」をクリック。
削除が始まり、終了すると「GLOCAL HEXCITEを削除しました」のメッセージが表示されます。

- ③ 「OK」をクリック。



チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除が完了します。

COPYRIGHT

1997 Gu Inc. All Rights Reserved.

ソリティア デラックス

「ソリティア デラックス」は、Windowsのゲームでお馴染みの「ソリティア」のデラックス版で、一人遊びカードゲームを24種類集めたソリティア集です。気分転換、仕事の合間など、その時の気分に合わせて、背景やカード、ゲームの種類を変えることができます。、数種類のソリティアに慣れたら、ツアーモードで腕を試してみましょう。幾つかのソリティアをクリアしていくツアーモードは、ソリティアの違った楽しみ方をご提供します。

セットアップ

- ① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ② 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

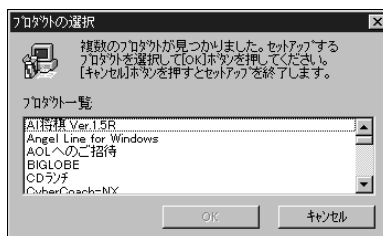


- ③ 「アプリケーションCD-ROM」をセットして、「次へ」をクリック。
「セットアッププログラムの実行」ウィンドウが表示されます。



「セットアッププログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>:\NSETUP.EXE」になっていることを確認します。<CD-ROMドライブ名>は通常は、<Q>です。

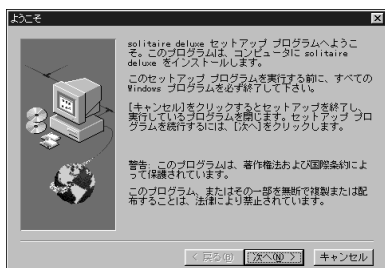
- ④ 「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「ソリティア デラックス」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
しばらくして次の画面が表示されます。



- ⑥ 「次へ」をクリック。
次の画面が表示されます。



- ⑦ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。



インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

- ⑧ インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

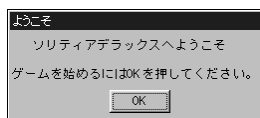
インストールが終了すると「セットアップが完了しました」のメッセージが表示されます。

- ⑨ 「OK」をクリック。

遊び方

■ 起動方法

- ① 「スタート」→「プログラム」→「インタープレイ」→「ソリティア デラックス」→「ソリティア デラックス」をクリック。
次の画面が表示されます。



- ② 「OK」をクリック。
ゲームが始まります。

詳しい遊び方についてはヘルプをご覧ください。

ゲームの終了

ゲームの終了方法は次の通りです。

- ① メニューバーの「ファイル」をクリック。
② 「終了」をクリック。

ゲームの削除

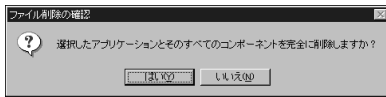
本ゲームを使用しないときは、次の手順で削除できます。

- ① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
（「ランチ -NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」）
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

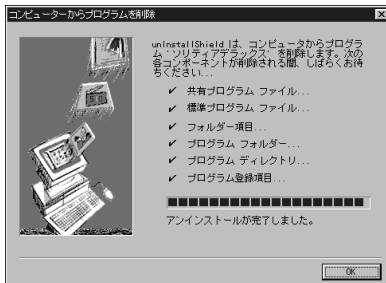


- ② 「ソリティア デラックス」をクリック。
「ソリティア デラックス」が反転表示になります。

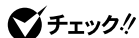
- ③ 「追加と削除」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ④ 「はい」をクリック。
削除が始まり、終了すると次のメッセージが表示されます。



- ⑤ 「OK」をクリック。



「ランチ-NX からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除が完了します。

COPYRIGHT

1997 Publishing International.All rights reserved.

AI将棋 Ver.1.5R

AI将棋は「思考時間を長く取れば取るほど強くなる」といわれていた将棋ソフトの常識を塗り替え、快適なレスポンスでなおかつ強い、将棋ソフトの定番です。実力に応じて3段階のレベルが選べるほかに、「駒落ち」による対局も可能です。また、「待った」をしたり、好きなところまで局面を戻すこともできます。駒を自由に配置して対局を楽しむことのできる「盤面編集」も可能で、棋力のアップも図れます。

セットアップ

- ① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ② 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

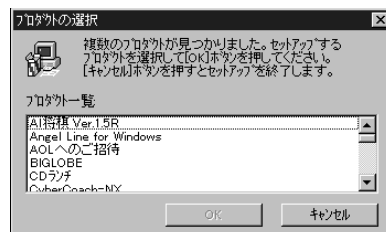


- ③ 「アプリケーションCD-ROM」をセットして、「次へ」をクリック。
「セットアッププログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

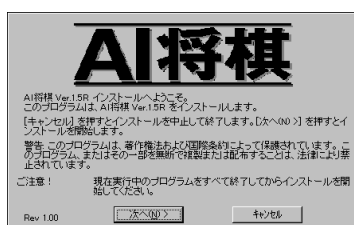


「セットアッププログラムのコマンドライン」<CD-ROMドライブ名>:\NSETUP.EXEになっていることを確認します。<CD-ROMドライブ名>は通常は、<Q>です。

- ④ 「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「AI将棋 Ver.1.5R」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
しばらくして次の画面が表示されます。

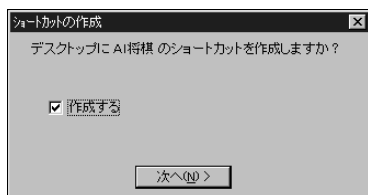


- ⑥ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。



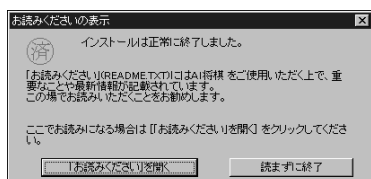
インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」ボタンをクリックしてください。

- ⑦ インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくして次の画面が表示されます。

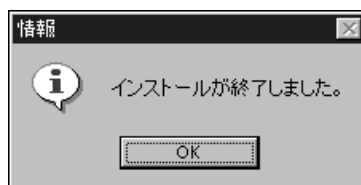


ショートカットをデスクトップに作成しておく、そのアイコンをダブルクリックするだけで、すぐにゲームを始めることができます。

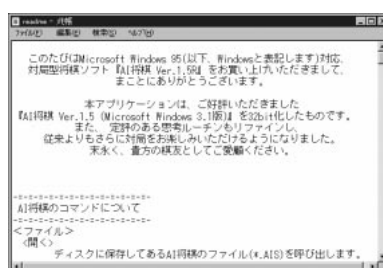
- ⑧ 作成するかしないかを決めて、「次へ」をクリック。
インストールが終了すると次の画面が表示されます。



- ⑨ 「お読みください」を開くをクリック。
次のメッセージが表示されます。



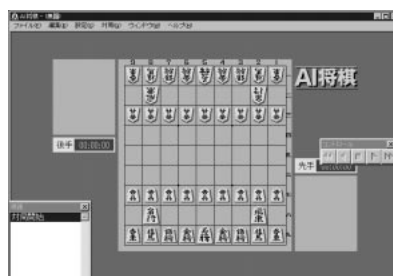
- ⑩ 「OK」をクリック。
インストールが終了しました。デスクトップには、このゲームについての説明ファイルが開かれています。
ゲームの前にお読みください。



遊び方

■ 起動方法

- ① 「スタート」→「プログラム」→「AI将棋」→「AI将棋 Ver.1.5R」をクリック。
ゲームが起動します。



デスクトップにショートカットアイコンがある場合は、そのアイコンをダブルクリックしてもゲームを起動できます。

詳しい遊び方については「スタート」をクリックして、「プログラム」→「AI将棋」とポイントし、「AI将棋 Ver.1.5R お読みください」を開いてご覧ください。

■ ゲームの終了

ゲームの終了方法は次の通りです。

① メニューバーの「ファイル」をクリック。

② 「AI将棋の終了」をクリック。

■ ゲームの削除

本ゲームを使用しないときは、次の手順で削除できます。

① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

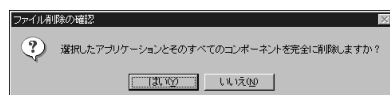


② 「AI将棋 Ver.1.5 R」をクリック。

「AI将棋 Ver.1.5 R」が反転表示になります。

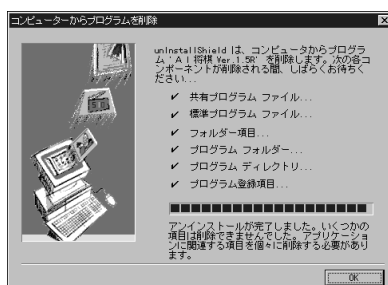
③ 「追加と削除」をクリック。

次のメッセージが表示されます

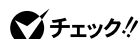


④ 「はい」をクリック。

削除が始まり、終了すると次のメッセージが表示されます。



⑤ 「OK」をクリック。



チェック!!

「ランチ-NX からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除が完了します。

COPYRIGHT

1993-97 Hiroshi Yamashita

1997 ASCII SOMETHING GOOD CORPORATION

2

インターネット & パソコン通信

-
- 音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール〉
 - ホームページの整理〈ホームページスクラップブック〉
 - ホームページを探す〈ジェットサーファー〉
 - オートパイロットの実行〈インターネットアクセスマネージャ〉
 - パソコン通信
 - ダイヤルアップネットワーク

音声入力での メールの送信 〈しゃべっていい メール〉

電子メールのやり取りが簡単にできて、
しかもしゃべったことを文字にしてくれ
るスグレモノです。これであなたもメー
ルの達人間違いなしです。

概要

「しゃべっていいメール」には2つの便利な機能があります。ひとつはマイクに向かってしゃべることにより文章の入力を行うという機能です。つまりキーボードから入力するのではなく、音声はこのソフトが認識して文章に変換してくれるのです。文章は、マウスを使って簡単に直せます

このように音声を文章に変換する機能を「ボイスノート機能」と呼びます。ボイスノート機能を使うには準備が必要です。それはこのソフトがあなたの音声を知らないからであり、またあなたに正しい方法でしゃべってもらい必要があるからです。そこでボイスノート機能を使う前に、「入力レベルの調整」や「話者学習」などの準備が必要になるのです。

「しゃべっていいメール」のもうひとつの重要な機能は、電子メール機能です。この機能があれば、「ボイスノート機能」で作成した文章をメールとして送ることができます。ただし、電子メールのやり取りを行うためには、本機が電話回線に接続されていることはもちろん、電子メールの受け渡しをしてくれるプロバイダという業者が必要です。

このあたりのことを、実際の郵便による手紙のやり取りにたとえて説明しましょう。まず、便箋にペンで手紙を書きます。これは電子メールでは、パソコンを使って行います。次に手紙を封筒に入れて封をし、住所と宛名を書いて切手を貼り、この手紙を郵便局に届けます。これに相当する作業を行うのが電子メールソフトです。届ける手段として電話回線を使います。この郵便局から全国の、あるいは全世界の宛先へあなたの手紙が届くのです。この郵便局に相当するのがプロバイダです。ただし、プロバイダは郵便局と異なり、契約をした人の手紙しか受け付けてくれません。つまり、電子メールをやり取りしたいときには、このプロバイダとの契約が事前に必要になります。

 参照

・プロバイダとの接続→『インターネット入門』
PART3「BIGLOBEに会合する」

準備

ボイスノート機能を使うために

ボイスノート機能を上手にお使いいただくには、次の手順を行ってください。

- ①「入力レベル調整」を行う。
入力レベル調整が正しく行われないと、うまく文章を入力できなくなります。
- ②「話者学習」を行う。
話者学習をすると、認識率、変換速度が向上します。少なくとも50単語分登録することをおすすめします。
- ③「音声入力の例」を実行する。
ボイスノート機能を使って文章を入力するには、単語単位で区切って発声していただく必要があります。

例 今日 / は / いい / 天気 / です / ね /。(まる)

チェック!!

音声入力の例を見るには、「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「音声入力の例」を選んでください。その他の例については、「しゃべっていいメールのヘルプ」の「メールを書く」の「音声による文章入力」を参照してください。

- ④ 「しゃべっていいメール」または「ボイスペン」を起動して、ボイスノート機能を使って文章を入力する。間違っ変換された単語が入力されていても、あとから候補のなかから選んで修正できますので、とにかく一文を最後まで入力してください。

- ⑤ 間違っ変換された単語を修正する。
正しい文章に変換されたときは引き続き文章を入力してください。

より高速な変換を望まれる方は、「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「はじめにお読みください」内容をご覧ください。

正しい文章に変換されないときは、次の手順に進んでください。

- ⑥ 間違えた単語の上にマウスカースルを持ってきて「候補の表示」と発声する。
修正候補の一覧が表示されます。

ここで「再生」をクリックして、今入力した音声を聞いてみてください。

声が小さすぎたり、大きすぎたり、または、息のかかる声や雑音が混じっていないかどうかを確認してください。

該当する場合手順①へ戻ってください。

該当しない場合手順②へ戻ってください。

✓チェック!!

- ・レベルメーターが振れない場合は声が小さすぎます。一番上まで振り切っている場合は、声が大きすぎます。再度入力レベルを調整してください。
- ・息のかかる声や雑音がある場合はマイクロホンの扱い方に注意していただく必要があります。詳しくは後述の「マイクロホンの取り扱い方」をご覧ください。
- ・周囲が少し騒がしいところでお使いになる場合は、弊社製品「ヘッドセットマイク」(PC-9801-128)をお買い求めください。(発売中)
- ・話者学習は、追加して行うことができます。100単語、150単語、…と追加していくことによって認識率、変換速度が向上していきます。

■ マイクロホンを取り扱うときの注意

ボイスノート機能を使うときのマイクロホンの扱い方として次のことに注意してください。

- ・周囲の騒音のため、発声した音声为正しくひろえないことがありますので、できるだけ静かな環境で使用してください。

- ・マイクロホンに息が吹きかかり、発声した音声がマイクロホンで正しくひろえないことがありますので、マイクロホンから少し口を離す(10 cm程度)、スポンジまたはガーゼ等でマイクロホンを包むなど、マイクロホンに直接息がかからないようにしてください。

- ・口とマイクロホンの距離は常に一定になるようにして、発声してください。また声の大きさもなるべく一定になるように注意して発声してください。

- ・うまく文章入力できていないときは、候補選択ウィンドウを表示させて、再生を行い、発声した音声を聞いてみてください。小さすぎて聞き取りにくかったり、大きすぎて音声が歪んでいたりしませんか? この場合には、「入力レベル調整」をやり直した後、上記のマイクロホンの扱い方に十分に注意して発声するようにしてください。

ボイスノート機能の設定

「しゃべっていいメール」を使う前に、まずボイスノート機能を使うための、次の2つの設定があります。

・「入力レベル調整」

マイクロホンからの音声入力のレベルを適切な値に調整します。ボイスノートを使う場合は、必ず行ってください。

・「話者学習」

発声する人の発声の特徴を本機に記憶させます。必ずしも行う必要はありませんが、これを行うと、音声の認識精度が高くなり、音声から文字への変換の正確さが向上します。

■ 「入力レベル調整」

① 「入力レベル調整」を起動する。

(「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「入力レベル調整」)



- ② 「次へ」をクリック。
マイクロホンを選ぶ画面になります。



- ③ 使っているマイクロホンのタイプを選ぶ。
使っているマイクロホン名称の前のボタンをクリックしてください。チェックがつきます。

- ④ 「次へ」をクリック。



- ⑤ マイクロホンに向かって発声してレベルゲージが動くことを確認する。
レベルゲージが動くことが確認されると、「次へ」が濃く表示されるようになります。



- ⑥ 「次へ」をクリック

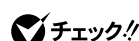


- ⑦ BGM が聞こえることを確認する。
BGM の音が小さすぎたり大きすぎたりする場合は、ゲージをドラッグして音量を調整してください。

- ⑧ 「次へ」をクリック。



- ⑨ ふかれ音を聞いてみる。
「ふかれ音あり」をクリックするとふかれ音の入った音声が入力されると正しく音声認識ができません。「ふかれ音なし」をクリックして正しい音声と比較してみてください。



チェック!!

「ふかれ音」とは、マイクロホンの入り口に風があたることによって発生する雑音のことです。

- ⑩ 「次へ」をクリック。



- ⑪ マイクロホンの扱いについての注意事項を確認する。
画面に表示されるマイクロホンの取り扱いについての注意事項を確認してください。

- ⑫ 「次へ」をクリック。



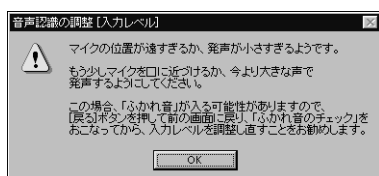
⑬ ふかれ音を確認する。

「開始」をクリックしてマイクロホンに向かって発声してください。「再生」をクリックして発声した音を聞いてください。ふかれ音が入っていればマイクロホンの角度を変えたりして「もう一度」をクリックして再発声してください。ふかれ音が入らなくなったら次へ進みます。

⑭ 「次へ」をクリック。

⑮ 入力レベル (マイクロホンの音量) を自動調整する。
「開始」をクリックして、文章を単語ごとに画面の反転表示に従って発声してください。マイクロホンの音量が自動的に調整されます。音量調整が完了すると画面の中央に「入力レベルの調整が完了しました」のメッセージが表示されます。

入力レベルの調整がうまくできないときは、次のメッセージが表示されます。メッセージに従って、やり直してください。



入力レベルの調整がうまくできると、次の画面になります。



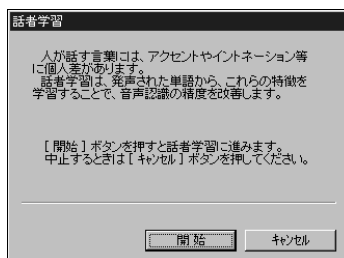
⑯ 「次へ」をクリック。



⑰ 「終了」をクリック。

これで、入力レベルの調整は完了です。

■ 「話者学習」

① 「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「話者学習」をクリック。
「話者学習」ウィンドウが表示されます。

② 「開始」をクリック。

「話者学習 1/2」ウィンドウが表示されます。



「新しい話者で学習を行います」が選ばれていることを確認します。

- ③ 「次へ」をクリック。
「話者学習 2/2」ウィンドウが表示されます。

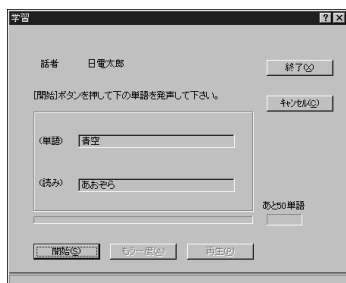


- ④ 「話者名」に名前を入力し、「ベースにする話者」を選ぶ。

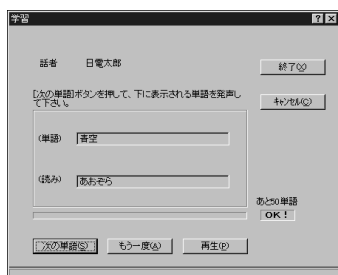


「共通」というのは特に「男性」「女性」という特徴を持たないモデルタイプです。

- ⑤ 「完了」をクリック。
「学習」ウィンドウが表示されます。



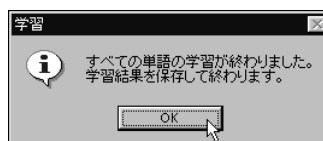
- ⑥ 「開始」をクリックして、表示されている単語（1 回目は「あおぞら」）をマイクロホンに向かって発声する。
その単語の発声がOKであれば、次のような画面が表示されます。



「もう一度発声することをおすすめします」のメッセージが表示されたときは、「はい」ボタンをマウスでクリック後、「もう一度」ボタンをマウスでクリックして、もう一度発声を行ってください。「OK」になるまで繰り返してください。

- ⑦ 「次の単語」をクリック。
次の単語が表示されますので、次の単語の発声を行ってください。以降、同様に全 50 単語の発声を行ってください。

最後の単語の発声が終わると次のメッセージが表示されます。



✓チェック!!

50単語をすべて発音せずに途中で「終了」ボタンをマウスでクリックして終了することもできます。その場合は、途中までの単語の学習結果が記憶されます。

- ⑧ 「OK」をクリック。
「学習」ウィンドウが閉じます。

✓チェック!!

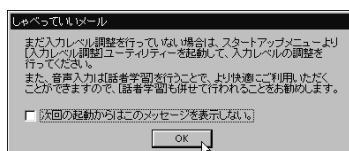
使い始めの頃はマイクロホンに向かって発声することにも不慣れであるため、使い始めの頃に「話者学習」を行ったときの発声が、ボイスノート機能を使い慣れてきたときの発声と違ってきたりすることもあります。ボイスノート機能のある程度使いこなし、マイクロホンに向かって発声することにも慣れてきた時点でもう一度「話者学習」を行うことをおすすめします。

設定

「しゃべっていいメール」を使うために設定しておく必要のある各項目について説明します。手順に沿って、各設定を行ってください。

- ① 「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」をクリック。

次のメッセージが表示されます。

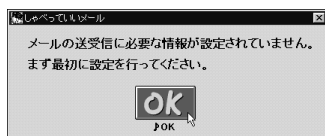


- ② 「OK」をクリック。
「しゃべっていいメール」ウィンドウが表示されます。



チェック!!

初めて「しゃべっていいメール」を起動した時は「まず最初に設定を行ってください」のメッセージが表示されますので「OK」ボタンをマウスでクリックしてください。



- ③ 「設定」をクリック。
「設定 - サーバの設定」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「SMTP サーバ」「POP サーバ」の名称を入力する。



チェック!!

- ・「SMTPサーバ」「POPサーバ」の各名称はプロバイダに加入したときにプロバイダから通知されます。(BIGLOBEでは「インターネットメールサーバ」のことです。)

- ・画面に入っているサーバ名は架空のものです。

参照

- ・BIGLOBEの「インターネットメールサーバ」→『インターネット入門』PART3「BIGLOBEの入会手続きを行う」

- ⑤ 「次へ」をクリック。
「設定 - メールアドレスの設定」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 自分のメールアドレスを入力する。



チェック!!

- ・メールアドレスはプロバイダに加入したときの申請により、プロバイダより与えられます。(BIGLOBEでは「電子メールアドレス」のことです。)

- ・画面に入っているアドレスは架空のものです。

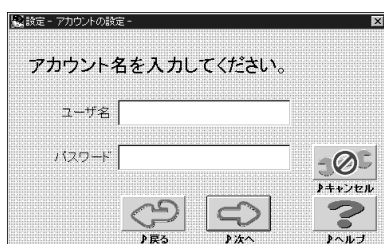


参照

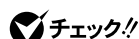
- ・BIGLOBEの「電子メールアドレス」→『インターネット入門』PART3「BIGLOBEの入会手続きを行う」

⑦ 「次へ」をクリック。

「設定 - アカウントの設定 -」ウィンドウが表示されます。



⑧ 「ユーザ名」と「パスワード」を入力する。



チェック!!

- ・ユーザ名 (ID ともいう) とパスワードはプロバイダに加入したときの申請により、プロバイダより与えられます。(BIGLOBEではそれぞれ「ユーザー ID」と「パスワード」のことです。)

- ・画面に入っているユーザ名は架空のものです。

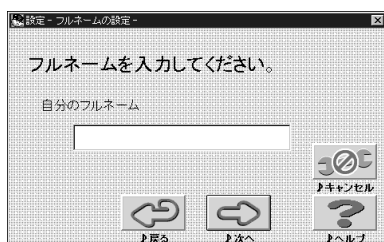


参照

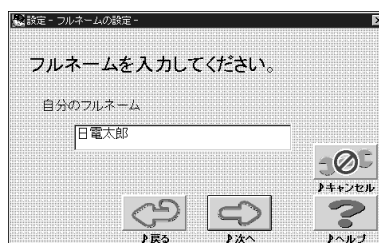
- ・BIGLOBEの「ユーザー ID」「パスワード」→『インターネット入門』PART3「BIGLOBEの入会手続きを行う」

⑨ 「次へ」をクリック。

「設定 - フルネームの設定 -」ウィンドウが表示されます。

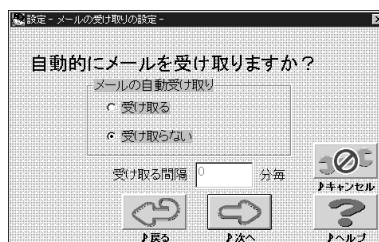


⑩ 自分の名前を入力する。



⑪ 「次へ」をクリック。

「設定 - メールの受け取りの設定 -」ウィンドウが表示されます。

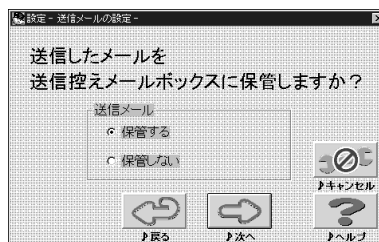


「メールの自動受け取り」の設定を行います。「受け取る」を設定すると、「しゃべっていいメール」を起動した状態のときに、一定時間間隔で自動的に新しいメールが届いていないかを調べ、届いていれば受け取ります。

「受け取る」とした場合は「受け取る間隔」を数字で入れてください。単位は「分」です。「受け取る間隔」は最大120分です。15分以上に設定することをおすすめします。

⑫ 「次へ」をクリック。

「設定 - 送信メールの設定 -」ウィンドウが表示されます。



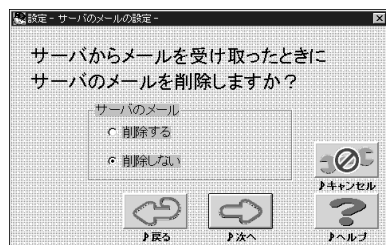
「送信メール」で、送信したメールを送信控えに保管するかどうかを設定します。

「保管する」にすれば、送信したメールはすべて「送信控え」というメールボックスに保管されます(メールボックスとは、メールを入れておく箱と考えてください)。わかりやすく言うと、メールを送信する前にメールのコピーをとって「送信控え」という名前のついたメール用の箱に入れておくということになります。

「保管しない」にすると、メールはどこにも保管されません。送信したメールの内容を後で確認したくなくともありますので、ここでは「保管する」に設定することをおすすめします。

⑬ 「次へ」をクリック。

「設定 - サーバのメールの設定」ウィンドウが表示されます。

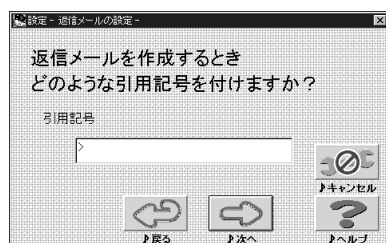


サーバからメールを受け取ったときに、サーバのメールを削除するかどうかを設定します。設定を「削除する」にすると、メールを受け取ると同時にプロバイダのサーバにあるメールを削除します。

「削除しない」にすると、メールを受け取ってもサーバのメールは削除されません。複数のパソコンで同じメールを受信する必要がある方は、「削除しない」を選んでください。通常は「削除する」を選んでください。

⑭ 「次へ」をクリック。

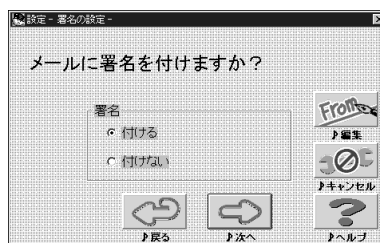
「設定 - 返信メールの設定」ウィンドウが表示されます。



返信メールの引用文字を設定します。メールの返事を書くときに、相手からきた元のメールの各行の先頭に、ここで設定した記号が入ります。元のメールを引用して返事を書く場合、元のメールの部分(各行の先頭に、ここで設定した記号が入っている)と返事の部分の区別がすぐにつくようになります。引用記号のところに任意の記号を入れることができます。

⑮ 「次へ」をクリック。

「設定 - 署名の設定」ウィンドウが表示されます。

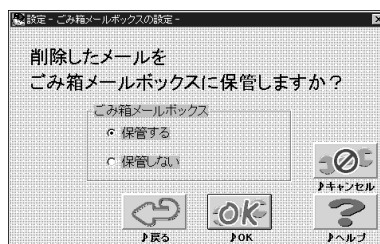


「付ける」を選ぶと、メールを書くときに、メールの文章を書くところにいつも署名が入るようになります。「付ける」の設定にすると、次の設定に行く前に「編集」をクリックして、「署名の作成」ウィンドウで署名を作成します。署名の作り方はメールの書き方と同じです。

ここでは、いったん「付けない」にしておきます。「メールを書いて送る」で実際にメールを書く練習してから、この設定を「付けない」から「付ける」に変更して署名を作成することをおすすめします。したがって、署名の作り方の説明はここでは省きます。

⑯ 「次へ」をクリック。

「設定 - ごみ箱メールボックスの設定」ウィンドウが表示されます。



削除したメールをごみ箱メールボックスに保管するかどうかを設定します。

「保管する」に設定すると各メールボックスよりメールを削除すると、削除したメールはいったん、ごみ箱メールボックスに入ります。誤ってメールを削除した場合でも、すぐにごみ箱メールボックスより持ってくることができます。誤ってメールボックスよりメールを削除したときのことを考えて、ここでは「保管する」に設定することをおすすめします。ごみ箱に入ったメールは「ごみ箱を空にする」と指定すると完全に削除されます。

⑰ 「OK」をクリック。

これで「設定」は終了です。なお、各設定はこの操作手順通りにやり直すことで、いつでも変更できます。

✓チェック!!

最後に「OK」ボタンをクリックしないと、それまでに設定した内容がすべて破棄されます。最後には必ず「OK」ボタンをクリックしてください。

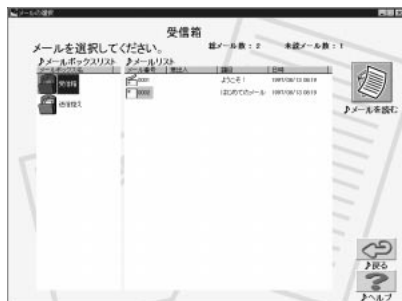
メールを読む

「しゃべっていいメール」の「受信箱」メールボックスには、あらかじめ2件のメールが入っています。これを読んでみましょう。

- ① 「しゃべっていいメール」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」)



- ② 「メールを読む」をクリック。
「メールの選択」ウィンドウが表示されます。



- ③ 読みたいメールの「メール番号」をクリック。
(例「0002」の「はじめてのメール」を選ぶ)
選ばれたメールの「メール番号」の部分が反転表示になります。



- ④ 「メールを読む」をクリック。
メールが表示されます。



- ⑤ 「メール読み上げ」をクリック。
メールの文章が読み上げられます。
- ⑥ 「戻る」をクリック。
「メールの選択」ウィンドウへ戻ります。

メールを書いて送る

「メールを読む」で見た「はじめてのメール」と同じような内容のメールを実際に書いて送信してみましょう。これは練習ですので、ここで書いたメールは自分のメールアドレスに送信してみます。ここでの操作を行なう前に、アドレス帳に自分のメールアドレスを登録しておきます。

✓チェック!!

実際のメールのやり取りには、プロバイダと接続されていることが前提となります。

アドレス帳にメールアドレスを登録する

「しゃべっていいメール」では、送信先のメールやアドレスをアドレス帳から選んでメール送信を行います。メールのやりとりを行う相手のメールアドレスはアドレス帳に登録しておきましょう。ここでは、アドレス帳へのメールアドレスの登録方法を説明します。

- ① 「しゃべっていいメール」の初期画面で、「アドレス帳の整理」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。



- ② 「新規登録」をクリック。
「新規登録」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「名前」と「メールアドレス」を入力する。



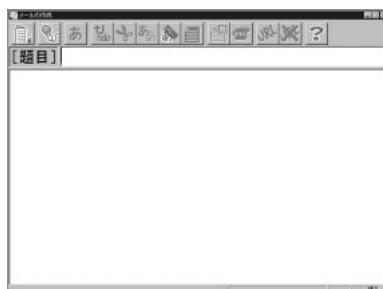
- ④ 「OK」をクリック。
「アドレス帳」にメールアドレスが登録されます。



メールを書いて送る

では、実際に「練習のメール」を書いてみます。

- ① 「しゃべっていいメール」の初期画面で、「メールを書く」をクリック。
「メールの作成」ウィンドウが表示されます。



- ② 「題目」に入力してから本文を入力する。



- ③ 入力が終了したら [作成終了] (作成終了) をクリック。
「宛先指定」ウィンドウが表示されます。



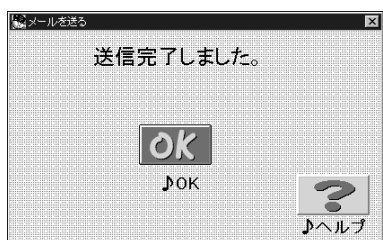
- ④ 「メールアドレスリスト」から送信先の名前をクリックして、「宛先に追加」をクリック。
「宛先リスト」に相手の名前と、メールアドレスが表示されます。



- ⑤ 「次へ」をクリック。
「メールを送る」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「送る」をクリック。
接続が始まります。表示される指示に従って、接続操作をしてください。
送信が完了すると次のウィンドウが表示されます。



- ⑦ 「OK」をクリック。
「しゃべっていいメール」の初期画面に戻ります。

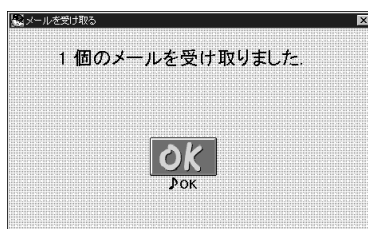


プロバイダとの接続は自動的には切断されません。送信が終了したら、必ず接続を切断してください。

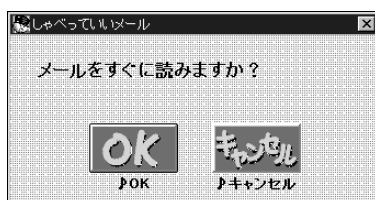
メールを受け取る

自分宛に送信したメールを受け取ってみましょう。

- ① 「しゃべっていいメール」の初期画面で、「メールを受け取る」をクリック。
接続が始まり、しばらくして次のウィンドウが表示されます。



- ② 「OK」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



- ③ 「OK」をクリック。
「メールの選択」ウィンドウが表示されます。
自分宛に送信した「練習のメール」が表示されています。



この後の、メールの読み方については、前述の「メールを読む」をご覧ください。

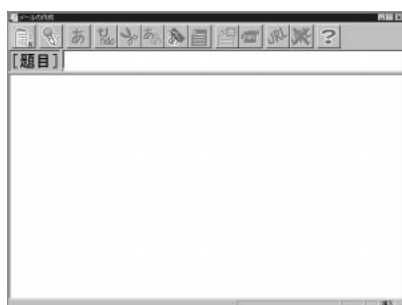
ボイスノート機能を使ってメールを書く

「練習のメール」をボイスノート機能を利用して作成してみます。

- ① 「しゃべっていいメール」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→
 「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→
 「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」)

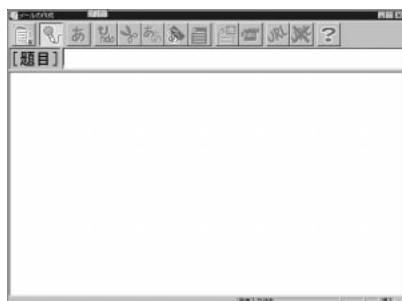


- ② 「メールを書く」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
 「メールの作成」ウィンドウが表示されます。



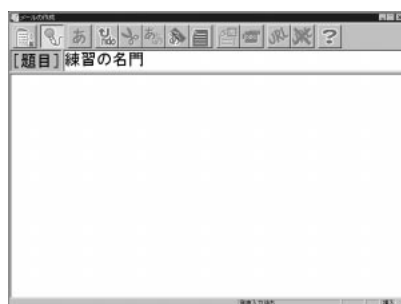
ボタンの絵の下に「音符」が書いてあるボタンは音声コマンドで操作することができます。「音符」に続く語句を発声すれば、そのボタンをクリックしたのと同じ動作をします。音声コマンドは複数音節の語句でも区切らずに発声してください。うまく行かないときは、「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「音声入力の例」を参考にして練習してください。文章はボイスノート機能を使って書いていきます。

- ③ 「入力開始」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
 (マイク) が押された状態になります。



- ④ 「練習のメール」と発声する。
 「れんしゅう」「の」「メール」と単語に区切って発声します。発声した文章が入力されますが、そのまま正確に入力されない場合が多いでしょう。

例えば次のように入力されたとします。



◎ 修正方法

誤っている単語の前にカーソルを移動し、「候補の表示」と発声、または、マウスをダブルクリックします。候補の画面に該当する単語があれば、その単語の番号をマイクロホンに向かって発声します。または、その単語にカーソルを当てて、クリックします。

- ⑤ 「本文へ切り替え」と発声する。
 本文の入力ができるようになります。
- ⑥ 同様に本文を発声しながら、入力する。

✓ チェック!

・単語は一つずつ区切るようにマイクロホンに向かって発声してください。

・「、」は「てん」、「。」は「まる」と発声してください。1文字分の空白を入れるには「ここにスペース」、改行するには「ここで改行」と区切らずに発声してください。

- ⑦ 文章を入力できたら、「入力終了」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
 (マイク) が押されていない状態になり、ボイスノート機能を終了します。

メールを書くときに使用できる 音声コマンド一覧

作成終了	さくせいしゅうりょう
音声入力開始	にゅうりよくかいし
音声入力終了	にゅうりよくしゅうりょう
フォント変更	ふおんとへんこう
元に戻す	もとにもどす
切り取り	ここをきりとり
コピー	ここをこぴー
貼り付け	ここにはりつけ
すべて選択	すべてせんたく
挿し絵選択	さしえせんたく
ビデオ入力	びでおにゅうりよく
リンク設定	りんくせってい
リンク解除	りんくかいじょ
ヘルプ	へるぷひょうじ
カーソル位置を題目へ切り替え	だいもくえきりかえ
カーソル位置を本文へ切り替え	ほんぶんえきりかえ
改行	ここでかいぎょう
スペース入力	ここにすぺーす
候補選択ウィンドウ表示	こうほのひょうじ
カーソルの後ろの文字を削除	ここをさくじょ
カーソルの前の文字を削除	まえをさくじょ
カーソル位置を上へ移動	うええいどう
カーソル位置を下へ移動	したえいどう
カーソル位置を右へ移動	みぎえいどう
カーソル位置を左へ移動	ひだりえいどう
選択されている候補を削除	ここをさくじょ
候補選択ウィンドウを閉じる	こうほをとじる
次のページの候補	つぎのページ
前のページの候補	まえのページ
1 番	いちばん
2 番	にばん
3 番	さんばん
4 番	よんばん
5 番	ごばん
6 番	ろくばん
7 番	ななばん
8 番	はちばん
9 番	きゅうばん
0 番	ぜろばん

候補リスト内を上へ移動 うえ
候補リスト内を下へ移動 した

削除	さくじょ
最初	さいしょ
最後	さいご
確定	かくてい
再生	さいせい
再発声	さいはっせい
同音候補の表示	こうほのひょうじ

ボイスペンを使う

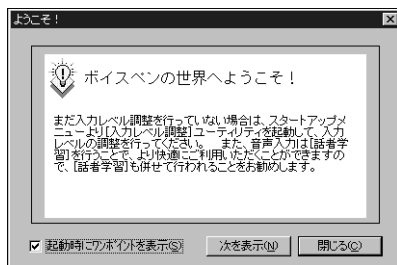
「ボイスペン」は、ボイスノート機能を使って短い文章を作成してアプリケーションに貼り付けるソフトウェアです。「ボイスペン」を使えば、メモ帳、ワープロなどのアプリケーションにボイスノート機能を使って文章を入力することができます（一部、入力できないアプリケーションもあります）。

✓チェック!!

「しゃべっていいメール」でボイスノート機能を使って文章を入力する場合は、「ボイスペン」をタスクバーからはずしておいてください。はずしかたについては後述の「ボイスペンをタスクバーからはずす」をご覧ください。

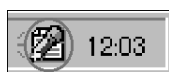
ボイスペンを使えるようにする

- ①「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「ボイスペン」をクリック。
「ようこそ!」ウィンドウが表示されます。



- ②「次を表示」をクリックして、次の説明を表示する。
「次を表示」を何度かクリックすると、はじめの説明に戻ります。ここには「ボイスペン」の使い方を簡単に説明していますので、よく読んでおいてください。

- ③ 説明をひと通り読み終わったら「閉じる」をクリック。タスクバーの右隅にボイスペンが登録され、「ボイスペン」のアイコンが表示されます。



これで「ボイスペン」が使える状態になりました。

ボイスペンを使って文章を入力する

ここでは例として「メモ帳」に文章を入力してみましょう。

- ① 「メモ帳」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」)



- ② 「入力開始」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
「メモ帳」の画面の下に横長の文字入力域が出てきます。これが「ボイスペン」の画面です。



- ③ 「メモ帳」に入力する文章をマイクロホンに向かって発声する。
「ボイスペン」で一度に入力できる文章は、「ボイスペン」の文字入力域のサイズです。「ボイスペン」の文字入力域のサイズ以内の文章を入力してアプリケーションに貼り付け、という操作を繰り返して長い文章を作成することになります。



「ボイスペン」の左端または右端をマウスで左右にドラッグすると、文字入力域のサイズを変更できます。

- ④ 誤って入った単語を直す。
誤っている単語の前にカーソルを移動し、「候補の表示」と発声、または、マウスをダブルクリックします。候補の画面に該当する単語があれば、その単語の番号をマイクロホンに向かって発声します。または、その単語にカーソルを当ててクリックします。



- ⑤ 単語を修正して正しい文章になったら、「これで確定」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
「ボイスペン」で入力した文章が「メモ帳」に貼り付けられます。



「ボイスペン」で入力した文章が「メモ帳」に貼り付けられると、「ボイスペン」の文章入力域が空になります。

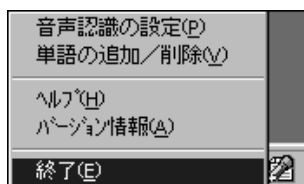


- ⑥ 手順③～⑤を繰り返して、次々と文章を入力する。
⑦ 文章の入力が終わったら、「入力終了」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
これで「ボイスペン」での文章入力は終了です。

ボイスペンをタスクバーからはずす

ボイスペンをタスクバーからはずすとボイスペンが使用できなくなります。
ボイスペンをタスクバーからはずす方法は次の通りです。

- ① タスクバーの右隅にある「ボイスペン」のアイコンをクリックしてメニューを表示させる。



- ② 「終了」をクリック。

ボイスペンを使うときの注意

ボイスペンの音声入力バー（横長の文字入力域）に音声で文章を入力して「これで確定」または「これではりつけ」と発声しても、目的のアプリケーションに文章が入力できない場合があります。
このような場合は、次の操作を行ってください。

- ① いったん、ボイスペンをタスクバーからはずす。
目的のアプリケーションは起動したままで OK です。
② もう一度ボイスペンをタスクバーに格納し直す。
③ 目的のアプリケーションの、文章を入力したい箇所をクリックする。
④ 「ニュウリョクカイン」または「ニュウリョクスタート」と発声する。
目的のアプリケーションの下の方に音声入力バー（横長の文字入力域）が表示されますので、文章の入力を始めてください。

ホームページの 整理

〈ホームページ スクラップブック〉

(DVD-ROMモデル、CD-Rモデルのみ)

「ホームページスクラップブック」を使うと、インターネットのホームページ上から欲しい部分だけ切り取って、保存 / 整理できます。また、整理した内容は最新の情報に更新できます。

概要

「ホームページスクラップブック」の機能は、次の通りです。

■ スクラップ

ブラウザで見ている内容の好きなところだけをすぐスクラップできるので、大切な情報をのがしません。

✓ チェック!!

- ・「ホームページスクラップブック」では“スクラップ”という用語を「WWWのホームページから指定された範囲もしくは表示されている全体を、ホームページスクラップブックに保存すること」の意味で使用しています。
- ・「インターネットアクセスマネージャ」などのオートパイロットツールの結果からもスクラップできます。
- ・スクラップする際、「ホームページスクラップブック」のプレビュー画面でスクラップの内容を確認できます。



- ・をクリックすることにより、「ホームページスクラップブック」をボタン表示にして画面の隅におくこともできるので、ネットサーフィンの邪魔になりません。

ボタン表示



ウィンドウ表示へ戻るときはをクリック。



■ 元のページの機能をそのまま保存 / 表示

- ・スクラップした内容はツリービューで選んでブラウザビューに表示させ、確認することができます。(ブラウザに表示させることもできます。)
- ・HTML形式で保存されますので、リンクなどの機能もブラウザビュー上でそのまま動作します。
- ・画像のほかに、Java アプレット、ActiveX コントロール、スクリプト、ShockWave/PDFなどのプラグインを必要とする各種コンテンツも保存 / 表示できます。

✓ チェック!!

- ・コンテンツの作りにより動作しない場合があります。
- ・ツリービューとは、「ホームページスクラップブック」の左側フレームのことです。スクラップした情報をブック、スクラップページの順に階層化して、エクスプローラ風にツリー表示します。

- ・ブラウザビューとは、「ホームペーjspスクラップブック」の右側フレームのことです。スクラップした情報はブラウザビューに表示して閲覧できます。



ツリービュー

情報の整理

- ・ツリービュー上でジャンルごとに分類、整理ができます。

最新情報への更新

- ・スクラップした情報の更新を行うと、元のサイトから対応する部分の最新情報を収集して更新します。スクラップページ単位で最新情報に更新することができます。
- ・過去のスクラップ履歴を参照することができます。

使用する前に

環境設定

インターネット接続環境の設定

「ホームペーjspスクラップブック」を使用するためには、インターネット接続環境が必要です。使用前に、インターネットに接続できるように設定してください。



参照

- ・インターネットへの接続→『インターネット入門』

Internet Explorerの環境設定

「ホームペーjspスクラップブック」の動作には、「Internet Explorer」のモジュールが必要になります。本機には「Internet Explorer 4.01」がインストールされていますので、そのまま使用できます。「ホームペーjspスクラップブック」を使用する場合は、「Internet Explorer」を削除しないでください。

連携をとるブラウザの設定

「ホームペーjspスクラップブック」は、ブラウザと連携をとって動作します。「Internet Explorer 3.0」以上、および「Netscape Navigator 3.0」以上が使用できます。

「ホームペーjspスクラップブック」の「設定」メニューの「スクラップ対象ブラウザ」で、使用するブラウザが設定されていることを確認してください。



この設定が正しく行われていないと、正常に動作しません。

その他の注意

ここでは、「ホームペーjspスクラップブック」の基本的な使い方について説明します。

ここに記載されていない使い方については、「ホームペーjspスクラップブック」のツリービューから選ぶ「基本操作について」および「オンラインヘルプ」をご覧ください。

なお、オンラインヘルプの「はじめに」－「注意事項」には、各機能を使用する上で必要な注意事項が記載されています。使用する前に必ずお読みください。

スクラップ（切り取り）の方法

スクラップの方法には、ホームページの一部を切り取る方法と、ホームページ全体を切り取る方法があります。

- ① インターネットに接続して、WWW ブラウザを起動し、切り取りたい情報があるホームページを表示する。



- ② 「ホームページスクラップブック」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→
 「ホームページスクラップブック」または「スタート」
 →「プログラム」→「ホームページスクラップブック」
 →「ホームページスクラップブック」)



- ③ WWW ブラウザ上で切り取りたい部分をマウスで指定する。
 指定された範囲が反転表示になります。



✓チェック!!

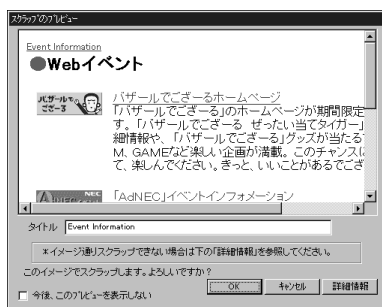
反転表示されるのは、テキスト部分だけなので、切り取る範囲の先頭と終わりは必ずテキストでなければなりません。たとえば次の画面で、左端の画像をスクラップしたいときは、その前後のテキスト(文字列)を含めて反転表示にすることが必要です。

- ④ 「ホームページスクラップブック」のツリービューにてスクラップページを指定する。
 切り取ったデータを貼り付けるスクラップページを指定します。ツリービューにて「新しいブック」の下にある「新しいページ」をクリックしてください。

貼り付けるスクラップページは、「ファイル」メニューの「新規作成」で新規に作成することができます。



- ⑤ 「ホームページスクラップブック」の  (指定範囲をスクラップ) をクリック。
 切り取りが終わると「スクラップのプレビュー」ウィンドウが表示されます。



ホームページ全体を切り取る際には、手順③の範囲指定は必要なく、「ホームページスクラップブック」の  (全体をスクラップ) をクリックします。

- ⑥ 「OK」をクリック。
 ステータスバーに「スクラップが終了しました」が表示されたら、スクラップの完了です。

完了すると、次のような画面になり、スクラップしたページが表示されます。



スクラップページを最新情報に更新する

スクラップした情報を最新のものに更新することができます。

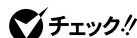
- ① インターネットに接続する。
- ② 「ホームページスクラップブック」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ホームページスクラップブック」または「スタート」→「プログラム」→「ホームページスクラップブック」→「ホームページスクラップブック」)



- ③ 更新したいページを表示する。
「ホームページスクラップブック」のツリービューにて更新したいページをクリックします。



- ④ 「ホームページスクラップ」の  (スクラップページの更新) をクリック。
更新が始まります。
ステータスバーに「更新が終了しました」が表示されたら、更新の完了です。スクラップページの内容が最新情報に更新されます。



数時間毎に更新される新聞社のホームページや天気予報でお試しになると、更新結果の違いがよくわかります。

ホームページを 探す 《ジェットサーファー》

「ジェットサーファー」は、インターネットにアクセスするときにホームページがリンクしている先のページの情報をまとめて取ってきて、ほしい情報のあるページを素早く探し出すことができます。

概要

「ジェットサーファー」の機能は、次の通りです。

■ ホームページの分析・表示

ホームページからリンクされている情報を素早く表示することができます。

任意のホームページからリンクされている先にある複数のページのタイトル、文章の内容、使われているメディアファイル（画像・動画・音声ファイルなど）の情報をまとめて取ってきて、それぞれを個別のウィンドウに分割して一覧表示することができます。

■ 文字列検索

文字列検索機能を使って、欲しい情報を簡単に探し出せます。

文字列を指定してホームページの分析を行うと、文字列にマッチした語句を含むページを素早く探し出すことができます。また、一度分析した結果に対しても、文字列を指定して検索することができます。

■ 分析結果のページをブラウザへ表示

「ジェットサーファー」で分析・表示した結果のタイトルをクリックして簡単にブラウザに表示させることができます。

これによりブラウザを使ってリンクをたどっていかなくても深い階層にあるページを素早く見ることができます。

■ 分析結果からファイルのダウンロード

「ジェットサーファー」で分析・表示した結果のファイルをクリックして、簡単に該当のファイルのみをダウンロードすることができます。

■ お気に入り登録

一度分析した情報をお気に入り情報として名前をつけて登録しておくことができます。これによっていつでも好きなときにお気に入りの分析結果を見ることができます。

■ 更新情報表示

以前に分析した情報の中で、更新されているタイトルがわかるように表示します。「ジェットサーファー」の「お気に入り」に登録した情報を表示します。「ジェットサーファー」の「お気に入り」に登録した情報を表示した後、もう一度分析を行うと情報が更新されたページのタイトルアイコンの色を変更して表示します。これにより変更されたページのみを効率良く見ることができます。

使用する前に

ここでは、「ジェットサーファー」の基本的な使い方について説明します。

ここに記載されていないメニュー、ダイアログボックスの設定方法などについては、オンラインヘルプをご覧ください。特に、オンラインヘルプの「はじめに」-「注意事項」は各機能を使用する上で必要な注意事項が記載されています。使用する前に必ずお読みください。

ダイヤルアップ IP 接続をご使用の方で回線未接続の方は、接続を行ってから分析を実行してください。

■ 分析範囲の絞り方

「ジェットサーファー」の特徴は欲しい情報がどこにあるか「早く」探すことができる点にあります。しかし最初から分析範囲や階層数を広くしてしまうと、本当に欲しい情報以外の情報も分析してしまい、余計な時間がかかってしまいます。そこで、次のような分析範囲を絞った使い方をおすすめします。

- ① まず起点となる URL をドメイン外 / 0 ～ 1 階層で分析する。
- ② 分析結果の中でめばしいタイトル (URL) をドメイン内 / 1 ～ 2 階層で分析する。
- ③ 手順②を何度か繰り返し、ある程度タイトルを絞り込む。
- ④ 必要であればドメイン内で階層数を 2 ～ 3 に増やす。

分析とは

「ジェットサーファ」の中で使われる「分析」という言葉は、指定された URL を起点として設定された条件の範囲内をアクセスして、次の情報を取り出して、それぞれをわかりやすくまとめて画面に表示するという意味です。

- ・張られているリンク（ハイパーリンク）の文字列。
- ・含まれているファイル（GIF ファイルや AVI ファイルなど）の名称、タイムスタンプなど。
- ・ページに書かれている文章の内容（テキスト情報）。
- ・検索文字列（キーワード）を設定している場合、マッチした語句を含むページのタイトル。

ホームページを分析して結果を表示する

「ジェットサーファ」は、最初の分析ではホームページのリンク構造とテキスト内容を表示するだけでなく、画面などを表示する、通常使用しているブラウザとは異なり、素早くページの内容が表示できます。このため、階層の深いページも素早く簡単にたどり着くことができ、目的のページ内容の概要が素早く理解できます。

① 「ジェットサーファ」を起動する。

（「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ジェットサーファ」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファ」→「ジェットサーファ」）

「ジェットサーファ」の初期画面が表示されます。



② 「URL」欄に URL を入力する。

（例 "http://www.nec.co.jp/"（NECのホームページのアドレス）を入力）



③ 「Go」をクリック。

インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造（ハイパーリンクの語句）、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



すでにブラウザに目的のページを表示していれば、「ファイル」メニューの「ブラウザからの取り込み」で表示することもできます。

④ 階層をクリック。

分析したすべての階層が表示されます。



ツリーをクリックするとツリービューにはページのタイトルが表示されます



これらを表示することによってホームページにどんな情報があるのか、またはどんな構成でできているのかという概要をつかむことができます。

ツリービュー、テキストブラウザおよびタイトル表示や階層表示の方法の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

ツリービューに表示されるアイコンには、次の種類があります。

◎ アイコンの種類

-  ツリービューの一番上に表示される起点 URL
-  正常に分析した結果のリンク
-  通信時に何らかのエラーが発生して正常に分析できなかったリンク
-  指定された階層分の最下位層にあたるリンク先
-  前回分析時から更新されたリンク先
-  アクセスするためにユーザ名 / パスワードが必要なリンク先
ユーザ名 / パスワードを入力しなければ、これ以下の階層は分析できません。

◎ アイコンの色

- ・黄色のアイコン
通常のリンク先
 - ・水色のアイコン
設定した検索文字列とマッチする語句を含むリンク先
- 詳しいことは、オンラインヘルプをご覧ください。

ダイヤルアップ IP で接続するときの注意

ジェットサーファからの回線接続は、ご利用になっているブラウザと同じ動作をします。つまり回線未接続の状態では、ブラウザからインターネット上の URL にアクセスしたときに接続ダイアログボックスが表示される場合は、ジェットサーファでも同じように分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示されます。分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示されない場合は先に回線接続を行ってください。

分析にかかる時間とディスク容量について

ホームページに張られているリンクは予想以上に数があります。階層指定を増やす場合は時間とディスク容量に余裕を持って分析を行ってください。さらに、分析範囲でドメイン外の設定を行う場合は予想しない URL までリンクが張られている場合があり、分析にかかる時間およびディスク容量がさらに増加する可能性があります。ドメイン外を設定する場合には、時間とディスク容量には十分余裕をもって分析を行ってください。

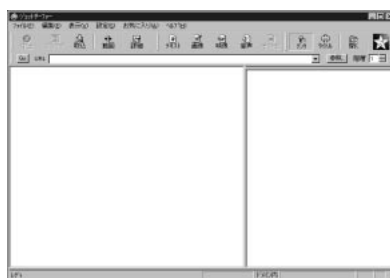
✓ チェック!!

「ジェットサーファ」は分析を行うために、通信によって入手したファイル (HTML ファイル) をディスクに一時保管します。「ジェットサーファ」を終了すればこれらのファイルは削除されます。

文字列を検索したページをブラウザに表示する

「ジェットサーファ」では、ホームページ内の目的のキーワードまたは情報が分かっている場合、文字列検索をすることで、簡単に目的の内容があると思われるページへたどり着くことができます。

- ① 「ジェットサーファ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ジェットサーファ」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファ」→「ジェットサーファ」)
「ジェットサーファ」の初期画面が表示されます。



- ② 「URL」欄に URL を入力する。
(例 "http://www.nec.co.jp/" (NEC のホームページのアドレス) を入力)



- ③ 「Go」をクリック。
インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造 (ハイパーリンクの語句)、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



- ④ 「編集」をクリックして、「文字列検索」→「分析結果から検索」をポイント。



- ⑤ 反転表示している「分析結果から検索」をクリック。「文字列検索 - 分析結果から検索」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 検索した文字列を「検索する文字列」欄に入力して、「実行」をクリック。
(例「98」を入力)
「文字列検索結果」ウィンドウに検索結果が表示されます。



- ⑦ 分析結果のひとつをクリック。
選択された分析結果が反転表示になります。



- ⑧ 「ファイル」をクリックして、「ブラウザに表示」をクリック。
通常使用しているブラウザが起動して、選んだページが表示されます。

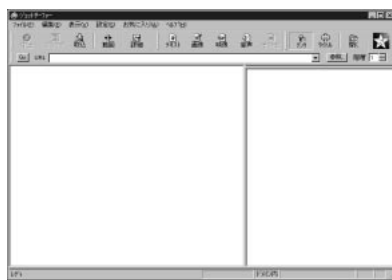


最下位層に当たるリンク?マークについてはリンクの語句のみをダウンロードしているため、ページの内容までは表示できません(テキストブラウザには"このページは指定された階層より下にあるため表示できません"と表示されます)。

分析したページからファイルをダウンロードする

「ジェットサーファ」では、ホームページの中から特定の種類のファイル(例としてAVI,MIDIなど)だけを取り出したい場合、ページに含まれている目的のファイルを一覧表示し、自分のパソコンの中に取り込んで保存する(ダウンロード)ことができます。

- ① 「ジェットサーファ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ジェットサーファ」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファ」→「ジェットサーファ」)
「ジェットサーファ」の初期画面が表示されます。



- ② 「URL」欄に URL を入力する。
(例 "http://www.nec.co.jp/" (NECのホームページのアドレス) を入力)



- ③ 「Go」をクリック。
インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造(ハイパーリンクの語句)、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



- ④ ツリービューから目的のページをクリック。
目的のページが反転表示になります。



- ⑤ 目的のファイルの種類のボタンをクリック。
(例 「画像ファイル」 ボタンをクリック)
選んだページの中にある画像ファイルがリストビュー
内に表示されます。

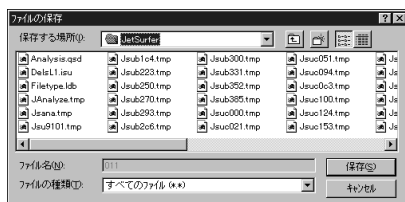


- ⑥ リストビューから、ダウンロードしたいファイルをクリック。
選んだファイルが反転表示になります。



複数のファイルを指定する場合は、【Shift】を押しながらファイルをクリックします。

- ⑦ 「ファイル」→「ファイルの保存」をクリック。
「ファイルの保存」ウィンドウが表示されます。



- ⑧ ファイルを保存するフォルダを指定して「保存」をクリック。
(例 フォルダに「JetSurfer」を指定)
ファイルをダウンロードして、指定したディレクトリ
に保存します。

オートパイロット の実行 〈インターネット アクセスマネージャ〉

「インターネットアクセスマネージャ」はインターネットを効率よく活用するためのツールです。Windows 95 の「エクスプローラ」と同じような操作で使用できます。

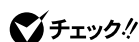
概要

「インターネットアクセスマネージャ」の機能は次の通りです。

■ 接続時間管理・料金管理

インターネット接続時の、プロバイダと電話のおおよその使用時間・使用料金を自動的に計算し日単位・月単位で表示することができます。

あらかじめ設定しておいた接続時間・料金を超えたときにアラーム通知を表示することもできます。



表示される料金は目安です。実際の使用料と一致するものではありません。

■ オートパイロット

指定したホームページを夜間などの電話料金が安い時間に自動巡回して、データをローカルディスクに格納することができます。その後、未接続の状態で料金を気にせずに、しかもスピーディにホームページを見ることができます。

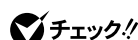
■ オートダイヤル

あらかじめ指定しておいた接続先にワンタッチで自動接続・切断ができます。他に接続先を登録しておけばダイヤル先が混雑（ビジー）のときに自動的に次の接続先へダイヤルします。

■ URL 情報の登録・整理

URL に簡単なコメントを付けて登録することができます。チェックする頻度の高い URL を登録しておくことで便利です。フォルダを使って階層的に URL 情報（URL とコメントを合わせた情報）を整理することができます。

- 「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」自動反映
「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」と「インターネットアクセスマネージャ」の「URL リスト」-「インターネットお気に入り」の内容が自動的に同じになります。



「インターネットアクセスマネージャ」の起動時に行われます。

■ Timer-NX との連携

「Timer-NX」と連携してオートパイロットの開始時間に電源を入れ、オートパイロット終了後に電源を切ります。

■ 使いやすい操作性

Windows 95 の「エクスプローラ」と同様の画面、操作感覚で使用できます。また、ウィンドウサイズを最小化した場合には機能ボタンのみを集めた「ボタンバー」として使用することができます。

利用環境を設定する

「インターネットアクセスマネージャ」の動作環境を設定します。起動後に次の事項の確認や設定をしてください。

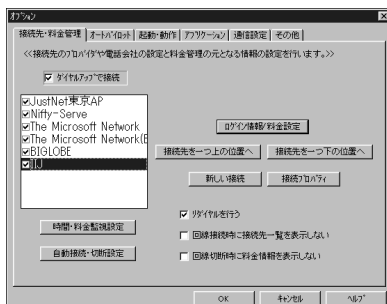
- ・接続先の確認
- ・接続先のユーザー名・パスワード、電話料金、プロバイダ料金の設定
- ・WWW ブラウザの確認

■ 接続先を確認する

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② メニューバーの「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



「ダイヤルアップで接続」にチェックがついていることを確認します。

「接続先・料金管理」タブのウィンドウのリストの中に、設定した「接続先」があることを確認します。また、複数の接続先がある場合、すべての「接続先」があることを確認します。

設定した「接続先」は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウで確認できます。

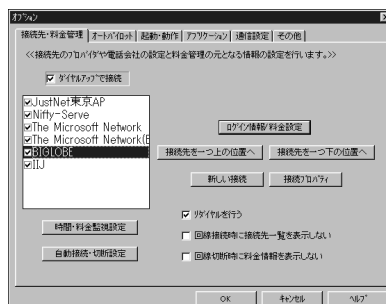
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ダイヤルアップネットワーク」)



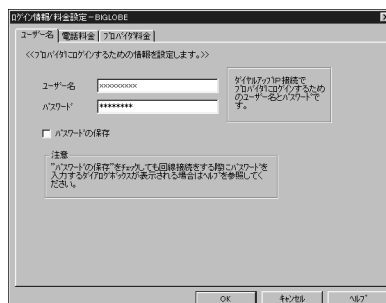
■ 各接続先の料金を設定する

- ① リストの中の「接続先」をクリックして選ぶ。
(例「BIGLOBE」を選ぶ)

選ばれた「接続先」が反転表示になります。



- ② 「ログイン情報 / 料金設定」をクリック。
「ログイン情報 / 料金設定 - BIGLOBE」ウィンドウが表示されます。



「ユーザー名」と「パスワード」欄に、接続先プロバイダの「ユーザー名」と「パスワード」が設定されていることを確認します。設定されていない場合は入力してください。

パスワードを保存する場合は、「パスワード保存」チェックボックスにチェックを付けてください。

● チェック!

購入時の状態では、「Microsoft ネットワーククライアント」がインストールされていないため、「パスワード保存」チェックボックスにチェックを付けても、パスワードを入力するウィンドウが表示されます。

「Timer-NX」と組み合わせて「オートパイロット」を実行する場合には、「コントロールパネル」から「Microsoft ネットワーククライアント」をインストールする必要があります。インストール方法については、「インターネットアクセスマネージャ」のオンラインヘルプをご覧ください。

- ③ 「電話料金」タブをクリック。
「電話料金」タブのウィンドウが表示されます。



ここでは、電話料金の管理を行うために必要な「電話料金」の設定を行います。

電話会社一覧および料金に関する項目の中から契約している電話会社の接続先までの距離・割引料金を選びます。接続先までの距離は電話帳などで調べてください。また、電話料金体系、割引料金は最新の情報をもう一度、確認してください。

- ④ 「電話料金計算の締め日」欄の右端の▼をクリック。
締め日の一覧が表示されます。

締め日の設定を行います。締め日の設定は、任意であり、必須ではありません。締め日は電話会社によって異なる「料金を計算する期間」を意味します。例えば、4月分の料金が「4月6日～5月5日までの使用料金」の場合は、締め日は「5日」に設定します。

- ⑤ 「プロバイダ料金」タブをクリック。
「プロバイダ料金」タブのウィンドウが表示されます。



ここでは、プロバイダ料金の管理を行うために必要な「プロバイダ料金」の設定を行います。

- ⑥ 「プロバイダ」欄の右端の▼をクリック。
プロバイダ一覧が表示されます。



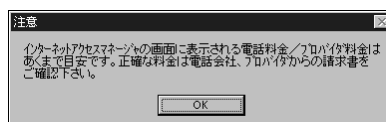
この中から契約しているプロバイダを選びます。選ばれたプロバイダの料金体系を自動的にインターネットアクセスマネージャに設定します。プロバイダの料金体系は変更されている可能性があります。最新の情報をもう一度確認してください。

- ⑦ 「料金計算の締め日」欄の右端の▼をクリック。
締め日の一覧が表示されます。

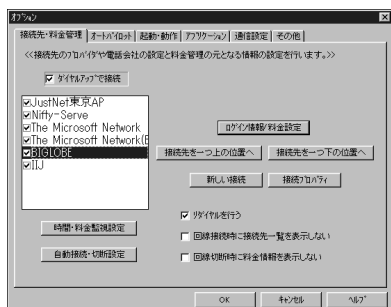


締め日の設定を行います。締め日の設定は、任意であり、必須ではありません。締め日はプロバイダ各社によって異なる「料金を計算する期間」を意味します。設定方法は手順④と同じです。

- ⑧ 締め日の設定が完了したら、「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ⑨ 「OK」をクリック。
最初の画面に戻ります。



この後、「接続先・順番」リストにあるほかの"接続先"に関しても、同様の手順で、ユーザー名、パスワード、電話料金、プロバイダ料金の設定を行います。これにより接続先ごとに料金管理ができます。

プロバイダ・電話会社の料金設定が正しく設定されていなければ、料金計算は正しく計算されませんので注意してください。また、プロバイダ・電話会社が料金改訂の場合は、お客様による再設定が必要になります。

- ⑩ すべての接続先について設定が完了したら、「OK」をクリック。
料金管理のための設定完了です。

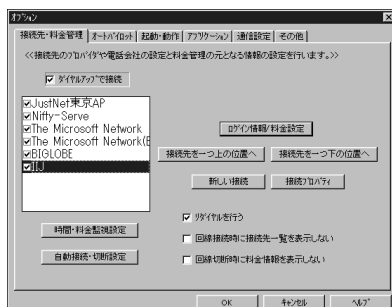
WWW ブラウザを確認する

「インターネットアクセスマネージャ」は、WWWブラウザと密接に連携をとって動作します。したがって、連携を取るWWWブラウザが「インターネットアクセスマネージャ」に設定されている必要があります。次の手順で確認してみましょう。

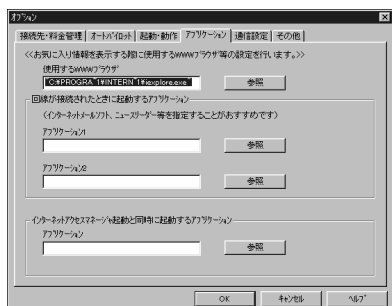
- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② メニューバーの「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「アプリケーション」タブをクリック。
「アプリケーション」タブのウィンドウが表示されます。



「WWW ブラウザ」欄に使用している WWW ブラウザが登録されていることを確認してください。もし、登録されていない場合や別の WWW ブラウザを指定する場合は、「参照」ボタンをクリックして WWW ブラウザの指定を行ってください。

- ④ WWW ブラウザの確認 / 指定が終わったら、「OK」をクリック。
「設定」ウィンドウが閉じます。

WWW ブラウザの変更

本機には、標準で「インターネットエクスプローラ」がすでにインストールされていますが、すでに「Netscape Navigator」を利用されている方は、「インターネットアクセスマネージャ」に登録されている WWW ブラウザを変更した場合、次のことを行ってください。

WWW ブラウザを起動すると、「Navigator はインターネットショートカットを扱うように登録されていません。Navigatorを通常使うブラウザとして登録しますか？」というメッセージが表示される場合があります。そのとき、「以降このメッセージを表示しない」チェックボックスにチェックして、「はい」をクリックしてください。

インターネットの効率的な使い方

インターネットへの基本的な接続

インターネットへの効率的な使い方を説明する前に、プロバイダに電話をかけてインターネットに接続するための基本的な操作方法を説明します。

以降の説明を読む前に次の操作ができるか確認を行ってください。以降「プロバイダに電話をかけます」という説明がある場合は、次の操作を行ってください。

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② ツールバー左端の  (接続) をクリック。
「インターネットアクセスマネージャ - 接続(接続先確認)」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「接続開始」をクリック。
接続を開始します。



途中でユーザー名とパスワードについての画面が表示される場合は、必要事項を入力してください。

自動的にプロバイダに電話をかけてインターネットへの接続を行います。画面上で"NIFTY-Serve(00:00:05)"というように接続先名と接続時間を表示されたら、接続が完了です。



また、タスクバーの右側にある  をダブルクリックすると、次の画面が表示され、接続状況を確認できます。



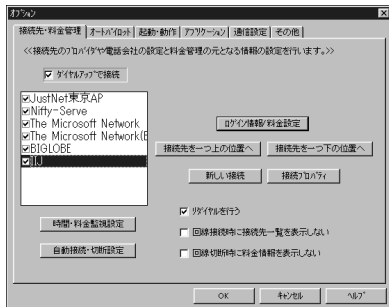
設定した時間・料金を越えたとき、アラームを表示させる

インターネットにかかる電話料金やプロバイダ料金を管理するには「接続管理」機能が便利です。あらかじめ設定した時間や料金を越えると、アラームを表示するため、アラームが出るまでの間は時間や料金を気にしないでインターネットを利用できます。

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「時間・料金監視設定」をクリック。
「接続時間・料金監視」ウィンドウが表示されます。



- ④ 画面上部のリストボックスの右端の▼をクリック。
監視条件の一覧が表示されます。
どういう単位で監視するかリストボックスの中から選びます（「監視する単位」と呼ぶ）。

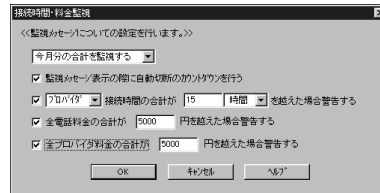
- ⑤ 「監視する単位」を選んでクリック。
(例 「今月分の合計を監視する」を選ぶ)
「接続時間・料金監視」欄の下 の 3 項目（「監視する項目」と呼ぶ）が濃く表示されるようになります（「監視しない」以外を選んだ場合はこのように濃く表示され、設定できるようになります）。



「監視する項目」

監視をする項目のチェックボックスにチェックをつけて、その時間もしくは料金を決めます。なお、この項目は、複数選ぶこともできます。

- ⑥ 「監視する項目」を設定する。
(例 今月のプロバイダ(BIGLOBE)の接続時間の合計が 15 時間を超えた場合と、全電話料金の合計金額が 5,000 円を超えた場合と、全プロバイダの利用料金が 5,000 円を超えた場合にそれぞれメッセージを表示させる)



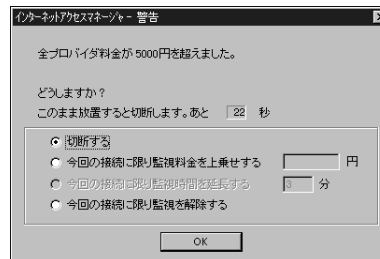
ここで、「今月分の合計を監視する」にした場合、電話会社とプロバイダの料金の計算の締め日によって、監視する期間が異なりますので注意してください。

(例 今日が 15 日の場合)

対象	締め日	監視する期間
プロバイダ	25 日	前月の 26 日～今月の 25 日
電話会社	5 日	今月の 6 日～来月の 5 日

このように設定した場合、設定した値を越えると、次のようなアラームメッセージが表示されます。

「全プロバイダの合計が 5000 円を越えた場合」のアラーム例



ここで、「切断する」がチェックされている状態で「OK」をクリックすると、回線が切断されます。一時的に、監視する料金を変更したい場合は「今回の接続に限り監視料金を上乗せする」をチェックし、上乗せする金額を右端の空欄に指定して、「OK」をクリックします。

また、「今回の接続に限り監視を解除する」をチェックし、「OK」をクリックすると今回の接続に限り警告メッセージが表示されなくなります。

■ アラームを使用するときの注意

・表示されるアラームは、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している時間・料金に基づいて表示していますが、これらの時間・料金はおおよその目安です。実際の電話会社・プロバイダからの請求料金とは誤差が生じる可能性があります。計算方式については「使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する」をご覧ください。

・「インターネットアクセスマネージャ」が起動していないときは、時間・料金の監視はできません。その場合にダイヤルアップネットワークなどから回線接続を行うと、時間・料金の計算、管理はできません。常に時間・料金の計算、管理をしたい場合は「インターネットアクセスマネージャ」は Windows 95 のスタートアップに登録することをおすすめします。なお、「インターネットアクセスマネージャ」が起動されていれば Windows 95 のダイヤルアップネットワークから直接回線接続を行っても、時間の監視はできますが、回線接続は「インターネットアクセスマネージャ」から行うことをおすすめします。

・「インターネットアクセスマネージャ」で管理している時間は、Windows 95 のシステム時計に依存しています。時間・料金を正しく管理するためにはシステム時計が正しく設定されていることが必要です。ご利用になる前に「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「日付と時刻」で現在の時刻が正しく設定されているか、もう一度確認してください。なお「インターネットアクセスマネージャ」を起動しているときはもちろん、起動していないときでも、システム時計は変更しないでください。

・電話料金はインターネット接続以外にも、通常の電話で使用されている場合がありますので、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している電話料金と実際に請求される料金が異なる場合がありますので、注意してください。また、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している電話料金は、基本料金・プッシュホン回線使用料は含みません。

・オートパイロット実行中はあらかじめ設定した時間もしくは料金を越えてもアラーム表示は行いません。オートパイロット終了後、次の回線接続時にアラーム表示を行います。

使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する

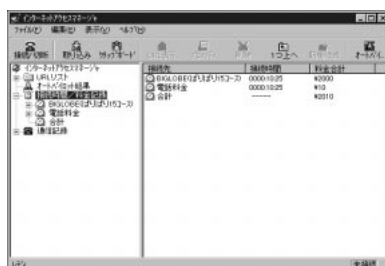
インターネット利用頻度が高い方のためには、その月にかかる電話料金やプロバイダ料金を概算する「接続管理」機能が便利です。あらかじめ設定された料金体系に基づいて、電話料金・プロバイダ料金を自動的に計算してくれるので、マウスをクリックするだけで、おおよその料金が確認できます。

使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する手順は、次の通りです。

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② ツリービューの「接続時間 / 料金記録」をクリック。
プロバイダの料金合計と電話の料金合計がわかります。



インターネットアクセスマネージャに登録してあるプロバイダごとの料金情報と電話料金の情報がリストビューに表示されます。

さらに「電話料金」をクリックすると、次のように各月別の料金と各日別の料金が表示されます。



プロバイダ	料金	電話料金
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円
インターネットエクスプローラ	10円	10円

■ 料金を確認するときの注意

・電話料金および、従量制プロバイダの料金計算方式についてインターネットアクセスマネージャでは次のように計算しています。1回の接続(回線接続から回線切断まで)の時間を計測し、課金単位で計算を行います(端数は切り上げ)。1ヶ月の料金は1ヶ月間(料金計算期間)の接続ごとの料金を合計した値となります。

例

60秒 10円の料金とすると1回の接続で90秒接続した場合、20円となる。

90秒 = 60秒 + 30秒

20円 = 10円 + 10円

したがって、実際のプロバイダ側での計算式が異なる場合は、料金も多少違ってくる場合があります。

登録されている URL にアクセスする

本機の「インターネットエクスプローラ」には、あらかじめ約30にジャンル分けされたURLが登録されており、「インターネットアクセスマネージャ」は、起動時にこれらの「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」の内容を「URLリスト」-「インターネットお気に入り」に自動的に登録します。このため、わざわざURLを入力しなくても、マウスをクリックするだけでホームページにアクセスできます。

インターネット上の情報は、日々変化しているため、目的のホームページのURLが変更されていたり、なくなったりしている場合もあります。

ホームページを整理する

よくアクセスするホームページのアドレス(URL)を覚えておきたい場合や、ブラウザに登録したホームページを整理したい場合は、「URL情報の登録・整理」の機能が便利です。

「URL情報の登録・整理」には、次のような特長があります。

- ・お気に入りのURLをフォルダを使って階層的に登録・整理することができる。
- ・登録するときに簡単なコメントをつけることができるので整理するときに便利。
- ・URLリストのレビューからダブルクリックで該当のURLをWWWブラウザに表示させることができる。
- ・Windows 95の「エクスプローラ」と同様なウィンドウ画面と操作性がある。

「インターネットアクセスマネージャ」では、タイトル、URL、コメントをまとめてURL情報と呼びます。フォルダ名の長さは40文字までです。

ブラウザと同じ URL のリストに整理する

ブラウザの中にお気に入りのURLを登録、一元管理するには、「URLリストの反映」が便利です。「URLリストの反映」では、WWWブラウザの管理しているお気に入りのURLを「インターネットアクセスマネージャ」のURLリストにワンタッチで反映することができます。また、その逆にURLリストをフォルダごとWWWブラウザに反映することができます。

これによって、気に入ったURLを一元管理することができます。

オートパイロットを利用する

「オートパイロット」では、ボタンをクリックするだけで、同じページへのアクセス作業を自動化すると同時に、あらかじめ指定されたURLを自動的に巡回してURLの内容をローカルディスクにダウンロードします。これによって、次の効果があります。

- ・ブラウザで表示するよりも短時間でチェックしたいURLの内容を入手することができる(電話料金、プロバイダ料金の節約)。
- ・ローカルのディスクにURLの内容があるため、回線を切断した後に電話料金やプロバイダ料金を気にせずゆっくり見ることができる。

■ オートパイロットの基本的な操作方法

「インターネットアクセスマネージャ」の「URL リスト」に初めから登録してある URL を例にして実際にオートパイロットの基本的な操作を説明します。

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② ツリービューにある「URL リスト」をダブルクリック。
次の画面が表示されます。



- ③ 「インターネットお気に入り」フォルダをダブルクリック。
登録されている URL 情報が表示されます。



- ④ リストビューの先頭にある [F] (ファイルのマーク) をクリック。
オートパイロットの巡回先を示す赤色の [R] (ロケットのマーク) に変わります。



これでオートパイロットの巡回先としての登録は完了です。

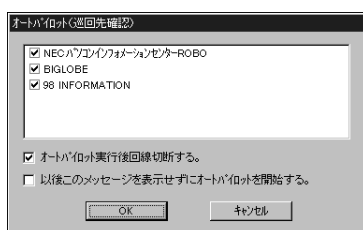
同じように「URL リスト」に登録してあるすべての URL 情報に対して 1 回のクリックで巡回先に指定することができます。

もう一度クリックすると [F] (ファイルのマーク) に戻って巡回先からはずれません。

- ⑤ 他の 2 つの URL も同様にクリック。
赤色の [R] (ロケットのマーク) に変わります。



- ⑥ [実行] (オートパイロット実行) をクリック。
「オートパイロット (巡回先確認)」ウィンドウが表示されます。



ここで、チェックマークをはずすと、巡回先からはずれません。ただし、「インターネットアクセスマネージャ」ウィンドウのリストビューでは、巡回先であることを示す「ロケットマーク」がついたままなので、次回にオートパイロットを実行するときには、巡回先の対象となります。

「オートパイロット実行後回線切断する」にチェックマークがついているときは、実行終了後に回線を自動的に切断します。

「以降このメッセージを表示せずにオートパイロットを開始する」にチェックマークがついているときは、 (オートパイロット実行) をクリックするとこの画面を表示せずにオートパイロットを開始します。

⑦ 「OK」をクリック。

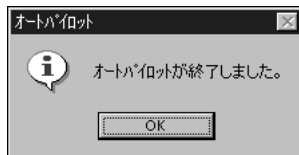
回線を接続してオートパイロットを実行します。「オートパイロット (巡回中)」ウィンドウが表示されます。



このウィンドウで表示される読み込みバイト数は、すでに最新のファイルがローカルディスク上にある場合は、「0」と表示されます。これは例えば次のような場合に該当します。

- ・同じファイルをもう一度巡回した場合。
- ・同じドメイン内で同一ファイルを複数の箇所からリンクしている構造のサーバ (URL) を複数階層指定した場合。

巡回が終了すると、次のメッセージが表示されます。



⑧ 「OK」をクリック。

■ オートパイロットでダウンロードしたURLの内容の確認

オートパイロットが終了したとき、「インターネットアクセスマネージャ」ウィンドウは次のようになっています。



ここで、オートパイロットでダウンロードしたURLの内容を見てみます。

- ① ツリービューの「オートパイロット結果」をクリック。ローカルディスクにダウンロードされたURLの一覧がリストビューに表示されます。



- ② リストビューに表示されているURLをダブルクリック。実際のWebサーバにあるURLの内容と同じ内容が表示されます。



このときWWWブラウザの「アドレス」ボックスには、「C:\」と表示されており、ローカルディスクにダウンロードしたデータを表示していることがわかります。

「オートパイロット結果」であるURLの先頭にあるマークは、ダウンロードの結果 (正常にダウンロードできたか否か) および、一度でもWWWブラウザで表示を行ったか (未読 / 既読) によって異なります。

アイコン	内 容
青の 	正常にダウンロードが完了したURL<未読のURL> 前回と比べて内容が変更されたURL
グレーの 	上記の青のアイコンをWWWブラウザで1度でも表示を行ったURL<既読のURL>
?付き 	内容の一部が欠落したURL サーバが混乱しているなどの理由で、一部のデータがダウンロードできなかったURL
×付きの 	サーバ側と通信が行えず、指定したURLのデータが全くダウンロードできなかったURL

一度見たオートパイロットの結果でも再度オートパイロットを実行してURL内容が更新されると、グレーのロケットマークから青のロケットマークに変更されます。

■ オートパイロットを使用するときの注意

・「インターネットアクセスマネージャ」のオートパイロットは通常の WWW ブラウザ と同様に指定の URL (サーバ) からダウンロードできない場合があります。これは、サーバがダウンしているときやサーバに多数のアクセスが集中している場合や URL がもうなくなっている場合などに起こります。

・「オートパイロット結果」が不正の場合は、WWW ブラウザでアクセスをしてみてください。WWW ブラウザで正しくアクセスできない URL はオートパイロットでも正しくアクセス(ダウンロード)できません。

・「インターネットアクセスマネージャ」のオートパイロットの巡回可能範囲は、次の通りです。

一般的な HTML ファイル、ftp ファイル、背景、ShockWave、BGM

上記以外の Java、クリッカブルマップ、RealAudio、CGI、ID とパスワードが必要な URL などは対応しておりませんので注意してください。

詳しく説明すると、インターネットアクセスマネージャのオートパイロットで認識する<タグ>は、次の通りです。

No.	タグ	意味
1	<BODY..> BACKGROUND="URL"	背景図
2	<FRAME> SRC="URL"	書類の指定
3		ハイパーリンク
4		インライン・イメージ
5	LOWSRCE="URL"	解像度の異なる画像の読み込み
6	GYNRCE="URL"	インラインビデオまたはVRML
7	<BGSOUND SRC="URL"..>	バックグラウンド・サウンド
8	<FIG SRC="URL"..>	回り込みインライン・イメージ
9	<EMBED SRC="URL"..>	Shockwave など

・サーバ側のデータ構造によっては、ダウンロードが完全にできなかった場合でも、正常にダウンロードできたことを示す青のロケットが表示される場合があります。あらかじめご了承ください。より詳しく説明すると次の通りです。

サーバによっては、格納されているデータ (GIF ファイルなど) のサイズを通知してくるものと通知してこないものがあります。サイズを通知してこないデータに関しては、一定時間データが送られてこなかった場合を、そのデータの終わりとして検出してはいますが、本当にデータの終わりなのか、サーバが混雑していて一定時間データが送られてこなかったのかの判断ができない場合があります。

・オートパイロット結果を見るときにダウンロードされていないリンク先をクリックすると、実際の Web にアクセスします (回線が接続されていない場合は回線接続のダイアログボックスが表示されます)。

・URL の内容 (サーバのデータ) によってはサーバ側と連携をとりながら、データを表示させるものもあります。オートパイロット結果として、こういったデータを WWW ブラウザ で見る場合には、Windows 95 ダイアルアップネットワークの回線接続ダイアログボックスが表示されたり、「サーバが見つかりません」といった類のメッセージが表示される場合があります。この場合には、必要であれば回線接続を行ってみてください。

・フレーム機能を利用した URL の内容 (サーバのデータ) をダウンロードする場合は、通常のサーバとはデータ構造が異なるため、1 階層レベルまで巡回することをおすすめします。

自動的にホームページを取得する

「オートパイロット」では、指定された時間に指定された URL やインターネット上にある β (ベータ) 版やシェアウェアなどのいろいろなソフトウェアを自動的に巡回してデータをローカルディスクにダウンロードします。これによって次の効果があります。

・ゆっくりとホームページを見ることができる。

・回線が空いているときにアクセスをするため、接続時間も短く電話料金やプロバイダ料金の節約になる。

・時差アクセスによって、インターネット全体のトラフィックを分散させることができる。

自動的にホームページを取得する方法は次の2通りがあります。

・「インターネットアクセスマネージャ」で時間指定を行う (指定された時間に「インターネットアクセスマネージャ」が起動されている必要があります)。

・「Timer-NX」と組み合わせて、本機の電源を切っている状態から電源を入れる→オートパイロット実行→電源を切るまでを自動的に行う。

✓ チェック!!

「Timer-NX」と組み合わせて「オートパイロット」を実行するときは、必ずパスワードの保存をしておいてください。パスワードの保存をしておかないと処理が途中で止まってしまう、オートパイロット実行と電源を切ることができません。



- ・「パスワードの保存」→本項の「利用環境を設定する」の「各接続の料金を設定する」

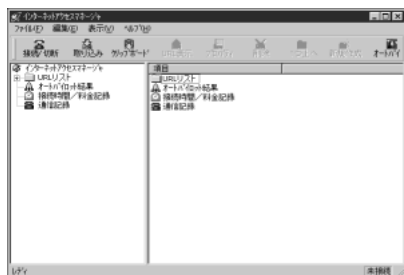
次の2つの項目は「オートパイロットとWを利用する」の「オートパイロットの基本的な操作方法」を参考にして設定・操作してください。

- ・オートパイロットの巡回先（指定された時間にダウンロードしたいURL）の設定のしかた。
- ・オートパイロットの結果の見方。

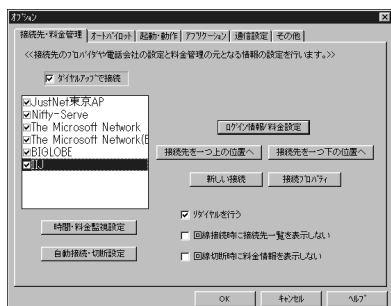
ここでは、すでにオートパイロットの巡回先が設定されているものとして説明をします。

■ インターネットアクセスマネージャで時間指定を行う

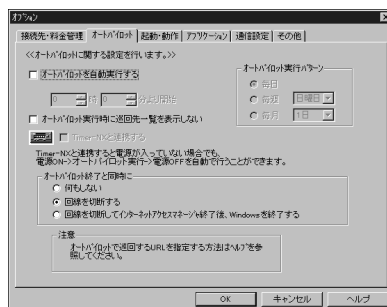
- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）



- ② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



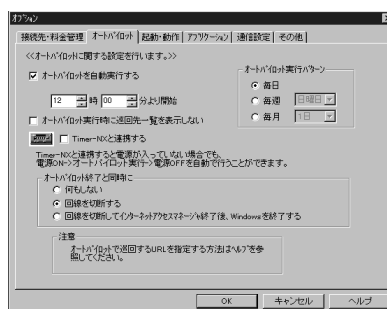
- ③ 「オートパイロット」タブをクリック。
「オートパイロット」タブのウィンドウが表示されます。



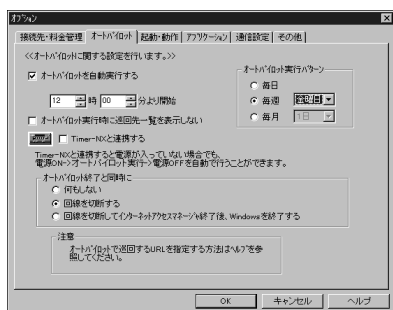
- ④ 「オートパイロットを自動実行する」チェックボックスをチェックする。
時間指定ができるようになります。



- ⑤ 自動実行を開始する時刻を設定する。
24 時間形式（0:00 ~ 23:59）で設定します。
（例 12:00）



- ⑥ 「オートパイロット実行パターン」を設定する。
(例 毎週・金曜日)



- ⑦ 「オートパイロット終了と同時に」を設定する。
「何もしない」以外をチェックしてください。



チェック!!

「何もしない」をチェックすると、オートパイロット実行後も回線を接続したままの状態となり、電話料金やプロバイダ料金が課金されます。

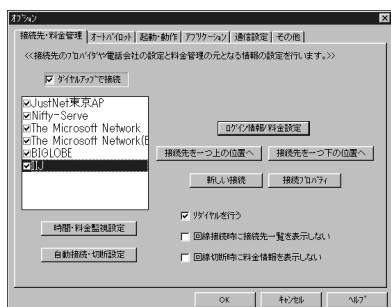
- ⑧ 設定が終了したら、「OK」をクリック。

以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットが実行されて、指定されたURLを自動的に巡回してデータをローカルディスクにダウンロードします。ダウンロードが終わったらオートパイロット結果を見てください。

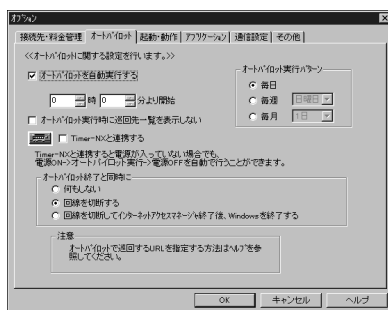
- 自動的に電源を入れたり切ったりする

「Timer-NX」と連携して「オートパイロット」で指定された時間に本機の電源を入れて、オートパイロット終了後に電源を切ることができます。

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」のメニューバーで「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



- ② 「オートパイロット」タブをクリック。
「オートパイロット」タブのウィンドウが表示されます。

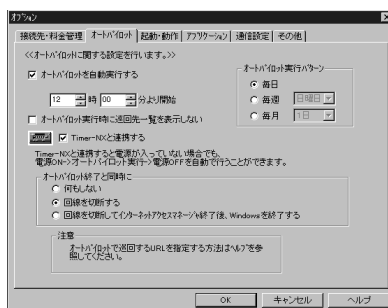


「オートパイロットを自動実行する」チェックボックスにチェックがしてあることを確認します。チェックされていない場合は、前述の「自動的にホームページを取得する」をご覧になり、チェックボックスにチェックを付けてください。

- ③ 「Timer-NX と連携する」チェックボックスをチェックする。



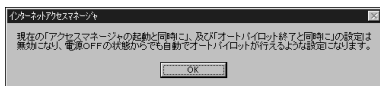
- ④ 自動実行を開始する時刻を設定する。
24 時間形式 (0:00 ~ 23:59) で設定します。
(例 12:00)



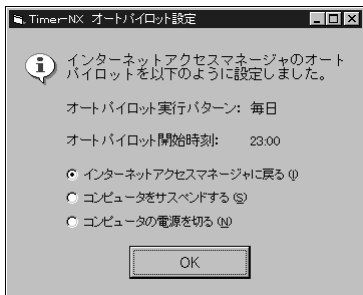
- ⑤ 「オートパイロット実行パターン」を設定する。
(例 毎週・金曜日)



- ⑥ 「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ⑦ 「OK」をクリック。
次のメッセージが表示され、「Timer-NX」の設定が完了したことを示します。



◎ オプション

- ・インターネットアクセスマネージャに戻る
- ・コンピュータをサスペンドする
- ・コンピュータの電源を切る

- ⑧ オプションを選んで「OK」をクリック。
これで設定は完了です。指定された時間になると、自動的に本機の電源が入り、インターネットアクセスマネージャが起動され、オートパイロットが実行されます。

✓ チェック!!

「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は「オートパイロット終了と同時に」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、電源を切ります。また、「設定」→「起動/動作」タブで「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」で設定されている内容とは関係なく、起動と同時に回線を接続し、オートパイロットを開始します。なお、「Timer-NX」と連携しない場合は、上記の動作は表示されている設定通りになります。

■ 自動的にホームページを取得するときの注意

・「オートパイロットを利用する」の注意事項をご覧ください。

・本機能が動作する時刻は Windows 95 のシステム時計の時刻に依存しています。「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「日付と時刻」で現在の時刻が正しく設定されているか、もう一度確認してください。

・時間指定で動作するほかのプログラムを使用しているときは、指定の時間が重ならないように注意してください。

・「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」で「回線を接続して、オートパイロットを開始する」を設定し、かつ、「オートパイロット終了と同時に」で「回線を切断してインターネットアクセスマネージャを終了する」の設定をした場合に、オートパイロット結果を確認するときは次の通りに操作してください。

「インターネットアクセスマネージャ」が起動し、オートパイロットの自動実行が開始されるまでの間にダイアログボックスが表示され、オートパイロットが実行されるまで 30 秒間カウントダウンを行います。ここで「中止」ボタンをクリックします。その後、「オートパイロットの基本的な操作方法」以降を参考にしてダウンロードした URL の内容を見ます。

・夜間自動実行を行う場合は、必ずパスワードを保存してください。保存しないと処理が途中で止まってしまう、オートパイロット実行と電源を切ることができません。

📖 参照

・パスワードの保存方法→本項の「利用環境を設定する」の「各接続先の料金を設定する」

・自動実行の設定が済んだら、事前に一度、一連の「自動実行動作(電源を入れる、インターネットアクセスマネージャの起動、回線の接続、オートパイロットの実行)」ができるかどうかを必ず確認してください。「オートパイロット実行中」の画面が表示されれば OK です。確認を終了するときは「中止」ボタンをクリックします。

・オートパイロットで何時何分に回線接続して何時何分に回線切断したのか、ダウンロードは正常にできたかどうかを確認するには「通信結果」フォルダおよび「オートパイロット結果」フォルダをご覧ください。

- ・夜間自動実行を行う場合は夜間に自動的に本機の電源が入りますので、安全に使用するために、本機に添付のマニュアルの使用上の注意事項を必ずひと通りお読みください。

オートパイロット結果を削除する

オートパイロットでダウンロードした結果を削除するには、2つの方法があります。

- ・「オートパイロット結果」フォルダをクリックしてリストビューにURL情報を表示させ、削除したいURL情報を右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を削除する」を選びます。この場合、指定されたURL情報の0階層目のデータのみをすべて削除します(2階層、3階層、…は他のURL情報が使用している場合や他のURL情報がリンクされている場合があるため削除しません)。
- ・ツリービューで「オートパイロット結果」フォルダを右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を空にする」を選びます。この場合、今までダウンロードしたデータをすべてフォルダごと削除します。

自動的にファイルを取得する

「オートパイロット」では、インターネット上にあるβ(ベータ)版やシェアウェアなどのいろいろなソフトウェアを自動的に(指定された時間)に指定されたファイルをローカルディスクにダウンロードしてくれます。ただし、指定された時間であってもサーバ側の状態(アクセスが集中している等)によっては、ダウンロードできない場合もありますので、ご了承願います。また、「自動的にホームページを取得する」の注意事項をご覧ください。

次に具体的な例を提示しますので、同じような操作でファイルをダウンロードしてください。

- ① WWWブラウザを起動して、ダウンロードしたいソフトの格納されているページを表示する。



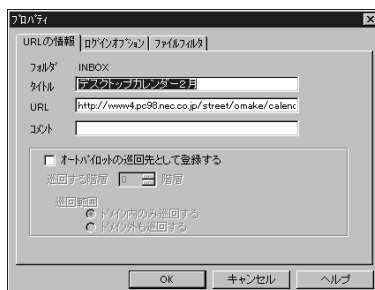
- ② 「取り込み」ボタンをクリック。
- ③ 「インターネットアクセスマネージャ」を最大画面にする。



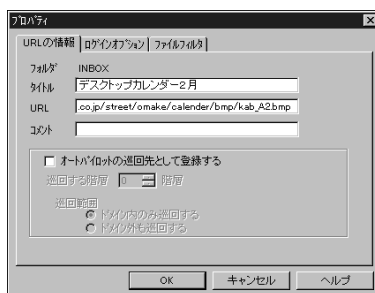
- ④ 取り込んだURLを右クリック。ポップアップメニューが表示されます。



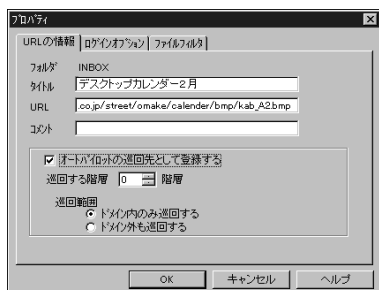
- ⑤ 「プロパティ」をクリック。「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 登録されているURLの最後にある"vs_13"を削除して、ダウンロードするファイル名を入力する。(例「/bmp/kav_a2.bmp」を入力)



- ⑦ 「オートパイロットの巡回先として登録する」チェックボックスをチェックする。



- ⑧ 「OK」をクリック。



- ⑨ 「自動的にホームページを取得する」の手順を参考にオートパイロットを実行する時間の設定を行う。
以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットを実行して、指定されたファイルを自動的にローカルディスクにダウンロードします。

指定されたファイルは「インターネットアクセスマネージャ」がインストールされているフォルダに、URLのアドレスと同じようなフォルダ構造で格納されています。

アクセスポイントに電話をかける

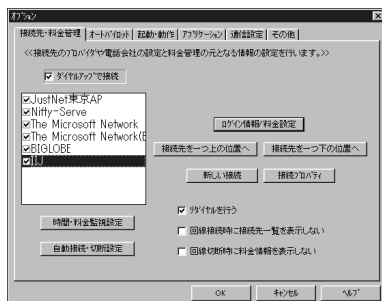
「オートダイヤル」では、あらかじめ指定されたアクセスポイントにつながるまで何度でも電話をかけ直します。ただし、電話回線の仕様で、1つの接続先（アクセスポイント）に対して、最初に電話をかけてから3分間に3回しかかけられません。3回かけてもなお話中であれば、次に電話をかけるのは3分後になります。

■ アクセスポイントを設定する

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）



- ② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



「接続先・料金管理」タブのウィンドウで、アクセスポイントをチェックします。

ここで、「リダイヤルを行う」チェックボックスにチェックマークがついていることを確認します。購入時の状態ではチェックされています。

- ③ 確認したら「OK」をクリック。
以上で設定は完了です。回線接続を行って、話し中の場合は自動的に電話をかけ直します。

電話をかけるタイミング

最初に電話をかけてから3分間の間は2回しかかけ直しすることができません。

4回目は最初に電話をかけたときから3分後にかけ直します。

回線接続実行

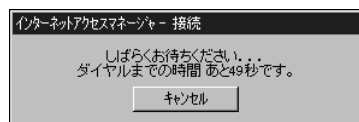
↓

1回目 2回目 3回目 4回目 5回目
← 3分間 →← 3分間

話し中 話し中 話し中

← 待ち時間 →

3回目にかけてから「話し中」を検出して、次に電話をかけるまでの間(待ち時間)、「接続」ダイアログボックスが表示されます。



自動的にアクセスポイントを変更する

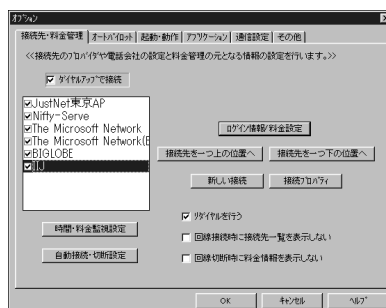
アクセスポイントが話し中なので、次に近いアクセスポイントにかけ直す、または、固定制プロバイダにかけ直す、というようにアクセスポイントのかけ直しは、大変手間のかかる作業です。これを自動的に行うには「オートダイヤル」が便利です。ただし、電話回線の仕様で、1つ下の接続先(アクセスポイント)に対して、最初に電話をかけてから3分間に3回しかかけられません。2回かけてもなお話し中であれば、次に電話をかけるのは3分後になります。

アクセスポイントを設定する

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)



- ② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



「接続先・料金管理」タブのウィンドウで、アクセスポイントをチェックします。

電話をかけるアクセスポイントを上から順番に並び替えてチェックをつけてください。画面上に設定されているアクセスポイントで、チェックボックスがついているものを順番にかけていきます。

・電話をかけたくないアクセスポイントは、チェックをはずしてください。

・順番を並び替えたい場合は、該当のアクセスポイントをクリックして反転表示にした後、「接続先を1つ上の位置へ」ボタン、もしくは、「接続先を1つ下の位置へ」ボタンを使用します。

上記の例では、「JustNet 東京 AP」「NIFTY-Serve」「The Microsoft Network」「IJJ」「BIGLOBE」の順番に電話をかけます。

「リダイヤルを行う」チェックボックスにチェックマークがついていることを確認します。既定値ではチェックされています。

- ③ 「OK」をクリック。

以上で設定は完了です。回線接続を行って、話し中の場合は自動的に次のアクセスポイントに電話をかけます。さらに、設定されているアクセスポイントがすべて話し中の場合は、もう一度最初から順番に電話をかけ直します。

■ 電話のかけ直しについての注意

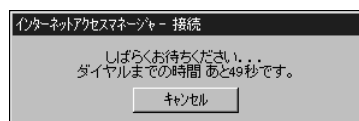
最初に電話をかけてから 3 分間の間は 1 つのアクセスポイントに 2 回しかかけ直すことができません。4 回目は最初に電話をかけたときから 3 分後にかけ直します。

回線接続実行



BIGLOBE			JustNet			BIGLOBE	
1 回目	2 回目	3 回目	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	
←	3 分間			→←		→	
			←待ち時間→				

1 回目にかけてから「話し中」を検出して次に同じアクセスポイントに電話をかけるまでの間(待ち時間)、「接続」ダイアログボックスが表示されます。



通信記録（ログファイル）を見る

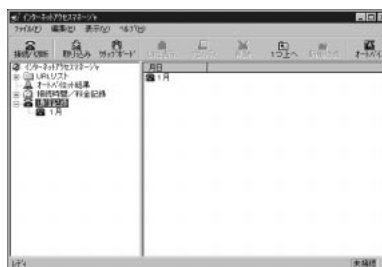
「通信記録」では、過去にアクセスした接続開始時間、終了時間の記録(ログ)をとっており、一目で確認できます。ただし、記録の保存期間は最長12ヶ月です。保存期間を過ぎた記録は削除されます。

■ 通信記録（ログファイル）を見る

- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→
「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→
「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→
「インターネットアクセスマネージャ」)

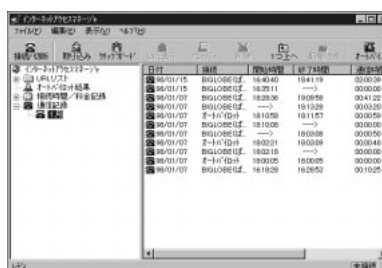


- ② ツリービューの「通信記録」をダブルクリック。



- ### ③ 「月名」をダブルクリック

選ばれた月の接続ごとの接続開始時間、終了時間が表示されます。



記録は一番新しいものがリストビューの一番上に表示
されます。

＜ツリービュー＞

項	表示内容
《日付》	接続を行った日の通信記録を、月単位（1日～末日）で表示します。 接続の記録を、1回の接続ごとに表示します。

<リストビュー>

項	表示内容
《日付》	接続を行った日付を表示します。
《接続》	接続した接続先名を表示します。オートパイロットを実行した場合は、“オートパイロット”と表示します。
《開始時間》	プロバイダに接続し、ログインが完了した時間を表示します。オートパイロット実行後は、“→”が表示されます。
《終了時間》	回線を切断した時間を表示します。接続中にオートパイロットが行われた場合は、“→”が表示されます。
《通信時間》	《開始時間》から《終了時間》までの時間を表示します。オートパイロットの場合は、オートパイロットにかかった時間を表示します。
《動作》	接続の動作結果を表示します。

回線接続関連

* <<接続>> がオートパイロット以外の場合

No.	動作結果	意 味
1	接続開始	回線を接続したことを意味します。回線接続後にオートパイロットを実行した場合にこの状態が表示されます。 このとき終了時間は「→」の表示になります。 さらに、回線接続中もこの表示になります。
2	正常	正常に回線接続ができていた状態から回線を切断したことを意味します。
3	回線使用中	回線が使用中であることを意味します。相手先が混雑（ビジー）していたことを示します。
4	回線でエラー発生	モデムの電源が入っていないときなどに表示されます。回線上で何らかの障害が発生したことを意味します。
5	ログイン失敗	ID/パスワードなどが誤ってサーバにログインできなかったことを意味します。
6	リモートから切断	サーバ側から切断されたことを意味します。
7	応答なし	サーバからの応答がないとき（サーバが混雑しているときなど）に表示されます。
8	メモリ不足	メモリ不足で処理が継続できなかったことを意味します。
9	不明	上記以外の何らかの異常が発生したことを意味します。

オートパイロット関連

* <<接続>> がオートパイロットの場合

No.	動作結果	意 味
1	成功	オートパイロットの実行がすべて正常に完了したことを意味します。
2	一部不正	巡回したURLの中で一部のデータがダウンロードできなかったことを意味します。 複数のURLを指定した場合で、その中の1つでもURLに不具合があった場合も、この表示が出ます。
3	中断	ユーザ操作により中断されたことを意味します。
4	タイムアウト	目的のサーバからの応答が一定時間なく、タイムアウトしたことを意味します。
5	アドレス不正	存在しないアドレスを指定されたことを意味します。
6	コネクション失敗	Webサーバ側の理由により通信ができなかったことを意味します。
7	更新なし	巡回したURLが現在、ハードディスク上にあるデータから更新されていないことを意味します。
8	HD容量不足	インターネットアクセスマネージャのインストール先ドライブの空き容量が少ないため、オートパイロットを中断したことを意味します。
9	読み込み不可	Webサーバの応答ステータスがエラーもしくは、通信エラーのため、読み込めなかったことを意味します。
10	実行中	オートパイロット実行中にサーバ側から切断されるなどの異常が発生して、オートパイロットを実行中にインターネットアクセスマネージャを終了したことを意味します。

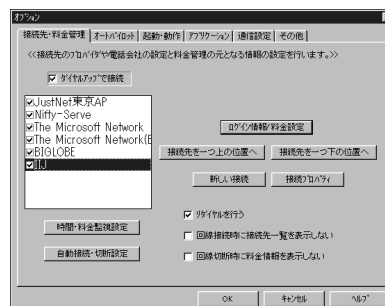
回線接続直後にメールやニュースを読み込む

「インターネットアクセスマネージャ」が回線接続と同時に、あらかじめ指定されたアプリケーション（インターネットメールソフトやニュースリーダーなど）を起動させることができます。いつも使用するメールやニュースリーダーを登録しておくくと便利です。

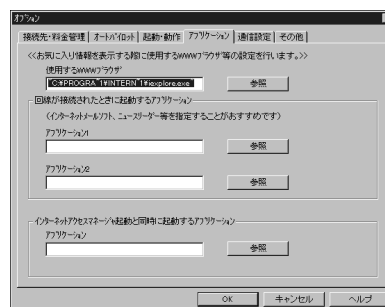
- ① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）



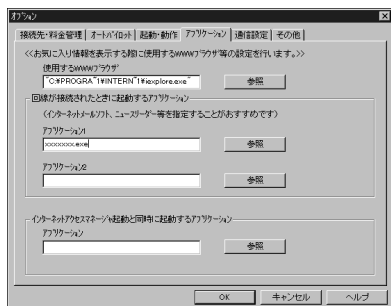
- ② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「アプリケーション」タブをクリック。
「アプリケーション」タブのウィンドウが表示されます。



- ④ 「回線が接続されたときに起動するアプリケーション」の欄に、起動したアプリケーションの格納場所を「参照」を使って設定する。



- ⑤ 「OK」をクリック。
以上で設定は完了です。回線接続をしてみてください。
指定されたアプリケーションが自動的に起動します。

パソコン通信

本機で「PC-VAN」、「AOL」、「NIFTY SERVE」に接続するための設定方法について説明します。

概要

パソコン通信とは、電話回線を通して、他のパソコンと情報をやりとりすることです。「PC-VAN」、「AOL」、「NIFTY SERVE」は、いずれもパソコン通信サービスで、電子メールやオンラインショッピング、仕事や趣味の共通の話題について話し合える「フォーラム」などのサービスを提供しています。本機には、それぞれのパソコン通信サービス専用の接続ソフトが添付されていますので、簡単にサービスを利用することができます。

■ パソコン通信を利用する前に

パソコン通信をする前に、本機の FAX モデムボードと電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。



参照

- ・電話回線との接続→『STEP1 接続と準備』PART2「電話回線に接続する」

PC-VAN を利用する

「BIGLOBE」のパソコン通信サービス「PC-VAN」のサービスを利用する場合は、「PC-VAN ナビゲータ」を使います。

入会手続き (サインアップ)

はじめて「PC-VAN」を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、「BIGLOBE」の会員になる必要があります。「BIGLOBE サインアップナビ」というソフトを使って、BIGLOBE に入会できます。



参照

- ・「BIGLOBE サインアップナビ」を使った入会方法→『インターネット入門』PART3「BIGLOBE に入会する」

PC-VAN ナビゲータの起動

「PC-VAN ナビゲータ」を起動して、「PC-VAN」を利用します。

- ①「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「PC-VAN ナビゲータ」または「スタート」→「プログラム」→「PC-VAN ナビゲータ」→「PC-VAN ナビゲータ」をクリック
「PC-VAN ナビゲータ」が起動します。



PC-VAN ナビゲータの通信設定

- ①「PC-VAN ナビゲータ」の起動ウィンドウで「設定」をクリック。
「通信設定」ウィンドウが表示されます。



- ②「通信速度」の▼をクリックして「38400」をクリック。
- ③「ID」、「パスワード」を入力する。
ここにIDを入力しておく、接続のつどIDを入力する手間が省けます。

安全のため、パスワードはここには入力せず、接続のつど入力することをおすすめします。

「BIGLOBE サインアップナビ」でサインアップした場合は、仮パスワードが自動的に設定されています。

- ④「アクセスポイント第1候補」に最寄りのアクセスポイントの電話番号を入力。
アクセスポイントの電話番号がわからないときは、「参照」をクリックすると、アクセスポイント一覧が表示されます。この中から最寄りの「地区名」と、「速度」を選んでください。アクセスポイントは、第3候補まで設定できます。

- ⑤ 回線種別を設定。
利用する電話回線に合わせて設定します。
- 内線発信の回線からご利用の場合は、「内線」をクリックして、チェックをつけます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
これで、設定は完了です。「PC-VAN ナビゲータ」を使って「PC-VAN」にアクセスすることができるようになります。

PC-VAN への接続

- ① 「ID」、「パスワード」を入力する。
すでに設定している場合は、入力する必要はありません。
- ② 「接続」をクリック。
PC-VAN に接続します。

AOL を利用する

パソコン通信サービス「AOL（アメリカ・オンライン）」のサービスを利用する場合は、「AOL」を使います。

AOL のセットアップ

本機には、「AOL」はセットアップされていません。本機で「AOL」を利用するには、本機にセットアップされている「AOLへのご招待」を使用して「AOL」をセットアップする必要があります。



- ・セットアップ方法→PART1「セットアップされていない機能の追加」

入会手続き（サインアップ）

はじめてAOL（アメリカ・オンライン）を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、AOL（アメリカ・オンライン）の会員になる必要があります。



- ・入会方法→『AOL ハンドブック』

AOL の起動

「AOL」を起動して、「AOL」を利用します。

- ① デスクトップの「AOL の世界へようこそ」をクリック。
「AOL」が起動します。
- 詳しい使い方は本機添付の『AOLハンドブック』をご覧ください。

NIFTY SERVE を利用する

パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」のサービスを利用する場合は、「NIFTY MANAGER」を使います。

NIFTY MANAGER のセットアップ

本機には、「NIFTY MANAGER」はセットアップされていません。本機で「NIFTY MANAGER」を利用するには、まずセットアップする必要があります。



- ・セットアップ方法→PART1「セットアップされていない機能の追加」

入会手続き（サインアップ）

はじめて「NIFTY SERVE」を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、「NIFTY SERVE」の会員になる必要があります。「NIFTY SERVE サインアップ」というソフトを使って、「NIFTY SERVE」に入会できます。



- ・入会方法→『ニフティサーブ イントロパック』

NIFTY MANAGER の起動

「NIFTY MANAGER」を起動して、NIFTY SERVE を利用します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「NIFTY MANAGER」→「NIFTY MANAGER」をクリック。
「NIFTY MANAGER」が起動します。
- はじめて「NIFTY MANAGER」を起動した場合には、「NIFTY MANAGER 利用規約」ウィンドウが表示されます。2 回目以降に起動した場合には、このウィンドウは表示されません。

- ② 最後までよく読む。
最後までよく読むと「同意する」がクリックできるようになります。

- ③ 「同意する」をクリック。
「NIFTY SERVE サインアップ」で通信環境を登録した場合は、「ワンポイント」ウィンドウが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

この場合は、以降の「通信環境の設定」の手順は必要ありません。「NIFTY SERVE への接続」に進んでください。

「セットアップ」ウィンドウが表示された場合は、以降の「通信環境の設定」の手順を行ってください。

通信環境の設定

「NIFTY SERVE サインアップ」で通信環境を登録しなかった場合や、以前から「NIFTY SERVE」のIDを持っていて、「NIFTY SERVE サインアップ」を利用しなかった場合は、はじめて「NIFTY MANAGER」を起動したときに「セットアップ」ウィンドウが表示されます。次の手順で設定してください。

- ① 「ユーザーID」と「パスワード」を入力する。
ここに「NIFTY SERVE」のユーザーIDを入力しておくと、接続のつどIDを入力する手間が省けます。

安全のため、パスワードはここには入力せず、接続のつど入力することをお勧めします。
- ② 「次へ」をクリック。
アクセスポイントを設定するウィンドウが表示されます。
- ③ 一覧から最寄りのアクセスポイントをクリック。
- ④ 「次へ」をクリック。
モデムを選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑤ 使用しているモデムが表示されていることを確認して、「次へ」をクリック。
電話の設定を行うウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「標準」が選ばれていることを確認して、「次へ」をクリック。
「セットアップが完了しました」と表示されます。
- ⑦ 「完了」をクリック。
「ワンポイント」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「閉じる」をクリック。
これで、設定は完了です。「NIFTY MANAGER」を使って「NIFTY SERVE」にアクセスできるようになりました。

NIFTY SERVE への接続

「NIFTY SERVE」に接続します。

- ① 「NIFTY MANAGER」のツールバーのをクリック
ID やパスワードを設定していない場合は、入力するウィンドウが表示されますので、入力してください。
「NIFTY SERVE」に接続します。

ダイヤルアップネットワーク

通常の電話回線とモデムを利用してインターネットに接続することを、ダイヤルアップ接続といいます。ダイヤルアップ接続を行うときに必要なソフトが「ダイヤルアップネットワーク」です。

既存のダイヤルアップネットワークの確認

ここでは、例として「BIGLOBE」という「ダイヤルアップネットワーク」の内容を確認してみます。BIGLOBEで入会申込を行った場合には、「BIGLOBE」アイコンが作成されます。

- ① 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開く。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ダイヤルアップネットワーク」）



- ② 「BIGLOBE」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



- ③ 「プロパティ」をクリック。
「BIGLOBE」ウィンドウが表示されます。



ここでは、プロバイダへ接続するときの電話番号と、使用するモデムについて確認できます。

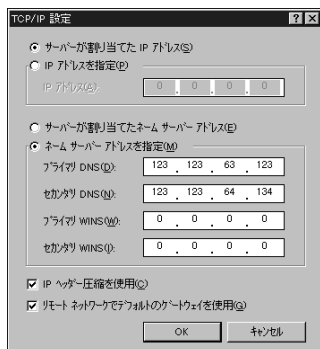
- ④ 「サーバーの種類」タブをクリック。
「サーバーの種類」タブのウィンドウが表示されます。



ここでは、次の確認ができます。

- ・「サーバーの種類」
「PPP:Windows 95、WindowsNT 3.5、インターネット」が選択されている。
- ・「使用できるネットワークプロトコル」
「TCP/IP」が選択されている。

- ⑤ 「TCP/IP 設定」をクリック。
「TCP/IP 設定」ウィンドウが表示されます。



ここでは、プロバイダによっては、IP アドレスやネームサーバーアドレスが設定されていることもあります。

以上で、「BIGLOBE」の内容が確認できました。

新しいダイヤルアップネットワークの作成

プロバイダによっては、新しいダイヤルアップネットワークを作成する必要がある場合があります。新しくダイヤルアップネットワークを作成するには、次の手順を行ってください。

- ① 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開く。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ダイヤルアップネットワーク」)



- ② 「新しい接続」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



- ③ 「作成」をクリック。
「新しい接続」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「接続名」を入力する。
(例 NEC)



この名前は、ほかの「ダイヤルアップネットワーク」アイコンと区別するためですから、自分で覚えやすい名前を自由につけてかまいません。

モデムを変更したい場合は、「設定」をクリックします。

- ⑤ 「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



プロバイダへ接続するための電話番号と国番号を入力します。

- ⑥ 「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



- ⑦ 「完了」をクリック。
「NEC」という「ダイヤルアップネットワーク」が作成されました。



- ⑧ 「NEC」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



- ⑨ 「プロパティ」をクリック。
「NEC」ウィンドウが表示されます。

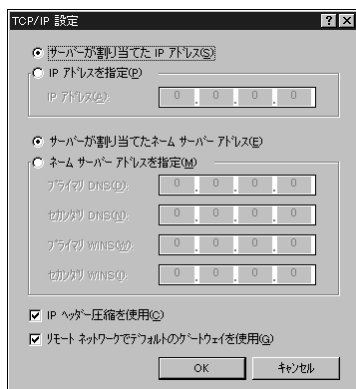


- ⑩ 「サーバーの種類」タブをクリック。
「サーバーの種類」タブのウィンドウが表示されます。



「サーバーの種類」「詳細オプション」「使用できるネットワークプロトコル」の設定を、プロバイダからの指示に従って行います。

- ⑪ 「TCP/IP 設定」をクリック。
「TCP/IP 設定」ウィンドウが表示されます。



ここでも、プロバイダの指示に従って設定を行います。

- ⑫ 設定が完了したら、「OK」をクリック。
「NEC」という「ダイヤルアップネットワーク」の作成 / 設定が完了しました。

3

パソコンを守るアプリケーション

-
- パソコンを守るアプリケーション
 - 利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉
 - Windows 95 の動作の監視〈CyberWarner-NX〉
 - ウイルスの検査と駆除〈Virus Scan for Windows 95〉

パソコンを守る アプリケーション

本機のシステムを、コンピュータウイルスや、誤操作による設定の変更から守るためのアプリケーションについて説明します。

本機のシステムを守る

本機には、Windows 95 の利用環境を限定することにより、システムに影響を与えないようにする機能や、万一コンピュータウイルスに感染した場合でも、ウイルスを発見し、駆除する機能があります。

ただし、購入時には常に使えるようには設定されていない機能もあります。利用状況に合わせて設定してください。なお、設定すると、システムに常駐して、ファイルを監視し続けたりするため、アプリケーションの動作が多少遅く感じることがあります。

Windows 95 の利用環境を限定する (CyberTrio-NX)

「CyberTrio-NX」は、Windows 95 の利用環境を、利用するレベルに合わせて「ベーシックモード」「キッズモード」「アドバンスモード」の3つのモードを切り替えることができます。

購入時は、「ベーシックモード」に設定されています(タスクバー右隅の  アイコンが黄色になっています)。「ベーシックモード」はシステムに影響を与える機能を制限して、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。通常は、このモードで本機をお使いください。

他のモードに変更することもできます。



参照

- ・他のモードへの変更方法→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

ほかに、次のモードがあります。

◎ キッズモード

「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみを使用できます。例えば、子どもが操作してもよいアプリケーションを限定できます。また、子どもが「キッズモード」を簡単にほかのモードへ変更できないような設定にすることもできます。保護者の方が、子ども用に使用するアプリケーションを「キッズモードのデスクトップ」に登録してあげてください。



参照

- ・キッズモードでの設定→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

◎ アドバンスモード

Windows 95 へのフルアクセスが可能です。利用環境を限定しません。システムの設定が必要な場合は、「アドバンスモード」に切り替えてから設定を行ってください。



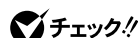
参照

- ・CyberTrio-NXの使い方→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

Windows 95 の動作環境を監視する (CyberWarner-NX)

CyberWarner-NXは、Windows 95 の動作に影響を与えるファイルを監視して、操作中にそれらのファイルを削除、または変更しようとする、警告を発します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

システムの変更を行うときや、アプリケーションの追加や削除、ファイルの削除、変更をするときに起動して使用してください。誤って操作することを防ぐことができます。



チェック!!

購入時には起動されていません。起動してから使用してください。

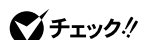


参照

- ・CyberWarner-NX の起動方法→PART 3「Windows 95 の動作の監視〈CyberWarner-NX〉」

ウイルスを検査、駆除する (VirusScan for Windows 95)

VirusScan for Windows 95は、ディスクのシステム、データ領域、メモリをチェックしてコンピュータウイルス(以降、ウイルス)に感染していないかを調べたり、万一、感染していた場合でも、ウイルスを駆除して、プログラムやシステム領域が元の状態になるまで修復することができます。



チェック!!

購入時は起動されていません。起動してから使用してください。



参照

- VirusScan for Windows 95 の起動方法、設定方法
→ PART3「ウイルスの検査と駆除 (VirusScan)」

利用レベルの モード変更 〈CyberTrio-NX〉

このアプリケーションでは、Windows 95 を利用するレベルに合わせたモードの変更ができます。

モードの種類

「CyberTrio-NX」では、次の3種類のレベルのモードから選ぶことができます。

◎ ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぎます。

◎ キッズモード

「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみが使用できます。

◎ アドバンスモード

Windows 95へのフルアクセスが可能です。

✓チェック!!

購入時は「ベーシックモード」に設定されています。システムの設定が必要になったときは、「アドバンスモード」に切り替えてください。

モードの変更

Windows 95の利用するレベルは、購入時は「ベーシックモード」に設定されていますが、自由に変更できます。モードに合わせて、タスクバーに表示されている「CyberTrio-NX」のインジケータの色がモードに応じて次のように変わります。

「キッズモード」 : 緑色
「ベーシックモード」 : 黄色
「アドバンスモード」 : 赤色

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモード変更を行う前に、ほかの起動中のアプリケーションを必ず終了させてください。また、編集集中の必要なデータなどは保存してください。

ベーシックモードからアドバンスモードへの変更

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To アドバンスモード」をクリック。
「アドバンスモード」へ変更されます。

✓チェック!!

- ・「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
「ユーティリティ」→「CyberTrio-NX (利用者モード)」→「CyberTrio-NX (利用者モード変更メニュー)」→「アドバンスモード」をクリック。
- ・購入時の状態では、再起動すると「ベーシックモード」に戻ります。再起動時のモードを設定する方法は、後述の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

ベーシックモード (またはアドバンスモード) からキッズモードへの変更

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To キッズモード」をクリック。
「キッズモード」へ変更されます。

✓チェック!!

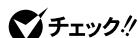
- ・「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
「ユーティリティ」→「CyberTrio-NX (利用者モード)」→「CyberTrio-NX (利用者モード変更メニュー)」→「キッズモード」



- ・購入時の状態では、再起動すると「ベーシックモード」に戻ります。再起動時のモードを設定する方法は、後述の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

キッズモードからほかのモードへの変更

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To ベーシックモード」または「Go To アドバンスモード」をクリック。
「ベーシックモード」または「アドバンスモード」へ変更されます。



チェック!!

・「CyberTrio-NX(利用者モード変更メニュー)」で変更することもできます。「キャンセル」をクリックすると元のモードに戻ります。

・購入時の状態では、再起動すると「ベーシックモード」に戻ります。再起動時のモードを設定する方法は、後述の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

起動時のモードの設定

本機の電源を入れたときに起動するモードを設定できます。購入時は「ベーシックモード」が設定されています。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック。
次のメニューが表示されます。



「前回終了した時のモード」を選ぶと、前回に本機の電源を切ったときに使われていたモードで起動します。「起動時にモードを選択」を選ぶと、本機の電源を入れて起動したときに、「CyberTrio-NX」メニューが表示され、モードを選ぶことができます。

ベーシックモード

「ベーシックモード」では、「アドバンスモード」に比べて、ユーザーがシステム環境を誤って変更しないように、システムへ影響を与える動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぐことを目的としています。通常は、このモードを使うことをおすすめします。

ベーシックモードでの制約

「ベーシックモード」では次の点で制約があります。これらの機能を使う場合は、「アドバンスモード」に変更してください。



参照

・モードの変更→この項の「モードの変更」

■ コントロールパネル

「コントロールパネル」に関して次のような制約があります。

使用できないアイコン（アイコンが表示されません）

- ・「ネットワーク」
- ・「モデム」
- ・「マルチメディア」
- ・「サウンド」

また、「システム」の「デバイスマネージャ」および「ハードウェア環境」タブは使えません。さらに「プリンタ」で「プリンタの削除」はできません。

■ タスクバー、デスクトップの設定

変更できません。

■ レジストリエディタとシステムエディタ

使用できません。

■ CyberWarner-NX の使用

起動時に「警告あり」のモードになります。起動後に、「警告なし」のモードへの変更は可能です。



参照

・CyberWarner-NX→PART 3「Windows 95の動作の監視〈CyberWarner-NX〉」

✓チェック!!

モデムを削除後に再起動した場合、「ベーシックモード」で再起動すると、モデムを正常に認識できません。起動時のモードを「アドバンスモード」に変更してから再起動してください。

起動時のモードを設定する方法は、前述の「モードの変更」の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

キッズモード

本機を、子どもといっしょに使いたいときは、子どもが使えるアプリケーションを限定し、子ども専用のパソコンとして設定できます。

使いたいアプリケーションの設定や、「キッズモード」の動作設定などは、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」からできます。

✓チェック!!

「キッズモード」では次の制約があります。

- ・「スタート」メニューから選べるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・マウスの右クリックは動作しません。
- ・タスクバーには (CyberTrio-NX) と  (VSC-88) のインジケータだけが表示されます。「VSC-88」の設定は変更しないでください。
- ・「CyberWarner-NX」がインストールされているときは、「キッズモード」は「警告あり」のモードで起動されます。このとき、アイコンは表示されません。

使いたいアプリケーションの設定

「キッズモード」で使用できるアプリケーションは、次の手順で設定します。保護者の方が、設定してあげてください。

✓チェック!!

購入時には「デスクトップ」に「CyberTrio-NX メニュー」が追加されています。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「プログラムの追加と削除」をクリック。
- ② 使用したいアプリケーションを指定する。

- ③ アプリケーションの追加先に「マイプログラム」または「デスクトップ」を指定する。



- ④ 「追加」をクリック。

✓チェック!!

- ・アプリケーションのショートカットを追加するときは、「プログラム」メニューを選んでショートカットを選んでください。
- ・アプリケーションのファイル名を追加するときは、「参照」メニューを選んで、「ファイルを開く」ウィンドウの中でファイル名を選んでください。
- ・使用できるアプリケーションを確認するには、「プロパティ」をクリックします。
- ・アプリケーションを削除するときは、「削除」をクリックします。

キッズモードの動作設定

パスワード、デスクトップの背景、サウンドなどの設定ができます。

■ パスワードの設定

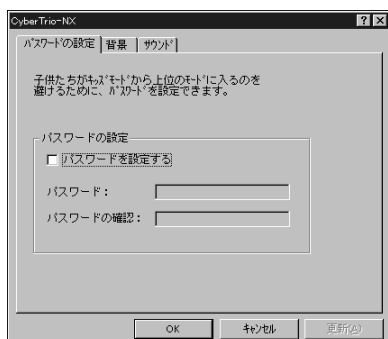
子どもが「キッズモード」からほかのモードに変更できないように、パスワードを設定できます。パスワードは最大8文字までの英数字で、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」から設定します。

✓チェック!!

購入時には、パスワードは設定されていません。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作設定」をクリック。「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

② 「パスワードの設定」タブをクリック。

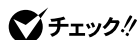


③ 「パスワードを設定する」にチェックマークをつける。

④ 「パスワード」にパスワードを入力する。

⑤ 「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する。

⑥ 「OK」をクリック。



チェック!!

設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急用パスワード」を入力して、ほかのモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。

「緊急用パスワード」：71709981

■ 背景の設定

「キッズモード」で使用する背景を設定できます。子どもの好みに合わせて選ぶことができます。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作設定」をクリック。「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



② 「背景」タブをクリック。



③ 「壁紙」リストボックスから、壁紙を選ぶ。

④ 「OK」をクリック。

■ サウンドの設定

「キッズモード」で使用するサウンドを設定できます。子どもの好みに合わせて選ぶことができます。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作設定」をクリック。「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



② 「サウンド」タブをクリック。



③ 各イベントに対して、サウンドを指定する。

④ 「OK」をクリック。

Windows 95 の動作の監視 〈CyberWarner-NX〉

Windows 95の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルを監視し、操作中に削除または変更しようすると警告を表示します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

起動と終了

本機の購入時には、CyberWarner-NXは起動されていません。起動する手順は次の通りです。

- ① 「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）
- ② 「CyberWarner-NX」をダブルクリック。
- ③ 「スタートアップ」タブをクリック。
- ④ 「開始」をクリック。
 - ◎ オプションの説明
 - ・「起動時に CyberWarner-NX を実行する」
次回から、本機を起動するときは、「CyberWarner-NX」が常駐プログラムとして実行されます。
購入時の状態では、チェックが外されています。
 - ・「タスクバーにCyberWarner-NXアイコンを表示する」
「CyberWarner-NX」の実行中は、タスクバーに「CyberWarner-NX」アイコンを表示します。
購入時の状態では、チェックが付けられています。

終了の方法

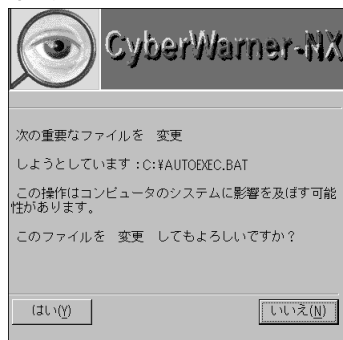
- ① タスクバーの右隅にある (CyberWarner-NX) をクリック。
- ② 「終了」をクリック。
「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「はい」をクリック。

警告メッセージ

Windows 95の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルに対して、削除または変更しようすると、警告メッセージを表示します。

メッセージには操作の確認用メッセージと警告用メッセージがあります。

確認用メッセージ



警告用メッセージ



警告メッセージの表示 / 非表示

警告メッセージを表示するかどうかを設定できます。「警告なし」を選ぶと、警告メッセージを表示せずに処理されます。

- ① 「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）
- ② 「CyberWarner-NX」をダブルクリック。
- ③ 「一般」タブをクリック。
- ④ 「警告あり」または「警告なし」をクリック。
- ⑤ 「OK」をクリック。

バックアップファイル

ログ対象ファイル进行操作（移動、削除、修正、名前の変更など）した場合、その操作前のファイルが保存されます。

バックアップファイルの設定

バックアップファイルに関する設定ができます。

- ① コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）
- ② 「CyberWarner-NX」をダブルクリック。
- ③ 「バックアップ」タブをクリック。
スライダを移動するとバックアップファイルの最大サイズを変更することができます。



◎ バックアップ

ログと一緒に収集するバックアップデータを保存しておく場所の容量を設定できます。

ログ対象ファイルの説明

■ ログファイルの説明

◎ Critical File

次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。

```
\autoexec.bat
\config.sys
\msdos.sys
\windows\command\.*
\windows\system\*.dll
\windows\system\*.vxd
```

◎ Non Critical File

次のファイルを変更したときは、変更の警告メッセージが表示され、変更しようとしたファイルが自動的に復旧（元の状態に戻る）されます。

```
\command.com
\io.sys
\windows\himem.sys
\windows\win.com
\windows\notepad.exe
\windows\regedit.exe
\windows\explore.exe
\windows\system\vm32\*.
\windows\command.com
\windows\system\sysedit.exe
\windows\system\iosubsys\*.
\windows\rundll.exe
\windows\rundll32.exe
\windows\progmam.exe
\windows\control.exe
\windows\winfile.exe
\windows\taskman.exe
\windows\aztpnp.exe
\windows\winsock.dll
```

◎ Special

次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。また、他のアプリケーションをインストールしたときに次のファイルが変更されると、自動的に変更前の状態がログファイルに保存されます。

```
\windows\win.ini
\windows\system.ini
```

ログファイルの表示



「CyberWarner-NX ログビューワ」を使って収集したログ情報を参照できます。

- ① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
- ② 「CyberWarner-NX」をダブルクリック。
- ③ 「一般」タブをクリック。
- ④ 「参照」をクリック。
ログビューワが表示されます。

✓チェック!

収集したログファイルは保存モードでのみ収集可能です。ログファイルの操作にはパスワードによる保護がかけられています。この保守モードは、お客様からの問い合わせの際に、NECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は、使用しないでください。

ログビューワの上のリストには次のものが表示されます。

- ・データ
記録した日時を表示します。
- ・オブジェクト
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。
- ・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。
- ・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します。操作の状態は、次のどちらかになります。
 - ・ユーザ操作
 - ・アプリケーション操作

上のリストで「データ」を選ぶと、下のリストの「フィールド名」と「コンテンツ」には次の項目が表示されます。

- ・管理者
「ファイル」と表示されます。
- ・復元する
バックアップファイルが使用可能かどうかを表示します。
- ・復元されました
ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示します。
1: 復元されました
0: 復元されていません
- ・日付
記録した日時を表示します。
- ・ソース
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。
- ・バックアップ
バックアップファイルが存在する場合、絶対パスで表示します。
- ・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。
- ・オペレーション
変更や削除、操作の種類を表示します。
- ・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します(上のリストの、メモと同じです)。

ウイルスの検査 と駆除 〈Virus Scan for Windows 95〉

Virus Scanは、ウイルスを検査し、万一ウイルスが発見されたときは、駆除することができます。

概要

ウイルスを検査するには、次の4通りの方法があります。

・VShield

常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。

・ScreenScan

スクリーンセーバの実行中に、ウイルスが感染していないかを検査します。

・VirusScan コンソール

あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスが感染していないかを検査します。

・VirusScan

その場でウイルスが感染していないかを検査します。

✓チェック!!

ワクチンソフトのウイルス検索エンジンは順次更新されます。将来、検索エンジンを新しくしなければ、定期パターンアップだけでは発見できないウイルスが出現することが予測されます。

詳しくは、「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「必ずお読みください」をご覧ください。

常に検査する (VShield)

「VShield」はファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査します。

「VShield」は次の手順で設定します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。
「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。
- ② 「McAfee VShield」をダブルクリック。
「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「詳細設定」をクリック。
「VShield 設定」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「スタートアップ時に起動」にチェックマークをつける。
- ⑤ 「OK」をクリック。
「今すぐ読み込みを行いますか？」のメッセージが表示されます。
- ⑥ 「はい」をクリック。
これで、「VShield」の設定が完了です。

次回からの起動時には、自動的に「VShield」が常駐します。

✓チェック!!

「VShield」は常にファイルのアクセスを監視するために、アプリケーションの動作は多少、遅くなります。

スクリーンセーバ実行中に検査する (ScreenScan)

「ScreenScan」はスクリーンセーバを実行している間に、ウイルスが感染していないかを自動的に検査します。本機を使用していないときに自動的に実行されるため、操作の妨げにはなりません。

「ScreenScan」は次の手順で設定します。

- ① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
- ② 「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「スクリーンセーバー」タブをクリック。
「スクリーンセーバー」タブのウィンドウが表示されます。
- ④ スクリーンセーバーを設定する
- ⑤ 「ScreenScan」タブをクリック。
「ScreenScan」タブのウィンドウが表示されます。



※この画面は機種によって異なる場合があります。

- ⑥ 「スクリーンセーバ動作中にスキャンする」にチェックマークをつける。
- ⑦ 「OK」をクリック。
これで「ScreenScan」の設定は完了です。

✓チェック!!

「ScreenScan」の設定をしないで「スタート」→「プログラム」→「ScreenScan」をクリックしても「ScreenScan」は実行されません。

定期的に検査する (VirusScan コンソール)

「VirusScan コンソール」では、1回、毎時、毎日、毎週、毎月などと指定することにより、ウイルス感染の検査を自動的に実行します。

「VirusScan コンソール」は次の手順で設定します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。
「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。
- ② 「タスク」メニューの「新規のタスク」をクリック。
「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「プログラム」タブをクリック。
「プログラム」タブのウィンドウが表示されます。
- ④ タスクの名前を入力する。
(例「定期検査」を入力)
- ⑤ 「詳細設定」をクリック。
「定期検査の詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「スキャン」タブをクリック。
「スキャン」タブのウィンドウが表示されます。
- ⑦ 「自動検査開始」にチェックマークをつける。
- ⑧ 「OK」をクリック。

✓チェック!!

「VirusScan」の設定を変更するには、アドバンスドモードにする必要があります。」と表示されたときは、「OK」をクリックしてください。

- ⑨ 「スケジュール」タブをクリック。
「スケジュール」タブのウィンドウが表示されます。



- ⑩ 「スケジュール有効」にチェックマークをつける。
- ⑪ 「実行タイミング」と「開始時間」を設定する。
- ⑫ 「OK」をクリック。
これで「VirusScan コンソール」の設定は完了です。
設定した時間に「VirusScan」が実行されます。

VirusScan コンソールの常駐

指定した時間に、自動的に「VirusScan」を起動するためには、「VirusScan コンソール」が常駐している必要があります。また、常駐している「VirusScan コンソール」を終了させると、「VirusScan」が自動的に起動されなくなりますので、注意してください。

「VirusScan コンソール」は次の手順で常駐させます。

- ① 「スタート」→「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリック。
「タスクバーのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ② 「[スタート]メニューの設定」タブをクリック。
「[スタート]メニューの設定」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「追加」をクリック。
「ショートカットの作成」ウィンドウが表示されます。
- ④ コマンドラインに次のように入力する。
「"C:\Program Files\McAfee\VirusScan\Avconsol.exe"」
- ⑤ 「次へ」をクリック。
「フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ フォルダの一覧から「スタートアップ」を選ぶ。
- ⑦ 「次へ」をクリック。
「名前の指定」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「完了」をクリック。
これで「VirusScan コンソール」の常駐が設定されます。
次回からは、起動時に「VirusScan コンソール」が常駐します。

すぐに検査する (Virus Scan)

外部からフロッピーディスクや文書ファイルを受け取ったときには、「VirusScan」を実行して受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。次の手順で実行してください。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan」をクリック。
「VirusScan」ウィンドウが表示されます。



- ② スキャンするドライブ、フォルダ、スキャン対象を設定する。
- ③ 「スキャン開始」をクリック。
これで、ウイルスの検査が実行されます。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「ウイルスの除去」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、「VirusScan コンソール オンラインヘルプ」をご覧ください。

4

アプリケーションの削除と追加

-
- アプリケーションの削除
 - 削除したアプリケーションの再追加

アプリケーション の削除

本機に標準で添付されているアプリケーションの削除の方法について説明します。

概要

ここで説明するのは、本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除方法です。購入後に、ご自分でインストールされたアプリケーションの削除方法については説明していませんので、アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

次のような場合にアプリケーションを削除してください。

- ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合
- ・通常使わないアプリケーションがある場合

アプリケーションを削除するときの注意

- ・「Adobe Acrobat Reader 3.0J」は、「Picture Studio Light」のオンラインドキュメントを読むために必要ですので、「Picture Studio Light」を使用する場合は、削除しないようにしてください。（CD-Rモデル、DVD-ROMモデルのみ）
- ・「ボイスペン」は、「しゃべっていいメール」で使用していますので、「しゃべっていいメール」を使用する場合は、削除しないようにしてください。
- ・ランチ-NXをそのまま使用する場合（ランチ-NXを削除しない場合）に、ランチ-NXのグループに表示されているアプリケーションを削除しても、ランチ-NXのグループにはアイコンが残ります。この場合、ランチ-NXに残ったそれぞれのアイコンを削除してください。削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

・アプリケーションによっては、削除したときに、一部のフォルダおよびデスクトップやスタートメニューのショートカットが残ることがあります。この状態でも本機を操作する上では支障はありませんが、アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

・「セットアップされていない機能の追加」でセットアップしたアプリケーションを削除する場合は、「セットアップされていない機能の追加」にある「削除する」をご覧ください。

削除の方法について

削除の方法は、アプリケーションによって異なります。

- コントロールパネルを使って削除するアプリケーション
次のアプリケーションが削除できます。手順については「アプリケーションの追加と削除を使って削除する」をご覧ください。

- ・その他アプリケーションセットアップ
[デジタルブックビューワ、パソコン用語集]

- ・BIGLOBE WalkerとBIGLOBE入会申込

- ・パソコン大学一年生

- ・ジェットサーファ

- ・駅すばあと 全国版 for Windows95

- ・VirusScan

- ・Roland MusicBox

- ・Roland DoReMiX

- ・Roland 通信ジュークカラオケ

- ・一太郎 Office8（一太郎モデルのみ）

- ・アルバム工房 Light

- ・CDRFS（CD-Rモデルのみ）

- ・Easy-CD 95（CD-Rモデルのみ）

- ・TELFAX-NX

- ・Microsoft Internet Explorer 4.01

- [Microsoft FrontPage Express, Microsoft Music Control, Microsoft NetMeeting 2.1, Microsoft Outlook Express, Microsoft Wallet, Microsoft Web 発行ウィザード 1.5.1, VDO Live Player]

- ・Microsoft Chat 2.0

- ・Microsoft NetShow Player 2.0

- RealPlayer 4.0
- ランチ-NX
- CD ランチ
- インターネット無料体験
- MapPlayer-NX
- てきばき家計簿マム2
- プレーヤ-NX
- DVD プレーヤ (DVD-ROM モデルのみ)
- しゃべっていいメール、ボイスペン
- ホームページスクラップブック
(CD-R モデル、DVD-ROM モデルのみ)
- PictureStudio Light、Adobe Acrobat Reader
3.0J (CD-R モデル、DVD-ROM モデルのみ)
- 筆ぐるめ
- 翻訳アダプタII CROSSROAD
- インターネット カラオケキング
- Timer-NX
- MAGIC FLIGHT
- AOL へのご招待
- CyberTrio-NX
- CyberWarner-NX
- CyberCoach-NX

■ CD-ROM を使って削除するアプリケーション
次のアプリケーションを削除できます。手順については「CD-ROM を使って削除する」をご覧ください。

- Microsoft Word 97 (Word モデルのみ)
- Microsoft Excel 97 (Word モデルのみ)
- Microsoft Outlook 97 (Word モデルのみ)
- Angel Line for Windows

■ アプリケーションのアンインストール機能を使うもの
次のアプリケーションを削除できます。手順については「アンインストール機能を使って削除する」をご覧ください。

- PC-VAN ナビゲータ
- インターネットアクセスマネージャ
- Virtual Sound Canvas VSC-88

「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する

削除の準備① (ランチ-NX を使う場合)

「ランチ-NX」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

- ① 「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループにある「アプリケーションの追加と削除」をクリック。



- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。



このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

削除の準備② (コントロールパネルを使う場合)

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

- ① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
- ② 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- ③ 「セットアップと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。
このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

■ その他アプリケーションの削除

次の手順で「その他アプリケーション」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「その他アプリケーション セットアップ」をクリック。「その他アプリケーション セットアップ」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」のウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「カスタム」を選んで、「次へ」をクリック。
- ⑥ 表示されたウィンドウで、削除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。
次のアプリケーションを削除できます。
 - ・デジタルブックビューワ
 - ・パソコン用語集
- ⑦ 「次へ」をクリック。
削除が始まります。終了すると「セットアップが完了しました」と表示されます。
- ⑧ 「完了」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

次のアプリケーションを削除した場合は、ランチ-NXに残ったそれぞれのアイコンを削除してください。削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

- ・デジタルブックビューワ
(「マルチメディア」グループ)
- ・パソコン用語集 (「スタディ&ヘルプ」グループ)

■ BIGLOBE Walker と BIGLOBE 入会申込の削除

次の手順で「BIGLOBE Walker」と「BIGLOBE 入会申込」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「BIGLOBE」をクリック。
「BIGLOBE」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

ランチ-NXの「インターネット&パソコン通信」グループに残った「BIGLOBE Walker」と「BIGLOBE 入会申込」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

■ パソコン大学一年生の削除

次の手順で「パソコン大学一年生」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 8/三四郎 8」を、Wordモデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 97/Excel 97」をクリック。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
一太郎モデルの場合は、「パソコン大学一年生 for 一太郎 8/三四郎 8」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？、Wordモデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 97/Excel 97」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。終了すると「削除されました」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ&ヘルプ」グループに残ったアイコンを削除するには、次のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

- ・お使いの機種が一太郎モデルの場合
「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 一太郎 8」
「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 三四郎 8」
- ・お使いのコンピュータが Word モデルの場合
「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 Excel 97」
「スタディ&ヘルプ」グループの「一年生 Word 97」

ジェットサーファの削除

次の手順で「ジェットサーファ」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ジェットサーファ Ver1.5」をクリック。
「ジェットサーファ Ver1.5」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

- ・「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ジェットサーファ」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

・アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ジェットサーファ」を使用して作成された「お気に入り」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 95の「エクスプローラ」で「ジェットサーファ」がインストールされている「C:\Program Files\JetSurfer」のフォルダごと削除してください。

駅すばあと全国版 for Windows 95 の削除

次の手順で「駅すばあと全国版 for Windows 95」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「駅すばあと」をクリック。
「駅すばあと」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「駅すばあと」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Virus Scan の削除

次の手順で「Virus Scan」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「McAfee VirusScan v3.1.0 (プレインストール版)」をクリック。
「McAfee VirusScan v3.1.0 (プレインストール版)」が反転表示になります。

- ③ 「追加と削除」をクリック。
「VirusScan の削除が選択されました。本当にVirus Scan を削除しますか？」のメッセージが表示されます。

- ④ 「はい」をクリック。
「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」のメッセージが表示されます。

- ⑤ 「はい」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。



表示されたメッセージが他のウィンドウにかくれる場合があります。このような場合は、かくれた「ファイル削除の確認」ウィンドウをクリックしてください。

- ⑥ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。

削除が終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

- ⑦ 「OK」をクリック。

- ⑧ 本機を再起動する。

- ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「VirusScan (ウイルスチェッカー)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NX の設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Roland MusicBox の削除

次の手順で「Roland MusicBox」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Roland MusicBox」をクリック。
「Roland MusicBox」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。

- ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「MusicBox (オルゴール)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NX の設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Roland DoReMiX の削除

次の手順で「Roland DoReMiX Ver.1」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Roland DoReMiX Ver.1」をクリック。
「Roland DoReMiX Ver.1」が反転表示になります。

- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」のメッセージが表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。

- ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「DoReMiX (簡易作曲)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NX の設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Roland 通信ジュークカラオケの削除

次の手順で「Roland 通信ジュークカラオケ」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Roland 通信ジュークカラオケ」をクリック。
「Roland 通信ジュークカラオケ」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」のメッセージが表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ホーム&ゲーム」グループに残った「通信ジューク (カラオケ)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

一太郎 Office8 の削除 (一太郎モデルのみ)

次の手順で「一太郎 Office8」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリック。
「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「一太郎 Office8 のセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「一太郎 Office8 の追加と削除」ウィンドウが表示されます。

- ⑤ 「次へ」をクリック。
「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

- ⑥ 「ファイルの削除」をチェックして「次へ」をクリック
「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

- ⑦ 「全て選択」をクリックして「次へ」をクリック。
「ジャストシステム共通ファイル 削除の確認」ウィンドウが表示されます。

- ⑧ 「削除しない」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

✓ チェック!!

「ATOK11 を Windows や他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

- ⑨ 「次へ」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

- ⑩ 「次へ」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

- ⑪ 「次へ」をクリック。
「ファイルの削除開始」ウィンドウが表示されます。

- ⑫ 「削除開始」をクリック。
ファイルの削除が始まります。

- ⑬ 「一太郎 Office8 のセットアップ終了」ウィンドウが表示されたら「再起動」をクリック。
これで削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「一太郎 8」「三四郎 8」「FullBand」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

アルバム工房 Light の削除

次の手順で「アルバム工房 Light」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「アルバム工房 Light」をクリック。
「アルバム工房 Light」が反転表示になります。

- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「アルバム工房 Light」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1の「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

CDRFS の削除 (CD-R モデルのみ)

次の手順で CDRFS を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「CDRFS (削除のみ)」をクリック。
「CDRFS (削除のみ)」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

Easy-CD 95 の削除 (CD-R モデルのみ)

次の手順で「Easy-CD 95」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Easy-CD 95」をクリック。
「Easy-CD 95」が反転表示になります。

- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「Easy-CD 95 (CD 作成)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

TELFAX-NX の削除

次の手順で「TELFAX-NX」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「TELFAX-NX」をクリック。
「TELFAX-NX」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

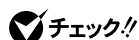
ランチ-NXの「メインメニュー」グループに残った「TELFAX-NX (FAX&電話)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1の「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Internet Explorer 4.01 の削除

「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除する前に、「ごみ箱」に入っている項目を削除してよいのか確認します。デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて、保存したい項目を別の場所に移動してください。

次の手順で「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリック。「Microsoft Internet Explorer 4.0」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」が表示されます。
- ④ 「Internet Explorer 4.0 とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」を選んで、「詳細」をクリック。
- ⑤ 「Internet Explorer 4.0 と次のコンポーネントをアンインストールする」を選んで、さらに次のすべてのコンポーネントにチェックをつけて、「OK」をクリック。
 - ・ Microsoft FrontPage Express
 - ・ Microsoft Music Control
 - ・ Microsoft NetMeeting 2.1
 - ・ Microsoft Outlook Express
 - ・ Microsoft Web 発行ウィザード 1.51
 - ・ VDOLive Player
- ⑥ 「Internet Explorer 4.0 と共有コンポーネントを削除するには、[OK] をクリックしてください。」と表示されたら「OK」をクリック。
「Microsoft Internet Explorer 4.0 を削除しますか？」と表示されます。
- ⑦ 「はい」をクリック。
削除が始まります。
削除には十数分かかります
削除が終了すると、「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定で Windows を再起動します。」と表示されます。



チェック!!

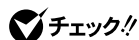
「Internet Explorer 4.0 により、ごみ箱の形式が変更されました」と表示される場合があります。現在「ごみ箱」に入っている項目を保存する場合は「キャンセル」をクリックし、削除処理をいったん終了し、「ごみ箱」の必要な項目を保存した後、手順①から始めてください。「ごみ箱」に入っている項目をすべて削除してもよい場合は、「OK」をクリックし、削除処理を続行してください。

- ⑧ 「OK」をクリック。
「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示された場合は、実行中のプログラムをすべて終了して、「OK」をクリックしてください。
- ⑨ 「コンピュータを再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」をクリック。
自動的に再起動されます。
再起動後に「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。

「ファイルの種類を ActiveMovie に関連付け、すべて再生できるようにしますか？」と表示された場合は、必要に応じて「はい」か「いいえ」をクリックします。

次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」「いいえ」をクリックしてください。

- ・ Microsoft NetMeeting 2.1
- ・ Microsoft Outlook Express
- ・ Windows デスクトップのアップデートコンポーネント
- ・ インターネット接続ウィザード
- ・ VDOLive Player
- ・ Microsoft FrontPage Express
- ・ Microsoft Internet Explorer 4.0



チェック!!

「Internet Explorer 4.01」を削除しても、「Internet Explorer 3.02」が残ります。

Microsoft Chat 2.0 の削除

次の手順で「Microsoft Chat 2.0」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft Chat 2.0」をクリック。
「Microsoft Chat 2.0」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「Microsoft Chat 2.0 を削除します。Microsoft Chat のアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」と表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
「Microsoft Chat 2.0 は正常に削除されました。」のメッセージが表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

Microsoft NetShow Player 2.0 の削除

次の手順で「Microsoft NetShow Player 2.0」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft NetShow Player 2.0」をクリック。
「Microsoft NetShow Player 2.0」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。

RealPlayer 4.0 の削除

次の手順で「RealPlayer 4.0」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「RealPlayer 4.0」をクリック。
「RealPlayer 4.0」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「Are you sure you want to completely remove RealPlayer and all of its components?」と表示されます。

- ④ 「OK」をクリック。
「Uninstallation of the RealPlayer has been successfully completed.」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。

ランチ-NX の削除

次の手順で「ランチ-NX」を削除します。



「ランチ-NX」を削除する前に、「ランチ-NX」を終了してください。

- ① 「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ランチ-NX」をクリック。
「ランチ-NX」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

CD ランチの削除

次の手順で「CD ランチ」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「CD ランチ」をクリック。
「CD ランチ」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

インターネット無料体験の削除

次の手順で「インターネット無料体験」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「インターネット無料体験」をクリック。
「インターネット無料体験」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

MapPlayer-NXの削除

次の手順で「MapPlayer-NX」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「MapPlayer-NX」をクリック。
「MapPlayer-NX」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「MapPlayer-NX(カーナビCD)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

てきばき家計簿mam 2の削除

次の手順で、「てきばき家計簿mam 2」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
 - ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「てきばき家計簿mam 2 (32bit)」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2 (32bit)」が反転表示になります。
 - ③ 「追加と削除」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2 (32bit) とそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
 - ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました。」と表示されます。
-  **チェック!**
- ・「ディレクトリ C:\Program Files\Mom2 を削除できません。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。
 - ・「いくつかのコンポーネントを削除できませんでした。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「てきばき家計簿mam 2」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

プレーヤ-NXの削除

次の手順で「プレーヤ-NX」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「プレーヤ-NX」をクリック。
「プレーヤ-NX」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリック。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「プレーヤ-NX (CD プレーヤ)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

DVD プレーヤの削除 (DVD-ROM モデルのみ)

次の手順で「DVD プレーヤ」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「DVD プレーヤ」をクリック。
「DVD プレーヤ」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「DVD プレーヤ」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

しゃべっていいメール、ボイスペン の削除

次の手順で「しゃべっていいメール」を削除します。
しゃべっていいメールを削除するときは、「ボイスペン」も削除してください。
「しゃべっていいメール」を削除すると、「ボイスペン」は使うことができなくなります。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「しゃべっていいメール」をクリック。
「しゃべっていいメール」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
- ⑥ 「セットアップと削除」タブのウィンドウ一覧から「ボイスペン」をクリック。
「ボイスペン」が反転表示になります。
- ⑦ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ⑧ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑨ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「しゃべっていいメール」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

■ ホームページスクラップブックの削除 (CD-Rモデル、DVD-ROMモデルのみ)

次の手順でホームページスクラップブックを削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ホームページスクラップブック Ver1.1」をクリック。「ホームページスクラップブック Ver1.1」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

・「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ホームページスクラップブック」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、本書の「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

・アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ホームページスクラップブック」を使って作成されたスクラップデータは削除されません。
これらのデータを削除する場合は、エクスプローラなどで、「ホームページスクラップブック」のスクラップデータがインストールされている「C:\ScbookDataBase」のフォルダごと削除してください。

■ PictureStudio Light、Adobe Acrobat Readerの削除 (CD-Rモデル、DVD-ROMモデルのみ)

次の手順で「PictureStudio Light」を削除します。
PictureStudio Light を削除するときは、「Adobe Acrobat Reader」も削除してください。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「PictureStudio Light」をクリック。
「PictureStudio Light」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

✓ チェック!!

「Adobe Acrobat Reader 3.0J」はPDF形式のドキュメントを読むためのアプリケーションです。「PictureStudio Light」のオンラインマニュアルはPDF形式で作成されています。「PictureStudio Light」のオンラインマニュアル以外でPDF形式のファイルを利用する場合は以下の手順⑥～⑨は行わないでください。

- ⑥ 「セットアップと削除」タブのウィンドウ一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J」が反転表示になります。
- ⑦ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ⑧ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑨ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット & パソコン通信」グループに残った「PictureStudio Light」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

筆ぐるめの削除

次の手順で「筆ぐるめ」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「筆ぐるめ for Windows 95 Version 4.0」をクリック。「筆ぐるめ for Windows 95 Version 4.0」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「筆ぐるめ」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

翻訳アダプタII CROSSROADの削除

次の手順で「翻訳アダプタII CROSSROAD」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリック。「翻訳アダプタII CROSSROAD」が反転表示になります。

- ③ 「追加と削除」をクリック。

「翻訳アダプタII CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

- ④ 「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。

終了すると「削除されました」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット & パソコン通信」グループに残った「翻訳アダプタII CROSSROAD」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

インターネット カラオケキングの削除

次の手順で、「インターネット カラオケキング」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「カラオケキング」をクリック。「カラオケキング」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

ランチ-NXの「ホーム & ゲーム」グループに残った「カラオケキング」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Timer-NX の削除

次の手順で「Timer-NX」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
 - ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Timer-NX」をクリック。
「Timer-NX」が反転表示になります。
 - ③ 「追加と削除」をクリック。
「Timer-NX とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。
 - ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「すべて残す」をクリックしてください。
- 終了すると「削除されました。」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「Timer-NX(スケジュール)」のショートカットアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

MAGIC FLIGHT の削除

次の手順で「MAGIC FLIGHT」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「MAGIC FLIGHT」をクリック。
「MAGIC FLIGHT」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ&ヘルプ」グループに残った「MAGIC FLIGHT(タイプレッシン)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

AOL へのご招待の削除

次の手順で「AOL へのご招待」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
 - ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「AOL へのご招待」をクリック。
「AOL へのご招待」が反転表示になります。
 - ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
 - ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。
- 終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「AOL へのご招待」アイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

CyberTrio-NX の削除

「CyberTrio-NX」は「ベーシックモード」、「キッズモード」からは削除できません。

削除する前に、「アドバンスモード」へ変更してください。

「アドバンスモード」への変更のしかたについては、本書「利用レベルのモード変更<CyberTrio-NX>」をご覧ください。

次の手順で「CyberTrio-NX」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberTrio-NX」をクリック。
「CyberTrio-NX」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
Windows が再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「CyberTrio-NX（利用者モード）」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

CyberWarner-NX の削除

削除の前に、「CyberTrio-NX」のモードを「アドバンスモード」に変更してください。変更の方法はPART3「利用レベルのモード変更(CyberTrio-NX)」をご覧ください。

次の手順で「CyberWarner-NX」を削除します。

- ① 「CyberWarner-NX」を使用中の場合は、終了させる。
タスクバーにあるをクリックして、「終了」をクリックします。
「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックしてください。
- ② 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ③ 「セットアップと削除」タブのウィンドウのウィンドウの一覧から「CyberWarner-NX」をクリック。
「CyberWarner-NX」が反転表示になります。
- ④ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

- ⑤ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック
Windows が再起動します。

CyberCoach-NX の削除

次の手順で「CyberCoach-NX」を削除します。

- ① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
- ② 「セットアップと削除」タブのウィンドウのウィンドウの一覧から「CyberCoach-NX」をクリック。
「CyberCoach-NX」が反転表示になります。
- ③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。

■ ショートカットアイコンが残った場合

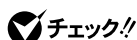
「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループと「スタディ&ヘルプ」グループにある「CyberCoach-NX（操作レッスン）」のアイコンを削除してください。削除方法はPART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

CD-ROM を使って削除する

本機に添付の CD-ROM を使って、アプリケーションを削除します。

あらかじめ、次の CD-ROM を準備してください。

- ・Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows CD-ROM (Word モデルのみ)
- ・アプリケーション CD-ROM



CD-ROM を使ってアプリケーションを削除する場合、削除が終了したら、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出してください。

Microsoft Word 97 の削除 (Word モデルのみ)

次の手順で「Word 97」を削除します。

- ① 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Microsoft Word 97 のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Word 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Word 97 を削除しますか？」と表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Word 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されたら、「Windows の再起動」をクリックします。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Word」のアイコンを削除してください。ランチ-NX に残ったアイコンの削除方法は、PART1 「ランチ-NX の設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Excel 97 の削除 (Word モデルのみ)

次の手順で「Excel 97」を削除します。

- ① 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Microsoft Excel 97 のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Excel 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Excel 97 を削除しますか？」と表示されます。
- ④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されたら、「Windows の再起動」をクリックします。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Excel」のアイコンを削除してください。ランチ-NX に残ったアイコンの削除方法は、PART1 「ランチ-NX の設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Outlook 97 の削除 (Word モデルのみ)

次の手順で「Outlook 97」を削除します。

- ① 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Microsoft Outlook 97 のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Outlook 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

- ③ 「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Outlook 97 を削除しますか？」と表示されます。

- ④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Outlook 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。

- ⑤ 「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されたら、「Windowsの再起動」をクリックします。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Outlook」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Angel Line for Windows の削除

次の手順で「Angel Line for Windows」を削除します。

- ① CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。
- ② コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）
- ③ 「アプリケーションの追加と削除」をクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
「セットアップ プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「セットアッププログラムのコマンドライン」を「< CD-ROM ドライブ名>: \NSETUP.EXE」から「< CD-ROM ドライブ名>: ¥ UNINST.EXE」に変更する。
「セットアッププログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名>: ¥ UNINST.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名>は通常は、< Q >です。

- ⑦ 「完了」をクリック。
「アンインストールは次の内容を消去します。」のメッセージが表示されます。

- ⑧ 「続行」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。

- ⑨ 「削除」ウィンドウで「確認」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残ったアイコンを削除するには、次のアイコンを削除してください。

・「ユーティリティ」グループの
「Angel Line（電話案内）」

・「ユーティリティ」グループの
「Angel Line（アドレス帳）」

「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

アンインストール機能を使って削除する

アプリケーションが持っているアンインストール機能を使用した削除方法を説明します。

PC-VAN ナビゲータの削除

次の手順で「PC-VAN ナビゲータ」を削除します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「PC-VANナビゲータ」→「PC-VAN ナビゲータ アンインストーラー」をクリック。
- ② 「プログラムだけ削除」を選んで、「OK」をクリック。
「すべて削除」を選ぶと、設定ファイルやアドレス帳なども削除されてしまいます。
「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します。」と表示されます。
- ③ 「OK」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「ファイルを削除しました。」と表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
以上で削除は完了です。

なお「すべて削除」を選んだ場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥PCNAVI」にあるファイルを削除してください。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「PC-VANナビゲータ」アイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

■ インターネットアクセスマネージャの削除

次の手順で「インターネットアクセスマネージャ」を削除します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「uninstallShield」をクリック。「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されます。
- ② 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。
- ③ 「OK」をクリックします。
以上で削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

- ・ランチ-NXの「インターネット&パソコン通信」グループに残った「インターネットアクセスマネージャ」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
- ・アンインストールはセットアップしたファイルの削除のみ行います。したがって、インターネットアクセスマネージャを使用して作成された「通信記録」「オートパイロット結果」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 95の「エクスプローラ」でインターネットアクセスマネージャがセットアップされている「C:¥Program File¥Iam」のフォルダごと削除してください。

■ Virtual Sound Canvas VSC-88の削除

次の手順で「Virtual Sound Canvas VSC-88」を削除します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「Virtual Sound Canvas VSC-88」→「Virtual Sound Canvas VSC-88 UNINSTALLER」をクリック。
「アンインストール実行するためには、一度Windowsを再起動してから、アンインストーラーを再度実行する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と表示された場合は、「OK」をクリックします。（表示されない場合は手順②に進んでください。）
再起動した後、「スタート」→「プログラム」→「Virtual Sound Canvas VSC-88」→「Virtual Sound Canvas VSC-88 UNINSTALLER」をクリックします。
「Virtual Sound Canvas VSC-88をアンインストールします」と表示されます。
- ② 「OK」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールを完了しました。ドライバの削除を行ったためWindowsの再起動が必要です。今すぐ再起動しますか？」と表示されます。
- ③ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「VSC-88 (SoftMIDI)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

削除した アプリケーション の再追加

削除したアプリケーションを再追加する場合の手順について説明します。

概要

ここでは、使用するCD-ROMに分けて、再追加の方法を説明します。

あらかじめ、次のCD-ROMを準備してください。

- ・アプリケーションCD-ROM
- ・パソコン大学一年生CD-ROM
- ・一太郎バックアップCD-ROM（一太郎モデルのみ）
- ・Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows CD-ROM（Wordモデルのみ）

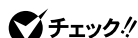
追加が終了したら、CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

アプリケーションCD-ROMを使用する

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して、次のアプリケーションを追加できます。

- ・その他アプリケーションセットアップ
[デジタルブックビューワ、パソコン用語集]
- ・ジェットサーファ－
- ・Angel Line for Windows
- ・インターネット無料体験
- ・PC-VANナビゲータ
- ・インターネットアクセスマネージャ
- ・アルバム工房 Light
- ・駅すばあと 全国版 for Windows 95

- ・Virus Scan
- ・Roland MusicBox
- ・Roland DoReMiX
- ・Roland 通信ジュークカラオケ
- ・Virtual Sound Canvas VSC-88
- ・CDRFS（CD-Rモデルのみ）
- ・Easy-CD 95（CD-Rモデルのみ）
- ・TELFAX-NX
- ・ランチ-NX
- ・CDランチ
- ・BIGLOBE WalkerとBIGLOBE入会申込
- ・MapPlayer-NX
- ・てきぱき家計簿マム2
- ・プレーヤ-NX
- ・DVDプレーヤ（DVD-ROMモデルのみ）
- ・しゃべっていいメール、ボイスペン
- ・ホームページスクラップブック
（DVD-ROMモデル、CD-Rモデルのみ）
- ・Picture Studio Light、Adobe Acrobat Reader 3.0J（DVD-ROMモデル、CD-Rモデルのみ）
- ・筆ぐるめ
- ・翻訳アダプタII CROSSROAD
- ・インターネットカラオケキング
- ・Timer-NX
- ・MAGIC FLIGHT
- ・AOLへのご招待
- ・CyberWarner-NX
- ・CyberTrio-NX
- ・CyberCoach-NX
- ・Microsoft Internet Explorer 4.01
[Microsoft FrontPage Express、Microsoft Music Control、Microsoft NetMeeting 2.1、Microsoft Outlook Express、Microsoft Wallet、Microsoft Web 発行ウィザード 1.51、VDOLive Player、Microsoft Chat 2.0、Microsoft NetShow Player 2.0、RealPlayer 4.0]



チェック!!

「アプリケーション CD-ROM」から、削除したアプリケーションを再追加する場合は、アプリケーションのアイコン登録先が、購入時と同じ状態に設定されないことがあります。

追加の準備

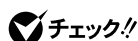
追加するアプリケーションを選びます。

- ① CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。
- ② 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「セットアッププログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名>: \NSETUP.EXE」になっていることを確認する。
< CD-ROM ドライブ名>は通常は、< Q >です。
- ⑥ 「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

その他アプリケーションの追加

「その他アプリケーションセットアップ」には、次のプログラムが含まれています。

- ・Hover
- ・デジタルブックビューワ
- ・パソコン用語集



チェック!!

「Hover」については、PART1「セットアップされていない機能の追加」をご覧ください。

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「その他アプリケーション セットアップ」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「カスタム」を選ぶ。
- ⑤ 「次へ」をクリック。

表示されたウィンドウで、追加したいアプリケーションのチェックボックスをクリック (チェックボックスにチェックをつける) して、「次へ」をクリック。
選択したアプリケーションの追加が始まります。



チェック!!

途中で「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」のメッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでください。

- ⑥ 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック。

ジェットサーファの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「ジェットサーファ Ver1.5」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「READMEファイルを読みますか？」というメッセージが表示されます。
- ⑤ 「いいえ」をクリック。
「はい」を選択した場合、読み終えたら ☒ をクリックします。
- ⑥ 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

Angel Line for Windows の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Angel Line for Windows」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「Angel Line for Windows インストール」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「続行」をクリック。
「インストールディレクトリの設定」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「続行」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「インストール終了」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「確認」をクリック。
「システム設定」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「デフォルト」をクリック。
「接続テスト」ウィンドウが表示されます。
- ⑦ 「しない」をクリック。
「お疲れさまでした…」と表示されます。
- ⑧ 「確認」をクリック

インターネット無料体験の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「インターネット無料体験」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「セットアップが完了しました。続けてインターネット無料体験を開始します。よろしいですか。」のメッセージが表示されます。
- ⑤ 「いいえ」をクリック。
「プログラムのアイコンをダブルクリックすることで実行できます。」のメッセージが表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。

PC-VAN ナビゲータの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「PC-VAN ナビゲータ」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「他のアプリケーションを終了してからインストールをして下さい」と表示されます。
- ③ 「OK」をクリックします。
「PC-VAN ナビゲータインストール」のウィンドウが表示されます。
- ④ 「インストール」をクリック。
- ⑤ 表示されたウィンドウを確認して「OK」をクリックします。
「PC-VAN ナビゲータ登録」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「はい」をクリック。
「インストールが完了しました」と表示されます。
- ⑦ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

インターネットアクセスマネージャの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「インターネットアクセスマネージャ Ver2.0」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると、「接続方法の設定」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
「接続先」、「プロバイダの料金」、「電話料金」を設定するウィンドウが表示されます。
- ⑥ 各項目を選択して「次へ」をクリック。
上記の項目はセットアップした後に変更することができます。

以前に使用していたときの設定内容が残っている場合は、上記のウィンドウは表示されず、「質問」メッセージが表示されます。この場合は「はい」をクリックしてください。

✓チェック!!

接続先が1つも作成されていない場合は、手順⑤～⑥は省略されます。この場合は、いったんセットアップを最後まで完了し、その後、接続先を作成してください。また、接続先作成後は、各項目の変更も行ってください。

- ⑦ 「設定の確認」ウィンドウで、各項目の選んだ内容を確認して「完了」をクリック。
「インターネットアクセスマネージャをスタートアップに登録しますか?」と表示されます。
- ⑧ 「いいえ」をクリックします。
「ReadMeを表示しますか?」と表示されますので、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックします。
「セットアップが完了しました。」と表示されます。
- ⑨ 「OK」をクリックします。
これでインストールは完了です。

アルバム工房 Light の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「アルバム工房 Light」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ アイコンを追加したいフォルダを選んで、「次へ」をクリック。
「アルバム作成ディレクトリの選択」ウィンドウが表示されます。
アルバムを作成する先のドライブを変更するには、ドライブのところのボタンをクリックすると一覧が表示されますのでアルバムを作成したいドライブを選んでください。
- ⑥ アルバム作成先のドライブが決まったら「次へ」をクリック。
「アルバム工房 Light」のインストールが始まります。

インストールが完了すると「再起動しますか?」ウィンドウが表示されます。

- ⑦ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

駅すばあと全国版 for Windows 95 の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「駅すばあと」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「駅すばあと Setup」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
「駅すばあと SETUP」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 個人名: NEC-PCuser、法人名: なし(空白)、登録番号: C10410000040、インストール先: を確認したら、「次へ」をクリック。
「セットアップが完了しました。」と表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリックします。
これでインストールは完了です。

Virus Scan の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「McAfee Virus Scan v3.1.0」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「McAfee ソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます、
- ③ 契約に同意の上、「はい」をクリック。
「セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。
「カスタム」を選択します。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して、「OK」をクリックしてください。

- ⑤ 「次へ」をクリック。
「コンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「次へ」をクリック。
「オプションの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑦ 「次へ」をクリック。
「DOS スキャナ インストール オプション選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「ブート時にシステムをスキャン」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックをはずさないでインストールした場合は、MS-DOS 用アプリケーションが動作しない場合があります。
- ⑨ 「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。
エマージェンシーディスクは「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。
- ⑩ 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑪ 「次へ」をクリック。
「インストール設定の確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑫ 「次へ」をクリック。
「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されます。
- ⑬ 「OK」をクリック。
「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されます。
最新の情報を読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリックします。
最新の情報は「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。
インストールが終了すると「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されます。
- ⑭ 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで、「終了」をクリック。
Windows 95 が再起動します。
- ⑮ 「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。

- ⑯ 「McAfee VShield」の上で右クリックして、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック。
「タスクプロパティ」のウィンドウが表示されます。
- ⑰ 「詳細設定」をクリック。
「VShield 設定」ウィンドウが表示されます。
- ⑱ 「スタートアップ時に起動」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す。
スタートアップ時にVShieldを起動すると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。
- ⑲ 「OK」をクリック。
「今すぐに読み込みを解除しますか？」のメッセージが表示されます。
- ⑳ 「はい」→「OK」→をクリック。
これでインストールは完了です。

Roland MusicBox の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Roland MusicBox」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストールを入力して「OK」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
「インストール確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「はい」をクリック。
「セットアップは、完了しました。」のメッセージが表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
「readme.txt ファイルには、アプリケーションに関する重要な情報が書かれています。readme.txt を読みますか？」のメッセージが表示されます。

このまま、「readme.txt」を読む場合は「はい」をクリックしてください。読まない場合は「いいえ」をクリックします。「readme.txt」は「スタート」メニューの「プログラム」→「Roland MusicBox」にある「お読みください」をクリックして読むことができます。

Roland DoReMiX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Roland DoReMiX Ver.1」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
「インストール確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「はい」をクリック。
「セットアップは、完了しました。」のメッセージが表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。

Roland 通信ジュークカラオケの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Roland 通信ジュークカラオケ」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「体験版か古いバージョンの通信ジュークがすでにインストールされていますか？」のメッセージが表示されます。
- ④ 「いいえ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
「インストール確認」のウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「はい」をクリック。
「引き続き、通信ジュークカラオケで使用する Borland Database Engine のインストーラーを起動します」のメッセージが表示されます。

- ⑦ 「OK」をクリック。
「Borland Database Engine Redistributable へようこそ」のウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「継続」をクリック。
「Borland Database Engine 格納ディレクトリ」のウィンドウが表示されます。
- ⑨ 「継続」をクリック。
「Borland Database Engine がインストールされました」のメッセージが表示されます。
- ⑩ 「OK」をクリック。
「セットアップは完了しました。」と表示されます。
- ⑪ 「OK」をクリック。
「コンピュータの再起動」が表示されます。
- ⑫ 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。

Virtual Sound Canvas VSC-88 の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「VSC-88」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
- ③ 契約内容に同意の上、「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
「インストール確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「はい」をクリック。
「Virtual Sound Canvas VSC-88 のインストールを完了しました。コントロールパネルのマルチメディアのオーディオとMIDIの設定をRoland VSC-88にしますか？」と表示されます。
- ⑥ 「いいえ」をクリック。
「.midファイルをVSC88.EXEに関連付けますか」と表示されます。
- ⑦ 「はい」をクリック。
「Windows 95 の再起動」ウィンドウが表示されます。

- ⑧ 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで、「OK」をクリック。
Windows 95 が再起動します。
これでインストールは完了です。

CDRFS の追加 (CD-R モデルのみ)

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「CDRFS」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- インストールが終了すると、「CDRFS セットアップ完了」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して「終了」をクリック。
Windows 95 が再起動します。
これでインストールは完了です。

Easy-CD 95 の追加 (CD-R モデルのみ)

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Easy-CD 95」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先を選択して下さい。」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- インストールが終了すると、「Windows 再起動」ウィンドウが表示されます。

- ⑤ 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows 95 が再起動します。
これでインストールは完了です。

TELFAX-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「TELFAX-NX」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「ユーザ情報の設定」ウィンドウが表示されます。
- ④ 各種項目を入力して、「次へ」をクリック。
「情報の一覧」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 入力した情報を確認して「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- インストールが終了すると、「再起動しますか？」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows 95 が再起動します。
これでインストールは完了です。

ランチ-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「ランチ-NX」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- ⑤ 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

CD ランチの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「CD ランチ」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります
- ⑤ 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

BIGLOBE Walker と BIGLOBE 入会申込の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「BIGLOBE」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「BIGLOBE Walkerのインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されます。
- ⑤ 「はい」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「次へ」をクリック。
あとは自動的にインストールされます。
これで、インストールは完了です。

MapPlayer-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「MapPlayer-NX」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

- ④ 「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダーの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- ⑥ 再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

てきばき家計簿マム 2 の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「てきばき家計簿マム 2」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「てきばき家計簿マム 2 (32bit) セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「インストール」をクリック。
インストールが始まります。
- ④ 「てきばき家計簿マム 2 (32bit) のセットアップ処理を終了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

プレーヤ-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「プレーヤ-NX」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「ようこそ！ プレーヤ-NXの世界へ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「Folder Selection」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- ⑤ 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

DVD プレーヤーの追加 (DVD-ROM モデルのみ)

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「DVD プレーヤー」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
あとは自動的にインストールされます。
これで、インストールは完了です。

しゃべっていいメール、ボイスペンの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「しゃべっていいメール」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ アイコンを追加したいフォルダを選択して、「次へ」をクリック。
「選択ソフトウェアのご案内」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「次へ」をクリック。
「ソフトウェアの選択」ウィンドウが表示されます。
ボイスペンを追加する場合は、「ボイスペン」を選択してください。
- ⑦ 「次へ」をクリック。
「質問」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「はい」をクリック。
「しゃべっていいメール」のインストールが始まります。
ボイスペンを追加する場合、しばらくするとボイスペンのインストールが始まり、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。手順⑨へ進んでください。
ボイスペンを追加しない場合は、しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
「終了」をクリックし、「入力レベル調整」、「話者学習」を行ってください。



「コントロールパネル」が前面に表示されている場合は、[Alt] + [Tab] を押して画面を切り替えて「ようこそ」ウィンドウを前面に表示させてください。

- ⑨ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑩ 「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑪ アイコンを追加したいフォルダを選んで、「次へ」をクリック。
「ボイスペン」のインストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。



「コントロールパネル」などの他の画面が前面に表示されている場合は、[Alt] + [Tab] を押して画面を切り替えて「セットアップの完了」ウィンドウを前面に表示させてください。

- ⑫ 「終了」をクリック。
この後、「入力レベル調整」、「話者学習」を行ってください。

ホームページスクラップブックの追加 (DVD-ROM モデル、CD-R モデルのみ)

「ホームページスクラップブック」を追加する場合は、「Internet Explorer 3.0」以上がセットアップされている必要があります。「Internet Explorer」が正しくセットアップされていることを確認してください。

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「ホームページスクラップブック Ver1.1」をクリック (反転表示) して、「OK」をクリック。
「Internet Explorerがインストールされているかを確認する」ウィンドウが表示されます。
Internet Explorer 3.0以上がインストールされている場合は、「はい」を選んでください。「ようこそ」ウィンドウが表示されますので、手順③へ進んでください。
「Internet Explorer 3.0」以上がインストールされていない場合は、「いいえ」を選んでセットアップを終了します。「Internet Explorer 3.0」以上をインストールした後で、もう一度セットアップを実行してください。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「スクラップデータの格納先」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
「コンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

選ばれた格納先ドライブに、既にスクラップデータが存在する場合は、手順⑤の操作時に「既存のデータをそのまま使うかを確認する」ウィンドウが表示されます。

そのままご利用になる場合は「はい」を選んでください。既存のデータが必要ない場合は「いいえ」を選んでください。「いいえ」を選ぶと既存のデータはすべて消去されますので、注意してください。選ばれた格納先ドライブにスクラップデータが存在しない場合は、このウィンドウは表示されません。

- ⑥ 「次へ」をクリック。
「設定項目の確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑦ 「次へ」をクリック。
コピーが始まります。
しばらくすると「READMEファイルを読みますか？」というメッセージが表示されます。
- ⑧ 「いいえ」をクリック。
「はい」を選ぶと「README ファイル」の内容がご覧になれます。
これでインストールは完了です。

PictureStudio Light、Adobe Acrobat Reader 3.0J の追加 (DVD-ROM モデル、CD-R モデルのみ)

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「PictureStudio Light」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
「PictureStudio Light」のインストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「直ちに ReadMe ファイルを参照します。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。
「Adobe Acrobat 3.0J インストール」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

「PictureStudio Light」のオンラインマニュアルは「Adobe Acrobat Reader 3.0J」の形式で記載されています。3.0J 以降のバージョンの「Adobe Acrobat Reader」をお使いの場合は、手順⑦で「いいえ」を選んでください。この場合「Adobe Acrobat Reader」は追加されません。

- ⑦ 「はい」をクリック。
しばらくすると「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「次へ」をクリック。
「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。
- ⑨ 「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑩ 「次へ」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J」のインストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
- ⑪ 「Acrobat Reader 3.0J Readme ファイルを表示する。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ⑫ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

■ 筆ぐるめの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「筆ぐるめ for Windows 95 Version 4.0」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「筆ぐるめ for Windows 95 Version 4.0」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「ユーザ情報登録」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「ユーザ名」と「会社名」を入力。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
ユーザ名と会社名を確認する画面が表示されます。
- ⑥ 「はい」をクリック。
「インストール先の指定」ウィンドウが表示されます。
- ⑦ 「次へ」をクリック。
「インストールタイプの選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「標準」を選んで「次へ」をクリック。
「指定通りにインストールします。」というメッセージが表示されます。
- ⑨ 「はい」をクリック。
インストールが始まります。
「読み取り専用ファイルの検出」ウィンドウが表示された場合は、すべて「いいえ」をクリック。
- ⑩ 「筆ぐるめのセットアップが終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

■ 翻訳アダプタ II CROSSROAD の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「翻訳アダプタ II CROSSROAD」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「翻訳アダプタ II CROSSROAD セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「OK」をクリック。
「はじめに」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
「ユーザ情報の入力」ウィンドウが表示されます。

- ⑤ 「シリアル No:」に「C103B29100」（0は数字のゼロ）、「パスワード:」に「LGPPRFOO」（Oはアルファベットのオー）と入力する。
- ⑥ 「インストール」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。
- ⑦  をクリック。
インストールが始まります。
- ⑧ 「翻訳アダプタ II CROSSROADのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

■ インターネット カラオケキングの追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「カラオケキング」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストールする前に」ウィンドウが表示されますので、内容をよくお読みください。
- ④ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
途中で「簡単に実行できるようにデスクトップ上にアイコンを作りますか。」と表示されます。アイコンをデスクトップ上に作る場合は「はい」を、作らない場合は「いいえ」をクリックしてください。
- ⑥ 「セットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

■ Timer-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Timer-NX」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されます。

- ③ 「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。
- ④ をクリック。
インストールが始まります。
- ⑤ 「Timer-NXのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。

MAGIC FLIGHT の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「MAGIC FLIGHT」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- ⑤ 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

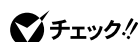
AOL へのご招待の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「AOLへのご招待」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「情報」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。

CyberWarner-NX の追加

追加の前に、「CyberTrio-NX」のモードを「アドバンスモード」に変更してください。

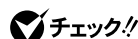
- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「CyberWarner-NX」をクリック(反転表示)して「OK」をクリック。
「CyberWarner-NXセットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
「CyberWarner-NXをインストールする準備ができました。」と表示されます。
- ⑤ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。



「CyberWarner-NX」を再追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が常駐されます。

CyberTrio-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「CyberTrio-NX」をクリック(反転表示)して「OK」をクリック。
「CyberTrio-NX セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
Windows が再起動します。
これでインストールは完了です。



「CyberTrio-NX」を再追加すると、本機起動時に「ベーシックモードへようこそ」ウィンドウが表示されます。

CyberCoach-NX の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「CyberCoach-NX」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「CyberCoach-NX セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「インストールは終了しました」と表示されます。
- ⑤ 「終了」をクリック。
これで、インストールは完了です。

Microsoft Chat 2.0、Microsoft NetShow Player 2.0、RealPlayer 4.0 の追加

Microsoft Chat 2.0、Microsoft NetShow Player 2.0、RealPlayer 4.0 は、「Microsoft Internet Explorer 4.01 の追加」の手順（「インストールオプション」は「完全インストール」を選択）を行うことにより再追加することができます。

Microsoft Internet Explorer 4.01 の追加

- ① 「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- ② 「Internet Explorer 4.01」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「次へ」をクリックする。
使用許諾契約書が表示されます。
- ④ 「同意する」を選んで、「次へ」をクリックする。
「インストールオプション」が表示されます。
- ⑤ 「完全インストール」が選ばれていることを確認して「次へ」をクリック。
「デスクトップのアップデート」が表示されます。
- ⑥ 「インストールしますか？」の「はい」を選んで、「次へ」をクリック。
「インストール先フォルダ」が表示されます。

⑦ インストール先を指定する。

- ・購入時と同じフォルダにインストールする場合
次のフォルダが選ばれていることを確認します。

「C:\Program Files\Internet Explorer」

- ・購入時と別のフォルダにインストールする場合
すでに存在するフォルダの場合は、「参照」をクリックして「フォルダの参照」ウィンドウでインストールしたいフォルダを選んで、「OK」をクリックします。
新規にフォルダを作成する場合は、「インストールフォルダ」に直接フォルダ名を入力します。

インストール先を指定したら「次へ」をクリックします。

✓ チェック!!

- ・新規にフォルダを作成した場合は、「入力したフォルダが存在しないため、作成しますか？」と表示されますので、「はい」をクリックしてください。
- ・「新しいコンポーネントをアップグレードしますか？」と表示された場合は、「すべてのコンポーネントを再インストール」にチェックを付けて、「OK」をクリックしてください。

インストールが始まります。

インストールには十数分かかります

終了すると、「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されます。

⑧ 「OK」をクリック。

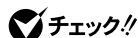
「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示された場合は、実行中のプログラムをすべて終了して、「OK」をクリックしてください。

✓ チェック!!

- ・CD-ROM はまだ取り出さないでください。
- ・「コンピュータを再起動する必要があります」と表示された場合は「OK」をクリックしてください。自動的に再起動されます。
- ・「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。

「Internet Explorer 4.01」関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間数分かかります。

セットアップ完了後、CD-ROM を取り出します。



Microsoft Internet Explorer 4.01を再追加するとスタートページの設定は購入時の状態には戻りません。スタートページを元に戻す方法については『インターネット入門』のPART4「インターネットをもっと楽しむために」にある「最初に出るページを変える」をご覧ください。

■ 最新のコンポーネントを追加する

「インターネットエクスプローラ4.01」に最新のコンポーネントを追加するには、次の手順があります。いずれの手順も同じ Web サイトに接続して、最新のアプリケーション（コンポーネント）をダウンロードします。

- ・「インターネットエクスプローラ4.01」の「ヘルプ」メニュー→「製品の更新」をクリックする。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、「Microsoft Internet Explorer 4.0」を選んで、「追加と削除」をクリックして、「コンポーネントを Internet Explorer に追加する」を選んで「OK」をクリックする。

上記手順でダウンロード可能なアプリケーション（コンポーネント）は次のようになります。

（1998年2月現在）

◎ Add-on page にあるコンテンツ一覧

[Microsoft Internet Explorer 4.0]

- ・Internet Explorer 4.0 Web ブラウザ
- ・Windows デスクトップのアップデート
- ・Microsoft VM for Java
- ・インターネット接続ウィザード

[通信コンポーネント]

- ・Microsoft NetMeeting
- ・Microsoft Outlook Express
- ・Microsoft Chat 2.0

[マルチメディア コンポーネント]

- ・Microsoft NetShow
- ・Microsoft インタラクティブ ミュージック コントロールと MS シンセサイザ
- ・Microsoft VRML 2.0 ビューア
- ・DirectShow
- ・VDOLive プレーヤー
- ・Microsoft Agent

- ・Macromedia Shockwave Director
- ・Macromedia Shockwave Flash
- ・RealPlayer by Progressive Networks

[オーサリング コンポーネント]

- ・Microsoft FrontPage Express
- ・Microsoft Web 発行ウィザード

[エクスプローラ用追加コンポーネント]

- ・Microsoft Wallet
- ・追加 Web フォント
- ・Internet Explorer サウンド パック
- ・タスク スケジューラ
- [複数の言語サポート]
- ・日本語サポート
- ・韓国語サポート
- ・ヨーロッパ各国語サポート
- ・繁体字中国語サポート
- ・簡体字中国語サポート

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って追加する

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って、次のアプリケーションを追加することができます。

- ・パソコン大学一年生 for 一太郎 8
（一太郎モデルのみ）
- ・パソコン大学一年生 for 三四郎 8
（一太郎モデルのみ）
- ・パソコン大学一年生 for Word 97
（Word モデルのみ）
- ・パソコン大学一年生 for Excel 97
（Word モデルのみ）

パソコン大学一年生の追加

- ① CD-ROM ドライブに本機添付の「パソコン大学一年生 CD-ROM」をセットする
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。
自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示されたウィンドウでCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

- ② 「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください」と表示されます。
- ③  をクリック。
アプリケーションの追加が始まります。
しばらくすると、セットアップが完了した旨のメッセージが表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

一太郎バックアップ CD-ROM を使って追加する (一太郎モデルのみ)

一太郎 Office8 の追加

「アプリケーションを削除する」の「一太郎Office8の削除 (一太郎モデルのみ)」の手順で、一太郎 Office8 を削除した場合は、本機に添付されている「一太郎バックアップ CD-ROM」を使用することにより、「一太郎Office8」をハードディスクに追加することができます。

ここでは、「一太郎Office8」の追加手順について説明します。

- ① CD-ROM ドライブに「一太郎バックアップ CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。
- ② 「SETUP」をクリック。
セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されます。
- ③ 「セットアップ開始」をクリック。
「Office8 のセットアップを行います」と表示されます。

 **チェック!!**
「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示された場合は、「確認」をクリックしてください。
- ④ 「次へ」をクリック。
「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されます。

- ⑤ 「次へ」をクリック。
「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。
- ⑥ J-Sheet をご覧の上、すべて入力して「次へ」をクリック。
「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑦ 正しく入力されていたら「登録する」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「標準」を選ぶ。
- ⑨ 「次へ」をクリック。
「標準モードでセットアップすると」と表示されます。
- ⑩ 「次へ」をクリック。
「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。
- ⑪ 「次へ」をクリック。
「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。
- ⑫ 「コピー開始」をクリック。
ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- ⑬ 「はい」を選択して「OK」をクリック。
「JustNetに入会するには」ウィンドウが表示されます。
- ⑭ 「確認」をクリック。
「一太郎 Office8 のセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。
- ⑮ 「再起動」をクリック。
Windows 95 が再起動します。

これで「一太郎Office8」のセットアップが終了です。



チェック!!

「一太郎 Office8」を再追加すると、本機起動時に「一太郎 8」が常駐されます。

Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 CD-ROMを使って追加する(Wordモデルのみ)

「アプリケーションを削除する」の「Microsoft Word 97 の削除 (Word モデルのみ)」、および「Microsoft Excel 97 の削除 (Word モデルのみ)」、「Microsoft Outlook 97 の削除 (Word モデルのみ)」で Word、Excel、Outlook をそれぞれ削除した場合、本機に添付されている「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM (以降、Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 CD-ROM) を使用することにより、次のアプリケーションをハードディスクにセットアップすることができます。

- ・Microsoft Outlook 97
- ・Microsoft Excel 97
- ・Microsoft Word 97

Outlook 97 のセットアップ

- ① 「Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
- ② 「Microsoft Outlook 97 のセットアップ」をクリック。
Outlook 97 のセットアッププログラムが起動します。
- ③ 「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」のウィンドウが表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」のウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
「プロダクト ID」のウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑦ そのまま「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「標準セットアップ」をクリック。
Outlook 97 のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Outlook 97 セットアップが完了しました」と表示されます。

- ⑨ 「OK」をクリック。
「Windows 95 の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windows の再起動」をクリックし、Windows を再起動してください。

これでセットアップは完了です。

Excel 97 のセットアップ

- ① 「Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
- ② 「Microsoft Excel 97 のセットアップ」をクリック。
Excel のセットアッププログラムが起動します。
- ③ 「継続」ボタンをクリック。
「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
プロダクト ID 番号を知らせるウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑦ そのまま「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「標準セットアップ」を選んで、「継続」をクリック。
Excel のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました」と表示されます。
- ⑨ 「OK」をクリック。
「Windows 95 の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックし、Windows を再起動してください。

これで、セットアップは完了です。

Word 97 のセットアップ

- ① CD-ROM ドライブに「Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。
自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
- ② 「Microsoft Word 97 のセットアップ」をクリック。
Word のセットアッププログラムが起動します。
- ③ 「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」のウィンドウが表示されます。
- ④ 「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」のウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック。
プロダクト ID 番号を知らせるウィンドウが表示されます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑦ そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。
- ⑧ 「標準セットアップ」を選んで、「継続」をクリック。
Word のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Word 97 セットアップが完了しました」と表示されます。
- ⑨ 「OK」をクリック。
「Windows 95 の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windows の再起動」をクリックし、Windows を再起動してください。

これで、セットアップは完了です。

5

ハードウェア

-
- マウスの設定
 - キーボードの設定
 - ハードディスク
 - フロッピーディスク
 - ディスプレイ
 - サスペンド / レジューム機能
 - サウンド機能
 - マイクロホン
 - FAX モデムボード
 - デバイスマネージャ
 - CD-ROM などの取り扱い

マウスの設定

「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、左ききの方のためのマウスの設定、ダブルクリックのタイミングの調整、マウスポインタの形の選択や動きの調整などの設定ができます。



- ・マウスの使い方について→『STEP2 入門』
「PART 2 マウスに慣れよう」

「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定

- ①「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



※この画面は機種によって異なる場合があります。

- ②「マウス」をダブルクリック。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「マウスのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「ボタン」タブのウィンドウの他に「ポインタ」「動作」「情報」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「ボタン」タブのウィンドウ

■ ボタンの選択

マウスのボタンの左右の機能を交換して、右きき用 / 左きき用に設定できます。



コンテキストメニュー

現在の本機の状態や、ポインタの位置で可能な操作の一覧が表示されているメニュー。

補助ドラッグ

ファイルやフォルダのコピー、ショートカットアイコンの作成などができるドラッグ。

■ ダブルクリックの速度

マウスのボタンを2回続けてクリックするときの、間隔(タイミング)を調整します。「遅く」にすると間隔が長く、「速く」にすると間隔が短くなります。調整したタイミングを「テスト」にあるアイコン(びっくり箱)で確認できます。調整したタイミングでダブルクリックをすると、箱が開いて中から人形が飛び出します。

※購入時状態では、遅めに設定されています。

「ポインタ」タブのウィンドウ



このウィンドウでは、マウスポインタの形を選択できます。例として、マウスポインタの形を矢印から に変更してみます。

- ① 「標準の選択」が反転表示している状態で「参照」をクリック。
「参照」ウィンドウ（「Cursors」フォルダ）が表示されます。



- ② 「Cross_1」をダブルクリック。
「Cross_1」のアイコンが「ポインタ」タブのウィンドウに表示されます。



- ③ 「OK」をクリック。
マウスポインタの形が十字の形になります。

「動作」タブのウィンドウ



マウスポインタの動作について設定できます。

「情報」タブのウィンドウ



現在使用しているマウスの名前が表示されています。
本機に添付されている以外のマウスを使用する場合の設定ができます。

キーボードの設定

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、文字のリピート入力のタイミングの調整、カーソルの点滅速度の調整、日本語入力システムの選択、キーボードレイアウトの設定など、いろいろな設定ができます。



- ・キーボードの使い方について→『STEP2 入門』
- ・日本語の入力のしかたについて→『STEP2 入門』

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定

- ① 「コントロールパネル」を開く
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



※この画面は機種によって異なる場合があります。

- ② 「キーボード」をダブルクリック。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「キーボードのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「速度」タブのウィンドウの他に「言語」「情報」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「速度」タブのウィンドウ

■ 文字の入力

「表示までの待ち時間」では、キーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調整します。「表示の間隔」では、キーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調整します。調整後に、ボックスでテストすることができます。例えば「A」のキーを押し続けて感じをつかむことができます。

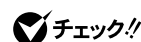
※購入時の状態では、「表示の間隔」は遅めに設定されています。



■ カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調整します。

「言語」タブのウィンドウ



WORDモデルの場合は、「MS-IME97」しか表示されません。

■ インストールされている言語とレイアウト

◎ 言語（日本語入力システム）の選択

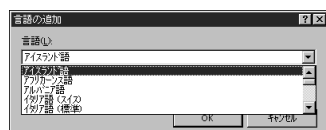
よく使う日本語入力システムを一覧から選んで（反転表示になる）、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」の欄に表示されます。

◎ 言語の追加

「追加」をクリックすると、「言語の追加」ウィンドウが表示されます。



▼をクリックして、追加したい言語を選びます。



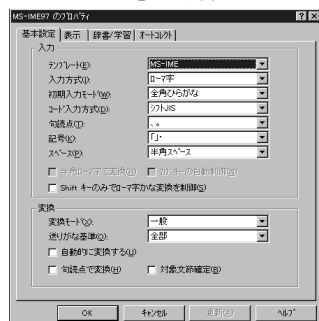
◎ キーボードレイアウトの設定

日本語入力システムを一覧から選んで（反転表示になる）、「プロパティ」をクリックすると、「環境設定」ウィンドウが表示されます。

「ATOK11」の場合



「MS-IME97」の場合



ローマ字/かな入力、入力モード/方式、句読点の種類などを設定できます。

◎ 言語の削除

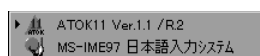
削除したい言語を一覧から選んで（反転表示になる）、「削除」をクリックすると、その言語が一覧から削除されます。

■ 言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選びます。

■ タスクバー上に状態を表示

多国語インジケータをタスクバーに表示します。このインジケータをクリックすると、言語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューが表示されます。



「情報」タブのウィンドウ

■ キーボードの種類

現在使用しているキーボードの名前が表示されています。本機に添付されている以外のキーボードを使用する場合の設定ができます。



ハードディスク

ハードディスクの代表的なツールである、スキャンディスク、デフラグ、ドライブスペースについて説明します。



参照

- ・ハードディスクを増設する→『拡張の手引き』PART 6「ハードディスクを増設する」

概要

ハードディスクは、外部記憶装置のひとつです。正確に表現すれば、実際に磁気を利用してデータを記録する円盤（ディスク）と、ディスクを高速に回転させて、データの読み書きをするヘッドやアーム、モーターなどからなる装置全体を指し、ハードディスク装置といいます。ディスクと磁気ヘッドなどの装置は、密封された容器に収められているために、他の外部記憶装置のメディアのように、記憶媒体（ディスク）自体を単独で取り出すことはできません。しかし、ディスクを高速で回転させるために、フロッピーディスクや光磁気ディスクなどに比べて、読み書きするスピードは格段に速くなります。

ハードディスクは外部記憶装置のひとつには違いありませんが、CPUやメモリとともに、パソコンの中心的存在です。オペレーティングシステム（OS）やアプリケーションソフトなどは、すべてハードディスクに格納されます。ハードディスクのドライブ名は通常は「C:」です。

取り扱うときの注意

ハードディスクは、たいへん精密な機械です。取り扱うときには、次のことに十分注意してください。

- ・電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。
- ・電源を切るときは、『STEP1 接続と準備』で説明されている手順に従ってください。Windows 95 以外の OS を使用している場合、キーボードの【Esc】を押してから電源スイッチを押してください。

なお、ハードディスクの記憶容量は、1 M バイト＝1,000,000 バイトおよび 1 G バイト＝1,000,000,000 バイトで計算したときの値を示してあります。Windows 95 では、1 M バイト＝1,048,576 バイト、1 G バイト＝1,073,741,124 バイトで値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

スキャンディスク

スキャンディスクとは、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのツールです。実際には、ハードディスクドライブ上の FAT（ファイルアロケーションテーブル）やクラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないかチェックしてください。エラーが発見されたら、修復するようにしてください。

スキャンディスクは次のように実行します。

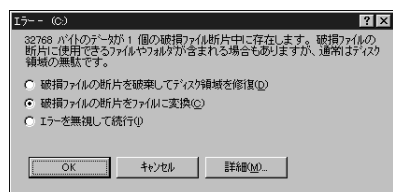
- ① 「スキャンディスク」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」）



- ② 「エラーチェックをするドライブ」の中から、チェックするドライブをクリック。
- ③ 「開始」をクリック。
チェックが始まります。
チェックが終了すると、チェックの経過を表示していた場所に「完了」が表示されます。



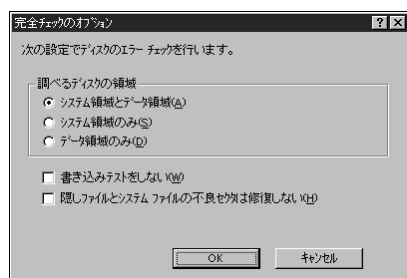
何か問題が検出されたときは、次のような画面が表示されます。この場合は、画面の指示に従ってください。



- ④ 「閉じる」をクリックし、もう一度「閉じる」をクリック。スキャンディスクの作業が終了します。

「完全チェックのオプション」ウィンドウ

徹底的なチェックをしたいときは、チェック方法の「完全」をクリックしてから「オプション」をクリックして、次のウィンドウを表示して使いたいオプションを選びます。

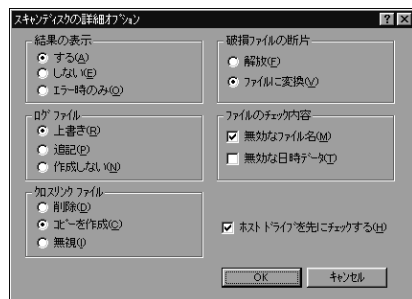


✓チェック!

完全チェックはかなり時間がかかります。

「スキャンディスクの詳細オプション」ウィンドウ

「詳細」ボタンをクリックして次のウィンドウを表示すると、さらに細やかな設定ができます。



不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」と呼びます。パソコンではこのような場所にはデータを記録しないようにしています。

Windows 95の「スキャンディスク」などを実行すると「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように処理されていることを表しており、異常ではありません。

なお、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数*が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

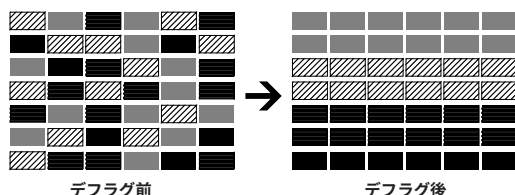
	VS33D (DVD-ROM モデル)	VS33D (CD-R モデル) VS30D VS26D (モニタータイプ)
内蔵 ハードディスク	8.4G バイト	4.3G バイト
正 常 値	8,400,000,000 バイト以上	4,300,000,000 バイト以上

	VS26D (デスクトップタイプ) (省スペースタイプ) VS23D、VS20C
内蔵 ハードディスク	3.2G バイト
正 常 値	3,200,000,000 バイト以上

* 内蔵ハードディスクは、2～4つの領域に分けられています。表の正常値は、2～4つの領域のバイト数を合計した値です。なお、領域が分けられている場合には、バイト数の合計が、表の正常値より減る場合があります。

デフラグ

ハードディスク（またはフロッピーディスク）を長い間使っていると、データがハードディスクの空いている場所に、バラバラに保存されるようになります。この状態をフラグメンテーションまたは断片化と呼びます。この状態になると、データが連続していないので、データを読み書きする時間が長くなります。「デフラグ」というツールを使うと、このようなバラバラになったデータを、最適な場所に整理できます。



デフラグは次のように実行します。

✓チェック!!

「デフラグ」の実行中は、絶対にサスペンドしたり、本機の電源を切ったりしないでください。サスペンドしたり、電源を切ると、ハードディスクの内容が壊れる場合があります。自動的にサスペンドする設定になっている場合は、「BIOS セットアップユーティリティ」で解除してください。

📖 参照

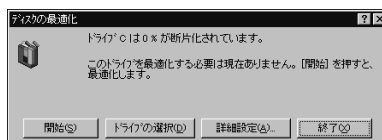
- ・「BIOS セットアップユーティリティ」→ PART 6 「BIOS セットアップユーティリティ」

- ① 「デフラグ」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「デフラグ」）



- ②  をクリックし、一覧の中から、デフラグするハードディスク（またはフロッピーディスク）のドライブを選ぶ。

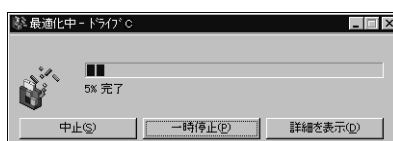
- ③ 「OK」をクリック。
「ディスクの最適化」ウィンドウが表示されます。



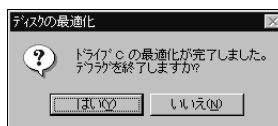
✓チェック!!

「現在最適化する必要はありません。」と表示された場合は、「終了」をクリックしてデフラグを中止してかまいません。

- ④ 「開始」をクリック。
デフラグの作業が始まります。



デフラグの作業が終了すると、次のウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「はい」をクリック。
これで、デフラグの作業が終了します。

ドライブスペース

ドライブスペースを使うと、ドライブを圧縮し、空きディスク領域を大きくすることができます。

✓チェック!!

「FAT32」の領域には、ドライブスペースは使えません。

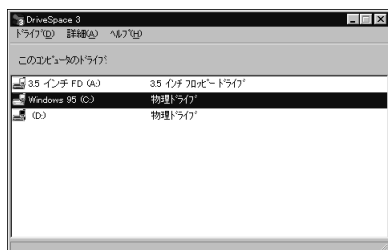
📖 参照

- ・FAT32 ファイルシステムについて→『困ったときの Q&A』PART 3 「FAT32 ファイルシステムについて」

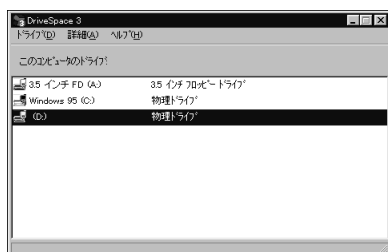
ドライブの圧縮

ここでは、ドライブ (D) を圧縮してみます。

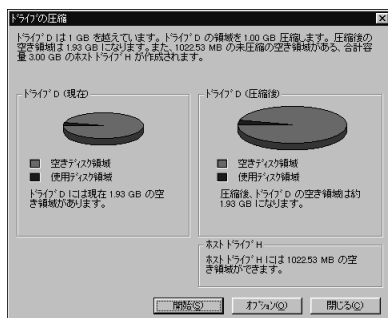
- ① 「ドライブスペース」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ドライブスペース」)
「Drivespace 3」ウィンドウが表示されます。



- ② 圧縮するドライブをクリック。
(例 ドライブ (D) を選ぶ)
選ばれたドライブが反転表示になります。

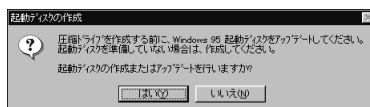


- ③ 「ドライブ」をクリックして、「圧縮」をクリック。
「ドライブの圧縮」ウィンドウが表示されます。



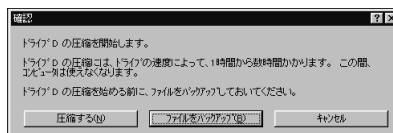
ここで、圧縮前と圧縮後の空き容量がわかります。

- ④ 「開始」をクリック。
圧縮を確認するメッセージが表示されます。



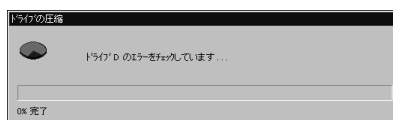
ドライブ (D) のファイルのバックアップをとる場合は、「ファイルをバックアップ」をクリックして、続いて表示されるメッセージに従って操作してください。

「起動ディスク」を作成していない場合は、次のメッセージが表示されます。

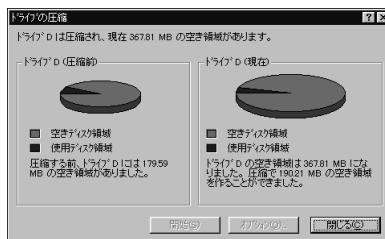


作成またはアップデートする場合は、「はい」をクリックして、続いて表示されるメッセージに従って操作してください。

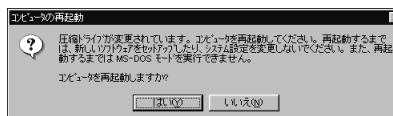
- ⑤ 「圧縮する」をクリック。
圧縮が始まります。



圧縮が終了すると、圧縮された結果が表示されます。



- ⑥ 「閉じる」をクリック。
「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されます。

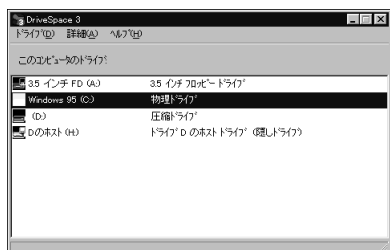


- ⑦ 「はい」をクリック。
Windows が再起動します。

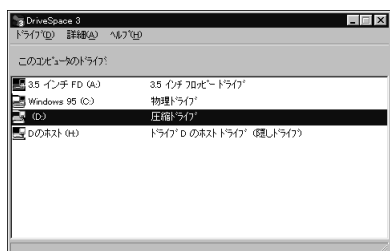
ドライブの圧縮を解除する

圧縮したドライブを元に戻すことができます。

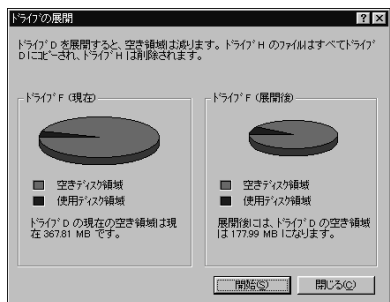
- ① 「ドライブスペース」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ドライブスペース」)
「Drivespace 3」ウィンドウが表示されます。



- ② 圧縮を解除するドライブをクリック。
選ばれたドライブが反転表示になります。

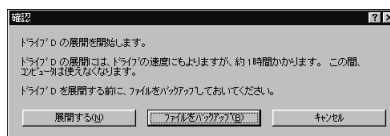


- ③ 「ドライブ」をクリックして、「展開」をクリック。
「ドライブの展開」ウィンドウが表示されます。



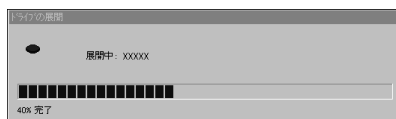
ここで、展開前と展開後の空き容量がわかります。

- ④ 「開始」をクリック。
確認のメッセージが表示されます。

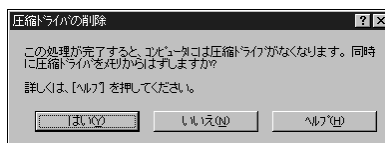


ドライブ (D) のファイルのバックアップをとる場合は、「ファイルをバックアップ」をクリックして、続いて表示されるメッセージに従って操作してください。

- ⑤ 「展開する」をクリック。
展開が始まります。

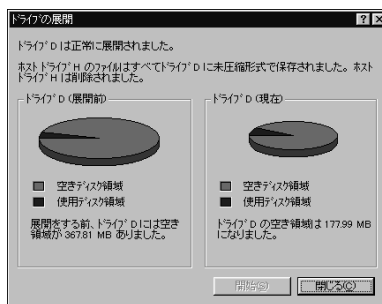


途中で次のメッセージが表示される場合があります。

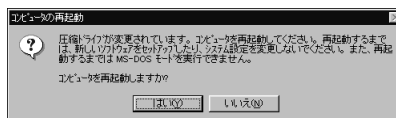


「はい」をクリックしてください。

展開が終了すると、展開された結果が表示されます。



- ⑥ 「閉じる」をクリック。
「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されます。



- ⑦ 「はい」をクリック。
Windows が再起動します。

フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類、バックアップのとりかた、Windows 起動ディスクの作成方法などについて説明します。



- ・フロッピーディスクのフォーマット→『STEP3 活用』PART4「フロッピーディスクを使う」

使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、以下のようなフロッピーディスクを使用できます。

タイプ	フォーマット (容量) ※1			
	1.44MB	1.2MB	720KB	640KB
2HD	○	△※2	×	×
2DD	×	×	○	×

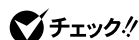
※1: MS-DOSまたはWindowsでフォーマットされたものが使えます。

※2: 読み書きはできますが、1.2Mバイトでのフォーマットはできません。また、ディスクのコピーもできません。

フロッピーディスクのバックアップ

フロッピーディスクは非常にデリケートです。ホコリが入ってしまったり、折れてしまったりなど、何らかの事故によって、保存しているデータが壊れてしまうことがあります。万に備えて、大切なデータは、定期的にバックアップをとることをおすすめします。

- ① バックアップをとりたいフロッピーディスク(コピー元)をフロッピーディスクドライブにセットする。



- ・誤って、データを消さないように、コピー元のフロッピーディスクには、あらかじめライトプロテクトしておくことをおすすめします。

- ・コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください。



- ・ライトプロテクトについて→『STEP3 活用』PART4「フロッピーディスクにファイルをコピーする」

- ② 「マイコンピュータ」をダブルクリック。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「3.5 インチ FD」をクリック。
「3.5 インチ FD」アイコンが反転表示になります。



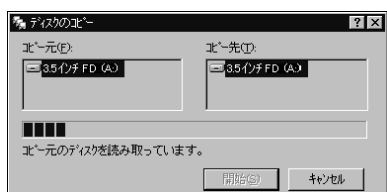
- ④ 「ファイル」をクリック。
「ファイル」のメニューが表示されます。



- ⑤ 「ディスクのコピー」をクリック。
「ディスクのコピー」ウィンドウが表示されます。



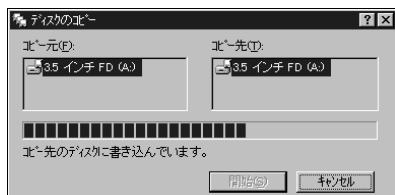
- ⑥ 「開始」をクリック。
ディスクのコピーが始まります。



しばらくして次の画面が表示されます。



- ⑦ コピー元のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、コピー先のフロッピーディスクをセットする。
- ⑧ 「OK」をクリック。
ディスクのコピーが再開します。



コピーが終了すると次の画面が表示されます。



- ⑨ 「閉じる」をクリック。
ディスクのコピー作業が終了し、バックアップが作成されます。

Windows 起動ディスク

ハードディスクやWindows 95のシステムに大きな障害を受けると、本機の電源を入れても Windows 95 が起動しなくなってしまうことがあります。このような場合には、「Windows 起動ディスク」を使うと、フロッピーディスクから Windows 95 のシステムを起動させることができます。万一、システムが起動しなくなったときのために、Windows 起動ディスクを作成することをおすすめします。

Windows 起動ディスクの作成

フロッピーディスクを 1 枚用意してください。未フォーマットのものでかまいません。

- ① コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」の後、手順③へ進む)



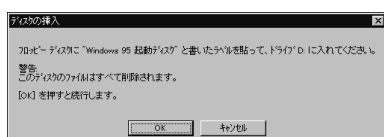
- ② 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「起動ディスク」をクリック。
「起動ディスク」タブのウィンドウが表示されます。



- ④ 「ディスクの作成」をクリック。
起動ディスク作成の準備が始まり、すぐに次のメッセージが表示されます。



- ⑤ 指示に従い、「OK」をクリック。
起動ディスクの作成が始まります。



終了すると、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。



- ⑥ 「OK」をクリック。
Windows 起動ディスクが作成されます。

Windows 起動ディスクのコマンドツール

Windows 起動ディスクには次のようなコマンドツールがあります。



Edit	テキストファイルを編集します。
Fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
Format	ディスクを初期化します。
Scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
Sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

Windows 起動ディスクから本機を起動する

- ① 本機の電源を入れます。
- ② すぐにフロッピーディスクドライブにWindows 起動ディスクをセットします。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- ③ 【半角 / 全角】を押す。
「106 キーボードが選択されました」と表示されたあと、「A: ¥>」と表示されます。

これで、Windows 起動ディスクからの起動が完了しました。

再びハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクからWindows 起動ディスクドライブを取り出して、本機を再起動してください。

ディスプレイ

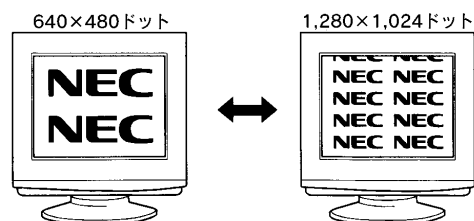
本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お使いの用途に応じた解像度や、発色数に切り替えて使用できます。

概要

解像度

ディスプレイでは文字やグラフィックを、小さな点(ドット)の集まりで画面に表示しています。ディスプレイの解像度とは、ディスプレイの画面上での文字やグラフィックを表現するときの、緻密さの度合いのことです。例えば、640×480ドットというのは、ディスプレイの横(水平)方向に640個のドット(点)、縦(垂直)方向に480個のドットで表示できることを示しています。ドット数が増えるほど、精細な表示ができるようになります。

一度に表示できるドット数を増やすことを「高解像度にする」と表現します。高解像度になると、緻密な画像を表現できます。また、同じアプリケーションでも、高解像度時には、より広い範囲を表示することができま。ただし、解像度が高くなるにつれて、画面に表示される文字は小さくなっていきます。画面の文字が読みにくくなるときには、解像度を下げるようにしてください。



表示色

ディスプレイの個々のドットを、何種類の色で表現できるかを示す尺度を表示色といいます。本機では通常、次の表示色が表示できます。

- ・ 16,777,216 色 (1677 万色)
- ・ 65,536 色 (6 万 5 千色) ※1
- ・ 32,768 色 (3 万 2 千色) ※2
- ・ 256 色
- ・ 16 色

※1:VS20C で表示できます。

※2:VS33D/VS30D/VS26D/VS23D で表示できます。

また3万2千色/6万5千色で表示することを、「High Color (ハイカラー) 表示」、1677 万色で表示することを「True Color (トゥルーカラー) 表示」あるいは、「Full Color (フルカラー) 表示」と呼ぶこともあります。

走査周波数

CRTディスプレイでは、電子ビームを管面の蛍光体に当てて発光させ、文字やグラフィックを表示しています。このとき、電子ビームが画面の左端から右端へ移動することを水平走査、画面の上端から下端へ移動することを垂直走査と呼びます。電子ビームが蛍光体に当たると、発光するのは一瞬ですが、短時間(例えば1秒間)に何度も同じ点が発光すると、残像効果により文字、あるいはグラフィックとして認識できるのです。1秒間に水平方向に走査する回数を水平走査周波数と呼び、同様に1秒間に垂直方向に走査する回数を垂直走査周波数と呼びます。

本機にセットのディスプレイを使う場合

本機とセットのディスプレイは、標準で次の解像度と表示色、走査周波数を表示できます。

■ VS33D/VS30D/VS26D/VS23D (ミニタワータイプ、デスクトップタイプの場合)

○:表示可 ×:表示不可

解像度 (ドット)	表示色	水平走査 周波数 (KHz)	垂直走査 周波数 (Hz)	15インチ ディスプレイ (DV15A1)	17インチ ディスプレイ (DV17C1/A1)	17インチ ディスプレイ (DV17C2)
640 × 480	16色	37.5	75.0	○	○	○
	256色					
	32,768色	31.5	59.9	○	○	○
	1,677万色					
800 × 600	256色	46.9	75.0	○	○	○
	32,768色					
	1,677万色	37.9	60.3	○	○	○
1,024 × 768	256色	60.0	75.0	○	○	○
	32,768色					
	1,677万色※	56.5	70.1	○	○	○
1,280 × 1,024	256色	80.0	75.0	×	×	○
	32,768色※					
		64.0	60.0	×	○	○

※ VS33D/VS30D/VS26D (ミニタワータイプ) では、標準で表示できます。VS26D (デスクトップタイプ)、VS23D では、VRAM (2M バイト) を増設することで表示できます。

■ VS26D (省スペースタイプの場合)

○:表示可 ×:表示不可

解像度 (ドット)	表示色	水平走査 周波数 (KHz)	垂直走査 周波数 (Hz)	液晶 ディスプレイ (F1472)
640 × 480	16色	37.5	75.0	○ ^{※2}
	256色			
	32,768色	31.5	59.9	○ ^{※2}
	1,677万色			
800 × 600	256色	46.9	75.0	○ ^{※2}
	32,768色			
	1,677万色	37.9	60.3	○ ^{※2}
1,024 × 768	256色	60.0	75.0	○
	32,768色			
	1,677万色 ^{※1}	56.5	70.1	○
1,280 × 1,024	256色	80.0	75.0	×
	32,768色 ^{※1}			
		64.0	60.0	×

※ 1: VRAM (2M バイト) を増設することで表示できます。

※ 2: 拡大表示となります。拡大表示では文字や線の太さが不均一になることがあります。

■ VS20C の場合

○:表示可 ×:表示不可

解像度 (ドット)	表示色	水平走査 周波数 (KHz)	垂直走査 周波数 (Hz)	15インチ ディスプレイ (DV15A1)	17インチ ディスプレイ (DV17A1)
640 × 480	16色	37.5	75.0	○	○
	256色				
	65,536色	31.5	59.9	○	○
	1,677万色				
800 × 600	256色	46.9	75.0	○	○
	65,536色				
	1,677万色	37.9	60.3	○	○
1,024 × 768	256色	60.0	75.0	○	○
	65,536色				
		56.5	70.1	○	○
1,280 × 1,024	256色	64.0	60.0	×	○

※ 上記以外の解像度、走査周波数ではディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。

別売のディスプレイを使う場合

本機には、別売のディスプレイを接続することもできます。本機の表示機能は次の通りです。

◎ 解像度

640 × 480
800 × 600 (購入時の設定)
1,024 × 768
1,280 × 1,024

◎ 表示色数

VS33D、VS30D、VS26D、VS23D	VS20C
16 色	16 色
256 色	256 色
32,768 色	65,536 色
1,677 万色	1,677 万色

※ 表示できる色数は、各解像度によって異なります。

◎ 走査周波数

水平走査周波数 (37.5 ~ 80.0 KHz)

※ 使用できる周波数は、各解像度、表示色数によって異なります。別売のディスプレイを使用する場合は、上の表を参考に本機に対応した周波数を選んでください。

✓チェック!!

別売のディスプレイを使用する場合は、上記の条件を満たしていることを確認してください。

ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。また、次の別売ディスプレイは使用できません。

- ・PC-KM212
- ・PC-KM174

解像度と表示色の変更

必要に応じて解像度や表示色を変更できます。

解像度と表示色を変更する

- ① コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順③へ進む)



※画面は機種によって異なる場合があります。

- ② 「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



※画面は機種によって異なる場合があります。

- ③ 「ディスプレイの詳細」タブをクリック。
「ディスプレイの詳細」タブのウィンドウが表示されます。



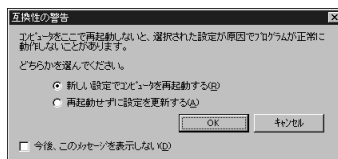
- ④ 解像度を変更する。
「デスクトップ領域」のつまみを「大」の方向にドラッグしてずらすと、高解像度になります。低解像度に設定する場合は、つまみを「小」の方向へドラッグしてずらしします。設定できる解像度は、本体ディスプレイの表示機能によって変わります。

- ⑤ 「カラーパレット」の ▾ をクリック。
表示色一覧のメニューが表示されます。



- ⑥ 表示色を選ぶ。
(例 「True Color (32 ビット)」 を選ぶ)
「True Color (32 ビット)」 が反転表示されます。

- ⑦ 「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



- ⑧ 「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をクリック。
本機が再起動されて、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更する (簡易解像度切り替え機能)

解像度と表示色は、タスクバーから簡単に切り替えることができます。

- ① タスクバー右隅のをクリック。
解像度と表示色の一覧メニューが表示されます。

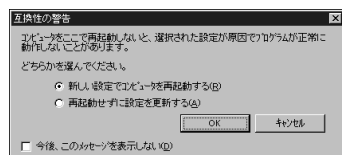
640×480 256色
800×600 256色
1024×768 256色
1152×864 256色
1280×1024 256色
640×480 High Color (16 ビット)
✓ 800×600 High Color (16 ビット)
1024×768 High Color (16 ビット)
1152×864 High Color (16 ビット)
640×480 True Color (32 ビット)
800×600 True Color (32 ビット)
ディスプレイ プロパティの変更(A)

※画面は機種によって異なる場合があります。

にマウスポインタを当てると、現在の設定を表示できます。



- ② 変更したい解像度と表示色の組み合わせを選ぶ。
次のメッセージが表示されます。



- ③ 「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をクリック。
本機が再起動されて、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更するときの注意

- 表示色数を変更した後に、本機を再起動しなかった場合、画面が正しく表示されないことがあります。また、アプリケーションソフトによっては、色が正常に表示されないことがあります。
- 解像度や表示色数を変更した場合には、画面位置がずれることがあります。そのときは、ディスプレイの画面位置を調整してください。画面位置の調整方法は、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

パワーマネージメント機能について

本機に、パワーマネージメント機能を持つディスプレイを接続している場合、パワーマネージメント機能を使うことができます。ディスプレイセットモデルの、CRTディスプレイは、パワーマネージメント機能に対応しています。パワーマネージメント機能は、Windows上で設定し、コントロールパネルで設定した時間内に、まったく操作をしなかった場合、ディスプレイの消費電力を節約する機能です。

パワーマネージメント機能を使う

- ① 「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順③に進む）



- ② 「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



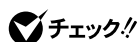
- ③ 「スクリーンセーバー」をクリック。
「スクリーンセーバー」タブのウィンドウが表示されます。



- ④ 「ディスプレイの省電力機能」欄で設定する。
- ・低電力スタンバイ
「低電力スタンバイ」を選んで、時間を設定すると、設定時間経過後に CRT ディスプレイがスタンバイ状態になり、消費電力を節約することができます。

・電源断
「電源断」を選択して、時間を設定すると、設定時間経過後に CRT ディスプレイの電源が切れて、消費電力を節約できます。この設定で電源が切れたディスプレイの電源の入れ方については、CRT ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

- ⑤ 設定が終了したら、「OK」をクリック。
パワーマネージメント機能が設定されました。



チェック!!
パワーマネージメント機能が働いて、CRT ディスプレイの電源が切れているときは、本体の電源スイッチを押さないでください。

ディスプレイに合わせて設定する

別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて、本体の設定を変更する必要があります。本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。また、設定できるはずの解像度が設定できないこともあります。

別売のディスプレイを使用するときの注意

プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合は、必ず、次の手順を行ってください。
プラグ&プレイに対応しているディスプレイの場合は、起動時にモニタを検出したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージで、ディスプレイが検出されたことが確認できた場合は、この手順は必要ありません。

詳しくは、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

ただし、プラグ&プレイに対応しているディスプレイであっても、そのディスプレイで表示できるはずの高解像度が、この項の「解像度と表示色の変更」の手順で設定できない場合があります。その場合は、『困ったときの Q & A』をご覧ください。ディスプレイの設定をやり直してください。

- ① ディスプレイが本体に正しく接続されていることを確認する。
- ② Windows 95 起動後に、「コントロールパネル」を開く。
(または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順③に進む)
「コントロールパネル」が表示されます。



- ③ 「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「ディスプレイの詳細」をクリック。
「ディスプレイの詳細」タブのウィンドウが表示されます。



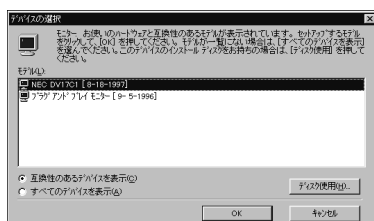
- ⑤ 「詳細プロパティ」をクリック。
「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「モニター」をクリック。
「モニター」タブのウィンドウが表示されます。



- ⑦ 「変更」をクリック。
「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。



- ⑧ 「すべてのデバイスを表示」を選ぶ。
次のような画面が表示されます。



- ⑨ 「製造元」と「モデル」を選ぶ。
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されない場合は、「製造元」の欄で、「(スタンダードモニター)」を選び、「モデル」の欄で接続したディスプレイがサポートしている解像度を設定してください。



- ⑩ 「OK」をクリック。
⑪ 「閉じる」をクリック。
⑫ 「OK」をクリック。
Windowsを再起動するようというメッセージが表示された場合は、ほかのアプリケーションが終了していることを確認して、「はい」をクリックしてください。

サスペンド / レジューム機能

本機を使っていないときに、電源を切らなくても電力の消費を節約できるサスペンド / レジューム機能について説明します。

概要

本機を使っていないときには、本機の電源を切っておくと、電力の節約になります。しかし、電源を切るには、作業中の状態を終了（アプリケーションを終了したり）して、Windows を終了する必要がありますので、少しの間だけ、本機を使わない場合には、つい電源を入れっぱなしにしがちです。

しかし、電源が入ったままでも電力消費を抑える機能（省電力機能）が本機には備わっています。これをサスペンド機能といいます。サスペンド機能を使うと、本体は電源が入ったままでも、ファンやハードディスクのモータを止めたり、画面を消したりして、電力消費を抑えることができます。ただし、プリンタやスピーカなどの周辺機器や、通信回線などは自動的に切れないので、注意が必要です。サスペンド中は、作業をしていた内容は保持され、元の状態に戻る（この機能をレジューム機能といいます）と、すぐに作業が再開できます。

電源の状態

本機の電源の状態について説明します。

- ・電源が入っている状態
通常、本機を使っている状態です。
- ・電源が切れている状態
Windows を終了したり、電源スイッチを切ったりして、本機の使用を終了している状態です。
- ・サスペンド（省電力）状態
消費電力を一部抑えている状態です。電源は入っていますが、本機のさまざまな機能を制御して、通常よりも電力を節約します。

サスペンド状態での本機

サスペンド状態になると、本機は次のようになります。

	電源ランプ	スリープランプ	ディスプレイ	ディスプレイの電源ランプ
電源ON	点灯する	点灯しない	表示される	緑色に点灯
サスペンド	点灯する	点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯 ※

※ 使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

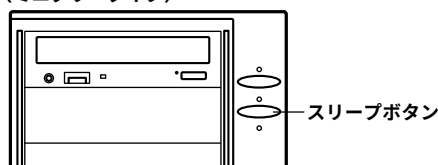
サスペンド状態にする

サスペンド状態にする方法について説明します。

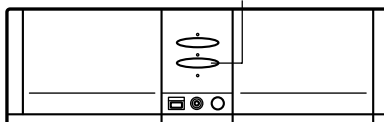
スリープボタンを使ってサスペンド状態にする。

- ① 本体のスリープボタンを押す。
サスペンド状態になります。

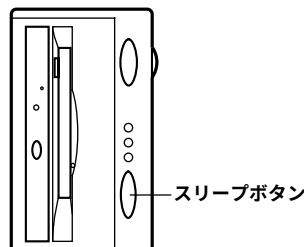
（ミニタワータイプ）



（デスクトップタイプ） スリープボタン



（省スペースタイプ）

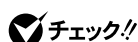


スリープボタンを使用できないようにする

スリープボタンを誤って押してもサスペンド状態にならないように、スリープボタンを使ってサスペンド状態になる機能を使用できなくすることができます。次の手順で行います。

- ① 本機の電源を入れ、Windows 95 を起動する。

- ② 「BIOS セットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」)
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。
「警告」ウィンドウが表示された場合は、「OK」をクリックします。
- ③ 「セットアップ」→「省電力」をクリック。
- ④ 「スリープ」タブをクリック。
- ⑤ 「スリープボタン制御」のチェックボックスをクリックしてオフの状態(「使用しない」)にする。
- ⑥ 「OK」をクリック。



スリープボタンを使用しない場合は、電源ボタンを押してレジュームしてください。

自動的にサスペンド状態にする

「BIOSセットアップユーティリティ」でサスペンド機能を使うように設定しておくと、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経つと、自動的にサスペンド状態になります。購入時には、約20分間で自動的にサスペンド状態になるように設定されています。設定についてはこの項の「BIOS セットアップユーティリティで省電力の設定をする」をご覧ください。

Windows でサスペンド状態にする

「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」で「詳細」をクリックして、表示される「詳細のプロパティ」で「[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示」をチェックすると、「スタート」メニューに「サスペンド」が表示されるようになります。この「サスペンド」をクリックすると、すぐにサスペンド状態になります。設定についてはこの項の「Windowsのスタートメニューでサスペンド状態にする」をご覧ください。

タイマー機能でサスペンド状態にする

「Timer-NX」を使うと、指定した時間にサスペンド状態にすることができます。



・「Timer-NX」→PART1「タイマー機能(Timer-NX)」

サスペンド状態から電源が入っている状態にする

サスペンド状態から、電源が入っている状態に復帰する(これをレジュームといいます)方法について説明します。

スリープボタンを使う

- ① サスペンド状態のときに、本機のスリープボタンを押す。

指定した時間に自動的にレジュームする

タイマー機能を使って、指定した時刻に、自動的に電源が入っている状態に復帰します。



・タイマー機能→PART1「タイマー機能(Timer-NX)」

電話やFAXを受信したときに自動的にレジュームする

電話やFAXを受信すると、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

コントロールパネルで設定

- ① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- ② 「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「詳細」ボタンをクリック。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- ④ 「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックボックスに、チェックがついていることを確認する。
購入時では、チェックがついた状態になっています。
- ⑤ 「OK」をクリック。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが閉じます。
- ⑥ 「OK」をクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

■ Timer-NX で設定

「Timer-NX」のリング機能を使用して、電話やFAXを受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

📖 参照

- ・「Timer-NX」→PART1「タイマー機能 (Timer-NX)」

BIOS セットアップユーティリティで省電力の設定をする

「BIOS セットアップユーティリティ」で省電力の設定をします。

📖 参照

- ・「BIOS セットアップユーティリティ」→PART6「BIOS セットアップユーティリティ」

自動的にサスペンド状態になるように設定する

- ① 「BIOS セットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」)
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。
- ② 「セットアップ」→「省電力」をクリック。
- ③ 「自動スリープ制御」のチェックボックスをクリックしてオン(☑)にする。
「使用しない」から「使用する」に変わります。
購入時には「使用する」になっています。
- ④ 「自動スリープ開始時間」の時間を設定する。
購入時には「20分」に設定されています。
- ⑤ 「OK」をクリック。

自動的にサスペンド状態にならないように設定する

- ① 「BIOS セットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」)
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。
- ② 「セットアップ」→「省電力」をクリック。
- ③ 「自動スリープ制御」のチェックボックスをクリックしてオフ(☐)にする。
「使用する」から「使用しない」に変わります。
- ④ 「OK」をクリック。

Windows のスタートメニューでサスペンド状態にする

「サスペンド」を「スタート」メニューに追加すると、「スタート」メニューからサスペンドすることができるようになります。

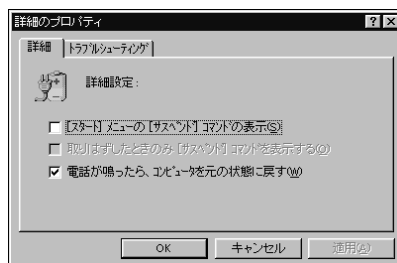
- ① コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



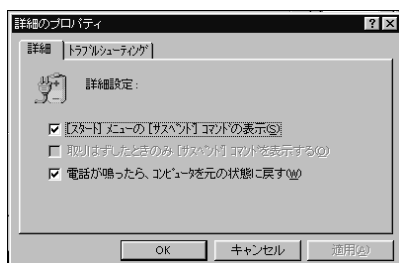
- ② 「パワー マネージメント」をダブルクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「詳細」をクリック。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ④ 「[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示」のチェックボックスをクリック。
チェックボックスに☑印が付きます。



- ⑤ 「OK」をクリック。
- ⑥ Windows を再起動する。
「スタート」→「Windows の終了」をクリックして、「再起動する」を選んで「OK」をクリックしてください。
Windows が再起動します。
- これで、「サスペンド」が「スタート」メニューに表示されるようになります。

- ⑦ 「スタート」をクリック。
「スタート」メニューが表示されます。



- ⑧ 「サスペンド」をクリック。
サスペンド状態になります。

「電源のプロパティ」ウィンドウでの設定

「電源のプロパティ」ウィンドウでは、サスペンド/レジューム機能の設定や、レジューム起動時刻の設定などのほかに、電源管理の設定や内蔵ハードディスクの省電力の設定ができます。

「電源のプロパティ」ウィンドウの表示方法

- ① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



- ② 「パワーマネージメント」をダブルクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「パワーマネージメント」タブのウィンドウで行う設定

サスペンド / レジューム機能を使用する場合は、「Windows でコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスがオン(☑印がついている状態)になっている必要があります。

☑チェック!!

このチェックボックスをオフに変更しないでください。変更するとサスペンド/レジューム後、USB キーボードやマウスが動作しくくなります。

「ディスクドライブ」タブのウィンドウで行う設定

「電源がAC電源の場合」のチェックボックスをオンにすると、ハードディスクのモータを停止させるまでの時間を設定できます。ここで設定した時間が経過するまで、マウスやキーボードからの入力がない場合、ハードディスクドライブのモータが、節電のために停止します。

サスペンド状態にするときの注意

サスペンド / レジューム機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、サスペンドの内容が失われたり、サスペンド内容が復元できないこともあります。

- サスペンド / レジューム機能が使用できないとき
使用するアプリケーションソフトによっては、レジュームができなかったり、アプリケーションソフトが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、サスペンド / レジューム機能を使用しないでください。また、使用する周辺機器によっては、レジュームできないことがあります。

- サスペンド内容が失われるとき
サスペンド中に次のことが起きると、電源が切れた状態になるため、サスペンド内容は失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントからはずれたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした...」と表示されますので、画面の指示に従ってください。

- サスペンド内容の復元が保証されない場合
次のような場合は、サスペンド内容は保証されません。

- ・サスペンド内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・サスペンド内容の記憶中、または復元中にCD-ROMを入れ替えたとき
- ・サスペンド内容の記憶中、または復元中にPCカードの抜き差しをするなど、本機の環境を変更したとき
- ・サスペンド状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でサスペンド機能を起動しても、サスペンド内容は保証されません。

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMを読み取り中のとき
- ・本機に標準添付のキーボード以外のキーボードを接続しているとき

- レジューム機能が正しく実行されない場合
次のような場合には、レジューム機能が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・アプリケーションソフトが動作しない
- ・サスペンド内容を復元できない
- ・スリープボタンまたは、電源スイッチを押してもレジュームされない

このような状態になるアプリケーションソフトを使用中には、サスペンド / レジューム機能は使わないでください。万一、スリープボタンや電源スイッチを押してもレジュームできなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

- その他の注意

- ・通信ソフトを使用中の場合は、通信ソフトを終了させてからサスペンド状態にしてください。通信状態のままサスペンドすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- ・CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにサスペンド状態にした場合は、レジュームに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にサスペンドした場合、CDは再生され続ける場合があります。サスペンドする前にCDの再生を止めてください。

サウンド機能

本機は、FM 音源機能、PCM 録音 / 再生機能を備えています。

概要

FM音源(VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20Cのみ)

FM 音源は、音色・音程・音の強弱という、音の三要素をすべて表現でき、楽器の音色に近い音声や効果音を合成できます。FM 音源を使うと、ゲームなどの音楽の演奏や、エレクトリック楽器、アコースティック楽器などいろいろな音色や音声を楽しめます。

PCM 録音 / 再生機能

PCM録音/再生機能は、マイクロホンから入力した音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換しているような処理を加える機能です。人の音声などを、原音に近い音で再現できます。

インストールされているWindowsのサウンド機能を使えば、ソフトに含まれる音声データを再生したり、入力した音声を編集したり、文書などに貼り付けたりできます。

スピーカ

ミニタワータイプ

ミニタワータイプには、2個のフラットパネルスピーカと1台のサブウーファで構成されるフラットパネルスピーカシステムが添付されています。フラットパネルスピーカは、スタンドを使って設置したり、アタッチメントなどを使ってCRTディスプレイの側面や壁などに設置することもできます。スピーカの音量調節は、サブウーファの音量ボリュームを使います。右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

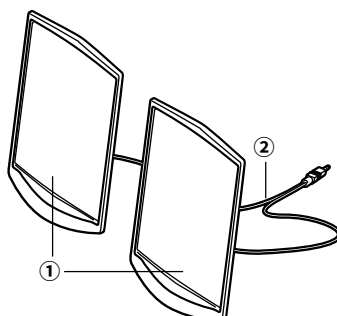
参照

・フラットパネルスピーカの設置方法、接続方法→『STEP1 接続と準備』PART2「スピーカシステムを接続する」

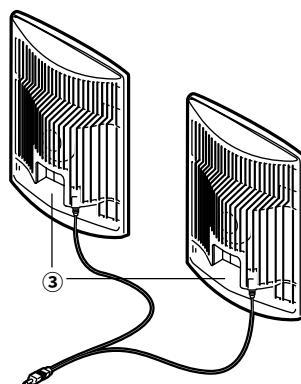
各部の名称と働き

○ フラットパネルスピーカ

前面



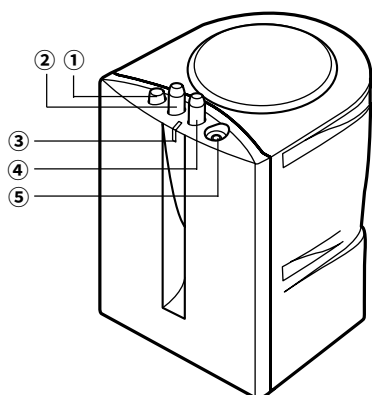
背面



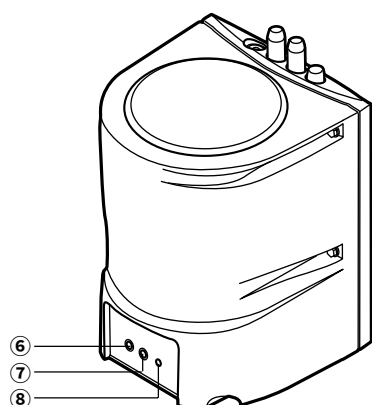
- ① 振動板
音が出てくるところです。
- ② ケーブル
サブウーファのスピーカ接続端子につなぎます。
- ③ ジョイント
スタンドやアタッチメントを取り付けるところです。

◎ サブウーファ

前面



背面



- ① 電源スイッチ (ⓐ)
スピーカの電源を入れたり切ったりするスイッチです。1 回押すと電源が入り、もう 1 回押すと電源が切れます。
- ② 音量ボリューム (ⓑ)
スピーカの音量を調整します。右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。
- ③ 電源ランプ
電源を入れると点灯します。
- ④ ウーファボリューム (ⓒ)
低音(サブウーファの出力)を調整します。右に回すと低音が強く、左に回すと低音が弱くなります。
- ⑤ ヘッドホン端子 (ⓓ)
ヘッドホンを接続します。
- ⑥ スピーカ接続端子 (ⓔ)
フラットパネルスピーカを接続するところです。

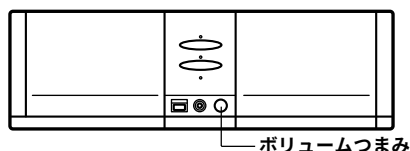
- ⑦ オーディオ入力端子 (ⓕ)
パソコン本体と接続するところです。

- ⑧ AC アダプタ接続端子 (ⓖ)
ACアダプタを接続するところです。

デスクトップタイプ

デスクトップタイプにはフラットパネルスピーカが内蔵されています。

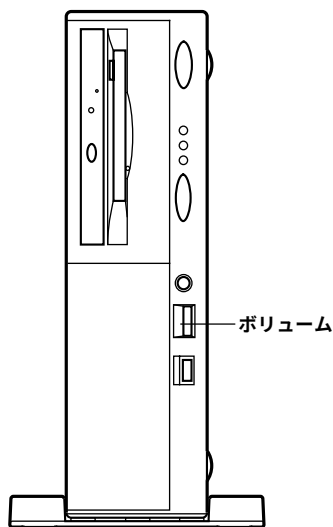
音量調節は、本体前面のボリュームつまみを使います。右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。



省スペースタイプ

省スペースタイプにはフラットパネルスピーカが添付されています。

音量調節は、本体前面のボリュームを使います。上に回すと大きく、下に回すと小さくなります。



参照

・フラットパネルスピーカ→前述の「モニタータイプ」

ボリュームコントロール

(VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZの場合)

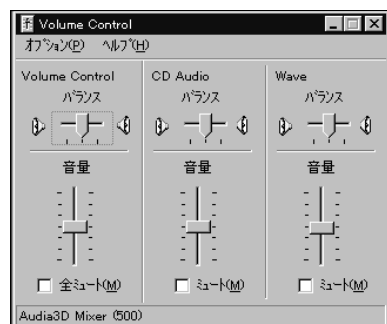
「ボリュームコントロール」ウィンドウは、内蔵音源を通じて再生される音量や、内蔵音源を通じて録音するときの入力レベルをコントロールすることができます。

各音源の音量が小さい場合や、音量が大き過ぎて音切れ（音が途切れる現象）があるときに調整してください。

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」または「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウ

「ボリュームコントロール」ウィンドウのメニューバーから「オプション」を選んで、「プロパティ」をクリックすると、「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



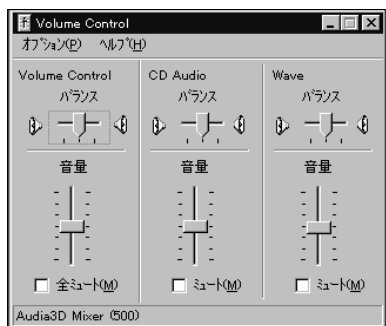
「プロパティ」ウィンドウでは、「音量の調整」欄で、「再生」「録音」「その他」のどれが選ばれているかにより、表示される項目を切り替えることができます。表示できる項目と、各項目の説明を一覧で示すと次のようになります。

項目名	音量調節の種類			機能
	再生	録音	その他	
Volume Control	☐			スピーカから出力されているすべての音量を調整します。
CD Audio	☐			CDから出力される音量を調整します。
Wave	☐			WAVEデータなどのPCM音源、またはMIDI音源(VSC-88)を使用して出力される音量を調整します。
Synth	☐			本機では使用できません。
Line-in	☐	☐	☐	LINE IN入力端子に接続されている機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量として調整します。
Mono-in	☐			FAXモデムボードから入力される音をスピーカから出力するときの音量として調整します。
Microphone	☐	☐	☐	マイクロホン端子に接続されているマイクロホンから入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量として調整します。
Mix-Wave		☐		WAVE音を録音する音量を調整します。
Mix-All		☐		録音可能なすべての音を合成し、録音する音量を調整します。
3D Depth			☐	スピーカから出力されている音の奥行きを調整します。
3D Width			☐	スピーカから出力されている音の幅を調整します。 (本機では使用できません)

3D Depth調整

本機には、3D Depth調整機能が内蔵されています。Windows 95では、次の手順で3D Depth調整を行うことができます。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」または「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



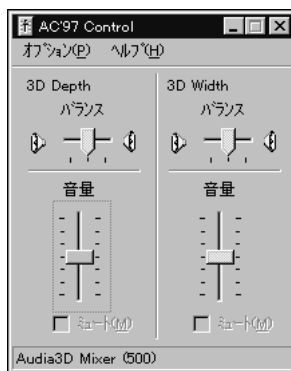
- ② メニューバーで「オプション」をクリックし、プルダウンメニューの「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「その他」をクリック。
④ 表示するコントロールのチェックボックスをチェックする。



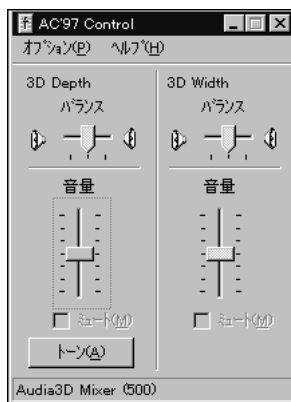
- ⑤ 「OK」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



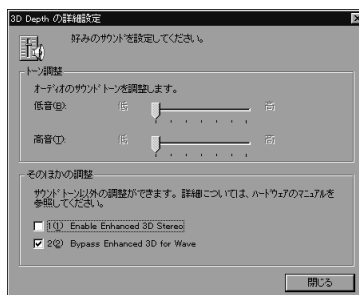
- ⑥ 「3D Depth」の音量つまみをドラッグ。
音量つまみを上へドラッグすると、音の奥行きが広がります。

次の手順で 3D Depth 調整の有効 / 無効を設定できます。

- ① 「オプション」→「トーン調整」をクリック。
「トーン」ボタンが追加されます。



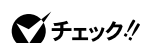
- ② 「トーン」をクリック。
「3D Depthの詳細設定」ウィンドウが表示されます。



3D Depth 調整を有効にするには、「(1) Enable Enhanced 3D Stereo」のチェックボックスにチェックをつけてください。

WAVE 再生音に対し、3D Depth 調整を無効にしたい場合は、「(2) Bypass Enhanced 3D for Wave」のチェックボックスにチェックをつけてください。

設定が終わったら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



本機にはトーン調整機能はありません。

ボリュームコントロール (VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合)

「ボリュームコントロール」ウィンドウは、内蔵音源を通じて再生される音声の量や、内蔵音源を通じて録音するときの入力レベルをコントロールすることができます。

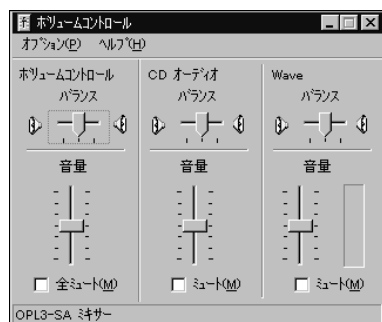
各音源の音量が小さい場合や、音量が大き過ぎて音切れ（音が途切れる現象）があるときに調整してください。

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」または「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。

「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウ

「ボリュームコントロール」ウィンドウのメニューバーから「オプション」を選んで、「プロパティ」をクリックすると、「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



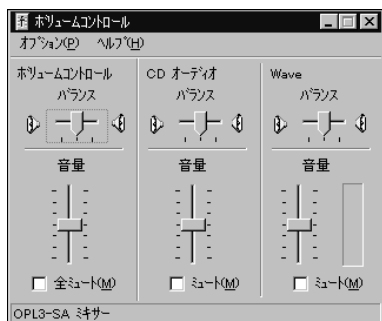
「プロパティ」ウィンドウでは、「音量の調整」欄で、「再生」「録音」「その他」のどれが選ばれているかにより、表示される項目を切り替えることができます。表示できる項目と、各項目の説明を一覧で示すと次のようになります。

項目名	音量調節の種類			機 能
	再生	録音	その他	
ボリュームコントロール	☐			スピーカから出力されているすべての音量を調整します。
CD オーディオ	☐			CDから出力される音量を調整します。
ウェーブ	☐			WAVEデータなどのPCM音源、またはMIDI音源(VSC-88)を使用して出力される音量を調節します。
シンセサイザー	☐			FM音源(YAMAHA OPL3-SA Synthesizer)を使用して出力される音を調整します。
ライン	☐	☐	☐	LINE IN入力端子に接続されている機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量として調整します。
モノイン	☐			FAXモデムボードから入力される音をスピーカから出力するときの音量として調整します。
マイクロホン	☐	☐	☐	マイクロホン端子に接続されているマイクロホンから入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量として調整します。
ループバック		☐		スピーカから出力されているすべての音を録音するときの音量を調整します。
3Dワイド	☐			スピーカから出力されているすべての音のワイドステレオ効果を調整します。

トーン調整

本機には、トーン調整機能が内蔵されています。
Windows 95 では、次の手順でトーン調整を行うことができます。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」または「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



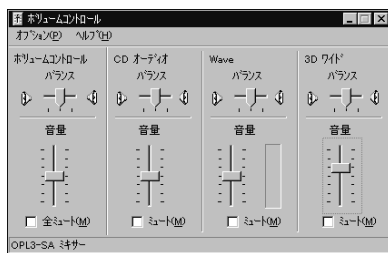
- ② メニューバーで「オプション」をクリックし、プルダウンメニューの「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



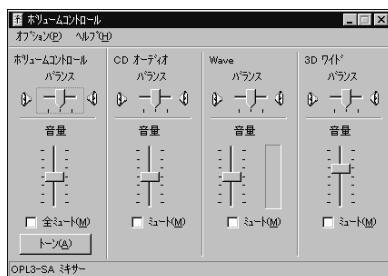
- ③ 「再生」をクリック。
- ④ 表示するコントロールのチェックボックスをチェックする。



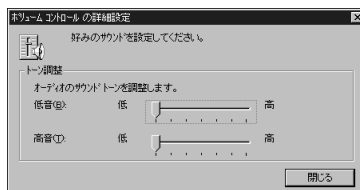
- ⑤ 「OK」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



- ⑥ 「オプション」→「トーン調整」をクリック。
「トーン」ボタンが追加表示されます。

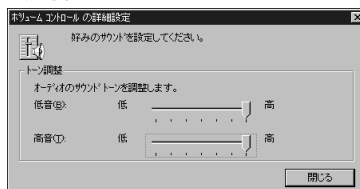


- ⑦ 「トーン」をクリック。
「ボリュームコントロールの詳細設定」ウィンドウが表示されます。



- ⑧ 「トーン調整」の「低音」または「高音」のコントロールバーをドラッグ。
「低音」も「高音」も、「高」の方へドラッグすると強調されます。

設定例



- ⑨ 設定が終わったら、「閉じる」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウの画面に戻ります。
- ⑩  をクリックして、ウィンドウを閉じる。
トーン調整が完了です。

(VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、
VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZのみ)

- ① コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
- ② 「Audia 3D」をダブルクリック。
- ③ 「Output」から「Headphones」「Narrow Speakers」「Wide Speakers」のいずれかを選ぶ。
「Headphones」「Narrow Speakers」「Wide Speakers」は、それぞれ、次のような場合に選んでください。

- **Headphones**
ヘッドホンを使用するときに選びます。
- **Narrow Speakers**
スピーカ間の距離が 10 cm 以下のときに選びます。
- **Wide Speakers**
スピーカ間の距離が 10 cm 以上のときに選びます。

使用するサウンドデバイス (VSC-88) を切り替えるには、タスクバーのアイコンを使います。MIDI音源を使ったゲームなどで出力されない音がある場合は、「VSC-88を使う」と「VSC-88を使わない」を切り替えることで、音を出力できるようになります。

- | |
|---|
| VSC-88 / パネルを起動 ... |
| <ul style="list-style-type: none"> ✓ VSC-88を使う (標準サウンド) VSC-88を使う (特殊サウンド) VSC-88を使わない |
| VSC-88を使う場合の設定 ... |
| VSC-88を使わない場合の設定 ... |
| ヘルプ ... |

詳しくは、メニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるVSC-88のヘルプ画面で、「VSC-88ヘルパーアイコンの使い方」をご覧ください。



スピーカを使用するときの注意 (ミニタワータイプの場合)

 感電注意

 発火注意

 防火注意

壁に押しつけて曲がった状態など、ケーブルのつけ根部分を圧迫するような状態で使用すると、発煙、火災の原因となります。

フラットパネルスピーカをCRTディスプレイ側面に取り付けて大音量を出すと画面の一部がゆれる(波うつ)ことがあります。この場合は、音量を小さくするか、スタンドを使用して机の上などに設置してください。

ボリュームコントロールを使用するときの注意

- ディスプレイの解像度が640x480ドットなどの低解像度の場合、「ボリュームコントロール」ですべての音源コントロールが表示されない、または右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。

この場合には、ディスプレイの解像度を変更するか、「プロパティ」ウィンドウの「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解除し、必要なコントロールが表示されるよう変更してください。

なお、「ボリュームコントロール」の表示が一部欠けた状態で解像度の切り替えを行っても、「ボリュームコントロール」の表示は変更されません。一度、「ボリュームコントロール」を終了し、もう一度「ボリュームコントロール」を起動してください。

- CDまたはTVの音を録音し、そのデータを再生したとき、音が小さく感じられる場合があります。これはCD/TVの録音の音量は、CD/TVの出力ボリュームの大きさに依存するためです。したがって、CDまたはTVの録音を行うときにはあらかじめ「ボリュームコントロール」を使用し、CD/TVの音量を大きくしておいてください。

サウンド機能を使用するときの注意

- 本機では、体内蔵のサウンド機能や周辺機器を増設して、Windows 95上でマルチメディア機能を利用することができます。
利用できるマルチメディアの各機能、必要な周辺機器については次の通りです。

ウェブフォーム データの録音・再生	MIDIデータの演奏	MIDIデータの記録
☐	☐	☒

○：体内蔵のサウンド機能で利用することができます。

- アプリケーションの中にはMIDI演奏とオーディオ再生を両方使用するものがあります。「MIDI」出力が「RolandVSC-88」に設定されているときにこのようなアプリケーションを使用することができます。

VSC-88付属のユーティリティを使うと、このようなアプリケーションを探し出して最適な状態に設定することができます。

詳しくは、「Virtual Sound Canvas VSC-88 Help」の「トラブルシューティングQ&A」の〔Q：MIDI演奏とオーディオ再生を同時に用いるアプリケーション（ゲームなど）で、音声やMIDI演奏が鳴らないことがあるのでどうすればよいのでしょうか？〕の項をご覧ください。

この事例を表示させるには、「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」→「Virtual Sound Canvas VSC-88」の順にポイントし、「Virtual Sound Canvas VSC-88 Help」アイコンをクリックしてください。

ただし、アプリケーションによっては、これらの設定変更だけでは対応できないものもあります。その場合は、「VSC-88を使う」/「VSC-88を使わない」を切り替えてみてください。

- VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20CでMIDIデータの演奏をFM音源で行う場合、同時に演奏できる音の数が限られているため、演奏できないデータがあります。

CD音量を設定するときの注意

「CDプレーヤ」などでオーディオCDを再生中に、「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックし、「音楽CD」タブで音量調節を変更した場合、その変更が有効になるのは、次回に「CDプレーヤ」などを起動したときからです。

マイクロホン

本機のマイクロホン端子にマイクロホン
を接続すると、本機に音声を取り込むこ
とができます。取り込んだサウンドは、
ファイルとして保存できます。



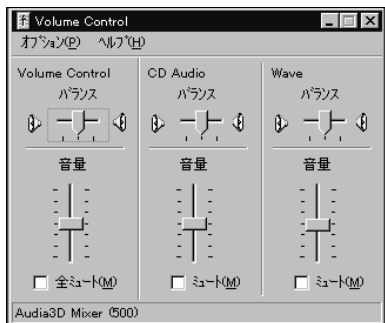
・マイクロホンの接続について→『STEP1 接続と準備』

ボリューム調節

(VS33D、VS30D、VS23D、VS26D/M7、
VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZの場合)

Windows 95 を使用しているときは、マイクロホンの
ボリューム調節は Windows 95 上で行います。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「ボリュームコ
ントロール」または「スタート」→「プログラム」→「ア
クセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコント
ロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



- ② メニューバーの「オプション」をクリックし、プルダウ
ンメニューの「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「音量の調整」欄の「録音」を選ぶ。
「録音」の前にチェックマークがつき、「表示するコン
トロール」欄の項目も変わります。



- ④ 「OK」をクリック。
「Recording Control」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「Microphone」の音量つまみの部分をドラッグして
ボリュームを調節する。
- ⑥ 調節が終わったら、 をクリックして、このウィ
ンドウを閉じる。

ハウリング

マイクロホンを本体のスピーカに近づけると、スピー
カからキーンという大きな音が出ることがあります。
これをハウリング現象といいます。故障ではありません。
この場合は、次の対策を行ってください。

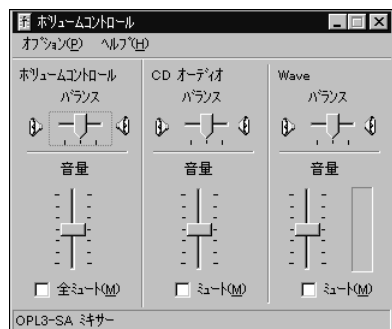
- ・音量調整ボタンで、音量を小さくする
- ・マイクロホンをスピーカから遠ざける
- ・Windows 95の「ボリュームコントロール」の画面
で表示される音量つまみでボリュームを小さくする

ボリューム調節

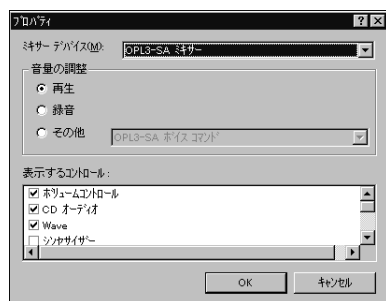
(VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20/Cの場合)

Windows 95 を使用しているときは、マイクロホンのボリューム調節は Windows 95 上で行います。

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」または「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



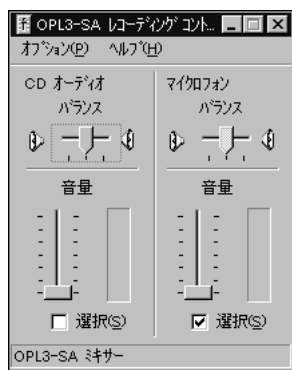
- ② メニューバーの「オプション」をクリックし、プルダウンメニューの「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「音量の調整」欄の「録音」を選ぶ。
「録音」の前にチェックマークがつき、「表示するコントロール」欄の項目も変わります。



- ④ 「OK」をクリック。
「OPL3-SA レコーディングコントロール」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「マイクロホン」の音量つまみの部分をドラッグしてボリュームを調節する。
- ⑥ 調節が終わったら、☒ をクリックして、このウィンドウを閉じる。

ハウリング

マイクロホンを本体のスピーカに近づけると、スピーカからキーンという大きな音が出ることがあります。これをハウリング現象といいます。故障ではありません。この場合は、次の対策を行ってください。

- ・音量調整ボタンで、音量を小さくする
- ・マイクロホンをスピーカから遠ざける
- ・Windows 95 の「ボリュームコントロール」の画面で表示される音量つまみでボリュームを小さくする

サウンドレコーダー

「サウンドレコーダー」を使って、マイクロホンから音声を録音することができます。録音したサウンドは、ファイルとして保存することができるので、加工したり、ほかのアプリケーションに取り込んだりすることができます。

ここでは、自分の声を録音してファイルに保存してみます。

録音とファイル保存

- ① 「ランチ-NX」→「マルチメディア」→「サウンドレコーダー」または「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「サウンドレコーダー」をクリック。
「サウンド - サウンドレコーダー」ウィンドウが表示されます。



- ② [録音ボタン]をクリックしてマイクロホンに向かって録音する。
録音中は、つまみが右に移動し、波形が表示されます。



- ③ 終了したら、[停止ボタン]をクリック。
録音が終了します。



- ④ 「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック。
「ファイル名を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 保存場所を選んで、ファイル名をつけて「保存」をクリック。
(例 デスクトップに「Sound1」というファイル名で保存)

次のようなアイコンがデスクトップに現れます。



再生

録音したサウンドのファイルを開いて、再生してみます。

- ① 「サウンド - サウンドレコーダー」ウィンドウを起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「サウンドレコーダー」)



- ② 「ファイル」→「開く」をクリックして「Sound1」アイコンを表示する。
(例 「Sound1」ファイルはデスクトップにある)



- ③ 「Sound1」をダブルクリック。
「サウンド - サウンドレコーダー」ウィンドウに戻ります。   ボタンが濃く表示され、有効になったことを示しています。



- ④  をクリック。
「Sound1」ファイルが再生されます。

ヘルプ

「サウンドレコーダー」のさらに詳しい使い方はヘルプをご覧ください。
(「ヘルプ」→「トピックの検索」)



FAX モデムボード

本機に標準で内蔵されている FAX モデムボードには、ファクシミリ通信機能、データ通信機能、インターネット通信機能、留守番電話機能、スピーカホン機能などがあります。また市販の電話機を接続するためのコネクタがついています。



参照

・Aロマンドについて→付録「AT コマンド」

概要

ここでは、FAX モデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にセットアップされている次のデータ通信ソフトウェアを使用することにより、パソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

- ・Microsoft Windows 95 のハイパーターミナル
- ・BIGLOBE 入会申込
- ・BIGLOBE Walker
- ・インターネット無料体験
- ・PC-VAN ナビゲータ
- ・AOL
- ・NIFTY MANAGER
- ・カラオケキング
- ・通信ジュークカラオケ
- ・しゃべっていいメール
- ・Angel Line for Windows

その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAX 通信機能

本機のデータをダイレクトに FAX に送信できます。また、本機で FAX を受信でき、効率的に FAX 送受信をサポートします。

FAX モデムボードの FAX 通信機能は、本機にインストールされている次の FAX ソフトウェアでの動作を保証しています。

- ・TELFAX-NX
- ・Microsoft Windows 95 の Microsoft Fax

その他の FAX ソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAX テスト交信サービス

「TELFAX-NX」を使用して、FAX の送受信のテストができます。



参照

- ・TELFAX-NX の使用方法→PART1「電話や FAX を使う〈TELFAX-NX〉」

インターネット通信機能

次のインターネットソフトウェアを使用することにより、インターネットによる通信ができます。インターネットに接続する方法については、「インターネット入門」をご覧ください。

- ・Microsoft Windows 95 のインターネットエクスプローラ
- ・Just View 3.0 (一太郎モデルのみ)

そのほかのインターネットソフトウェアでは動作しない可能性があります。

最高 56000bps までの各種通信

電話回線を利用して最高 56000bps の全二重データ通信と最高 14400bps の半二重 FAX 通信ができます。

送受信： 300/1200/2400/4800
7200/9600/12000
14400/16800/19200
21600/24000/26400
28800/31200/33600bps

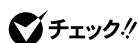
受信のみ： 32000/34000/36000
38000/40000/42000
44000/46000/48000
50000/52000/54000
56000bps

FAX： 300/2400/4800/7200
9600/12000/14400bps

留守番電話機能・スピーカホン機能

「TELFAX-NX」を使用することで、留守番電話機能やスピーカホン機能が使えます。

FAX モデムボードを使用するときの注意



FAX モデムボードは取り外さないでください。

適用電話回線について

FAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入電話回線以外と接続すると、FAX モデムボードやパソコン本体等を破損する場合があります。

留守番機能 / スピーカホン機能についての注意

- ・スピーカホン機能とは、本機に接続されているマイクロホンとスピーカを使用して電話のように通話する機能で、ハンズフリー機能と呼ばれることもあります。
- ・スピーカホン機能をお使いになるときは添付のマイクロホンとスピーカを使用してください。イヤホン、ヘッドホンなどの直接耳に当てる機器はご使用になれません。
- ・回線の状態によっては、通話時に雑音が入ることがあります。
- ・スピーカホン通話中に相手からの声以外の音（保留音など）が入ると、スピーカからの音が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。その場合は、送話の音量レベルを下げてください。
- ・マイクロホンからの音声スピーカから出ることがあります。その場合は、通話の音量レベルを下げるか、マイクロホンを口元から離してください。
- ・外付け電話機に留守番電話機能がある場合、電話機の機能の一部が使えないことがあります。
- ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは工場出荷時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認定された工事担当者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- ・FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号に合わせた調整が必要です（→付録「AT コマンド」）。加入電話回線がトーン式かダイヤル式かわからないときは NTT に確認してください。
- ・コードレスホンや親子電話、構内回線など、公衆回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- ・FAX モデムボードはFAX 通信網には対応していません。
- ・FAX モデムボードに接続できる回線は 2 線式のみです。
- ・本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。
- ・FAX モデムボードに接続できる電話機は 2 線式の回線用のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。また、電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機をパソコン本体から離れたところに設置している場合は、送信 / 受信の際に外付け電話機が使用されていないことを確認してください。
- ・データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア（RTS/CTS）（工場出荷時の設定）に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。
- ・留守番電話またはスピーカホン通話から切り替えて FAX 送受信をする場合、スピーカからモニタ音が聞こえなくなりますが、FAX 送受信は正常にできます。
- ・FAX を送信する相手が音声応答機能付きの FAX の場合、相手からの音声の内容によっては FAX の送信ができなくなることがあります。この場合は、外付け電話機またはスピーカホン機能で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。

・回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があります。

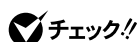
・電話局の交換機の種類によっては、14400bps で FAX の通信ができないことがあります。この場合は通信速度を 9600bps 以下にしてください。

・海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。

■ ポート番号を変更する。

工場出荷時の状態では、内蔵 FAX モデムボードのポート番号は COM3 になっています。内蔵 FAX モデムボードを削除して、再度組み込むと、ポート番号は COM5 になります。

内蔵 FAX モデムボードのポート番号を変更するには、次のようにしてください。



✓ チェック!!

CyberTrio-NX のモードが「ベーシックモード」の場合は、次の手順を行うことができません。次の手順を行う場合は、「アドバンスモード」に変更してください。

変更方法はこのマニュアルの PART 3 「利用レベルのモード変更 (CyberTrio-NX)」をご覧ください。

ポート番号を変更すると、通信アプリケーションによっては、動作しなくなる場合があります。通信アプリケーション側でポートの設定を変更できる場合は変更したポート番号に合わせてください。

- ① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
- ② 「システム」をダブルクリック。
- ③ 「デバイスマネージャ」タブをクリック。
- ④ 「モデム」の「内蔵 FAX モデムボード (56K 対応)」を選んで、「プロパティ」をクリック。
- ⑤ 「リソース」タブをクリックして、「自動設定」のチェックをはずす。
- ⑥ 「リソースの種類」の「I/O ポートアドレス」をダブルクリック。
- ⑦ 値を変更する。

COM3 の場合: 03E8-03EF

COM4 の場合: 02E8-02EF

リソースが競合していないことを確認してください。
競合している場合、ポートの変更はできません。

- ⑧ 「OK」をクリック。
プロパティの画面に戻ります。
- ⑨ 「OK」をクリック。
「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されます。
- ⑩ 「はい」をクリック。
しばらく時間がかかります。
- ⑪ 画面が元に戻ったら、「システムのプロパティ」で「OK」をクリック。
- ⑫ Windows を再起動する。

電源を切る場合

FAX モデムボードを使用する通信アプリケーション (PC-VAN ナビゲータ、Microsoft FAX、BIGLOBE サインアップナビなど) を電話回線に接続して使用した場合、Windows を終了する前に、必ず、お使いの通信アプリケーションで電話回線の接続を切ってください。

デバイスマネージャ

デバイスマネージャとは、プラグ&プレイ準拠のデバイス管理ソフトです。本機に接続されるデバイスの状態確認のほか、ドライバやリソースの設定 / 変更などができます。

✓チェック!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、デバイスマネージャでの設定はできません。「アドバンスモード」に変更して、設定をしてください。

📖 参照

- ・モードの変更→PART3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

起動

- ① コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）



※画面は機種によって異なる場合があります。

- ② 「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。



※機種によって画面の内容は異なる場合があります。

✓チェック!

「スタンダード PS/2 ポートマウス」に黄色い「!」がついていますが、異常ではありません。

デバイスドライバの変更

ここでは、例としてプリンタドライバを変更してみます。

- ① 「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
 (「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」)



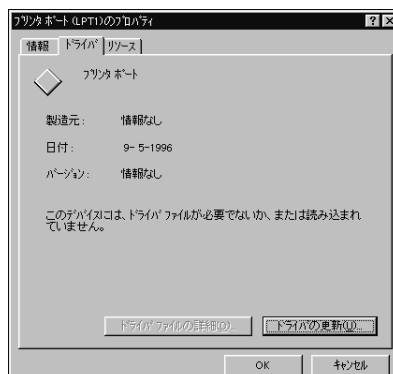
- ② 「ポート (COM と LPT)」をダブルクリック。
 「ポート (COM と LPT)」フォルダの内容が表示されます。



- ③ 「プリンタポート (LPT1)」をダブルクリック。
 「プリンタポートのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



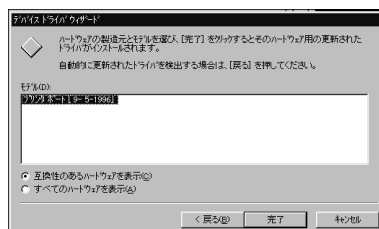
- ④ 「ドライバ」タブをクリック。
 「ドライバ」タブのウィンドウが表示されます。



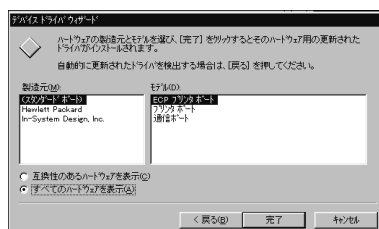
- ⑤ 「ドライバの更新」をクリック。
 「デバイスドライバウィザード」ウィンドウが表示されます。



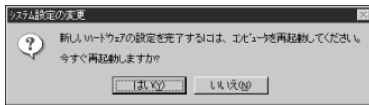
- ⑥ 「一覧からドライバを選ぶ」を選んで、「次へ」をクリック。
 次のウィンドウが表示されます。



- ⑦ 「すべてのハードウェアを表示」を選ぶ。
 「モデル」の欄に、デバイスドライバの一覧が表示されます。



- ⑧ 必要なデバイスドライバを選んで、「完了」をクリック。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。



- ⑨ 「はい」をクリック。
コンピュータの再起動が始まります。

以上で、デバイスドライバの変更操作は終了です。

デバイスのリソース設定の変更

通常、プラグ&プレイ準拠のデバイスは、デバイスマネージャによって調停されています。つまり、別々のデバイスが、同じリソースを要求する場合、設定変更は自動的に行われます。したがって、どうしても必要な場合を除いては、リソース設定は基本的に変更する必要はありません。しかし、リソース設定固定のデバイスを使用して、他のデバイスと競合する場合は、次のようにしてリソース設定を変更します。

ここでは、プリンタポートのリソースを変更してみます。

- ① 「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」)



- ② 「ポート (COM と LPT)」をダブルクリック。
「ポート (COM と LPT)」フォルダの内容が表示されます。



- ③ 「プリンタポート (LPT1)」をダブルクリック。
「プリンタポート (LPT1) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



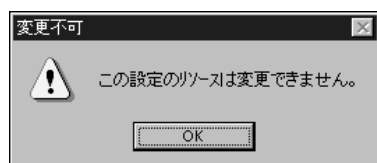
- ④ 「リソース」タブをクリック。
「リソース」タブのウィンドウが表示されます。



- ⑤ 「自動設定」のチェックをはずす。
「設定の変更」ボタンが濃い表示になり、有効になります。



ここで、「リソースの種類」から変更したい「I/O ポートアドレス」または「IRQ」をクリックして、「設定の変更」をクリックすると、リソースの変更ができます。ただし、次のようなメッセージが表示された場合は、リソースの変更はできません。



✓チェック!!

デバイスによっては、readmeファイル(「はじめにお読みください」)に、変更方法が記載されていることがあります。

CD-ROM などの取り扱い

DVD-ROM モデルでは DVD-ROM ドライブが、CD-R モデルでは CD-R ドライブが、CD-ROM モデルでは CD-ROM ドライブが標準で装備されています。各種ドライブで利用できるメディアの取り扱いについて説明します。

概要

・DVD-ROM ドライブ

(DVD-ROM モデルの場合)

本機には、DVD-ROM ドライブが標準で搭載されています。

本機の DVD-ROM ドライブでは、CD-ROM や DVD-ROM (DVD VIDEO ディスク)、CD-R メディア、音楽 CD、ビデオ CD などを読み取ることができます。CD-ROM は、1 枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などのような大量のデータを扱うことができます。DVD-ROM は、CD-ROM よりさらに多くの記憶容量があります。

・CD-R ドライブ (CD-R モデルの場合)

本機には、CD-R ドライブが標準で搭載されています。

本機の CD-R ドライブでは、CD-ROM や CD-R メディア、音楽 CD、ビデオ CD などを読み取ることができます。CD-ROM は、1 枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などのような大量のデータを扱うことができます。また、CD-R メディアには、データの追書き込みができます。その後は、CD-ROM と同じように使うことができます。



追記型の記憶媒体

ハードディスクやフロッピーディスクなどは、カセットテープのように、何度でもデータを記録したり消去したりすることができます。しかし、CD-R メディアのような追記型の記憶媒体は、一度書き込んだデータを消去することはできません。後から順に書き足すように、データを追加記録していきます。これを追記書き込みといいます。

・CD-ROM ドライブ (CD-ROM モデルの場合)

本機には、CD-ROM ドライブが標準で搭載されています。

本機の CD-ROM ドライブでは、CD-ROM や音楽 CD、ビデオ CD などを読み取ることができます。CD-ROM は、1 枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などのような大量のデータを扱うことができます。

各種メディアの取り扱いの注意

■ ディスクの取り扱いの注意

ディスクを壊さないよう、次の点に注意して大切に取扱いってください。

- ・信号面 (文字などが印刷されていない面) に手を触れないでください。
- ・ケースの中央を押しながら取り出してください。
- ・文字の書かれている面を上にして (省スペースタイプの場合は左)、CD トレイやキャディ、トレイアダプタに正しい向きに置いてください。
- ・ディスクの上にもものをのせたり曲げたりしないでください。
- ・ラベルなどを貼らないでください。
- ・キズをつけたり字などを書いたりしないでください。
- ・落として強い衝撃を与えたり、キズをつけたりしないでください。
- ・指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。
- ・清掃の際は、CD 専用のクリーナーを使用してください。
- ・レコード用のスプレー、クリーナー、ベンジン、シンナーなどは、使用しないでください。

- ・ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- ・使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。

■ CD-R ドライブ使用時の注意

- ・CD-ROM や CD-R メディアを入れない状態のキャディやトレイアダプタをセットしたままにしないでください。
- ・8cmCD-ROM を読み込む場合は、トレイアダプタを使用してください。市販のシングルアダプタは使用しないでください。
- ・8cmCD-ROM の読み込み、8cmCD の再生は標準速度です。
- ・8cmCD-R メディアへの書き込みはできません。
- ・CD-R メディアに書き込む場合は、使用時の傷防止と防塵のため、キャディを使用してください。
- ・CD-R メディアは、CD-R メディア (650MB) (PC-CDR-01) として別売しています。
- ・CD-RFS でフォーマットした CD-R メディアがセットされている場合は、イジェクトボタンが無効になります。(→この項の「CD-RFS を使う」)。

CD-R メディアを使う

CD-R メディアは追記型の記憶メディアです。書き込まれた CD-R メディアは CD-R ドライブまたは CD-ROM ドライブを備えたパソコンで読むことができます。本機では利用法に応じて2種類の書き込み手段を用意しています。

- ・CD-RFS 用に CD-R メディアを使う
CD-R メディアをフロッピーディスクのような感覚で使用できます。データの書き込みやファイルの消去(読めなくすること)ができ、エクスプローラなどからもデータを操作することができます。主に本機で使用する場合に選んでください。未使用の CD-R メディアをセットしたときに、「今すぐフォーマットしますか…」というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると、CD-RFS 用の CD-R メディアになります(→この項の「CD-RFS を使う」)。

- ・Easy-CD 95 用に CD-R メディアを使う
市販の CD-ROM と同様の形式で CD-R メディアにファイルを格納できます。データの書き込みには、Easy-CD 95 を使用します。未使用の CD-R メディアをセットしたときに、「今すぐフォーマットしますか…」というメッセージが表示されます。「いいえ」ボタンをクリックすると、Easy-CD 95 用の CD-R メディアとして使用できます(→この項の「Easy-CD 95 を使う」)。

CD-RFS を使う

CD-RFS を使うと、CD-R メディアをフロッピーディスクのような感覚で使用することができます。

ファイルの移動 / コピー / 削除方法はフロッピーディスクと同じです。

CD-RFS を設定する

- ① CD-RFS 用にフォーマットされた CD-R メディアを CD-R ドライブにセットする。
- ② 「エクスプローラ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)
- ③ 「エクスプローラ」の「CD-R ドライブ」アイコンを右クリック。
- ④ 表示されたメニューで「プロパティ」をクリック。
「(Q:) のプロパティ」が表示されます。
- ⑤ 「CD-RFS」タブをクリック。
各種設定を行う画面が表示されます。

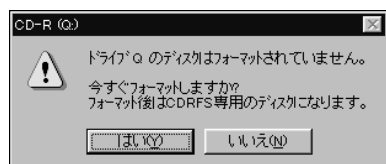
詳しい操作方法はヘルプをご覧ください。

ヘルプは、CD-RFS が表示する各種画面のボタンの上で右クリックして、「ヘルプ」をクリックすると表示されます。

CD-RFS 用にフォーマットする

フォーマットを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。

- ① CD-R ドライブに未使用の CD-R メディアをセットする。次のような画面が表示されます。



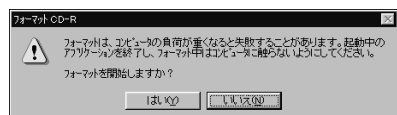
「はい」：CD-R メディアをフロッピーディスクのような感覚で使用できます。主に本機で使用する場合に選んでください。CD-RFS 用にフォーマットされます。

「いいえ」：市販の CD-ROM と同等の形式で CD-R メディアにファイルを格納できます。ほかの装置でも使用する場合に選んでください。(Easy-CD 95 → この項の「Easy-CD 95 を使う」)。

- ② 「はい」をクリック。次のような画面が表示されます。



- ③ ボリュームラベルを設定し、「スタート」をクリック。次のような画面が表示されます。

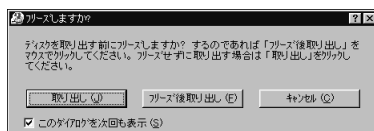


- ④ 「はい」をクリック。フォーマットが終了すると、次の CD-R メディアをフォーマットするかどうかを選ぶ画面が表示されます。
- ⑤ フォーマットする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」をクリック。

CD-RFS 用の CD-R メディアを CD-R ドライブから取り出す

CD-RFS 用の CD-R メディアの入ったキャディまたはトレイアダプタは、CD-R ドライブのイジェクトボタンでは取り出すことができません。CD-R ドライブから取り出すときは次の手順で取り出してください。

- ① 「エクスプローラ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)
- ② 「エクスプローラ」の「CD-R ドライブ」アイコンを右クリック。
- ③ 表示されたメニューで「取り出し」をクリック。次のような画面が表示されます。



- ④ 「取り出し」ボタンをクリック。
しばらくすると、CD-R ドライブからキャディまたはトレイアダプタが出てきます。
- ⑤ キャディまたは CD-R メディアを取り出す。

他の Windows 95 搭載装置 (CD-ROM) で使う

CD-RFS 用にフォーマットされたメディアは本機に限った運用をおすすめしますが、Windows 95 が動作し、CD-ROM ドライブが接続されている他のパソコンで、内容を読むこともできます(書き込むことはできません)。

■ フリーズ処理を行う

CD-RFS で書き込んだ CD-R メディアを、他のパソコンなどの CD-ROM ドライブで読めるようにするには、「フリーズ」と呼ばれる処理を行う必要があります。ただし、1 回の「フリーズ」ごとに 13.5MB の領域が使用されます。CD-ROM ドライブでは、最後に「フリーズ」処理を行ったあとに書き込まれたファイルを読むことができません。前回「フリーズ」した後に書き込んだファイルを読むにはもう一度「フリーズ」を行います。

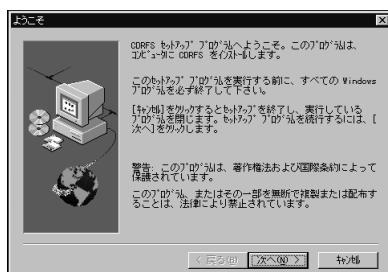
「フリーズ」処理は、本機でのみ行うことができます。「フリーズ」を行った後も、本機での読み書きは可能です。

フリーズはエクスプローラ上でCD-Rドライブアイコンを右クリックすることにより、表示されるメニューから、「フリーズ後取り出し」を選んで行います。

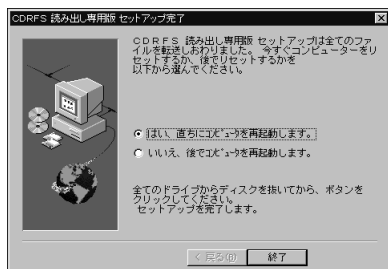
- ① 「エクスプローラ」を起動する。
(「スタート」メニュー→「プログラム」→「エクスプローラ」)
- ② 「エクスプローラ」の「CD-Rドライブ」アイコンを右クリック。
- ③ 表示されたメニューで「フリーズ後取り出し」をクリック。
- ④ 「スタート」ボタンをクリック。
フリーズが終了すると、CD-RドライブからCD-Rメディアが出てきます。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリック。
CD-Rメディアを取り出します。

■ ほかのWindows 95搭載装置でCD-RFSフォーマットのCD-Rメディアを読む
他のWindows 95搭載装置で、フリーズされたCD-Rメディアを読むには、次の手順で行います。

- ① 「フリーズ」を行ったCD-RFSメディアをCD-ROMドライブにセットする。
自動的に「CD-RFS セットアップ」が起動します
(CD-RFS用にフォーマットされたメディアを初めてセットしたマシンでのみ「CD-RFS セットアップ」が起動します)。



画面の指示に従って、セットアップしてください。
セットアップが終了すると、次の画面が表示されます。



- ② 「終了」をクリック。

本機が再起動すると、CD-RFS用にフォーマットされたCD-Rメディアの読み込みが可能になります。読み込み方法は、通常のCD-ROMと同じです。

1枚のCD-Rメディアに、「フリーズ」を行った領域と行っていない領域がある場合、「フリーズ」を行った領域だけが表示されます。

■ CDRFS 使用時の注意

CD-RFSの使用にあたっては、下記の注意事項を守るようにしてください。

- ・CD-RFSはファイルの移動 / コピー / 削除などに関する情報をCD-Rメディアに書き込むことにより、上書き可能なメディアに見せかけています。たとえばファイルを削除した場合、実際にはファイルを削除しないので削除した領域は再利用できません。また、「削除された」という管理情報を書き込むため、かえって空き容量が減ります。

また、すでにCD-Rメディア内にあるファイルを更新する際にも、上書きするファイルのサイズ+管理情報分の容量が必要になります。CD-RFS利用時は、空き容量ぎりぎりのサイズのファイルの移動 / コピー / 更新は行わないようにしてください。

- ・CD-RFS用にフォーマットされたCD-Rメディアを挿入しているあいだは、CD-RドライブのイジェクトボタンやほかのCD操作プログラム(Easy-CD 95など)によるイジェクト操作はできません。エクスプローラのCD-Rドライブアイコンを右クリックして「取り出し」を選び、画面の指示に従ってイジェクトしてください。

- ・CD-RFS用にフォーマットされたメディアの読み取り時は約2倍速になります。

- ・本機では、CD-RFS用にフォーマットされたメディアを「永久に書き込み禁止」にすると、そのメディアは通常のCD/CD-ROMメディアと同じように約8倍速で読むことができます。「永久に書き込み禁止」にするには、「永久に書き込み禁止」にしたいディスクを挿入し、CD-RFSのフリーズ時に「永久に書き込み禁止」をチェックしてください。

- ・書き込み中は、電源を切らないでください。

- ・CD-RFSが立ち上がっているときに電源を切ると、データが失われることがあります。

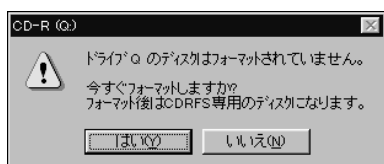
- ・フォーマット中(約3分間)は、キーボード、マウスなどをさわらないでください。

- ・「Easy-CD 95」などで書いた CD-R メディアを誤って CDRFS でフォーマットすると、それ以前のデータが読めなくなりますので、注意してください。
- ・CDRFS 用にフォーマットされた CD-R メディアを「Easy-CD 95」で使用することはできません。
- ・CDRFS で使用した CD-R メディアは、「Easy-CD 95」などを用いて書き込みをしないでください。
- ・CD-R メディアの空き容量がなくなった場合、ファイルの追加、変更、削除ができなくなります。この場合は、フリーズをして、Read Only (読み出し専用) ディスクとして使用してください。なお、空き容量がなくなる前に、「永久書き込み禁止」ディスクにすることをすすめします。

Easy-CD 95 を使う

CD-R メディアを Easy-CD 95 用として使えるようにする

- ① 未使用の CD-R メディアを、CD-R ドライブにセットする。
次のような画面が表示されます。



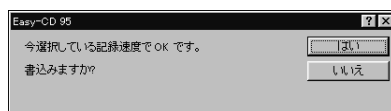
- ② 「いいえ」をクリック。
CD-R メディアが、Easy-CD 95 用の CD-R メディアとして使用できるようになります。

CD-R メディアにデータを書き込む

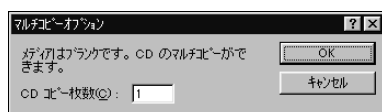
- ① 「Easy-CD 95」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「Easy-CD 95」をクリック)
「Easy-CD 95」が起動します。
- ② 「エクスプローラの実行」ボタンをクリックしてエクスプローラを起動する。
「エクスプローラ」が起動します。
- ③ 書き込みたいデータをエクスプローラから選んで「Easy-CD 95」のウィンドウへドラッグ&ドロップ。

- ④ 書き込みボタンまたは「CD-R」→「CD への書き込み」をクリック。
CD-R メディアへの書き込み状況がチェックされます。

チェックが終了すると、次のような画面が表示されます。

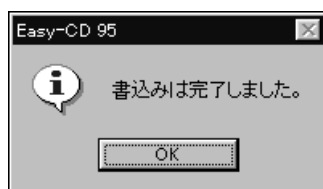


- ⑤ 「はい」をクリック。
次のような画面が表示されます。



- ⑥ 「OK」をクリック。
しばらくお待ちください。
場合によってはかなり時間がかかりますが、本機の電源を切らないでください。

終了すると、次のような画面が表示されます。



- ⑦ 「OK」をクリック。
CD-ROM の内容の画面が表示されます。

「注意」のメッセージが表示される場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。CD-R メディアへ書き込むときは、「CD-R」メニューの「書き込みプロパティ」をクリックして表示される「書き込みプロパティ」ウィンドウで、書き込み速度やファイル名の形式を設定することができます。詳しくは、「Easy-CD 95」のヘルプの「書き込みプロパティ」の項目をご覧ください。

Easy-CD 95 使用時の注意

- ・CDRFS でフォーマットした CD-R メディアには、「Easy-CD 95」を使っての書き込みはできません。
- ・「Easy-CD 95」を使ってコピーをすると、コピー元ファイルのフォルダごと CD-R メディアにコピーされます。

・「Easy-CD 95」についての情報は、アダプテックのホームページ (<http://www.adaptec.co.jp/>) の Easy-CD ソフトウェアコーナーでも知ることができます。

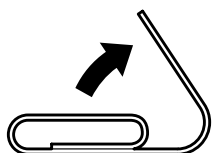
・「Easy-CD95」で書き込まれた CD-R メディアを CDRFS で使用することはできません。

非常時のメディアの出し方

停電やソフトウェアの暴走などにより、CD-ROM ドライブ、CD-R ドライブ、DVD-ROM ドライブから CD-ROM などのメディアが取り出せなくなったときに、強制的にメディアを取り出す方法です。

取り出す準備

太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm以上（指でつまむ部分を除く）の針金を用意してください。
大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

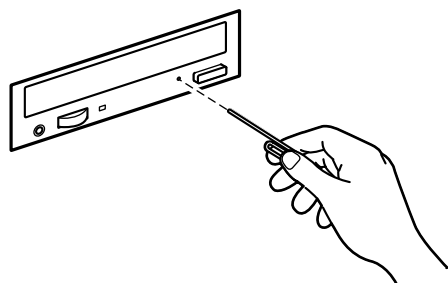


取り出す方法

取り出す方法はモデルにより異なります。

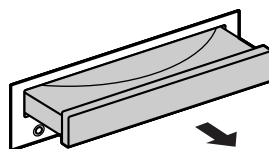
■ CD-ROMモデル
(ミニタワータイプ、デスクトップタイプ) のとき

- ① 本機の電源を切る。
- ② CD トレイの下の直径 2mm 程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。

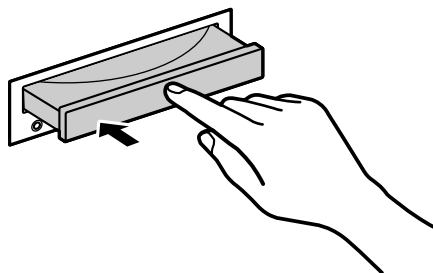


CD トレイが 15mm ほど飛び出します。

- ③ CD トレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す。

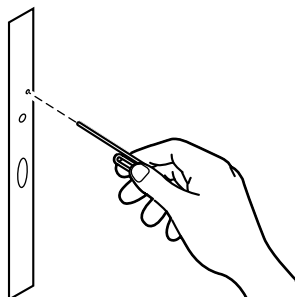


- ④ CD トレイの前面を、CD トレイが元通りに収納されるまで押し込む。



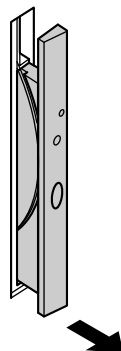
■ CD-ROMモデル
(省スペースタイプ) のとき

- ① 本機の電源を切る。
- ② CD トレイの直径 2mm 程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。

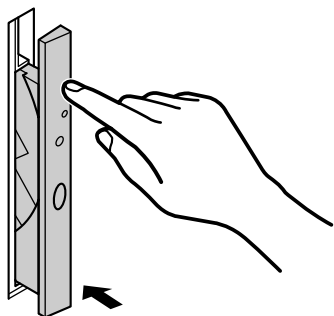


CD トレイが 15mm ほど飛び出します。

- ③ CD トレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す。

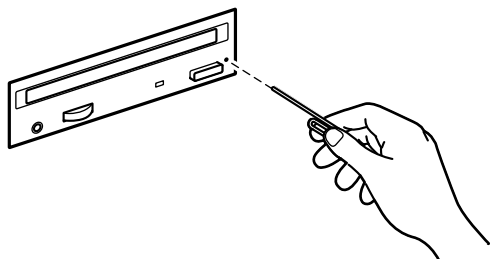


- ④ CDトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないようにCDトレイが元通りに収納されるまで押し込む。



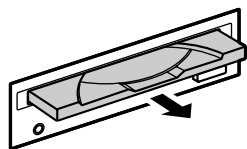
■ CD-Rモデルのとき

- ① 本機の電源を切る。
- ② CD-Rドライブ前面の直径2mm程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。



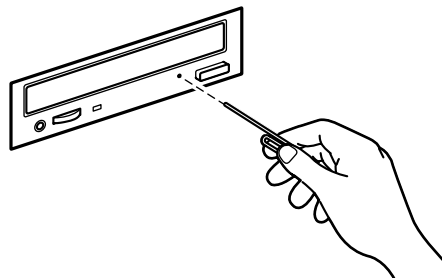
キャディまたはトレイアダプタが15mmほど飛び出します。

- ③ キャディまたはトレイアダプタを手前に引き出し、ディスクを取り出す。



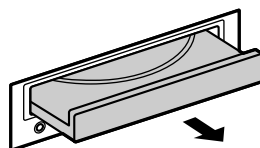
■ DVD-ROMモデルのとき

- ① 本機の電源を切る。
- ② トレイの下に直径2mm程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。

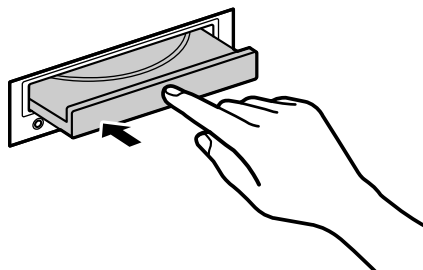


トレイが15mmほど飛び出します。

- ③ トレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す。



- ④ トレイの前面を、トレイが元通りに収納されるまで押し込む。



エラーメッセージについて

CD-ROM から起動しているプログラムを実行中に、CD-ROM を取り出すと、次のようなメッセージが表示されます。

ドライブX : のCD-ROM読み取りエラー
シリアル番号 XXXX-XXXXのCD-ROM ****を、
ドライブ : に入れてください。
CD-ROMが入っている場合は、クリーニングが必要です。
OKはEnter、キャンセルはEscキーを押してください。 : OK

この場合は、取り出した CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

P A R T

6

本機の設定を変更する

-
- BIOS セットアップユーティリティ
 - 割り込みレベルと DMA チャンネル

BIOS セットアップユーティリティ

「BIOS セットアップユーティリティ」は、セキュリティ、省電力、周辺機器など本機の使用環境を設定することができます。

BIOS セットアップユーティリティでできること

次の設定ができます。

- ・パスワードによるセキュリティの設定
- ・通信、キーボードなどのデバイス設定
- ・自動スリープ制御、ハードディスクドライブモータ制御など省電力機能の設定
- ・起動デバイスの起動優先順位の設定

✓チェック!!

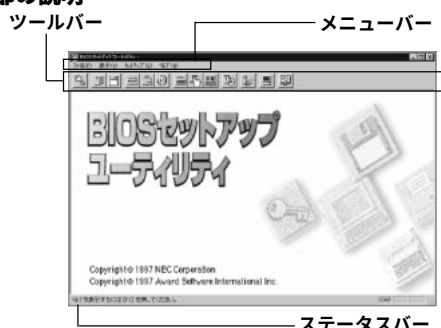
- ・「BIOS セットアップユーティリティ」の設定を初期化する場合、本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押します。キーの説明が表示されたら【F9】を押して「F9:全ての設定値を出荷時の状態にして元に戻る」を選択します。
- ・「BIOS セットアップユーティリティ」で変更した設定は、システム再起動後に有効となります。
- ・「BIOS セットアップユーティリティ」の動作中に「CMOS エラー」などのエラーメッセージが表示された場合は、「BIOS セットアップユーティリティ」の設定を上記の手順で購入時の設定に戻してから、もう一度「BIOS セットアップユーティリティ」で設定を変更してください。

BIOS セットアップユーティリティを使う

BIOS セットアップユーティリティの起動

- ① 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」をクリック。
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。

各部の説明



■ メニューバー

次のメニューがあります。

「ファイル」	設定保存と再起動	設定を保存し、システムを再起動します。
	アプリケーションの終了	このプログラムを終了します。
「表示」	ツールバー	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
	ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
「セットアップ」	セキュリティ	パスワードの設定ができます。
	デバイス	通信、キーボードなどのデバイスの設定ができます。
	省電力	自動スリープ制御、HDDモータ制御など省電力機能を設定します。
	起動	起動デバイスの起動優先順位を設定します。
「ヘルプ」	トピックの検索	オンラインヘルプを表示します。
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

■ ツールバー

「セットアップ」メニューで設定できる項目のアイコンが登録されています。

■ ステータスバー

メニューの各項目についての簡単な説明を表示します。

✓チェック!!

各設定項目に関する詳しい説明は、オンラインヘルプをご覧ください。

各種の設定

セキュリティの設定

メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリックするか、ツールバーの (セキュリティ) アイコンをクリックします。

■「パスワード」

- ・「ユーザーパスワード」
「設定」ボタンをクリックしてパスワードを設定します。
- ・「スーパーバイザーパスワード」
「設定」ボタンをクリックしてパスワードを設定します。
- ・起動時パスワード確認
システムの起動時に、パスワードを確認するかどうか設定します。

通信の設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「通信」をクリックするか、ツールバーの (通信設定) アイコンをクリックします。

■「シリアルポート (A)」

- ・設定方法
シリアルポート (A) の設定方法を選びます。
 をクリックして次の中から選んでください。
使用しない / 手動設定 / 自動設定 / OS が設定
「手動設定」を選んだ場合は、詳細設定が必要です。

- ・I/O アドレス
I/O アドレスを設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。
2E8h/3F8h/2F8h/3E8h

- ・割り込みレベル
割り込みレベルを設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。
IRQ3/IRQ4

■「シリアルポート (B)」

- ・設定方法
シリアルポート (B) の設定方法を選びます。
 をクリックして次の中から選んでください。
使用しない / 手動設定 / 自動設定 / OS が設定
「手動設定」を選んだ場合は、詳細設定が必要です。

- ・I/O アドレス
I/O アドレスを設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。

2E8h/3F8h/2F8h/3E8h

- ・割り込みレベル
割り込みレベルを設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。

IRQ3/IRQ4

- ・モード
シリアルポート (B) を赤外線通信で使用する場合、赤外線通信の規格に応じてモードを変更します。
 をクリックして次の中から選んでください。

ノーマル / IrDA / ASK-IR

パラレルポートの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「パラレルポート」をクリックするか、ツールバーの (パラレルポート) アイコンをクリックします。

■「パラレルポート」

- ・設定方法
パラレルポートの設定方法を選びます。
 をクリックして次の中から選んでください。
使用しない / 手動設定 / 自動設定 / OS が設定
「手動設定」を選んだ場合は、詳細設定が必要です。

- ・I/O アドレス
I/O アドレスを設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。

378h/278h/3BCh

- ・割り込みレベル
割り込みレベルを設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。

IRQ5/IRQ7

- ・モード
出力モードを指定します。
 をクリックして次の中から選んでください。

出力のみ / 双方向 / ECP

- ・ECP モード DMA チャンネル
「モード」で「ECP」を選んだ場合に設定します。
 をクリックして次の中から選んでください。

DMA#0/DMA#1/DMA#2/DMA#3

■ キーボードの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「キーボード」をクリックするか、ツールバーの (キーボード設定) アイコンをクリックします。

■ 「キーボード」

・起動時の Num Lock

システム起動時に Num Lock を使用するかどうかを設定します。

 をクリックして次の中から選んでください。

使用する / 使用しない / 自動設定

「自動設定」にすると OS により自動設定されます。

■ システムデバイスの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「システムデバイス」をクリックするか、ツールバーの (システムデバイス) アイコンをクリックします。

■ 「日付と時刻」

・日付設定

「年」「月」「日」をそれぞれ設定します。

・時刻設定

「時」「分」「秒」をそれぞれ設定します。

■ PCI 割り込み

・設定方法

PCI デバイスの割り込みを設定します。

■ 省電力の設定

メニューバーの「セットアップ」→「省電力」をクリックするか、ツールバーの (省電力) アイコンをクリックします。

■ 「パワーマネージメント」

・パワーマネージメント

チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

「使用する」を選んだときに、次の設定ができます。

・設定方法

パワーマネージメントのタイプを選びます。

 をクリックして次の中から選んでください。

ユーザー設定 / 動作時間優先 / 動作性能優先

「ユーザー設定」：各項目を自分で設定できるようになります。

「動作時間優先」：消費電力を抑えた設定になります。

「動作性能優先」：電力消費より性能を優先した設定になります。

「ユーザー設定」を選んだ場合のみ、次の項目を設定してください。

・自動スリープ制御

チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

「使用する」を選んだときに、次の「自動スリープ開始時間」を設定できます。

・自動スリープ開始時間

「自動スリープ制御」で「使用する」を選んだ場合にサスペンド状態になるまでの時間を設定します。

次の中から選んでください。

5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 30 分 / 40 分 / 60 分

本機に何も入力がない状態になってから、設定した時間が経過すると、本機がサスペンド状態になります。

・HDD モーター制御

チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

「使用する」を選んだときに、次の「HDD モーター制御開始時間」を設定できます。

・HDD モーター制御開始時間

「HDD モーター制御」で「使用する」を選んだ場合に、ハードディスクのモーターが停止するまでの時間を設定します。

次の中から選んでください。

10 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 45 秒 / 1 分 / 2 分 / 4 分 / 6 分 / 8 分 / 10 分 / 15 分

ハードディスクのアクセスがなくなってから、設定した時間が経過すると、ハードディスクのモーターが停止します。

■ 「スリープ」

・スリープボタン制御

スリープボタンを使用するかどうかを設定します。

✓チェック!!

スリープボタンを使用しない場合は、必ず自動スリープ制御も使用しない設定にしてください。自動スリープ状態からのスリープボタンによる復帰ができなくなります。

■「レジューム」

・入力デバイスでレジューム

入力デバイスで、レジュームするかどうかを設定します。(レジューム機能に対応している入力デバイスはFAXモデムのみです)

チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

システムディスクの起動順位の設定

メニューバーの「セットアップ」→「起動」をクリックするか、ツールバーの「起動」アイコンをクリックします。次に表示される画面で、システムを起動するディスク装置の順番を指定します。

ディスク装置を選んで、、 ボタンでディスク装置の「起動順位」を変更してください。

次のディスク装置が選べます。

ハードディスク / リムーバブルメディアデバイス / CD-ROM / ネットワーク

パスワードの設定

本機の電源を入れたときに、パスワードを設定することができます。これによりパスワードを知らない部外者からデータを守ることができます。

BIOS セットアップユーティリティでは、ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの2種類のパスワードを設定することができます。

スーパーバイザーパスワードはコンピュータ管理者のためのもので、コンピュータ管理者以外の人が無意にシステムを使用しないようにすることができます。

✓チェック!!

・パスワードを忘れた場合は、本機を起動できなくなります。パスワードは忘れないようにしてください。

・「スーパーバイザーパスワード」「ユーザーパスワード」が設定されている場合、BIOS セットアップユーティリティを起動したときにも、パスワードの入力が必要となります。また「ユーザーパスワード」で起動した場合は「システムデバイス」の「PCI 割り込み」および「キーボード」の「キーボード」および「セキュリティ」の「パスワード」の「スーパーバイザーパスワード」の設定項目の変更はできません。

パスワードに使用できる文字と記号

半角英数字のみがパスワードとして使用できます。パスワードは7文字以内でなければなりません。大文字 / 小文字による区別はありません。また、テンキーは使用できません。

使用できる文字や記号

半角英字: A ~ Z a ~ z

半角数字: 0 ~ 9

ユーザーパスワードの設定

■ ユーザーパスワードの登録

次の手順で「ユーザーパスワード」を登録します。

- ① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。
- ② 「ユーザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「パスワード」の欄に7文字以内のユーザーパスワードを入力する。
入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ④ 「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する。
- ⑤ 入力したら「OK」をクリック。

ユーザーパスワードの変更

次の手順で「ユーザーパスワード」を変更します。

- ① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。
- ② 「ユーザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「古いパスワード」に今まで使っていたユーザーパスワードを入力する。
このとき入力をまちがえると、エラーメッセージが出て、パスワード入力画面がもう一度表示されます。
パスワードの入力をやり直してください。
- ④ 「新しいパスワード」に変更したユーザーパスワードを入力する。

⑤ 「パスワードの確認」にもう一度「新しいパスワード」に入力したものと同じパスワードを入力する。

⑥ 入力したら「OK」をクリック。

スーパーバイザーパスワードの設定

■ スーパーバイザーパスワードの登録

次の手順で「スーパーバイザーパスワード」を登録します。

- ① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。
- ② 「スーパーバイザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「パスワード」の欄に7文字以内のスーパーバイザーパスワードを入力する。
入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ④ 「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する。
- ⑤ 入力したら「OK」をクリック。

スーパーバイザーパスワードの変更

次の手順で「スーパーバイザーパスワード」を変更します。

- ① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。
- ② 「スーパーバイザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「古いパスワード」に今まで使っていたスーパーバイザーパスワードを入力する。
このとき入力を間違えると、エラーメッセージが出て、パスワード入力画面がもう一度表示されます。パスワードの入力をやり直してください。
- ④ 「新しいパスワード」に変更したスーパーバイザーパスワードを入力する。

⑤ 「パスワードの確認」にもう一度「新しいパスワード」に入力したものと同じパスワードを入力する。

⑥ 入力したら「OK」をクリック。

パスワード入力時の注意

パスワードを設定し、「システム起動時にパスワードを確認する」を設定すると、本機の電源を入れるたびに「パスワードを入力してください」と表示されます。このとき、次のようにパスワードを入力してください。

- ① 登録したパスワードを入力し、【Enter】を押す
このときテンキーは使用できません。

✓ チェック!!

- ・ユーザーパスワードを入力して本機を起動した場合は、フロッピーディスクドライブを使用できません。
- ・本機がサスペンド状態のときにパスワードを入力すると、サスペンド状態を解除して本機を起動することができます。

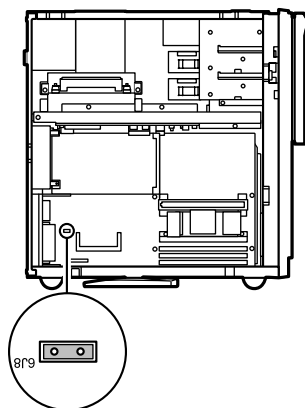
パスワードを忘れた場合

ユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワードを忘れた場合は、本機を起動することができなくなります。このような場合は、本体内部にあるストラップスイッチを使います。

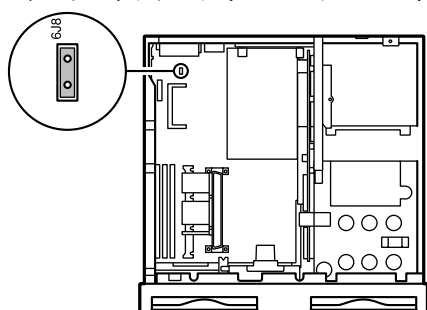
■ ストラップスイッチ

本体内部には、次の図のようなストラップスイッチがあります。このスイッチを取りはずすことでパスワードの解除ができます。

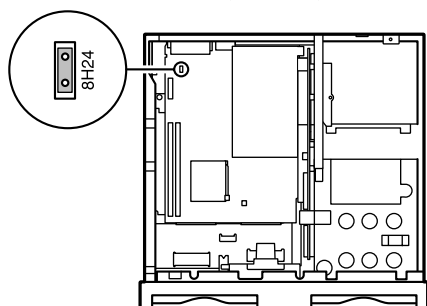
・モニタータイプ



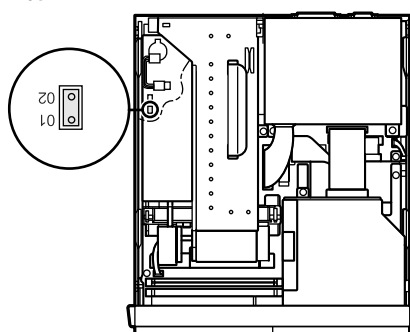
・デスクトップタイプ (VS26D、VS23D)



・デスクトップタイプ (VS20C)



・省スペースタイプ



■ パスワードの解除のしかた
(ミニタワータイプ、デスクトップタイプ)

⚠ 注意



けが注意

本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつかけたり、切ったりしないように注意してください。



高音注意

このパソコンの使用直後は、CPU や CPU の周辺に触れないでください。

CPU が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切ったあと、30分以上たってから行うことをおすすめします。

① 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜く。

② 正しい手順でルーフカバーをはずす。



チェック!

ミニタワータイプは、本体の左面(正面から見て左側)が上になるように、静かに横に倒してください。



参照

・ルーフカバーの開け方→『拡張の手引き』PART 4
「本体の開け方と閉めかた」

③ ストラップスイッチを取りはずす。



チェック!

取りはずしたストラップスイッチはなくさないようにしてください。

④ 正しい順序でルーフカバーを取り付ける。



参照

・ルーフカバーの閉め方→『拡張の手引き』PART 5
「本体の開け方と閉めかた」

⑤ 電源ケーブルを接続して、本機の電源を入れる。
Windows が起動します。

⑥ 本機の電源を切る。

⑦ 電源ケーブルを抜く。

⑧ 正しい手順でルーフカバーをはずす。

⑨ ストラップスイッチを元通りに取り付ける。

⑩ 正しい順序でルーフカバーを取り付ける。

■ パスワードの解除のしかた(省スペースタイプ)

① 本機の電源を切り、電源ケーブルや、背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

② 正しい手順でルーフカバーをはずす。



参照

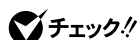
・ルーフカバーの開け方→『拡張の手引き』PART 4
「本体の開け方と閉めかた」

③ ケーブルカバーをはずす。

④ ウィンドウアクセラレータボードを止めているねじ1本をはずす。

⑤ コネクタをはずし、ウィンドウアクセラレータボードをはずす。

⑥ ストラップスイッチをとりはずす。



取りはずしたストラップスイッチはなくさないようにしてください。

- ⑦ ウィンドウアクセラレータボードを差し込み、コネクタを取り付ける。
- ⑧ ウィンドウアクセラレータボードのねじ1本を固定する。
- ⑨ ケーブルカバーを取り付ける。



・ルーフカバーの閉め方→『拡張の手引き』PART 4
「本体の開け方と閉め方」

- ⑩ 正しい手順でルーフカバーを取り付ける。
- ⑪ 電源ケーブルを接続して、本機の電源を入れる。
Windows が起動します。
- ⑫ 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜く。
- ⑬ 正しい手順でルーフカバーをはずす。
- ⑭ 取りはずしたのと同じ手順で、ストラップスイッチを元通りに取り付ける。
- ⑮ 正しい手順でルーフカバーを取り付ける。

割り込みレベルとDMAチャネル

本機に内蔵されている各種のインターフェイスで使用する「割り込みレベル」、「DMAチャネル」について説明します。

概要

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用しています。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル (IRQ)」「DMA」などがあります。

割り込みレベルのことをWindows 95では「IRQ」と呼びます。これは、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを決めるものです。

DMAとはCPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御する機能のことです。ほとんどの周辺機器は、メモリからデータを読み出したり、書き込んだりするときに、CPUへ処理を依頼します。しかし、一度に大量のデータを転送すると、CPUは作業を中断して、データの転送にかかりきりになってしまいます。そこで、CPUの作業を中断することなくデータの転送を行える機能が考えられました。これがDMA (Direct Memory Access) です。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。リソースが複数の機器に重複して割り当てられている状態を「リソースの競合」と表現します。リソースが競合していると、機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定になってしまいます。

Windows 95などのOSでは、ひとつの割り込みレベルを複数の機器で使用できることがあります。このようにリソースを共用することを「リソースをシェアする」と表現します。この場合は、そのまま機器を利用できます。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、次の手順での設定はできません。「アドバンストモード」に変更して設定してください。

📖参照

・モードの変更方法→PART3「利用レベルのモードの変更〈CyberTrio-NX〉」

リソースの設定状況の確認

割り込みレベル、DMAの設定状況は、次のようにして確認できます。

✓チェック!!

手順中での画面は、機種や周辺機器の接続状況によって異なります。

- ①「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



- ②「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



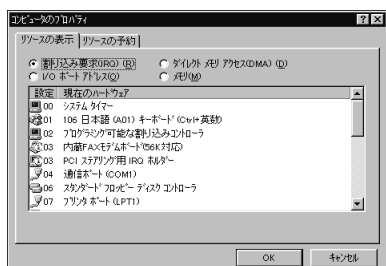
- ③ 「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。



「コンピュータ」が反転表示されていることを確認してください。

反転表示していないときは、クリックして選んでください。

- ④ 「プロパティ」をクリック。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



リソースは「割り込み要求 (IRQ)」が選ばれています。

- ⑤ 確認したいリソースを選ぶ。



「コンピュータのプロパティ」でリソース一覧を参照すると「！」マークがついているアイコンがありますが、動作上の問題はありません。

リソースの競合

リソースの競合が最も起きやすいときは、本機に新しい機器を追加接続したときです。また、通常Windows 95は、新しい機器を検知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合でも、リソースが競合する場合には、ドライバを組み込みません。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働いています。

リソースの競合の発生の確認

リソースの競合の発生は、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」で開くことができる「デバイスマネージャ」ウィンドウで確認できます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに「！」マークか赤い「×」マークが表示されます。このような異常が表示された場合は、まず、その機器を選んで「プロパティ」ボタンをクリックします。「情報」タブのウィンドウの中の「デバイスの状態」の欄で、異常の原因を調べます。異常の原因がリソースの競合である場合は、次の手順で解決してください。

例として、通信ポートに異常があるとします。

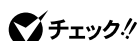
- ① 「リソース」タブをクリック。
「リソース」のウィンドウが表示されます。



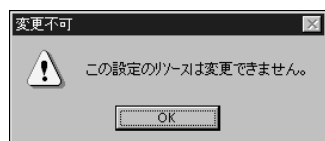
- ② 「自動設定」のチェックボックスのチェックマークをはずす。



- ③ 「リソースの種類」から競合しているリソースを選び、ダブルクリック。
- ④ 表示されたリソースの設定値を変更する。



選んだ機器やリソースの種類によっては、次のようなメッセージが表示されて、設定値を変更できない場合があります。



その場合は、競合しているもう一方の機器の設定値を変更してください。

本機を拡張するときの注意

PCI ボードを複数枚取り付けたときに、本機の割り込みレベルが不足することがあります。この場合はデバイスマネージャで、現在使用していないボードのプロパティを開き、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックボックスをチェックして、割り込みレベルを解放してください。

機器によって使用できるリソースが限定される場合があります。ボードなどに添付のマニュアルをご覧ください。なってから機器の取り付けを行ってください。

付 録

-
- Windows 95 で MS-DOS モードを利用する
 - Windows NT 4.0 の利用
 - 本体の各部の名称（ミニタワータイプ）
 - 本体の各部の名称（デスクトップタイプ）
 - 本体の各部の名称（省スペースタイプ）
 - キーの名称と役割
 - 機能仕様
 - FAX モデムボード機能仕様
 - AT コマンド

Windows 95 で MS-DOS モードを利用する

Windows 95 の MS-DOS モードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOS モードを利用する

MS-DOS モードを利用すると、MS-DOS で起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機を MS-DOS モードで再起動する

MS-DOS モードを利用するには、次のように操作します。

- ① 「スタート」→「Windows の終了」をクリック。
- ② 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリック。
本機が MS-DOS モードで再起動します。

MS-DOS モードを終了する

- ① コマンドプロンプトの画面から、次のように入力。
EXIT [Enter]
Windows 95 が再起動します。
- MS-DOS モードと MS-DOS プロンプトの違い
MS-DOS を利用するには、「MS-DOS モード」と「MS-DOS プロンプト」とがあります。
- 「MS-DOS モード」は、MS-DOS で起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。
- 「MS-DOS プロンプト」は、MS-DOS を Windows 95 上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。
- 「MS-DOS プロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- ① 「スタート」→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」をクリック。
「MS-DOS プロンプト」ウィンドウが表示されます。
- なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOS モード」からは使用できないものや「MS-DOS プロンプト」からは使用できないものがあります。

CD-ROM ドライブ (本機内蔵 CD-ROM ドライブ)

本機は、購入時の状態では、MS-DOS モードで CD-ROM ドライブを使用することはできません。MS-DOS モードで本機内蔵の CD-ROM ドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在の MS-DOS 設定を使う場合

現在の MS-DOS 設定を使う場合、MS-DOS モード上で CD-ROM ドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- ① 「スタート」→「Windows の終了」をクリック。
 - ② 「MS-DOS モードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。
本機が MS-DOS モードで再起動します。
 - ③ コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。
SETCD [Enter]
CD-ROM ドライブの設定方法に関する説明が表示されます。
 - ④ コマンドプロンプトの画面から次のように入力します。
EXIT [Enter]
Windows 95 が再起動します。
 - ⑤ 手順③でウィンドウに表示された指示に従って、CONFIG.SYS に次の内容のいずれかを追加し、接続されている CD-ROM ドライブに対応した CD-ROM ドライバを登録する。
「メモ帳」などを使ってファイルを編集します。編集方法は次の「ファイルを編集する」をご覧ください。
- Windows 95 がインストールされているドライブおよびフォルダを C:\WINDOWS とします。

・追加する内容 1

DEVICE=C:\WINDOWS\COMMAND\NECCD.SYS /D:MSCD001

・追加する内容 2

DEVICE=C:\WINDOWS\COMMAND\NECCDDRV.SYS
DEVICE=C:\WINDOWS\COMMAND\NECCD.SYS /D:MSCD001

⑥ CONFIG.SYS に次の内容を追加する。

・追加する内容

LASTDRIVE=Z

⑦ DOSSTART.BAT に次の内容を追加する。 CD-ROM を割り当てるドライブを Q ドライブとします。

・追加する内容

C:\WINDOWS\COMMAND\MSCDEX /D:MSCD001 /L:Q

⑧ 「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

⑨ 「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。 本機を再起動します。

⑩ 「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

⑪ 「MS-DOS モードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。 MS-DOS モードが起動します。

■ ファイルを編集する

CONFIG.SYS や DOSSTART.BAT は、「メモ帳」など、テキストデータを扱うことができるソフトウェアで編集します。

ここでは、DOSSTART.BAT ファイルを「メモ帳」で編集する方法を、例をあげて説明します。

① 「メモ帳」を起動（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」）

② 「ファイル」メニューの「開く」をクリック。

③ 「ファイルの種類」を「すべてのファイル (*.*)」にする。

④ 「ファイルの場所」に「C:\WINDOWS」を選ぶ。

⑤ 「Dosstart.bat」をクリックして、「開く」をクリック。 DOSSTART.BAT ファイルが表示されます。

⑥ ファイルを編集する。

⑦ ファイルの編集が終了したら、「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリック。 変更を保存するかどうかを選ぶ画面が表示されます。

⑧ 「はい」ボタンをクリック。 「メモ帳」が終了し、DOSSTART.BAT の内容が変更されます。

新しい MS-DOS 設定を指定する場合

新しい MS-DOS 設定を指定する場合、MS-DOS モード上で CD-ROM ドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

① 「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

② 「MS-DOS モードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。 本機が MS-DOS モードで再起動します。

③ コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

SETCD [Enter]

CD-ROM ドライバの設定方法に関する説明が表示されます。

④ コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

EXIT [Enter]

Windows 95 が再起動します。

⑤ 「エクスプローラ」を起動する。 （「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」） 「エクスプローラ」ウインドウが表示されます。

⑥ 新しい MS-DOS 設定を指定したいプログラムをクリック。 プログラム名が反転表示されます。

⑦ 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック。 「プロパティ」ウインドウが表示されます。

⑧ 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリック。 「プログラムの詳細設定」ウインドウが表示されます。

⑨ 「MS-DOS モード」をクリックして、「新しい MS-DOS 設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける。 CONFIG.SYS と AUTOEXEC.BAT の内容が編集できるようになります。

- ⑩ CONFIG.SYS のリストボックスに、手順③で画面に表示された指示に従って、次の内容のいずれかを追加する。

Windows 95 がインストールされているドライブおよびフォルダを C:\WINDOWS とします。

・追加する内容 1

DEVICE=C:\WINDOWS\COMMAND\NECCD.SYS /D:MSCD001

・追加する内容 2

DEVICE=C:\WINDOWS\COMMAND\NECCDDRV.SYS

DEVICE=C:\WINDOWS\COMMAND\NECCD.SYS /D:MSCD001

- ⑪ AUTOEXEC.BAT のリストボックスに、次の内容を追加する。

CD-ROM を割り当てるドライブを Q とします。

・追加する内容

C:\WINDOWS\COMMAND\MSCDEX /D:MSCD001 /L:Q

- ⑫ 「OK」 ボタンをクリック。
「プログラムの詳細設定」 ウィンドウが閉じます。

- ⑬ 「OK」 ボタンをクリックします。
「プロパティ」 ウィンドウが閉じます。

- ⑭ 「エクスプローラ」で新しい MS-DOS 設定を指定したプログラムをダブルクリック。
MS-DOS モードが起動します。

Windows NT 4.0 の利用

本機で別売の Windows NT Workstation 4.0 (以下、Windows NT 4.0) を利用する場合のセットアップ手順およびアップグレード手順について説明します。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。これと異なるドライブ構成で利用する場合は読み替えてください。

Windows 95 がインストールされているドライブ
: C ドライブ
フロッピーディスクドライブ
: A ドライブ

Windows NT 4.0をセットアップする前に

次の手順で、本機に Windows NT 4.0 をセットアップし、アップグレードを行います。

✓ チェック!!

- Windows NT Server 4.0 は使用できません。
- キーボードを USB ハブに接続する場合は、1 段 (1 個) 目の USB ハブに接続してください。Windows NT 4.0 では、2 段 (2 個) 目以降に接続されたキーボードを認識できません。
必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップグレードを行ってください。
- 「Windows NT 4.0 アップデートディスク」の作成
- システム設定の変更
- Windows NT 4.0 のセットアップ
- ドライバのアップデート
- 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- 内蔵 FAX モデムボードのセットアップ
- BIOS セットアップユーティリティのセットアップ

セットアップを開始する前に、次のことを確認してください。

- フロッピーディスクの用意
あらかじめ、フロッピーディスクを、VS 33 D、VS 30 D、VS 26 D、VS 23 D の場合は 3 枚、VS 20 C の場合は 4 枚用意してください。なお、次のことに注意してください。
- 1.44 M バイトでフォーマットしておくこと
- フォーマット時にシステムの転送は行わないこと
- それぞれ「システム修復ディスク」「Windows NT 4.0 アップデートディスク」「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」「Windows NT 4.0 アップデートディスク 2」(VS 20 C のみ) と書いたラベルを貼っておくこと
- README.TXT を読む
最初の手順で作成する「Windows NT 4.0 アップデートディスク」のルートディレクトリにある「README.TXT」には、マニュアルに記載されていない補足事項が書かれています。セットアップを行う前に必ずお読みください。
- ドライバのインストール
ドライバのインストールを行う場合は、アドミニストレータの権限を持ったユーザーが行ってください。

Windows NT 4.0のセットアップとアップグレード

「Windows NT 4.0 アップデートディスク」、 「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」の作成

次の手順で、「Windows NT 4.0 アップデートディスク」、「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」を作成します。

- ① 内蔵ハードディスクから Windows 95 を起動する。
- ② MS-DOS プロンプトを起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」)
- ③ 「Windows NT 4.0 アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。
あらかじめ用意しておいたフロッピーディスクのうち、「Windows NT 4.0 アップデートディスク」というラベルを貼ったものです。

- ④ フロッピーディスクにファイルをコピーする。
コマンドプロンプトから次のように入力します。
(CDNTUP のあとのフロッピーディスクドライブ名
にコロン「:」をつけないこと)

C:[Enter]

CD \NT40 [Enter]

CDNTUP A [Enter]

あとは画面の指示に従って操作してください。

システム設定の変更

BIOS セットアップメニューで、次のようにシステム
設定を変更してください。

✓チェック!!

この操作は、Windows NT 4.0 を利用する場合のみ
行ってください。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② 「NEC」のロゴの表示画面で、[F2]を押す。
- ③ [→]を押して、BIOSセットアップメニューを起動する。
- ④ メインメニューで次のように設定する。
 - ・プライマリマスタ
タイプ : ユーザ
UltraDMA モード : 使用しない
- ⑤ 詳細メニューで、次のように設定する。
 - ・プラグ&プレイ OS : いいえ
 - ・周辺機器の設定
 - シリアルポート A : 使用する
 - シリアルポート B : 使用する
(VS26D/CX、VS26D/CZ 以外の機種は設定)
 - パラレルポート : 使用する
 - ・オーディオオプションメニュー
(VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C のみ設定)
サウンド : 使用する
- ⑥ 省電力管理メニューで次のように設定する。
入力装置によるレジューム : オフ
- ⑦ 「変更を保存して終了する」で BIOS セットアップ
メニューを終了させて、本機の電源を切る。

Windows NT 4.0 のセットアップ

Windows NT 4.0 添付のマニュアルをご覧ください。
次の手順でセットアップを行ってください。

ただし、次のことに注意してください。

- ・内蔵 FAX モデムボードを使用するリモートアクセ
スサービスの設定は、Windows NT 4.0 のセッ
トアップの途中ではなく、セットアップ終了後に「内蔵
FAX モデムボードのセットアップ」の手順で行うこと。
 - ・Windows NT 4.0 のセットアップが正常に終了し
たら、次の「ドライバのアップデート」の手順に進む
こと。
 - ・Windows NT 4.0 のセットアップ中にディスプレ
イの設定画面が表示され、「Vga互換ディスプレイ
アダプタ」が検出されました。」と表示されたら、そ
のまま「OK」をクリックして、処理を続行すること。
- ① 「Windows NT 4.0 Setup Disk 1」を、フロッピー
ディスクドライブにセットして本機の電源を入れる。
 - ② 画面の指示にしたがってセットアップを行う。
セットアップの途中で、「キーボードの種類の選択」
ウィンドウが表示されます。
 - ③ 106 日本語キーボードを選択する ([半角 / 全角] を
押す)。
「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェア
があります。」と表示されます。
 - ④ [↑] で「キーボード:」の「106 日本語キーボード」
を選んで、[Enter] を押す。
「インストールするキーボードの種類を変更します。」
と表示されます。
 - ⑤ [↓] で「その他 (ハードウェア メーカー提供のディス
クが必要)」を選んで、[Enter] を押す。
「次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入
してください。」と表示されます。
 - ⑥ フロッピーディスクドライブに「Windows NT 4.0
アップデートディスク」をセットし [Enter] を押す。
「ハードウェア メーカーから提供されたキーボードを
インストールします。」と表示されます。
 - ⑦ 「USB Keyboard with Mouse (USB 109 日本語
キーボード (JIS 配列))」が選ばれていることを確認
して、[Enter] を押す。
「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェア
があります。」のウィンドウに戻ります。

- ⑧ 「キーボード」が「USB Keyboard with Mouse (USB 109 日本語キーボード (JIS配列))」になっていることを確認し、[Enter] を押す。

- ⑨ 後は画面の指示に従って、Windows NT 4.0 のセットアップを続行する。

ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順で Windows NT 4.0 のドライバをアップデートします。

- ① コマンドプロンプトを起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「コマンドプロンプト」)
- ② 「Windows NT 4.0 アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。
- ③ アップデートを実行する。
コマンドプロンプトから次のように入力します。

A: [Enter]

CD \ [Enter]

UPDATE [Enter]

- ④ 次のウィンドウが表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリック。
ファイルのコピーが開始されます。



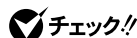
- ⑤ 次のウィンドウが表示されたら、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック。



- ⑥ フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0 アップデートディスク」を取り出し、Windows NT 4.0 を再起動する。
以上でドライバのアップデートは完了です。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。



VS33D、VS30D、VS26D、VS23D の場合は、ドライバをセットアップする前に Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」をインストールしておいてください。

- ① Windows NT 4.0 を起動する。
- ② 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする。
- ③ 「画面」をダブルクリック。
- ④ 「ディスプレイの設定」タブをクリック。
- ⑤ 「ディスプレイの種類」をクリック。
- ⑥ 「変更」をクリック。
- ⑦ 「ディスク使用」をクリック。
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。
- ⑧ VS33D、VS30D、VS26D、VS23D の場合は「Windows NT 4.0 アップデートディスク」を、VS20C の場合は「Windows NT 4.0 アップデートディスク 2」をフロッピーディスクドライブにセットする。
- ⑨ 「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック。
- VS33D、VS30D、VS26D、VS23D の場合
A: \ RIVA128
 - VS20C の場合
A: \ GD5465
- ⑩ 「ディスプレイ」のリストから次のものを選び、「OK」をクリック。
- VS33D、VS30D、VS26D、VS23D の場合
「NVidia RIVA 128」
 - VS20C の場合
「Laguna Video Accelerator」
- ⑪ ドライバ組み込み確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリック。
- ⑫ ドライバ組み込み結果が表示されるので「OK」をクリック。
- ⑬ 「閉じる」をクリック。
- ⑭ 「閉じる」をクリック。

- ⑮ 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリック。
自動的に Windows NT 4.0 が再起動されます。
以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンドボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- ① 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック。
- ② 「マルチメディア」をダブルクリック。
- ③ 「デバイス」タブをクリック。
- ④ 「追加」をクリック。
- ⑤ ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして、「OK」をクリック。
- ⑥ ドライバのインストール画面になるので、「Windows NT 4.0 アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。
- ⑦ 次のようにフロッピーディスクドライブ名とディレクトリ名を指定して、「OK」をクリック。
 - ・VS33D、VS30D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ、VS23D の場合
A: ¥OAK
 - ・VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合
A: ¥YMF715E
- ⑧ ドライバの一覧から次のものを選んで、「OK」をクリック。
 - ・VS33D、VS30D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ、VS23D の場合
「Oak TelAudia Adapter」
 - ・VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合
「OPL3-SA Sound System (Japanese)」
- ⑨ VS26D/CX、VS26D/CZ、VS20C の場合は、パラメータの設定画面が表示されるので、「OK」をクリック。
- ⑩ 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0 アップデートディスク」を取り出して、「再起動する」をクリック。
自動的に Windows NT が再起動されます。
以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。

内蔵 FAX モデムボードのセットアップ

本体内蔵 FAX モデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- ① Windows NT 4.0 を起動する。
- ② 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック。
- ③ 「モデム」をダブルクリック。
- ④ 「新しいモデムのインストール」ウィンドウで、「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリック。
- ⑤ 「ディスク使用」をクリック。
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。
- ⑥ 「Windows NT 4.0 アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。
- ⑦ 「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック。
A: \MODEM
- ⑧ 「NEC PK-UG-X001」を選び、「次へ」をクリック。
- ⑨ 「選択したポート」をチェックし、次のものを選んで「次へ」をクリック。
 - ・VS33D、VS30D、VS26D/M7、VS26D/S7、VS26D/S5、VS26D/SZ、VS23D、VS20C の場合
「COM3」
 - ・VS26D/CX、VS26D/CZ の場合
「COM2」
- ⑩ 「所在地情報」ウィンドウが表示されたら、所在地情報を設定して「次へ」ボタンをクリック。
 **チェック!!**
「所在地情報」ウィンドウは、1 回目のモデムセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、「所在地情報」ウィンドウが表示されないことがあります。
- ⑪ 「モデムは正常にセットアップされました」というメッセージが表示されるので「完了」ボタンをクリック。
- ⑫ 「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「閉じる」ボタンをクリック。
以上で内蔵 FAX モデムボードのセットアップは完了しました。

BIOS セットアップユーティリティのセットアップ

BIOS セットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

- ① 「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットする。
 - ② 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。
 - ③ 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック。
A:\SETUP
インストール画面が表示されます。
 - ④ 「ようこそ」ウィンドウで「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
 - ⑤ 「次へ」をクリック。
「ファイルコピーの開始」ウィンドウが表示されます。
 - ⑥ 「次へ」をクリック。
「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
 - ⑦ フロッピーディスクを取り出して「終了」をクリック。
- 以上で BIOS セットアップユーティリティのセットアップは完了です。



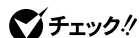
チェック!!

Windows NT 4.0 用の BIOS セットアップユーティリティの起動方法は次の通りです。
「スタート」→「プログラム」→「BIOS セットアップユーティリティ」をクリック。

Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 3 の利用

本機で Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」(以下 Service Pack 3)を利用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

- ① Service Pack 3 の「README.TXT」を読む。
- ② Service Pack 3 のインストールを行う。
- ③ 本機の再起動後、ドライバの再アップデートを行う。
この項目の「Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード」にある「ドライバのアップデート」の手順を行ってください。



チェック!!

ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか？」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選んでください。

本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意

- ・本機に添付されている Windows NT 4.0 のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・リモートアクセスサービスを設定する場合は、「内蔵 FAX モデムボードのセットアップ」の手順で FAX モデムボードをセットアップした後、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動して行ってください。リモートアクセスサービスの設定については、Windows NT 4.0 のマニュアルやオンラインヘルプをご覧ください。
- ・Windows NT 4.0 は、NEC 製のキーボード以外の USB 機器をサポートしていません。
- ・Windows NT 4.0 実行中にキーボードの抜き差しはしないでください。
- ・サスペンド / レジュームで問題が発生する場合は、サスペンド / レジューム機能を無効にしてください。BIOS セットアップユーティリティの「省電力」で次のように設定します。

パワーマネージメント

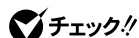
設定方法：ユーザ設定

自動スリープ制御：使用しない

HDD モータ制御：使用しない

スリープ

スリープボタン：使用しない



チェック!!

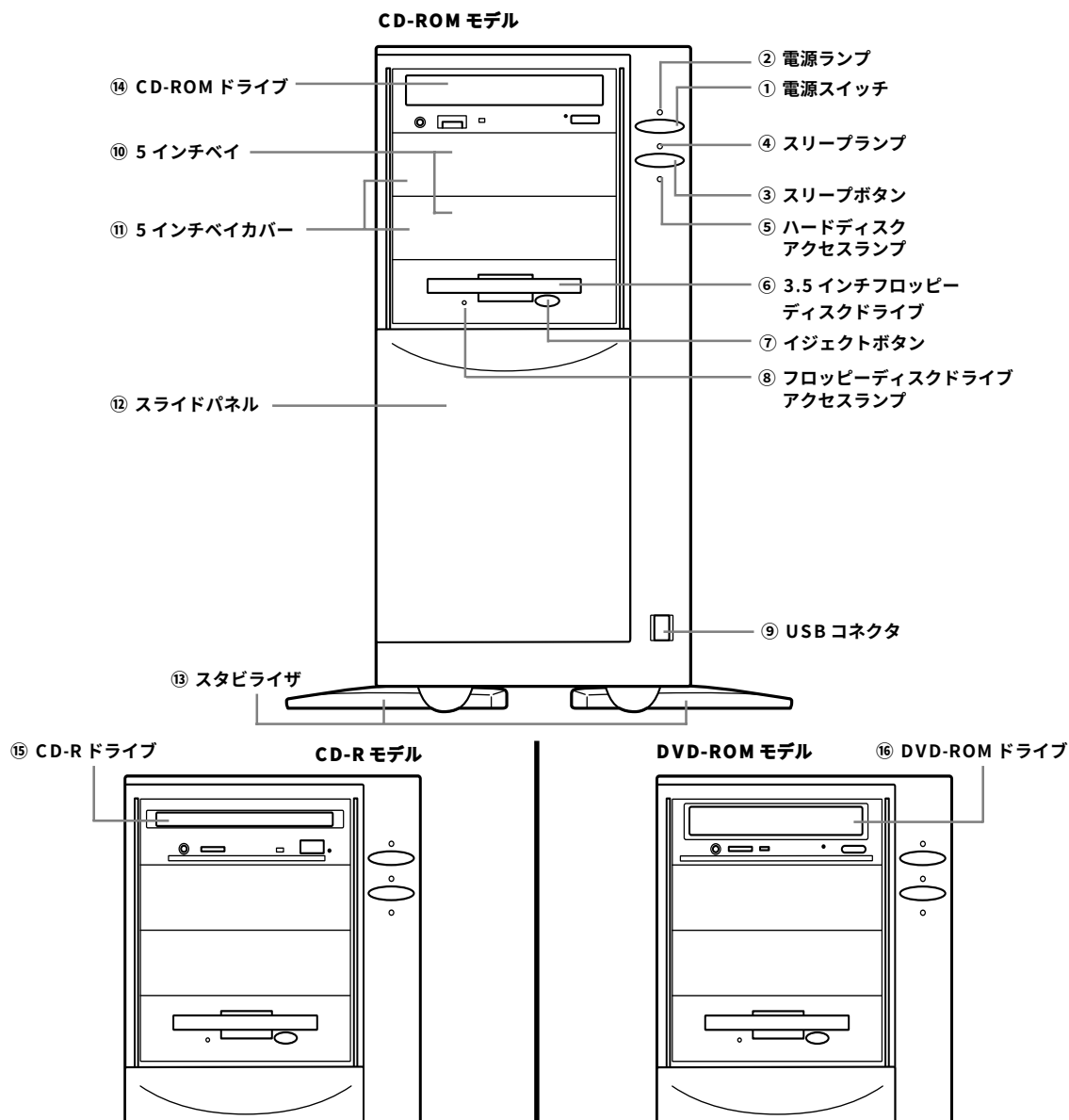
「パワーマネージメント」を「使用しない」に設定しないでください。

本体の各部の名称 (ミニタワータイプ)

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面

※下の図は、スライドパネルを下におろした状態です。



① 電源スイッチ (①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 95 の「スタート」メニューで「Windows の終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチの切る / 入れるの操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも 5 秒以上の間隔をあけてください。

✓チェック!!

- ・ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約 4 秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。
- ・停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源は入りません。

② 電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると点灯します。

③ スリープボタン (👉)

本機をサスペンド状態にするボタン。
電源が入っている時に 1 回押すとサスペンド状態(省電力状態)になり(スリープランプが点灯)、もう 1 回押すと通常の状態に戻ります。

④ スリープランプ

サスペンド状態を表示するランプ。サスペンド状態で点灯します。

⑤ ハードディスクアクセスランプ (💿)

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

⑥ 3.5 インチフロッピーディスクドライブ

3.5 インチサイズのフロッピーディスクを出し入れするところ。

⑦ イジェクトボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

⑧ フロッピーディスクドライブアクセスランプ

フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

⑨ USB コネクタ (🔌)

USB 対応機器を接続するためのコネクタ。Windows 95 でのみ使用可能。USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

⑩ 5 インチベイ

5 インチベイ用オプション機器を取り付けるスロット。

⑪ 5 インチベイカバー

5 インチベイを使用するときは、このカバーを取り外します。

⑫ スライドパネル

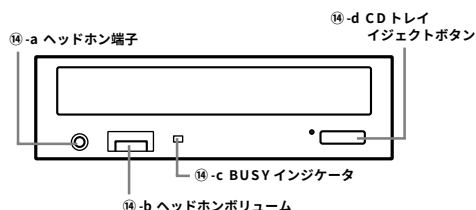
本体前面のカバー。

⑬ スタビライザ

本体を安定して設置するための脚。

⑭ CD-ROM ドライブ (CD-ROM モデル)

CD-ROM や音楽 CD を入れるところ。
CD-ROM ドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。



⑭-a ヘッドホン端子

市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

⑭-b ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量を調節するツマミ。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

⑭-c BUSY インジケータ

データを読み出しているときに点灯します。

✓チェック!!

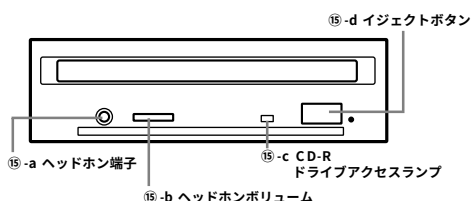
点灯中は電源を切ったり、CD-ROMを取り出したりしないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

⑭ -d CDトレイイジェクトボタン

ディスクをのせるCDトレイを出し入れするためのボタン。

⑮ CD-Rドライブ (CD-Rモデル)

CD-Rメディア、CD-ROMを入れるところ。
CD-Rドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。



⑮-a ヘッドホン端子

市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子です。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

⑮-b ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量を調節するつまみです。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

⑮-c CD-Rドライブアクセスランプ

ドライブの動作状態を表示するランプ。

✓チェック!!

CD-Rドライブにアクセスしているときは、オレンジ色に点灯または点滅します。オレンジ色に点灯中または点滅中は電源を切ったり、CD-Rメディア、CD-ROMを取り出したりしないでください。CD-Rドライブの故障やCD-Rメディア、CD-ROMの破損の原因になります。

⑮-d イジェクトボタン

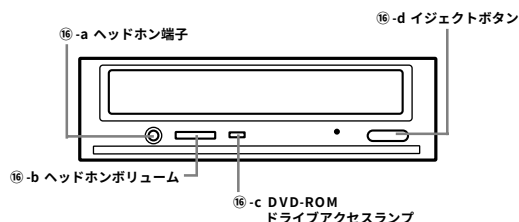
CD-Rメディア、CD-ROMを取り出すボタン。
CD-Rメディア、CD-ROMがセットされているときに押すと、キャディまたはトレイアダプタが出てきます。

⑯ DVD-ROMドライブ (DVD-ROMモデル)

DVD、CD-ROMを入れるところ。

✓チェック!!

DVD-ROMドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。



⑯-a ヘッドホン端子

市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。
ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

⑯-b ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量を調節するつまみ。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

⑯-c DVD-ROMドライブアクセスランプ

データを読み出しているときに点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源を切ったり、ディスクを取り出したりしないでください。DVD-ROMドライブの故障の原因となります。

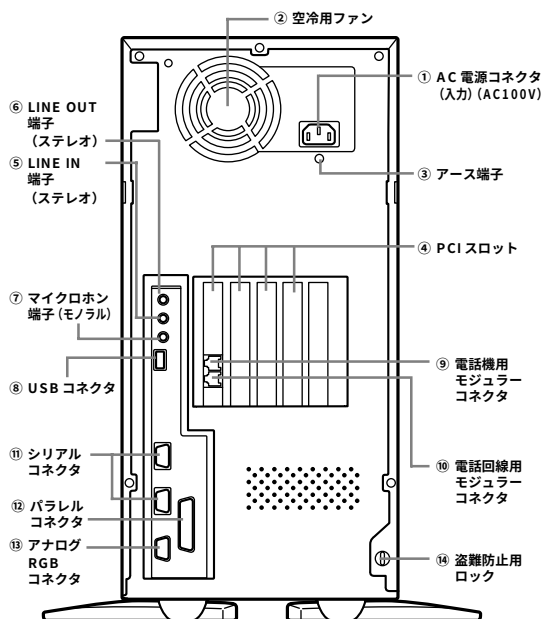
⑯-d イジェクトボタン

ディスクをのせるトレイを出し入れするためのボタン。

本体背面

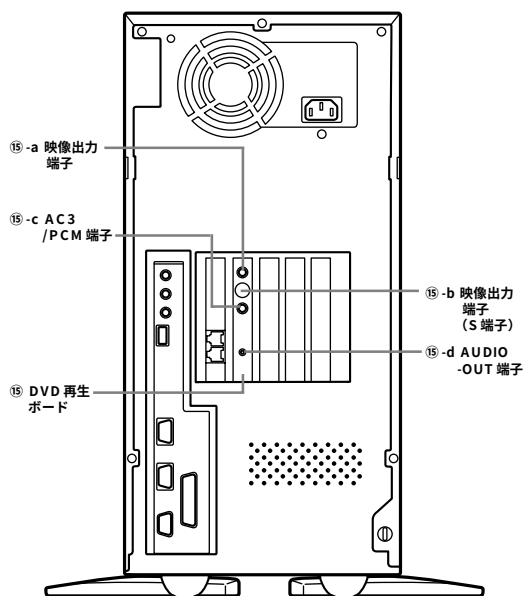
各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。

CD-R モデル、CD-ROM モデル



- ① AC 電源コネクタ (入力) (AC100V)
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続する。
本体添付の電源ケーブルは、AC コンセント側が普通の2ピン、本体側が特殊な3ピンになっています。
- ② 空冷用ファン
本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。
- ③ アース端子 (⏏)
アース線を接続するための端子。
- ④ PCI スロット
本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。
高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。
左から順にスロット #1、#2、#3、#4 になります。#1 には FAX モデムボードがあります。また、DVD-ROM モデルでは #2 に DVD 再生ボードがあります。
#1、#2 にはハーフサイズの PCI ボードが取り付けられます。
#3、#4 にはフルサイズの PCI ボードが取り付けられます。

DVD-ROM モデル



- ✓チェック!!**
#4の右に、スロットカバーがありますが、ここはPCIスロットではありません。
- ⑤ LINE IN 端子 (ステレオ) (⏏)
市販のオーディオ機器などから、音声信号(ステレオ)を本体に入力するためのミニジャック端子。
 - ⑥ LINE OUT 端子 (ステレオ) (⏏)
市販のオーディオ機器などに、音声信号(ステレオ)を出力するためのミニジャック端子。
 - ⑦ マイクロホン端子 (モノラル) (⏏)
添付のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。
 - ⑧ USB コネクタ (⏏)
USB対応機器を接続するためのコネクタ。Windows 95 でのみ使用可能。
USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
 - ⑨ 電話機用モジュラーコネクタ (⏏)
電話機を接続するためのコネクタ。

- ⑩ 電話回線用モジュラーコネクタ ()
電話回線を接続するためのコネクタ。

⑪ シリアルコネクタ

(チャンネル 1、2 / 1  2 )

周辺機器を接続するためのコネクタ。通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

✓ **チェック!!**

- ・PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売の RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) が必要です。
- ・RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) は、チャンネル 1 のみで使用できます。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

⑫ パラレルコネクタ ()

プリンタなどを接続するためのコネクタ。

✓ **チェック!!**

- ・PC-9800 シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) が必要です。
- ・このコネクタには、D-Sub25 ピンのシリアル機器を接続しないでください。

⑬ アナログ RGB コネクタ ()

アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

⑭ 盗難防止用ロック ()

市販の盗難防止用ケーブル (Kensington 社製) などを接続できます。

盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。

✓ **チェック!!**

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、次の通りです。
(1998 年 1 月現在)

日本ポラロイド株式会社
電子映像営業グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 2 番 2 号
第 30 森ビル

Tel : 03-3438-8879

Fax : 03-5473-1630

⑮ DVD 再生ボード (DVD-ROM モデルのみ)

⑮ -a 映像出力端子

テレビやビデオ機器の映像入力端子と接続。

⑮ -b 映像出力端子 (S 端子)

S 映像付きのテレビやビデオ機器の S 映像入力端子と接続。

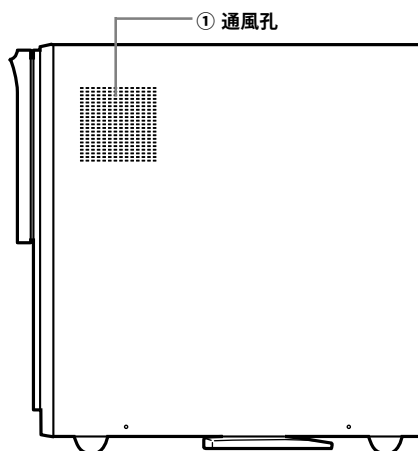
⑮ -c AC3/PCM 端子

ドルビーデジタル対応アンプと接続。

⑮ -d AUDIO-OUT 端子

デジタル非対応の AV アンプの音声入力端子と接続。

本体右側面



① 通風孔

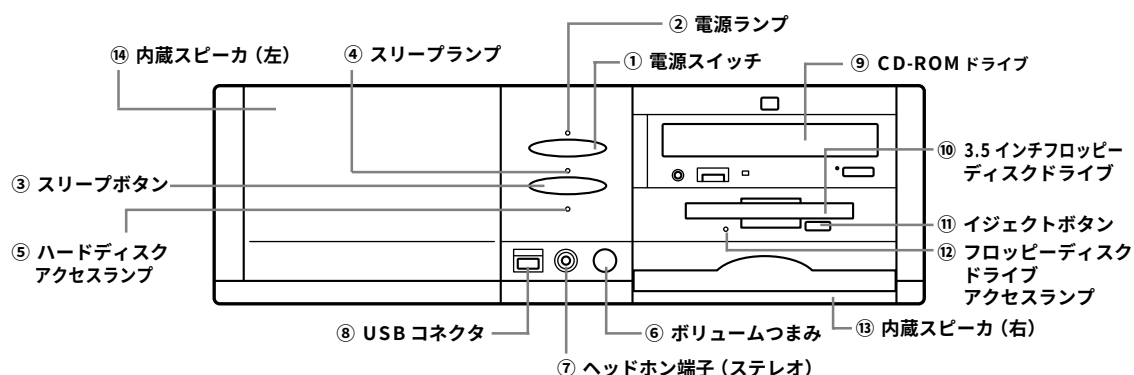
本体内部の熱を逃がすための孔です。
壁やスピーカなどでふさがないように注意してください。

本体の各部の名称 (デスクトップタイプ)

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面

※図は内蔵スピーカを開いた状態です



① 電源スイッチ (①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 95 の「スタート」メニューで「Windows の終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチを切る / 入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも 5 秒以上の間隔をあけてください。

✓チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約 4 秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

② 電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると点灯します。

③ スリープボタン (③)

本機をサスペンド状態にするボタン。
電源が入っている時に 1 回押すとサスペンド状態(省電力状態)になり(スリープランプが点灯)、もう 1 回押すと通常の状態に戻ります。

④ スリープランプ

サスペンド状態を表示するランプ。サスペンド状態で点灯します。

⑤ ハードディスクアクセスランプ (⑤)

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

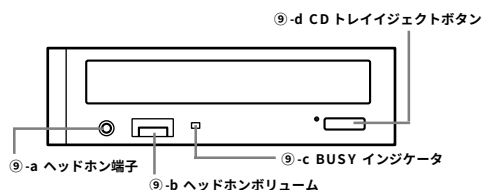
⑥ ボリュームつまみ

内蔵スピーカやヘッドホンの音量を調節するつまみ。

- ⑦ ヘッドホン端子 (ステレオ) ()
市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

- ⑧ USB コネクタ ()
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。
Windows 95でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使えるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

- ⑨ CD-ROM ドライブ
CD-ROM や音楽 CD を入れるところ。
なお、CD-ROM ドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。



- ⑨-a ヘッドホン端子 ()
市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

- ⑨-b ヘッドホンボリューム
ヘッドホンの音量を調節するつまみ。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- ⑨-c BUSY インジケータ
データを読み出しているときに点灯します。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM を取り出したりしないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因となります。

- ⑨-d CDトレイイジェクトボタン
ディスクをのせるCDトレイを出し入れするためのボタン。

- ⑩ 3.5 インチフロッピーディスクドライブ
3.5 インチサイズのフロッピーディスクを入れるところ。

- ⑪ イジェクトボタン
フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

- ⑫ フロッピーディスクドライブアクセスランプ
フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

- ⑬ 内蔵スピーカ (右)

- ⑭ 内蔵スピーカ (左)
内蔵音源からの音声出力する。

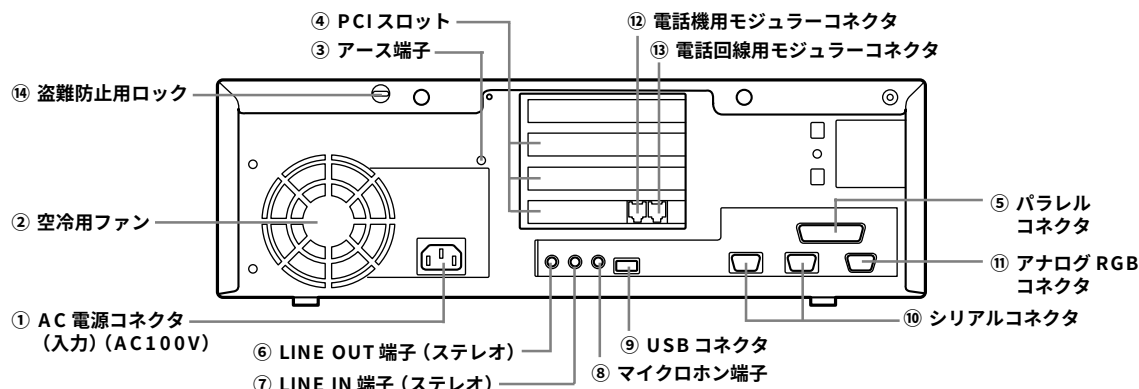
内蔵スピーカ (右) は、フロッピーディスクや CD-ROM を使用する場合に、開けることができます。内蔵スピーカ (左) は開きません。無理にこじ開けないようにしてください。

チェック!!

本体のヘッドホン端子にヘッドホンを接続した場合は、内蔵スピーカからは音声は出力されません。CD-ROM ドライブのヘッドホン端子にヘッドホンを接続した場合は、内蔵スピーカからも音声は出力されます。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



- ① AC 電源コネクタ (入力) (AC100V)
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続します。
本体添付の電源ケーブルは、AC コンセント側が普通の 2 ピン、本体側が特殊な 3 ピンになっています。

- ② 空冷用ファン
本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。

- ③ アース端子 (⏏)
アース線を接続するための端子。

- ④ PCI スロット
本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。
高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。PCI スロットは、下から順に PCI スロット #1、#2、#3 と呼びます。
#1、#2 にはハーフサイズの PCI ボードが取り付けられます。#1 には FAX モデムボードがあります。
#3 にはフルサイズの PCI ボードが取り付けられます。

- ⑤ パラレルコネクタ (⏏)
プリンタなどを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

PC-9800 シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) が必要です。

- ⑥ LINE OUT 端子 (ステレオ) (⏏)
市販のオーディオ機器などに、音声信号 (ステレオ) を出力するためのミニジャック端子。

- ⑦ LINE IN 端子 (ステレオ) (⏏)
市販のオーディオ機器などから、音声信号 (ステレオ) を本体に入力するためのミニジャック端子。

- ⑧ マイクロホン端子 (モノラル) (⏏)
添付のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

- ⑨ USB コネクタ (⏏)
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。
Windows 95 でのみ使用可能。USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使えるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

- ⑩ シリアルコネクタ
(チャンネル 1、2 / 1 ⏏ 2 ⏏)
周辺機器を接続するためのコネクタ。
通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

✓チェック!!

・PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売の RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) が必要です。

・RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) は、チャンネル 1 のみで使用できます。

・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

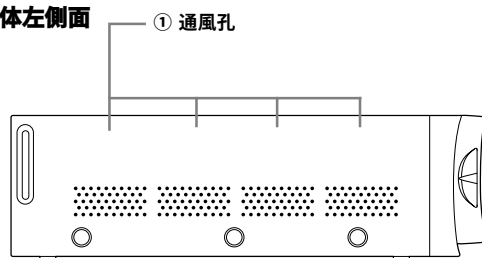
- ⑪ アナログ RGB コネクタ ()
アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。
- ⑫ 電話機用モジュラーコネクタ ()
電話機を接続するためのコネクタ。
- ⑬ 電話回線用モジュラーコネクタ ()
電話回線を接続するためのコネクタ。
- ⑭ 盗難防止用ロック ()
市販の盗難防止用ケーブル (Kensington 社製) などを接続できます。
盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。

チェック!!

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、次の通りです。
(1998 年 1 月現在)

日本ポラロイド株式会社
電子映像営業グループ
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号
第30森ビル
Tel : 03-3438-8879
Fax : 03-5473-1630

本体左側面

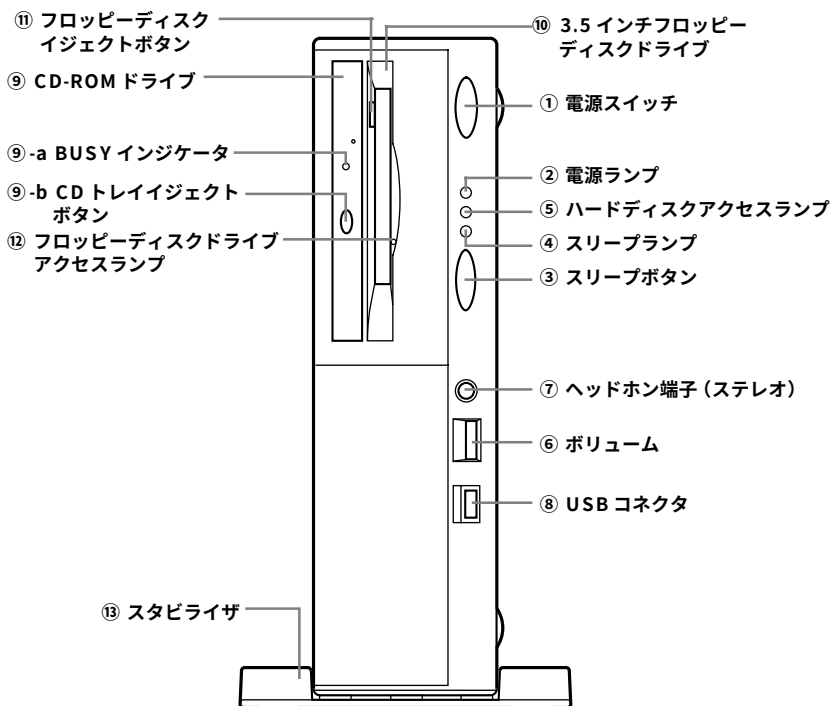


- ① 通風孔
本体内部の熱を逃がすための孔です。
壁やスピーカなどでふさがないように注意してください。

本体の各部の名称 (省スペースタイプ)

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面



① 電源スイッチ (①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 95 の「スタート」メニューで「Windows の終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチを切る / 入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも 5 秒以上の間隔をあけてください。

✓ チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約 4 秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

② 電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると点灯します。

③ スリープボタン (⏸)

本機をサスペンド状態にするボタン。
電源が入っている状態で 1 回押すとサスペンド状態 (省電力状態) になり (スリープランプが点灯)、もう 1 回押すと通常の状態に戻ります。

④ スリープランプ

サスペンド状態を表示するランプ。サスペンド状態で点灯します。

⑤ ハードディスクアクセスランプ (💡)

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

- ⑥ ボリューム
フラットパネルスピーカやヘッドホンの音量を調節するつまみ。
- ⑦ ヘッドホン端子 (ステレオ) ()
市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。
- ⑧ USB コネクタ ()
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。
Windows 95でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使えるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- ⑨ CD-ROM ドライブ
CD-ROM や音楽 CD を入れるところ。
なお、CD-ROM ドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。
- ⑨-a BUSY インジケータ
データを読み出しているときに点灯します。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM を取り出したりしないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因となります。

- ⑨-b CD トレイジェクトボタン
ディスクをのせる CD トレイを出し入れするためのボタン。
- ⑩ 3.5 インチフロッピーディスクドライブ
3.5 インチサイズのコピーディスクを入れるところ。
- ⑪ フロッピーディスクジェクトボタン
フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。
- ⑫ フロッピーディスクドライブアクセスランプ
フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

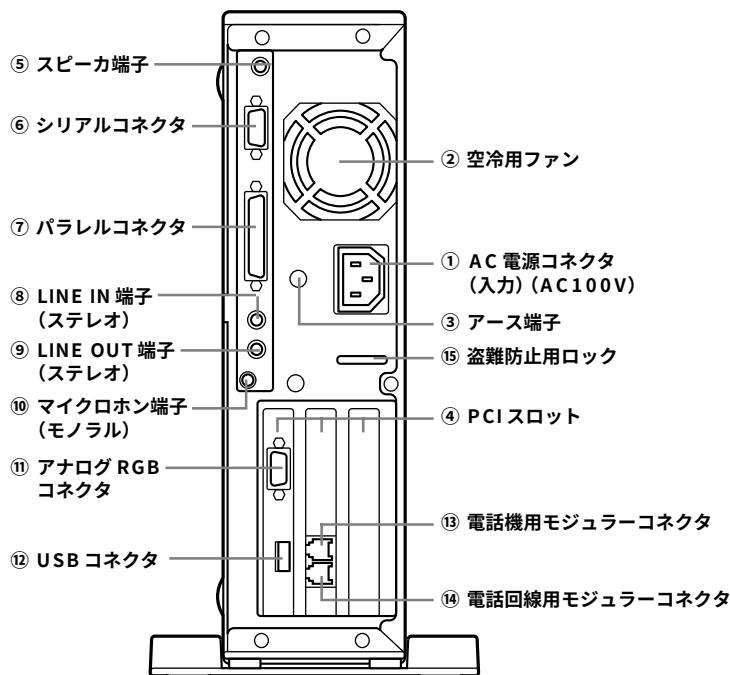
チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

- ⑬ スタビライザ
本体を安定して設置するための脚。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



- ① AC 電源コネクタ (入力) (AC100V)
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続します。
本体添付の電源ケーブルは、AC コンセント側が普通の 2 ピン、本体側が特殊な 3 ピンになっています。

- ② 空冷用ファン
本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。

- ③ アース端子 (⏏)
アース線を接続するための端子。

- ④ PCI スロット
本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。
PCI スロットは、左から順に PCI スロット #1、#2、#3 と呼びます。
#1 にはウインドウアクセラレータボード、#2 には FAX モデムボードが標準で取り付けられています。
#3 にはハーフサイズの PCI ボードが取り付けられます。

- ⑤ スピーカ端子 (🔊)
フラットパネルスピーカを接続するところです。

- ⑥ シリアルコネクタ
(チャンネル 1/ )
周辺機器を接続するためのコネクタ。
通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

✓チェック!!

- PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売の RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) が必要です。

- シリアルコネクタと、パラレルコネクタの両方に変換コネクタを取り付ける必要がある場合は、必ず RS-232C 変換アダプタ (PK-CA102) とプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) を使用してください。変換コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。

- 周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

⑦ パラレルコネクタ ()

プリンタなどを接続するためのコネクタ。

✓ チェック!!

・PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) が必要です。

・シリアルコネクタと、パラレルコネクタの両方に変換コネクタを取り付ける必要がある場合は、必ず RS-232C変換アダプタ (PK-CA102) とプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) を使用してください。変換コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。

⑧ LINE IN 端子 (ステレオ) ()

市販のオーディオ機器などから、音声信号 (ステレオ) を本体に入力するためのミニジャック端子。

⑨ LINE OUT 端子 (ステレオ) ()

市販のオーディオ機器などに、音声信号 (ステレオ) を出力するためのミニジャック端子。

⑩ マイクロホン端子 (モノラル) ()

添付のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

⑪ アナログ RGB コネクタ ()

アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

⑫ USB コネクタ ()

USB 対応機器を接続するためのコネクタ。

Windows 95でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

⑬ 電話機用モジュラーコネクタ ()

電話機を接続するためのコネクタ。

⑭ 電話回線用モジュラーコネクタ ()

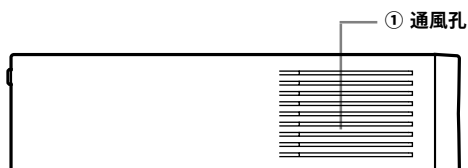
電話回線を接続するためのコネクタ。

⑮ 盗難防止用ロック ()

市販の錠などを取り付けられます。

盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。

本体底面



① 通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。

底面にスタビライザを取り付けることで、通風孔をふさがない状態になります。

キーの名称と役割

ここでは、各キーの名称と一般的な機能を説明します。

キーの役割

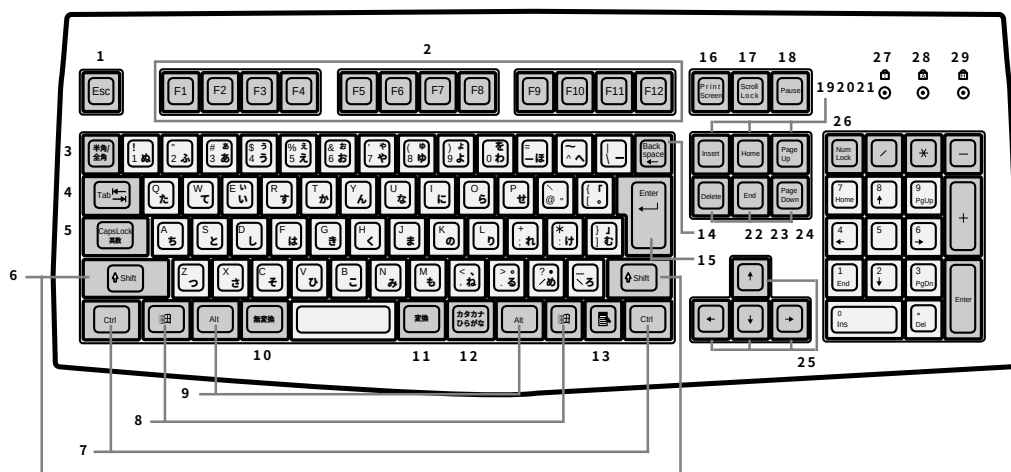
一般的なキーの役割です。

- ・薄いグレーのキー
英数字やカタカナ、記号などの文字を入力するキーです。
- ・濃いグレーのキー
コンピュータに直接指示を与えるためのキーです。
このキーの働きは、お使いになるアプリケーションによって違います。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

キーの名称

- 1 【Esc】: エスケープキー
- 2 【F1】～【F12】: ファンクションキー
- 3 【半角 / 全角 / 漢字】: 半角 / 全角 / 漢字キー
- 4 【Tab】: タブキー

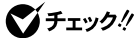
キーボード正面



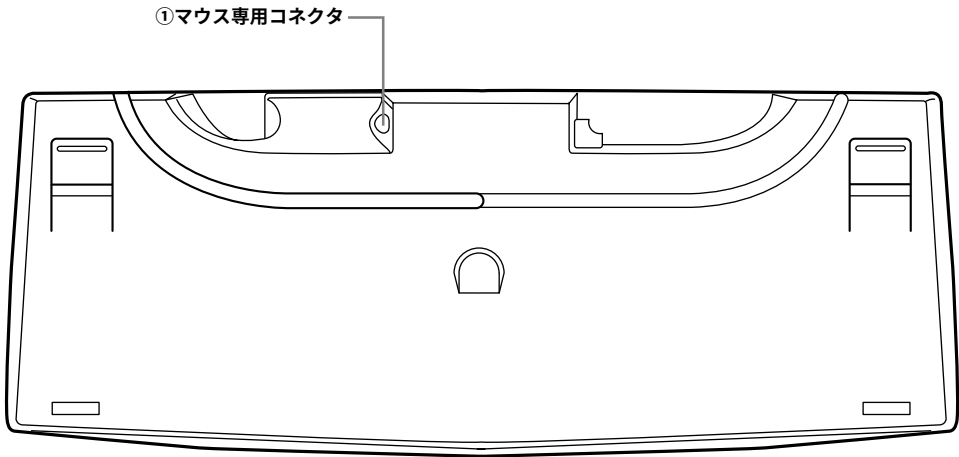
- 5 【CapsLock】: キャップスロックキー
- 6 【Shift】: シフトキー
- 7 【Ctrl】: コントロールキー
- 8 【】: Windows キー
- 9 【Alt】: オルトキー
- 10 【無変換】: 無変換キー
- 11 【変換】: 変換キー
- 12 【カタカナ / ひらがな / ローマ字】: カタカナ / ひらがな / ローマ字キー
- 13 【】: アプリケーションキー
- 14 【Back Space】: バックスペースキー
- 15 【Enter】: エンターキー
- 16 【Print Screen/Sys Rq】: プリントスクリーンキー / システムリクエストキー
- 17 【Scroll Lock】: スクロールロックキー
- 18 【Pause/Break】: ポーズ / ブレークキー
- 19 【Insert】: インサートキー
- 20 【Home】: ホームキー
- 21 【Page Up】: ページアップキー
- 22 【Delete】: デリートキー
- 23 【End】: エンドキー
- 24 【Page Down】: ページダウンキー
- 25 【↑】【↓】【←】【→】: カーソルキー
- 26 【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- 27 ニューメリックロックキーランプ
- 28 キャップスロックキーランプ
- 29 スクロールロックキーランプ

キーボード裏面

- ① マウス専用コネクタ
添付のマウスを接続するコネクタ。



このコネクタには、添付のマウスまたは別売のマウス (PK-KB003)のみ接続できます。



キーのロック

【NumLock】と【CapsLock】がロックされているか
いないかでキーの機能は異なります。
ロック状態はそれぞれのキーを押すたびに切り替わ
ります。

それぞれのキーがロックされているときにはキーボ
ード上部のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【NumLock】	テンキーから数字が入力できます。	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます。
【CapsLock】	英語が表示されているキーを押すと大文字が入力されます。	英語が表示されているキーを押すと小文字が入力されます。

機能仕様

VS20C

モデル		VS20C/S7 model CA2 VS20C/S7 model DA2 VS20C/S5 model CA2 VS20C/S5 model DA2	
CPU		MMX®テクノロジーPentium®プロセッサ クロック200MHz キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ256Kバイト	
メモ リ	BIOS ROM	256KB、プラグ&プレイ対応	
	メインRAM	32Mバイト（最大256Mバイトまで増設可能） *ユーザーズメモリ31.6Mバイト（最大255.6Mバイト）	
	RAM※1	DIMMスロット×2（うち1スロットに32Mバイトメモリ取り付け済）	
	ビデオRAM	2Mバイト	
表 示 機 能	ウィンドウアクセラレータ	CIRRUS LOGIC®社製GD5465搭載	
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/65,536色/1,677万色
		800×600ドット	256色/65,536色/1,677万色
		1,024×768ドット	256色/65,536色
		1,280×1,024ドット※2	256色
入 力 装 置	キーボード	JIS標準配列（英数、カナ）、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 マウス専用コネクタ装備	
	マウス	2ボタンマウス標準装備(添付のキーボードに接続)	
補 助 記 憶 装 置	フロッピーディスクドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能	
	ハードディスク	3.2Gバイト	
		Microsoft Windows 95をインストール済	
	内蔵3.5インチベイ	1台内蔵可能	
	5インチベイ	最大20倍速（平均14倍速）CD-ROMドライブ標準搭載	
PCIスロット		3スロット（うち1スロットはFAXモデムボードで占有済）	
サ ウ ン ド 機 能 ※3	サウンドチップ		YAMAHA製 YMF715E
	音源	F M 音 源	FM音源 20和音（ステレオ）
		P C M 音 源	PCM録音/再生機能 PCM 8 / 16ビット 11.025KHz / 22.05KHz / 44.1KHz / 48KHz
		M I D I 音 源	ソフトウェアシンセサイザー機能搭載（GS、GM演奏モード対応）
	サラウンド	エンハンスステレオ対応	
	マイク	モノラルマイクロホン添付	
通 信 機 能	スピーカ	フラットパネルスピーカ内蔵	
	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps／最大受信56Kbps、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22A/B、V.21、エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応	
	FAX	データ転送速度 最大14,400bps（V.17）、FAX制御 CLASS 1	

VS20C

モデル		VS20C/S7 model CA2 VS20C/S7 model DA2 VS20C/S5 model CA2 VS20C/S5 model DA2
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン)
	オーディオ	入力 マイク入力 (モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力 (ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン-6dB
		出力 ヘッドホン出力 (ステレオ) 出力レベル最大500mVrms (負荷インピーダンス33Ω)、 ライン出力 (ステレオ)、出力レベル最大1Vrms (負荷インピーダンス47kΩ)
	マウス	マウス専用コネクタ (ミニDIN6ピン、添付のキーボードに装備)
	プリンタ	パラレルインターフェイス (D-Sub25ピン)
	シリアル	チャンネル1 最大115,200bps (D-Sub 9 ピン)
		チャンネル2 最大115,200bps (D-Sub 9 ピン)
	USB※4	2ポート内蔵 (キーボードにより1ポート使用)
カレンダー時計		電池によるバックアップ
電源		AC 100V±10%、50/60Hz
温湿度条件		10～35℃、20～80%※5 (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	430 (W)×436 (D)×135 (H) mm
	キーボード	471 (W)×178 (D)×39 (H) mm
重量	本体	約11.4kg
	キーボード	約1.1kg
消費電力		標準構成時 約47W 内蔵オプション最大接続時 約170W サスペンドモード時 約27W以下 スタンバイモード時 約4W

- ※1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- ※2 セットの15インチCRTディスプレイ (DV15A1) では表示できません。
- ※3 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- ※4 Windows 95 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- ※5 18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

VS26D/S7 VS26D/S5 VS26D/SZ VS23D/S7 VS23D/S5

モデル		VS26D/S7 model CA2 VS26D/S7 model DA2 VS26D/S5 model CA2 VS26D/S5 model DA2 VS26D/SZ model CA2 VS26D/SZ model DA2	VS23D/S7 model CA2 VS23D/S7 model DA2 VS23D/S5 model CA2 VS23D/S5 model DA2
CPU		Pentium® II プロセッサ クロック266MHz	Pentium® II プロセッサ クロック233MHz
		キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト	
メモリ	BIOS ROM	256K バイト プラグ&プレイ対応	
	メイン RAM	32Mバイト (最大384Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ31.6Mバイト (最大383.6Mバイト)	
	RAM※1	DIMMスロット×3 (うち1スロットに32Mバイトメモリを取り付け済)	
	ビデオRAM	2Mバイト (2Mバイト増設可能)	
表示機能	ウィンドウアクセラレータ	SGS-THOMSON Microelectronics社製 RIVA128搭載	
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/32,768色/1,677万色
		800×600ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,024×768ドット	256色/32,768色/1,677万色※2
		1,280×1,024ドット※3	256色/32,768色※2
入力装置	キーボード	JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付サレートタイプ、USBコネクタに接続 マウス専用コネクタ装備	
	マウス	2ボタンマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)	
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能	
	ハードディスク	3.2Gバイト	
		Microsoft Windows 95をインストール済	
	内蔵3.5インチベイ	1台内蔵可能	
	5インチベイ	最大24倍速 (平均17倍速) CD-ROMドライブ標準搭載	最大20倍速 (平均14倍速) CD-ROMドライブ標準搭載
PCIスロット		3スロット (うち1スロットはFAXモデムボードで占有済)	
サウンド機能※4	サウンドチップ		オークテクノロジー社製 OTi610
	音源	F M 音 源	なし
		P C M 音 源	PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz
		M I D I 音 源	ソフトウェアシンセサイザー機能搭載 (GS、GM演奏モード対応)
	サラウンド	エンハンスステレオ対応	
	3D機能	ボジョナル・サウンド	
	マイク	モノラルマイクロホン添付	
通信機能	スピーカ		フラットパネルスピーカ内蔵
	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps/最大受信56Kbps K56flex、V.34、V32bis、V.32、V.22bis、V.22A/B、V.21 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応	
		FAX	データ転送速度 最大14,400bps (V.17)、FAX制御CLASS 1

VS26D/S7 VS26D/S5 VS26D/SZ VS23D/S7 VS23D/S5

モデル		VS26D/S7 model CA2 VS26D/S7 model DA2 VS26D/S5 model CA2 VS26D/S5 model DA2 VS26D/SZ model CA2 VS26D/SZ model DA2	VS23D/S7 model CA2 VS23D/S7 model DA2 VS23D/S5 model CA2 VS23D/S5 model DA2
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニ-D-Sub 15ピン)	
	オーディオ	入力	マイク入力 (モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力 (ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン-6dB
		出力	ヘッドホン出力 (ステレオ) 出力レベル最大500mVrms (負荷インピーダンス33Ω)、 ライン出力 (ステレオ)、出力レベル最大1Vrms (負荷インピーダンス47kΩ)
	マウス	マウス専用コネクタ (ミニDIN6ピン、添付のキーボードに装備)	
	プリンタ	パラレルインターフェイス (D-Sub25ピン)	
	シリアル	チャネル1	最大115,200bps (D-Sub 9 ピン)
		チャネル2	最大115,200bps (D-Sub 9 ピン)
	USB※5	2ポート内蔵 (キーボードにより1ポート使用)	
カレンダー時計		電池によるバックアップ	
電源		AC 100V±10%、50/60Hz	
温湿度条件		10～35℃、20～80%※6 (ただし結露しないこと)	
外形寸法	本体	430 (W)×436 (D)×135 (H)mm	
	キーボード	471 (W)×178 (D)×39 (H)mm	
重量	本体	約11.9kg	
	キーボード	約1.1kg	
消費電力		標準構成時 約66W 内蔵オプション最大接続 約200W サスペンドモード時 約30W以下 スタンバイモード時 約6W	標準構成時 約62W 内蔵オプション最大接続 約200W サスペンドモード時 約30W以下 スタンバイモード時 約6W

- ※1 利用OSにより、使用可能なメモリ容量は異なります。
- ※2 ビデオRAMが4Mバイトの時に表示できます。
- ※3 セットの15インチCRTディスプレイ (DV15A1) では表示できません。
- ※4 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- ※5 Windows 95でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- ※6 18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

VS26D/CX VS26D/CZ

モデル		VS26D/CX model CA2 VS26D/CX model DA2 VS26D/CZ model CA2 VS26D/CZ model DA2
CPU		Pentium®II プロセッサ クロック266MHz
		キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト
メモ リ	BIOS ROM	256K バイト プラグ&プレイ対応
	メインRAM	32Mバイト (最大256Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ31.6Mバイト (最大255.6Mバイト)
	RAM※1	DIMMスロット×2 (うち1スロットに32Mバイトメモリを取り付け済)
	ビデオRAM	2Mバイト (2Mバイト増設可能)
表 示 機 能	ウィンドウアクセラレータ	SGS-THOMSON Microelectronics社製 RIVA128搭載
	グラフィック表示	640×480ドット 16色/256色/32,768色/1,677万色
		800×600ドット 256色/32,768色/1,677万色
		1,024×768ドット 256色/32,768色/1,677万色※2
		1,280×1,024ドット※3 256色/32,768色※2
入 力 装 置	キーボード	JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 マウス専用コネクタ装備
	マウス	2ボタンマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)
補 助 記 憶 装 置	フロッピーディスク ドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能
	ハードディスク	3.2Gバイト
		Microsoft Windows 95をインストール済
	5インチベイ	最大20倍速 (平均14倍速) CD-ROMドライブ標準搭載
サ ウ ン ド 機 能 ※4	PCIスロット	3スロット (うち2スロットはFAXモデムボード、ウィンドウアクセラレータボードで占有済)
	サウンドチップ	YAMAHA製 YMF715E
	音源	F M 音 源 FM音源 20和音 (ステレオ)
		P C M 音 源 PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz
		M I D I 音 源 ソフトウェアシンセサイザー機能搭載 (GS、GM演奏モード対応)
	サラウンド	エンハンストステレオ対応
	マイク	モノラルマイクロホン添付
通 信 機 能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps/最大受信56Kbps K56flex、V.34、V32bis、V.32、V.22bis、V.22A/B、V.21 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応
		FAX データ転送速度 最大14,400bps (V.17)、FAX制御CLASS 1

VS26D/CX VS26D/CZ

モデル		VS26D/CX model CA2 VS26D/CX model DA2 VS26D/CZ model CA2 VS26D/CZ model DA2
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン)
	オーディオ	入力 マイク入力 (モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力 (ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン6dB
		出力 ヘッドホン出力 (ステレオ) 出力レベル最大500mVrms (負荷インピーダンス33Ω)、 ライン出力 (ステレオ)、出力レベル最大1Vrms (負荷インピーダンス47kΩ)、スピーカ出力 (ステレオ)
	マウス	マウス専用コネクタ (ミニDIN6ピン、添付のキーボードに装備)
	プリンタ	パラレルインターフェイス (D-Sub25ピン)
	シリアル	最大115,200bps (D-Sub 9 ピン)
	USB※5	2ポート内蔵
カレンダー時計		電池によるバックアップ
電源		AC 100V±10%、50/60Hz
温湿度条件		10～35℃、20～80%※6 (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	86 (W)×320 (D)×300 (H) mm (スタビライザ取り付け時 156 (W)×320 (D)×308 (H) mm)
	キーボード	471 (W)×178 (D)×39 (H) mm
重量	本体	約6.5kg
	キーボード	約1.1kg
消費電力		標準構成時 約62W 内蔵オプション最大接続 約110W サスペンドモード時 約26W以下 スタンバイモード時 約2W

- ※1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- ※2 ビデオ RAM が 4M バイトの時に表示できます。
- ※3 セットの 14.1 インチカラー TFT 液晶ディスプレイ (F14T2) では表示できません。
- ※4 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- ※5 Windows 95 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- ※6 18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

VS30D/M7 VS30D/MZ VS26D/M7

モデル		VS30D/M7 model CA2 VS30D/M7 model DA2 VS30D/MZ model CA2 VS30D/MZ model DA2	VS26D/M7 model CA2 VS26D/M7 model DA2
CPU		Pentium® II プロセッサ クロック300MHz	Pentium® II プロセッサ クロック266MHz
		キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト	
メモリ	BIOS ROM	256Kバイト、プラグ&プレイ対応	
	メインRAM	64Mバイト (最大384Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ63.6Mバイト (最大383.6Mバイト)	32Mバイト (最大384Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ31.6Mバイト (最大383.6Mバイト)
	RAM※1	DIMMスロット×3 (うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済)	DIMMスロット×3 (うち1スロットに32Mバイトメモリを取り付け済)
	ビデオRAM	4Mバイト	
表示機能	ウィンドウアクセラレータ	SGS THOMSON Microelectronics社製 RIVA128搭載	
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/32,768色/1,677万色
		800×600ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,024×768ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,280×1,024ドット	256色/32,768色
入力装置	キーボード	JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 マウス専用コネクタ装備	
	マウス	2ボタンマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)	
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能	
	ハードディスク	4.3G バイト Microsoft Windows 95をインストール済	
	内蔵3.5インチベイ	1台内蔵可能	
	5インチベイ	3スロット (うち1スロットはCD-ROMドライブで占有済)	
	CD-ROMドライブ	最大24倍速 (平均17倍速) CD-ROMドライブ内蔵	
PCIスロット		4スロット (うち1スロットはFAXモデムボードで占有済)	
サウンド機能※3	サウンドチップ	オークテクノロジー社製OTi610	
	音源	F M 音 源	なし
		P C M 音 源	PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz
		M I D I 音 源	ソフトウェアシンセサイザー機能搭載 (GS、GM演奏モード対応)
	サラウンド	エンハンスステレオ対応	
	3D機能	ポジショナル・サウンド	
	マイク	モノラルマイクロホン添付	
通信機能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps/最大受信56Kbps、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22A/B、V.21	
		エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応	
	FAX	データ転送速度 最大14,400bps (V.17)、FAX制御CLASS 1	

VS30D/M7 VS30D/MZ VS26D/M7

モデル		VS30D/M7 model CA2 VS30D/M7 model DA2 VS30D/MZ model CA2 VS30D/MZ model DA2	VS26D/M7 model CA2 VS26D/M7 model DA2	
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub15ピン)		
	オーディオ	入力	マイク入力 (モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力 (ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン-6dB	
		出力	ヘッドホン出力 (ステレオ) 出力レベル最大500mVrms (負荷インピーダンス33Ω)、 ライン出力 (ステレオ)、出力レベル最大1Vrms (負荷インピーダンス47kΩ)	
	マウス		マウス専用コネクタ (ミニDIN6ピン、添付のキーボードに装備)	
	プリンタ		パラレルインターフェイス (D-Sub25ピン)	
	シリアル	チャネル1	最大115,200bps (D-Sub9ピン)	
		チャネル2	最大115,200bps (D-Sub9ピン)	
	USB※4		2ポート内蔵 (キーボードで1ポート使用)	
カレンダー時計		電池によるバックアップ		
電源		AC 100V±10%、50/60Hz		
温湿度条件		10～35℃、20～80%※5 (ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	210 (W) ×456 (D) ×450 (H) mm		
	キーボード	471 (W) ×178 (D) ×39 (H) mm		
重量	本体	約17.0kg		
	キーボード	約1.1kg		
消費電力		標準構成時 約73W	標準構成時 約68W	
		内蔵オプション最大接続時 約240W	内蔵オプション最大接続時 約240W	
		サスペンドモード時 約30W以下	サスペンドモード時 約30W以下	
		スタンバイモード時 約6W	スタンバイモード時 約6W	

- ※1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- ※2 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- ※3 Windows 95 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- ※4 18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

VS33D/M7

モデル		VS33D/M7 model CD2 VS33D/M7 model DD2	VS33D/M7 model CB2 VS33D/M7 model DB2
CPU		Pentium® II プロセッサ クロック333MHz キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト	
メモリ	BIOS ROM	256Kバイト、プラグ&プレイ対応	
	メインRAM	64Mバイト (最大384Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ63.6Mバイト (最大383.6Mバイト)	32Mバイト (最大384Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ31.6Mバイト (最大383.6Mバイト)
	RAM※1	DIMMスロット×3 (うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済)	DIMMスロット×3 (うち1スロットに32Mバイトメモリを取り付け済)
	ビデオRAM	4Mバイト	
表示機能	ウィンドウアクセラレータ	SGS THOMSON Microelectronics社製 RIVA128搭載	
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/32,768色/1,677万色
		800×600ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,024×768ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,280×1,024ドット	256色/32,768色
入力装置	キーボード	JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 マウス専用コネクタ装備	
	マウス	2ボタンマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)	
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能	
	ハードディスク	8.4G バイト	4.3G バイト
		Microsoft Windows 95をインストール済	
	内蔵3.5インチベイ	1台内蔵可能	
	5インチベイ	3スロット (うち1スロットはDVD-ROM、CD-Rドライブで占有済)	
	DVD-ROMドライブ	DVD-ROMドライブ内蔵 DVD-ROM読み取り2倍速相当 CD-ROM読み取り20倍速相当	
	CD-Rドライブ		CD-Rドライブ内蔵 読み取り時8倍速相当 書き込み時2倍速程度
PCIスロット		4スロット (うち2スロットはFAXモデムボード、DVD再生ボードで占有済)	4スロット (うち1スロットはFAXモデムボードで占有済)
サウンド機能※2	サウンドチップ	オークテクノロジー社製OTi610	
	音源	F M 音 源	なし
		P C M 音 源	PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz
		M I D I 音 源	ソフトウェアシンセサイザー機能搭載 (GS、GM演奏モード対応)
	サラウンド	エンハンスステレオ対応	
	3D機能	ポジションナル・サウンド	
	マイク	モノラルマイクrophon添付	
通信機能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps/最大受信56Kbps、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V22A/B、V.21 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応	
		FAX	
	FAX	データ転送速度 最大14,400bps (V.17)、FAX制御CLASS 1	

VS33D/M7

モデル		VS33D/M7 model CD2 VS33D/M7 model DD2	VS33D/M7 model CB2 VS33D/M7 model DB2
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub15ピン)	
	オーディオ	入力	マイク入力 (モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力 (ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン-6dB
		出力	ヘッドホン出力 (ステレオ) 出力レベル最大500mVrms (負荷インピーダンス33Ω)、 ライン出力 (ステレオ) 出力レベル最大1Vrms (負荷インピーダンス47kΩ)
	マウス		マウス専用コネクタ (ミニDIN6ピン、添付のキーボードに装備)
	プリンタ		パラレルインターフェイス (D-Sub25ピン)
	シリアル	チャンネル1	最大115,200bps (D-Sub9ピン)
		チャンネル2	最大115,200bps (D-Sub9ピン)
	USB※3		2ポート内蔵 (キーボードで1ポート使用)
カレンダー時計		電池によるバックアップ	
電源		AC 100V±10%、50/60Hz	
温湿度条件		10～35℃、20～80%※4 (ただし結露しないこと)	
外形寸法	本体	210 (W)×456 (D)×450 (H) mm	
	キーボード	471 (W)×178 (D)×39 (H) mm	
重量	本体	約17.0kg	
	キーボード	約1.1kg	
消費電力		標準構成時 約61W	標準構成時 約55W
		内蔵オプション最大接続時 約220W	内蔵オプション最大接続時 約220W
		サスペンドモード時 約33W以下	サスペンドモード時 約31W以下
		スタンバイモード時 約6W	スタンバイモード時 約6W

- ※1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- ※2 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- ※3 Windows 95 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- ※4 18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

フラットパネルスピーカ・システム機能仕様 (ミニタワータイプ)

		フラットパネルスピーカ部	サブウーファ部
最大定格出力		3W+3W (rms)	6W (rms)
使用スピーカ		140×123mm (防磁型)	80mm (防磁型)
外形寸法		約130×22×175mm (アタッチメント含まず)	約120×126×170mm (突起部分含まず)
重量		約270g (ケーブル含む)	約1,000g
インターフェイス	入力	_____	オーディオ入力端子
	出力	_____	スピーカ接続端子、ヘッドホン出力端子

フラットパネルスピーカ機能仕様 (省スペースタイプ)

		フラットパネルスピーカ部
最大定格出力		3W+3W (rms)
使用スピーカ		140×123mm (防磁型)
外形寸法		約130×22×175mm (アタッチメント含まず)
重量		約270g (ケーブル含む)

FAX モデムボード機能仕様

■ 機能概要

CPU I/F	・パラレル接続 (PCIインターフェイス) ・16550A相当 (I/Oアクセス、割り込み)
NCU部	・回線接続切り替え機能 ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能 ・外付け電話フックオフ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット - K56flex - V.34 - V.32bis - V.32、V.22bis、V.22、V.21 - V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 - V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 - V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット - AT - レジスタ ・ビルトインDTEインターフェイス - 最高115.2KbpsのDTEスピード - パラレル16550A UARTインターフェイス ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・最高115.2Kbpsの自動フォーマット／スピード検出 ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング (DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

■ FAX 機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps ※
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM : 14400/12000/9600/7200bps DPSK : 4800/2400bps FSK : 300bps
送信レベル	-6~-15dBm (出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド (CLASS 1)

※ 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ データモデム 機能

項 目	規 格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送 受 信: 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600 7200/4800/2400/1200/300bps ※ 受信のみ:56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/36000 34000/32000bps ※
通信規格	K56flex ITU-T V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM : 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/ 36000/34000/32000/33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/ 16800/14400/12000/9600/7200bps QAM : 9600/7200bps DPSK : 4800/2400/1200bps FSK : 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42 (LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-6~-15dBm (出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HayseATコマンド [※]

※ 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ NCU 機能

項 目	規 格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル (10/20PPS) トーンダイヤル (DTMF)
NCU形式	AA (自動発信／自動着信型) MA (手動発信／自動着信型) MM (手動発信／手動着信型) AM (自動発信／手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンドAT (CLASS 1)

AT コマンド

ATコマンドとは、電話回線に対してDTE（パソコンなどの端末機器）からのコマンドにより自動発着信を行うために米国 Hayes 社が開発したコマンド体系で“AT”で始まることからこのように呼ばれています。

コマンドの構成

ATコマンドセット（A/ コマンドを除く）では、DTEが送る各コマンドラインはキャラクターシーケンスATで始まり、キャリッジリターンで終了しなければなりません。ATシーケンスは、いくつものコマンドをその次に続けることができます。ただし、Z、D、Aのようなコマンドは除きます。コマンドラインの最大キャラクタ数は48です。もしコマンドラインのどこかで構文エラーが見つかった場合には、ラインの残りは無視されます。

A	T	コマンド列	CR

コマンド一覧

■基本 AT コマンド

種 類	ATコマンド	機 能
アンサーモードで回線接続	A	アンサーモードで回線に接続し、通信状態になる。自動応答にしていないう状態で、応答する場合に使用する。
コマンドの再実行	A/	直前に実行したコマンドを再実行する。このコマンドの前には「AT」はつけない。また、最後の（ ☐ ）もつけない
ダイヤルの実行	D	指定された電話番号にダイヤルし、接続する。 P……パルスダイヤル（ダイヤル回線）。 T……トーンダイヤル（プッシュ回線）。 W……S6レジスタで指定された時間、ダイヤルトーンを待つ。 @……5秒間の無音状態を検出する。検出できない場合は「NO ANSWER」を返す。 .……S8レジスタで指定された時間、ポーズを置く。構内交換機、ゼロ発信等でダイヤルを待つ場合に使用する。 0～9、*、#……相手の電話番号をダイヤルする。ダイヤル番号を見やすくするために、スペース、「-」、「（）」、「[]」等が使用できる。なお、「*」、「#」はトーンダイヤルのみ使用できる。 ;……ダイヤル後コマンドモードに戻る。 !……S29レジスタで指定された時間、回線をオンフックする。（フラッシュダイヤルモディファイ） S=n……& Znで登録した電話番号にダイヤルする。 L……最後にかけた番号にリダイヤルする。
コマンドエコー有無の設定☆	E	DTE（パソコン側）から送られたコマンドのエコー（文字をそのまま送り返す）の有無を指定する。 E0 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返さない。 E1 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返す（初期値）。
回線の接続／切断	H	H0 回線を切断（オンフック）する。 H1 回線を接続（オフフック）する。
識別コード表示	I	モデムの識別コードを表示する。 I0 製品コードを表示する。 I1 ROMのチェックサムコードを表示する。 I2 ROMのチェックを実行する。 I3 ファームウェアのレビジョンを表示する。
モニタースピーカ 最大音量設定	☆ L	FAXモデムボードの内蔵スピーカの音量を設定する。 L0 音量小。 L1 音量小（初期値）。 L2 音量中。 L3 音量大。

☆AT&Wnでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
モニタースピーカの動作設定 ☆	M	内部モニタースピーカのON,OFFのタイミングを設定する。 M0 スピーカを常にOFFにする。 M1 キャリアを検出するまでONにする(初期値)。 M2 スピーカを常にONにする。 M3 ダイアル終了からキャリア検出までONにする。
オンラインモードに戻る	O	オンラインモード中にエスケープコマンド(+++)によってコマンドモードになったときに,再びオンラインモードに戻るのに使用する。 O0 オンラインモードに戻る。 O1 トレーニングを再度実行して,オンラインモードに戻る。
パルス回線(ダイヤル回線)モードの設定	P	ダイヤルをパルスで行うモードに設定する。
リザルトコードの設定 ☆	Q	リザルトコードをDTE(パソコン側)に返すか,返さないかのモードを指定する。 Q0 リザルトコードをパソコンに返す(初期値)。 Q1 リザルトコードをパソコンに返さない。
Sレジスタの読みだし	Sr?	Sレジスタrの内容を読みだす。ATS0? (☐) でS0レジスタの内容を読みだす。
Sレジスタの設定	Sr=n	Sレジスタrを設定する。 ATSr=n(リターン)でrに設定したいレジスタの番号,nにレジスタの値を10進数で設定する。 ATS2=43(リターン)でS2レジスタに43(10進数)を設定する。
トーン回線(プッシュ回線)モードの設定	T	ダイヤルをトーンで行うモードに設定する。
リザルトコードタイプの設定 ☆	V	ATコマンドのリザルトコードの形式を指定する。 V0 リザルトコードを数字表示に設定する。 V1 リザルトコードを文字表示に設定する(初期値)。
リザルトコードのスピード表示 ☆	W	リザルトコードのスピード表示を指定する。 W0 DTEスピードを表示する(初期値)。 W1 DCEスピード,エラー訂正プロトコル,DTEスピードの順に表示する。 W2 DCEスピードを表示する。
接続時のリザルトコードの設定 ☆	X	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 X0 リザルトコードの拡張は行わない。 X1 リザルトコードに接続時のスピードを付加する。1200bps以上のスピードで接続された場合, 「CONNECT ××××」とスピードを表示する。 X2 X1に加えて,ダイヤル時にダイヤルトーンの検出を行う。ダイヤル時に5秒以内にダイヤルトーンを検出できなかったら「NO DIALTONE」を表示する。 X3 X1に加えて,ビジートーン(話中音)の検出を行う。ビジートーンを検出したら「BUSY」と表示する。 X4 X2,X3をあわせて表示,または検出する(初期値)。

☆AT&Wnでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
ブレーク信号の動作指定 ☆	Y	ブレーク信号に関する動作を指定する。 Y0 ブレーク信号を受信しても、回線を切断しない(初期値)。 Y1 ブレーク信号を1.6秒間以上受信すると、回線を切断する。回線切断時(ATH等のコマンド)は、ブレーク信号を相手モデムに4秒間送出する。 ※ダイレクト、ノーマルモード接続時のみ有効。エラー訂正プロトコル(V.42.MNP)で接続されている場合は、プロトコルの動作に従う。
モデムの初期化	Z	モデムを不揮発性メモリの保存内容で初期化する。 Z0 不揮発性メモリのプロファイル0の保存内容で初期化する。 Z1 不揮発性メモリのプロファイル1の保存内容で初期化する。
キャリア検出信号(CD)の動作 ☆	&C	CD信号(DCD)の動作を指定する。 &C0 CD信号を常にONにする。 &C1 CD信号はキャリアが検出されるとONになる(初期値)。
データ端末レディ(DTR)の動作 ☆		&D DTR信号がONからOFFに変化した場合の動作を指定する。 &D0 DTR信号は無視し、常にONとして扱う。 &D1 DTR信号がOFFになると、コマンドモードになる。 &D2 DTR信号がOFFになると、回線を切断しコマンドモードになる(初期値)。 &D3 DTR信号がOFFになると、初期化される。(ATZコマンド実行状態になる)。
パラメータの初期化	&F	各種パラメータを工場出荷時の設定に戻す。
DTEのフロー制御 ☆	&K	DTE(パソコン側)のフロー制御(RTS/CTS,XON/XOFF)を指定する。 &K0 フロー制御をしない。 &K3 RTS/CTSフロー制御をする(初期値)。 &K4 XON/XOFFフロー制御をする。 &K5 透過XON/XOFFフロー制御をする。 &K6 RTS/CTSとXON/XOFFフローを同時に行う。
通信モードの設定	&M	通信モードを指定する。 &M0 ダイレクト非同期モードで接続する。
ダイヤルパルススピードの設定 ☆	&P	ダイヤルパルスのスピードを指定する。 &P0 ダイヤルパルスを10PPSにする。 &P1 ダイヤルパルスを10PPSにする(初期値)。 &P2 ダイヤルパルスを20PPSにする。 &P3 ダイヤルパルスを20PPSにする。
モデムの状態表示	&V	現在設定されているコマンドの一覧と、不揮発性メモリに保存されている内容を表示する。
パラメータの書き込み	&W	現在の設定されている状態を、不揮発性メモリに書き込む。 &W0 不揮発性メモリのプロファイル0に書き込む。 &W1 不揮発性メモリのプロファイル1に書き込む。 ※この値は、電源をオンしたとき(AT&Ynコマンドで0,1を指定)、またはATZnコマンドで初期化したときに使われる。各々のコマンドを参照。
プロファイルの設定	&Y	電源立ち上げ時のファイル読み込みを設定する。 &Y0 プロファイル0を指定する。 &Y1 プロファイル1を指定する。

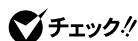
☆AT&Wnでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能																															
電話番号の保存 ☆	&Z	ATDS=<n> コマンドでダイヤルする場合の、電話番号を指定する。 &Zn=×××××××× n=0～3、××××は電話番号(34桁以下) 例) AT&Z2=03-1234-5678 ダイヤル番号バッファ2に指定の番号を保存する。 ※電話番号として使用できるのは、ATDコマンドの電話番号のうち「:」、「S=n」以外のコマンド。																															
データ圧縮の指定 ☆	%C	データ圧縮の方法を指定する。 %C0 データ圧縮をしない。 %C1 MNP5のデータ圧縮を行う。 %C2 V.42bisのデータ圧縮を行う。 %C3 V.42bis/MNP5のデータ圧縮を行う(初期値)。																															
リトレーニング等の自動再実行 ☆	%E	回線の状態を監視して、状態が変化した場合や悪い場合に、トレーニングシーケンスの再実行(リトレーニング)、回線速度を変更するかどうかの指定をする。 %E0 リトレーニングを自動で再実行しない。 %E1 リトレーニングを自動で再実行する。 %E2 回線速度の変更を可能にする(初期値)。 ※データエラーが多い場合のリトライ動作を指定するものではない。																															
最大ブロックサイズの設定 ☆	¥A	MNPで接続するときのブロックサイズを設定する。 ¥A0 最大ブロックサイズ 64 ¥A1 最大ブロックサイズ 128(初期値) ¥A2 最大ブロックサイズ 192 ¥A3 最大ブロックサイズ 256																															
相手モデムに対するブ레이크信号の送出	¥B	非エラー訂正モード時に、モデムから相手モデムにブ레이크信号を送出する。 ¥B1～¥B9 100ms単位のブ레이크信号長(初期値:¥B3)																															
ブ레이크信号の動作 ☆	¥K	<table><tr><td></td><td>オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時にパソコンからブ레이크信号を受けた</td><td>オンラインコマンドモード時にパソコンから¥Bコマンドによるブ레이크を受けた</td><td>オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時に相手モデムからブ레이크を受けた</td></tr><tr><td>n = 0</td><td>コマンドモードになる。相手モデムにはブ레이크を送らない</td><td>データバッファを空にして、相手モデムにブ레이크を送る</td><td>データバッファを空にして、パソコンにブ레이크を送る</td></tr><tr><td>n = 1</td><td>データバッファを空にして、相手モデムにブ레이크を送る</td><td></td><td></td></tr><tr><td>n = 2</td><td>¥K0と同じ</td><td>バッファのデータより優先して相手モデムにブ레이크を送る</td><td>バッファのデータより優先してパソコンにブ레이크を送る</td></tr><tr><td>n = 3</td><td>バッファのデータより優先して相手モデムにブ레이크を送る</td><td></td><td></td></tr><tr><td>n = 4</td><td>¥K0と同じ</td><td>バッファのデータを送った後で相手モデムにブ레이크を送る</td><td>バッファのデータを送った後でパソコンにブ레이크を送る</td></tr><tr><td>n = 5</td><td>バッファのデータを送った後で、相手モデムにブ레이크を送る</td><td></td><td></td></tr></table>					オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時にパソコンからブ레이크信号を受けた	オンラインコマンドモード時にパソコンから¥Bコマンドによるブ레이크を受けた	オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時に相手モデムからブ레이크を受けた	n = 0	コマンドモードになる。相手モデムにはブ레이크を送らない	データバッファを空にして、相手モデムにブ레이크を送る	データバッファを空にして、パソコンにブ레이크を送る	n = 1	データバッファを空にして、相手モデムにブ레이크を送る			n = 2	¥K0と同じ	バッファのデータより優先して相手モデムにブ레이크を送る	バッファのデータより優先してパソコンにブ레이크を送る	n = 3	バッファのデータより優先して相手モデムにブ레이크を送る			n = 4	¥K0と同じ	バッファのデータを送った後で相手モデムにブ레이크を送る	バッファのデータを送った後でパソコンにブ레이크を送る	n = 5	バッファのデータを送った後で、相手モデムにブ레이크を送る		
	オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時にパソコンからブ레이크信号を受けた	オンラインコマンドモード時にパソコンから¥Bコマンドによるブ레이크を受けた	オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時に相手モデムからブ레이크を受けた																														
n = 0	コマンドモードになる。相手モデムにはブ레이크を送らない	データバッファを空にして、相手モデムにブ레이크を送る	データバッファを空にして、パソコンにブ레이크を送る																														
n = 1	データバッファを空にして、相手モデムにブ레이크を送る																																
n = 2	¥K0と同じ	バッファのデータより優先して相手モデムにブ레이크を送る	バッファのデータより優先してパソコンにブ레이크を送る																														
n = 3	バッファのデータより優先して相手モデムにブ레이크を送る																																
n = 4	¥K0と同じ	バッファのデータを送った後で相手モデムにブ레이크を送る	バッファのデータを送った後でパソコンにブ레이크を送る																														
n = 5	バッファのデータを送った後で、相手モデムにブ레이크を送る																																

☆AT&Wnでバックアップ可能

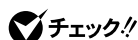
機 種	ATコマンド	機 能
通信モードの設定 ☆	¥N	エラー訂正プロトコルの動作を設定する。 ¥N0 ノーマルモードで通信する。V.42,MNP等は使用しない。 ¥N1 ¥N0と同じ。 ¥N2 V.42,MNPモードで接続する。 相手モデムがV.42,MNPでない場合は接続しない。 ¥N3 V.42,MNPモードで接続する(初期値)。 相手モデムがV.42,MNPでない場合は、ノーマルモードで接続する。 ¥N4 V.42モードで接続する。 相手モデムがV.42でない場合は、接続しない。 ¥N5 MNPモードで接続する。 相手モデムがMNPでない場合は、接続しない。 ※V.42、MNPの場合は、V.42→MNPの順に相手モデムとの接続を試す。
変調方式の指定	+MS	+MS=(変調方式)、(自動モード)、(最低スピード)、(最高スピード) 2番目以降のパラメータは、省略可能(途中の省略は不可)。相手モデムとの通信方式、手順、スピード等を指定する。 変調方式 0:V.21 300bpsで接続される。 1:V.22 1200bpsで接続される。 2:V.22bis 2400/1200bpsで接続される。 9:V.32 9600/4800bpsで接続される。 10:V.32bis 14400~4800bpsで接続される。 11:V.34 33600~2400bpsで接続される。 56:K56flex 56000~32000で接続される(初期値)。 自動モード 接続時の自動ネゴシエーションの指定を行う。 0:自動モード(V.8)を使用しない。 1:自動モード(V.8)を使用する。 最低スピード 最低の変調速度を指定する(初期値300)。 300,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600,24000, 26400,28800,31200,33600が指定できる。 最高スピード 最高の変調速度を指定する(初期値56000)。 300,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600,24000, 26400,28800,31200,32000,33600,34000,36000,38000,40000,42000,44000, 46000,48000,50000,52000,54000,56000が指定できる。
エスケープ	+++	オンラインモードのとき、パソコンから前後1秒間(\$12レジスタで設定可能)の時間をあけて、「+++」のコマンドが入力されると、回線を切断することなく、コマンドモードに移る「+++」の前後に他の文字が入力されるとエスケープコマンドと判断されないで(リターン)等は入力しないこと。

☆A&Wnでバックアップ可能



相手FAXが音声応答FAXの場合、接続できない可能性があります。その場合は以下のコマンドによりBUSYトーン検出をOFFにしてください。

コマンド構文: ATXO



外付け電話機使用中に以下に示すATコマンドを実行すると回線が切り替わります。

コマンド構文: ATD、ATH1、ATA

■リザルトコード

数 字	文 字	内 容
0	OK	コマンドラインの実行確認
1	CONNECT	300bpsで接続および接続
2	RING	リングング検出
3	NO CARRIER	キャリアおよびリングバック検出せず
4	ERROR	コマンド構文違いおよび存在しないコマンド
5	CONNECT 1200	DCE-DCE間,DTE-DCE間を1200bpsで接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン検出せず
7	BUSY	BUSYトーン検出
8	NO ANSWER	S7タイマーが切れるまで連続的にリングバックを検出
9	CONNECT 0600	DCE-DCE間,DTE-DCE間を600bpsで接続
10	CONNECT 2400	DCE-DCE間,DTE-DCE間を2400bpsで接続
11	CONNECT 4800	DCE-DCE間,DTE-DCE間を4800bpsで接続
12	CONNECT 9600	DCE-DCE間,DTE-DCE間を9600bpsで接続
13	CONNECT 7200	DCE-DCE間,DTE-DCE間を7200bpsで接続
14	CONNECT 12000	DCE-DCE間,DTE-DCE間を12000bpsで接続
15	CONNECT 14400	DCE-DCE間,DTE-DCE間を14400bpsで接続
16	CONNECT 19200	DTE-DCE間を19200bpsで接続
17	CONNECT 38400	DTE-DCE間を38400bpsで接続
18	CONNECT 57600	DTE-DCE間を57600bpsで接続
19	CONNECT 115200	DTE-DCE間を115200bpsで接続
24	DELAYED	ダイヤルした番号が“ 遅延 ”と判断された
33	FAX	FAXモードでFAXモデム接続
35	DATA	FAXモードでデータモデム接続
40	CARRIER 300	0~300bpsデータレート検出
46	CARRIER 1200	1200bpsデータレート検出
47	CARRIER 2400	2400bpsデータレート検出
48	CARRIER 4800	4800bpsデータレート検出
49	CARRIER 7200	7200bpsデータレート検出
50	CARRIER 9600	9600bpsデータレート検出
51	CARRIER 12000	12000bpsデータレート検出
52	CARRIER 14400	14400bpsデータレート検出
53	CARRIER 16800	16800bpsデータレート検出
54	CARRIER 19200	19200bpsデータレート検出
55	CARRIER 21600	21600bpsデータレート検出
56	CARRIER 24000	24000bpsデータレート検出
57	CARRIER 26400	26400bpsデータレート検出
58	CARRIER 28800	28800bpsデータレート検出
59	CONNECT 16800	DTE-DCE間を16800bpsで接続
61	CONNECT 21600	DTE-DCE間を21600bpsで接続
62	CONNECT 24000	DTE-DCE間を24000bpsで接続
63	CONNECT 26400	DTE-DCE間を26400bpsで接続
64	CONNECT 28800	DTE-DCE間を28800bpsで接続
66	COMPRESSION:CLASS5	MNPクラス5で接続
67	COMPRESSION:V.42BIS	V.42bis で接続
69	COMPRESSION:NONE	データ圧縮なしで接続
70	PROTOCOL:NONE	エラー訂正なしで接続
77	PROTOCOL:LAP-M	V.42LAPMエラー訂正モードで接続
78	CARRIER 31200	31200bpsデータレート検出
79	CARRIER 33600	33600bpsデータレート検出
80	PROTOCOL:ALT	MNPエラー訂正モードで接続

数 字	文 字	内 容
84	CONNECT 33600	DTE-DCE間を33600bpsで接続
91	CONNECT 31200	DTE-DCE間を31200bpsで接続
150	CARRIER 32000	32000bpsデータレート検出
151	CARRIER 34000	34000bpsデータレート検出
152	CARRIER 36000	36000bpsデータレート検出
153	CARRIER 38000	38000bpsデータレート検出
154	CARRIER 40000	40000bpsデータレート検出
155	CARRIER 42000	42000bpsデータレート検出
156	CARRIER 44000	44000bpsデータレート検出
157	CARRIER 46000	46000bpsデータレート検出
158	CARRIER 48000	48000bpsデータレート検出
159	CARRIER 50000	50000bpsデータレート検出
160	CARRIER 52000	52000bpsデータレート検出
161	CARRIER 54000	54000bpsデータレート検出
162	CARRIER 56000	56000bpsデータレート検出
165	CONNECT 32000	DCE-DCE間を32000bpsで接続
166	CONNECT 34000	DCE-DCE間を34000bpsで接続
167	CONNECT 36000	DCE-DCE間を36000bpsで接続
168	CONNECT 38000	DCE-DCE間を38000bpsで接続
169	CONNECT 40000	DCE-DCE間を40000bpsで接続
170	CONNECT 42000	DCE-DCE間を42000bpsで接続
171	CONNECT 44000	DCE-DCE間を44000bpsで接続
172	CONNECT 46000	DCE-DCE間を46000bpsで接続
173	CONNECT 48000	DCE-DCE間を48000bpsで接続
174	CONNECT 50000	DCE-DCE間を50000bpsで接続
175	CONNECT 52000	DCE-DCE間を52000bpsで接続
176	CONNECT 54000	DCE-DCE間を54000bpsで接続
177	CONNECT 56000	DCE-DCE間を56000bpsで接続
+F4	+FCERROR	高速FAXデータが予想され、V.21信号を受信

■ S レジスタ

Sレジスタ	機 能	説 明
S0	自動着信する呼び出し回数設定 ☆	呼び出し音(リング)の何回目で自動着信するかを設定。 S0=0 自動着信しない(初期値)。 S0=1~255 n回目の呼び出しを受けると自動着信。
S1	呼び出し回数のカウント	呼び出し音の回数をカウント。呼び出し音が検出されると、S1レジスタの値が+1される。 なお、呼び出し音が止まってから8秒たつとS1は0になる。 S0が0の場合は、S1は+1されない。初期値はS1=0。
S2	エスケープコードの文字設定 ☆	エスケープコードに使うキャラクタコードを0~127の値の間で設定。 初期値はS2=43(キャラクタ「+」)。
S3	復帰(キャリッジリターン)コードの文字設定	復帰コードのキャラクタコードを0~127の値で設定。 初期値はS3=13(16進数で0D)。
S4	改行(ラインフィード)コードの文字設定	改行コードのキャラクタコードを0~255の値で設定。 初期値はS4=10(16進数で0A)。
S5	バックスペースコードの文字設定	バックスペースコードのキャラクタコードを設定。 コマンドの1文字訂正に使用。0~32および127が設定可能。 このレジスタには表示可能なコード(33~126)は設定できない。 初期値はS5=8(16進数で08)。
S6	ダイヤル開始までの待ち時間 ☆	オンフックしてからダイヤルするまでの待ち時間を設定。 Xコマンドがダイヤルトーンを検出しない場合(X0,1,3)に有効。 ダイヤルトーンを検出する場合(X2,4)はS6レジスタの値は無効。 4~12の値を秒単位で指定。初期値はS6=4(4秒)。
S7	接続待ち時間の設定 ☆	ダイヤルしてから接続されるまでの接続待ち時間を0~58の間で秒単位で設定。 設定した時間内に接続されないと「NO CARRIER」がパソコンに返される。 初期値はS7=50(50秒)。
S8	ポーズコマンドの時間設定 ☆	ダイヤル時のポーズコマンド「,」の待ち時間を2~7の値で秒単位で設定。 初期値はS8=2(2秒)。
S9	キャリア検出の時間設定 ☆	相手モデムからのキャリアを検出する時間を設定。 接続時に、設定した時間以上連続してキャリアが検出されると、回線を接続。 0~255の値を0.1秒単位で設定。初期値はS9=6(0.6秒)。
S10	キャリア断検出の時間設定	☆回線の接続中に、設定した時間以上連続してキャリアが検出できない場合にキャリア断として回線を切断。0~255の値を0.1秒単位で設定。 S10=255の場合はキャリア断を無視(キャリアが切れても回線を切断しない)。 初期値はS10=14(1.4秒)。
S12	エスケープコードのガードタイムの設定 ☆	エスケープコマンド(+++)の前後のガード時間を設定。 エスケープコマンドの前後には、設定されたガード時間以上データのない時間が必要であり+と+の間はこの時間より短くなければならない。 0~255の値を1/50秒単位で設定。初期値はS12=50(1秒)。
S25	DTR遅延設定	DTRが変化したことを検出するまでの遅延時間を0~255の値の間で0.01秒単位で設定。初期値はS25=5。
S29	フラッシュダイヤルモディファイ時間	ダイヤル時に、フラッシュダイヤルモディファイを受け取ったときにオンフックになる時間を設定。 0~255の値を0.01秒単位で設定。初期値はS29=0。
S30	無通信タイマ	データの送受信が行われない場合の回線切断タイマで0~255の値で10秒単位で設定。S30=0の場合はデータの送受信が行われない場合でも回線切断は行わない。初期値はS30=0。

☆AT & Wnでバックアップ可能

Sレジスタ	機 能	説 明
S38	回線切断の時間設定	切断コマンドATH0 (DTR信号で切断するようにコマンドされているとき) によって切断されるまでの時間を設定。 S38=0~254の場合 設定した時間リモートモデムを待機させ、バッファ内のデータを読みとってから切断。データを送る前にタイムアウトしたときは「NO CARRIER」となり、タイムアウト前にすべてのデータを送出したときは「OK」を返す。 S38=255の場合 タイムアウトしないで、接続が切れるまで、またはデータを送り終わるまでバッファ内のデータを送信。 初期値はS38=20 (20秒)。
S95	拡張リザルトコードの設定	☆ リザルトコードの返し方を設定。 b0 CONNECTのスピードをDCEスピードで返す (W2)。 b1 /ARQのエラー訂正をCONNECTの後ろにつける。 b2 接続中にCARRIER ××××のリザルトを返す。 b3 接続中にPROTOCOL ××××のリザルトを返す。 b5 接続中にCOMPRESSION ××××のリザルトを返す。初期値はS95=0。

☆A&Wnでバックアップ可能

✓チェック!!

相手端末の応答を自動的に確認する場合で応答の確認ができない場合、選択信号送出終了後直流回線を解放するまでの時間は、ATコマンドのS7レジスタにて0~58秒に設定可能ですが、小さい値を設定すると回路が接続される前に切れてしまう可能性があります。また、交換機へも悪影響を与えますので、30秒以上に設定してください。

✓チェック!!

S0レジスタを0以外の値でバックアップすると、通信用アプリケーションの起動状態によらずに設定された呼び出し回数で着信します。

索 引

英数字

2DD	233
2HD	233
3.5インチフロッピーディスクドライブ	297,302,306
3D Depth調整	249
5インチベイ	297
5インチベイカバー	297
AC3/PCM端子	300
ACアダプタ接続端子	248
AC電源コネクタ	299,303,307
Adobe Acrobat Reader	199,215
AI将棋 Ver.1.5R	118
Angel Line for Windows	77,204,208
Angel Line アドレス帳	79
AOL	105,109,166
AOLへのご招待	201,217
AUDIO-OUT端子	300
BIGLOBE Walker	190,213
BIGLOBE入会申込	190,213
BIOSセットアップユーティリティ	244,276
BUSYインジケータ	297,302,306
CD-R	266
CDRFS	194,212,267
CD-ROMドライバ.....	288
CD-ROMドライブ.....	297,302,306
CD-Rドライブ	266,298
CD-Rドライブアクセスランプ	298
CDトレイジェクトボタン .	298,302,306
CDランチ	95,196,213
CD音量	254
CyberCoach-NX	10,202,218
CyberTrio-NX	176,201,217
CyberWarner-NX	180,202,217
DMAチャンネル	283
DVD-ROMドライブ	298
DVD-ROMドライブアクセスランプ	298
DVDプレーヤ	62,198,214
DVD再生ボード	300
Easy-CD 95	194,212,270
FAX	19,22
FAXモデムの設定	32
FAXモデムボード	259

FAX情報サービス	23
FAX送受信ログ	34
FAX通信機能	259
FM音源	247
GLOCAL HEXCITE	114
Hover	107,110
IIS	70
LINE IN端子	299,303,308
LINE OUT端子	299,303,308
MAGIC FLIGHT	201,217
MapPlayer-NX	65,197,213
Microsoft /Shogakukan Bookshelf Basic	103
Microsoft Chat 2.0	196,218
Microsoft Excel 97	103,203,221
Microsoft FAX	43
Microsoft Internet Explorer 4.01	195,218
Microsoft NetShow Player 2.0	196,218
Microsoft Outlook 97	103,203,221
Microsoft Word 97	103,203,222
MS-DOSモード	288
NECパソコンFAXテスト交信サービス	15
NIFTY MANAGER	112,110,166
NIFTY SERVE	166
PCIスロット	299,303,307
PCM	247
PC-VAN	165
PC-VANナビゲータ	165,204,208
PictureStudio Light	199,215
RealPlayer 4.0	196,218
Roland DoReMiX	192,211
Roland MusicBox	192,210
Roland 通信ジュークカラオケ	192,211
Service Pack 3	295
TELFAX-NX	13,194,212
Timer-NX	37,201,216
Virtua Fighter 2	112
Virtual Sound Canvas VSC-88	205,211
VirusScan	183,191,209
VShield	183
Windows NT 4.0	291
Windows起動ディスク	234

WWWブラウザ 148

ア行

アース端子 299,303,307
 アクセスポイント 160
 アタッチメントファイル 35
 アドレス帳 32
 アナログRGBコネクタ 300,304,308
 アプリケーションCD-ROM 206
 アプリケーション起動ボタン 83,89
 アラーム 149
 アルバム工房Light 72
 イジェクトボタン 297,302,306
 一太郎Office8 102,193,220
 インターネットアクセスマネージャ
 145,205,208
 インターネットカラオケキング 200,216
 インターネット通信機能 259
 インターネット無料体験 197,208
 ウイルスの検査と駆除 183
 ウーファボリューム 248
 映像出力端子 300
 英語モードフォント 97
 駅すばあと 191,209
 オーディオ入力端子 248
 オートダイヤル 160
 オートパイロット 152
 応答メッセージ 25
 オフタイム機能 46
 音楽CD 58
 音声コマンド 134
 オンタイム機能 41
 音量ボリューム 248

カ行

解像度 236,238
 回線異常 34
 カーソルの点滅速度 226
 カーナビゲーション用地図CD-ROM 65
 カバーページ 35
 カラオケCD 58
 簡易解像度切り替え機能 239
 環境設定 32,137

キーボードのプロパティ 226
 記憶媒体 266
 キッズモード 178
 キャッチホンサービス 34
 空冷用ファン 299,303,307
 グループ 86
 グループボタン 83,89
 グローカル ヘキサイト 114
 ゲーム 112
 個人ボックス 26
 コンテキストメニュー 224

サ行

サインアップ 165,166
 サウンドデバイス 253
 サウンドドライバ 34
 サウンドレコーダー 257
 サウンド機能 247
 サウンド設定 31
 サスペンド機能 242
 サブウーファ 248
 サブグループ 87
 ジェットサーファ 140,191,207
 システムデバイスの設定 278
 自動受信 22
 しゃべっていいメール 122,198,214
 ジャンルの登録 80
 受話器ボタン 14
 住所録 48
 省電力の設定 278
 シリアルコネクタ 300,303,307
 スーパーバイザーパスワード 280
 スキップセクタ 229
 スキャンディスク 228
 スクラップ 136,199,214
 スタビライザ 297,306
 スピーカホン 14,260
 スピーカ接続端子 248
 スリープボタン 242,297,301,305
 スリープランプ 297,301,305
 セキュリティの設定 277
 走査周波数 236
 送受信のテスト 15

ソリティア デラックス 116

タ行

タイマー機能 37
タイマプログラム 37
ダイヤルアップIP 142
ダイヤルアップネットワーク 168
ダブルクリックの速度 224
地図CD-ROM 65
追記型 266
通信記録 162
通信設定 77
通風孔 300,304,308
データ通信機能 259
テキストリーダ 99,104,108
てきばき家計簿マム2 197,213
デジタルブック 80
デジタルブックビューワ 80
デバイスドライバ 263
デバイスマネージャ 262
デフラグ 230
電源スイッチ 297,301,305
電源のプロパティウィンドウ 245
電源ランプ 297,301,305
電子アルバム 72
電話回線用モジュラーコネクタ
..... 300,304,308
電話機能 36
電話機用モジュラーコネクタ 299,304,308
電話番号検索サービス 77
トーン調整 252
盗難防止用ロック 300,304,308
ドライブスペース 230
ドライブの圧縮 231

ナ行

日本棋院の囲碁入門 82
日本語モードフォント 97
入カレベル調整 123

ハ行

バーチャファイター2 112
ハードディスク 228

ハードディスクアクセスランプ

..... 297,301,305
背景色 89
ハウリング 255
パスワード 178,277
パソコン大学一年生 190,219
パソコン通信 165
バックアップファイル 181
パラレルコネクタ 300,303,308
パラレルポートの設定 277
パワーマネージメント機能 239
ビデオCD 58
表示色 236,238
フォトCD 59
筆ぐるめ 48,200,216
フリーズ処理 268
不良セクタ 229
プレイバックコントロール 59
プレーヤ-NX 55,198,213
フロッピーディスク 233
フロッピーディスクドライブアクセスランプ
..... 297,302,306
プロバイダ料金 151
分析範囲 140
ベーシックモード 177
ヘッドホンボリューム 297,298,302
ヘッドホン端子 248,301,306
別売のディスプレイ 237
ボイスノート機能 122
ボイスペン 134,198,214
ホームページスクラップブック
..... 136,191,207
補助ドラッグ 224
坊っちゃん 82
ボリュームコントロール 249,251
ボリューム調節 255,256
翻訳アダプタ II CROSSROAD 200,216

マ行

マイクロホン 255
マイクロホン端子 299,303,308
マウスのプロパティ 224
マウス専用コネクタ 310

メール	130
メールアドレス	127
メールボックス	26,128
文字列検索	142

ヤ・ラ・ワ行

ユーザー登録地点	68
ユーザ情報設定	32
ユーザーパスワード	279
ランチ-NX	83,196,212
ランチ-NXの設定ウィンドウ	83
ランドマーク	67
リソース	264
リモート操作	28
リング	41
利用環境	145
留守番電話機能	24,35
留守録モード	16,26,36
レジューム機能	242
ログファイル	162,181
話者学習	125
割り込みレベル	283

NEC VALUESTAR NX



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR NX

初版 1998年2月
NEC
P

808-883362-005-A



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。